

索引

英数字 ページ

- i.LINK50
- i.LINK接続設定66
- IEEE139450
- SDメモリーカード68

あ行 ページ

- アイコン4
- 暗証番号登録38
- 暗証番号取消し41
- 暗証番号入力37
- 暗証番号変更41
- 一番組購入限度額40
- イベントリレー予約29
- インフォメーション7
- 裏番組17
- 衛星データ放送44
- 映像切換45
- お好み選局15
- お好み設定15
- 音声切換45

か行 ページ

- カーソル5
- 開始時刻修正29
- 画面表示12
- 機器操作51
- 契約9
- 購入記録21

さ行 ページ

- 時間変更追従27、35
- 視聴可能年齢40
- 視聴購入20
- 視聴制限9、37~41
- 視聴制限設定39
- 視聴制限の解除37
- 字幕43
- 字幕言語43
- ジャンル検索18
- 終了時刻修正29
- 信号設定28
- 選局対象42

た行 ページ

- タイマー予約26、31
- ダウンロード47
- チャンネル一覧16
- 電話発信記録46

は行 ページ

- 番組購入20
- 番組内容13
- 番組ナビ6
- 番組表10、11
- 番組予約22
- プリセット選局8
- プログラムナビ54
- プログラム予約32
- ペイ・パー・ビュー9、20
- ボード(CS1、CS2)48

ま行 ページ

- マルチビュー録画29、35
- メール47
- 文字スーパー43
- 文字スーパー言語43

や行 ページ

- 有料番組9、20
- 予約9、20
- 予約一覧36
- 予約変更9、24、36
- 予約取消し36
- 予約の優先順位31
- 予約方式22

ら行 ページ

- 連動予約26、31
- 録画機器26
- 録画購入20
- 録画モード27

Panasonic

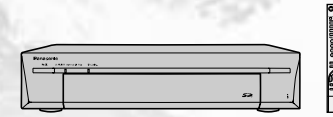
業務用 BS・110度CSデジタルチューナー 取扱説明書

(衛星デジタルの応用) 機器操作

Panasonic

プラズマディスプレイ用
業務用 BS・110度CSデジタルチューナー
取扱説明書

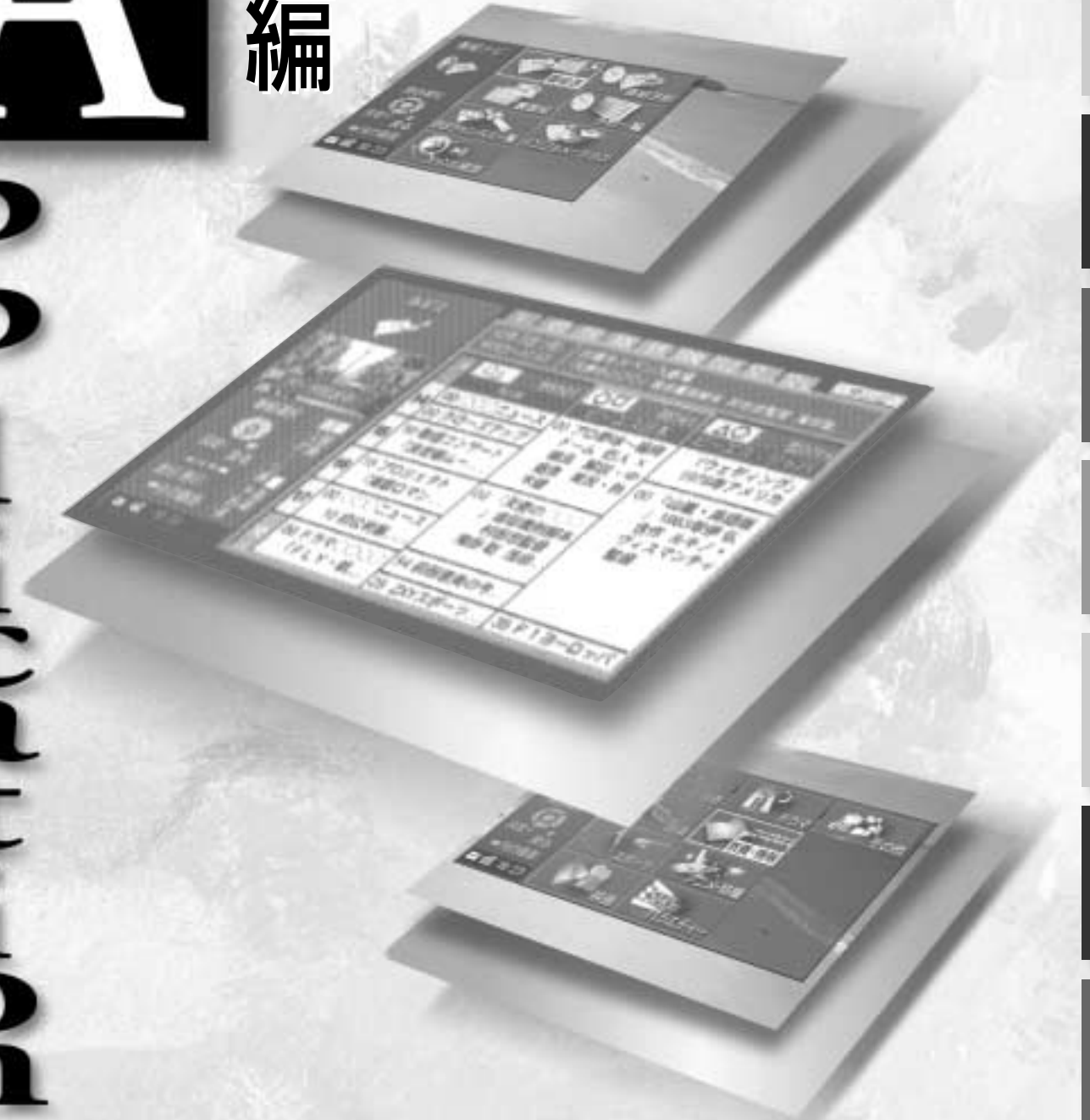
品番 **TU-PH320**



P.P.I.C.A.T.I.O.N

衛星デジタルの
応用/機器操作
編


番組表など衛星デジタルの応用操作や
 接続した機器の操作はこの冊子



表示機能に
 選局機能に
 検索機能に
 有料番組に
 予約する
 視聴条件の
 放送リミット
 カンパニ
 ー・「PDP」


もくじ

- この説明書と別冊の「設置／接続と設定」、「本機の使い方」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ご使用の前に、別冊：B編「本機の使い方」の安全上のご注意を必ずお読みください。
- 説明書は、目的の内容がすぐに見つかるよう、分冊にしています。各説明書の主な内容は、表紙に書いてあります。




**衛星デジタルの
応用／機器操作
(A編)**
ApplicationのAです

- 番組表を見たい
- 番組を予約したい
- 番組を検索したい
- 有料番組が見たい
- 視聴条件の設定について
- i.LINKについて
- SDメモリーカードについて



**本機の使い方
(B編)**
BasicのBです

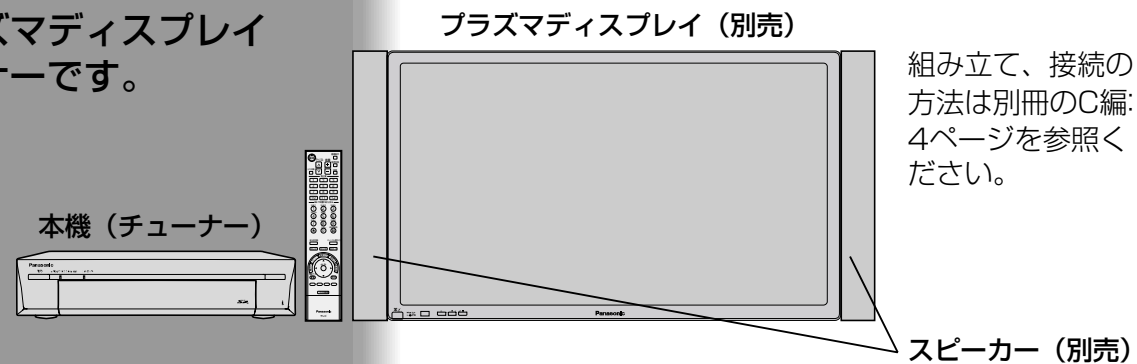
- ふつうのテレビとして使いたい
- 画質や音質を調整したい
- タイマーで電源を切りたい
- ワイド画面の使い方が知りたい
- 思い通りにならないとき
／故障かな?と思うとき



**設置／接続と設定
(C編)**
ConnectionのCです

- はじめて本機を設置するとき
- 外部機器を接続したい
- 設置場所を変えたい
- 各種の設定を変更したい

本機はプラズマディスプレイ
専用チューナーです。



まずお読みください 4ページ～

- 画面表示の意味について……………4
- 番組ナビ画面について……………6
- インフォメーション画面について……………7
- 衛星デジタル番組の楽しみかた……………8

選局機能について 14ページ～

- お好み選局……………14
- お好み設定……………15
- 衛星チャンネル一覧から選局する……………16
- 裏番組一覧表から選局する……………17

**有料番組について 20ページ～
(ペイパービュー)**

- 有料番組(ペイパービュー)を購入する……………20
- 購入記録を確認する……………21

視聴条件の設定 38ページ～

- 暗証番号の登録と、「視聴制限設定」画面の出し方……………38
- 視聴可能年齢……………40
- 一番組購入限度額……………40
- 暗証番号変更……………41
- 暗証番号取消し……………41
- 選局対象を指定したいとき……………42

放送コンテンツについて 43ページ～

- 字幕や文字スーパーを見たいとき……………43
- 衛星データ放送を見たいとき……………44
- 同一チャンネルの複数コンテンツを切替える……………45

インフォメーションの確認 46ページ～

- 電話発信記録を見る……………46
- メールを見る……………47
- ボードを見る……………48

表示機能について 10ページ～

- 番組表を表示する……………10
- 見ている番組のタイトルなどを表示する……………12
- 番組の詳細内容を表示する……………13

検索機能について 18ページ～

- 番組をジャンル別に検索する……………18

予約する 22ページ～

- 番組の録画や予約をする……………22
 - ・予約操作の流れ……………22
 - ・予約後の注意点……………30
 - ・予約の優先順位について……………31
 - ・連動予約とタイマー予約について……………31
- 日時を指定して予約する(プログラム予約)……………32
- 予約の事前設定……………34
 - ・時間変更追従……………35
 - ・マルチビュー録画……………35
- 予約の確認、変更、取消しをする……………36
- 視聴制限を一時的に解除したいとき……………37

i.LINKやSDカードについて 50ページ～

- i.LINKについて……………50
- i.LINK対応機器を操作する……………51
- D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダー(HDR)を操作する……………52
- プログラムナビについて……………54
- DVD機能を操作する……………56
- アンプ機能を操作する……………58
- i.LINK対応機器の確認、設定……………66
- SDメモリーカードについて……………68
- SDメモリーカードの入れかた……………69
- SDメモリーカードの画像を見る……………70
- SDメモリーカードの音楽を聴く……………74

索引 裏表紙

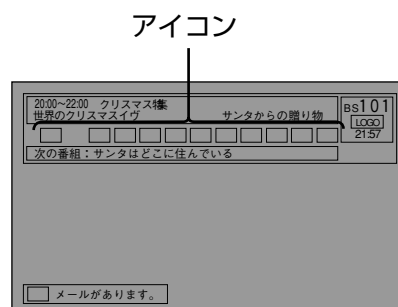
- まずはお読みください
- 表示機能について
- 選局機能について
- 検索機能について
- 有料番組について
- 予約する
- 視聴条件の設定
- 放送コンテンツについて
- インフォメーションの確認
- 索引

画面表示の意味について

本機はテレビの画面上に操作が必要な情報を表示します。
画面の表示を見ながらご活用ください。

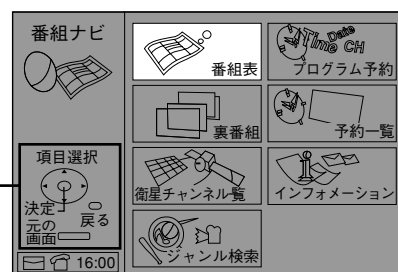
アイコン表示は

(例) BSデジタル放送のとき



画面表示
□ ボタンを押したときや各種一覧画面を出したときなど、画面上部にシンボルマークによる情報表示としてアイコンが表示されます。
アイコンの種類と意味はB編：56ページをご覧ください。

操作ボタンの絵表示が出ているときは



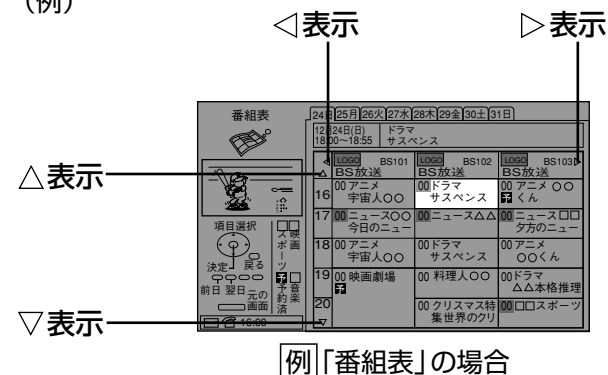
操作ボタンの絵表示 **例**「番組ナビ」画面の場合

表示されている画面で操作するボタンを示しています。



各種一覧画面内の▲▼◀▶表示は

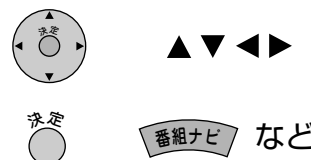
(例)



一覧画面の中に上下または左右に表示される△▽
◀▶表示が黄色表示のときは選べる情報がまだある
ことを示します。
表示と同じ向きの▲▼◀▶ ボタンを押せばその情報
を表示させることができます。

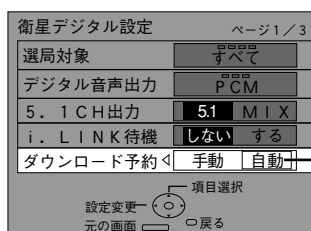
説明書に記載している各種イラストおよびマークの意味は

ボタンイラストについて



この説明書に記載しているボタンのイラストは、操作に使用するボタンを示しています。

カーソルについて



この説明書に記載しているカーソルとは、▲▼または◀▶ボタンを押したときに、画面上でどの項目が選ばれているかを示すものです。

例「衛星デジタル設定画面」の場合

番組ナビ画面について

番組ナビ画面は、衛星デジタルの各機能を操作する入り口です。
(番組表はリモコンボタンでも直接呼び出せます)

衛星デジタル放送のとき
押しと
表示します



「番組ナビ画面」

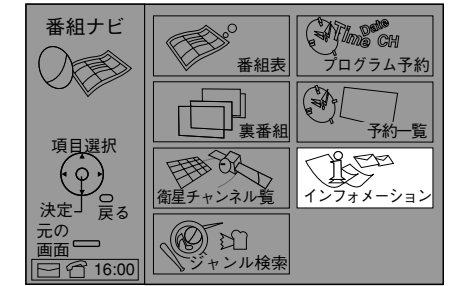
- 番組表 (P.10、22ページ)
衛星デジタル放送の番組を新聞のテレビ欄のように一覧表示します。
- 裏番組 (P.17ページ)
現在視聴している衛星デジタル番組の画面上に、放送中の衛星チャンネルの番組タイトルが一覧表示されます。
- 衛星チャンネル一覧 (P.16ページ)
衛星デジタル放送のチャンネルを一覧にして表示します。
- ジャンル検索 (P.18ページ)
お好きな番組をジャンル別に検索して選局や予約ができます。
- プログラム予約 (P.22ページ)
日時を指定して予約ができます。
- 予約一覧 (P.36ページ)
予約した番組の確認、変更、取り消しができます。
- インフォメーション (P.7ページ)



インフォメーション画面について

衛星デジタル放送では、電話回線や、B-CASカードによる有料番組の購入など、情報の管理が必要です。インフォメーション画面は、これらの情報を管理する機能の入り口です。

- 1 衛星デジタル放送のとき押し、「番組ナビ」画面にし、
- 2 押し、「インフォメーション」を選び、中央の決定ボタンを押す

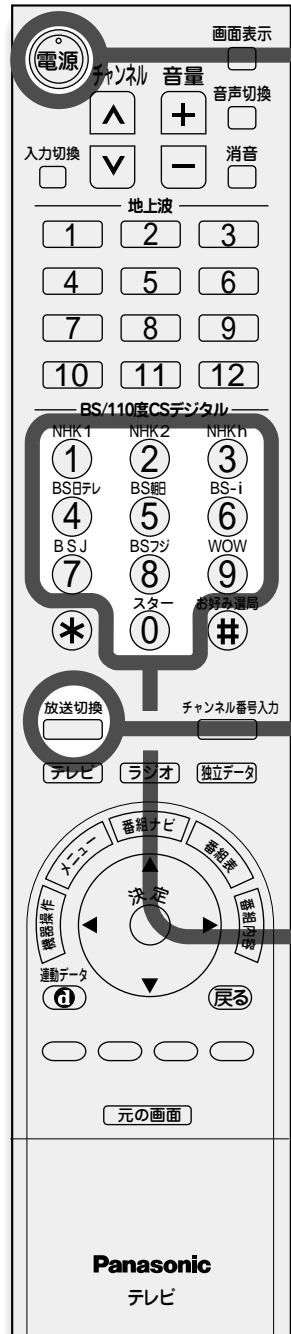


「インフォメーション」画面

- メール (P.47ページ)
衛星デジタル放送受信者(お客様)へ送られてきたメッセージを見ることができます。
- 購入記録 (P.21ページ)
購入した有料番組の金額の履歴を確認することができます。
- 電話発信記録 (P.46ページ)
本機からセンターへの発信記録を確認することができます。
- B-CASカード
B-CASカードの情報が表示されます。
- ID表示
本機の情報が表示されます。(デコーダID、ステータス)
- CS1ボード (P.48ページ)
110度CSデジタル放送のプラットフォームから送られてきたメッセージを見ることができます。
- CS2ボード (P.48ページ)
110度CSデジタル放送のスカイパーフェクTV!2から送られてきたメッセージを見ることができます。

お知らせ

- 番組ナビの各項目はBSのときはBS、CS1のときはCS1、CS2のときはCS2の各番組を表示します。(ただし、予約一覧はBS、CS1、CS2共通)



例 BSデジタルの放送局を選局する場合

- 1 押して、本機とディスプレイの電源を入れて、画面が映る状態にする
- 2 押して、放送を「BS」に切替える

押すごとに切替ります。
- 3 番組を選ぶ
あらかじめ設定されているチャンネルを選局する場合
プリセット選局
 本機では、あらかじめ①～⑩ボタンに下記のBSデジタル放送チャンネルが設定されています。(CS1、CS2はB編27ページ参照)
 - ①…NHK1 (NHK BS1) ⑥…BS-i
 - ②…NHK2 (NHK BS2) ⑦…BSJ (BSジャパン)
 - ③…NHKh (NHK ハイビジョン) ⑧…BSフジ
 - ④…BS日テレ ⑨…WOW (WOWOW)
 - ⑤…BS朝日 ⑩…スター (スターチャンネル)

例: NHK1を選局する場合

※放送局名は実際の表示と異なる場合があります。

チャンネルのその他の選びかた

- 番号入力選局 (B編：28ページ)
(チャンネル番号を入力して選局できます。)
- アップダウン選局 (B編：27ページ)
(チャンネルを順送りして選局できます。)
- お好み選局 (C編：14ページ)
(正面上に「お好み選局」画面を出して選局できます。)

お知らせ

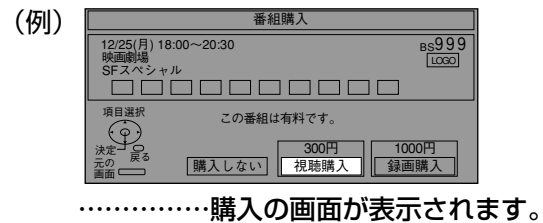
- 番組表は、衛星デジタル放送を選局しているときに表示できます。
- お好み設定 (C編：15ページ) や衛星チャンネル設定 (C編：34ページ) で、プリセット設定を変更することもできます。

4 番組を楽しむ (視聴する)

無料の番組や**契約済み**の番組 (追加料金のかからないもの) を選んだとき

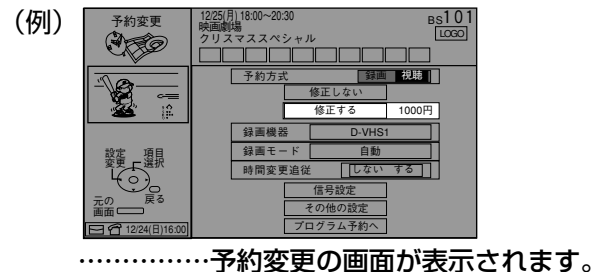


※ペイ・パー・ビューなどの**有料番組**や**追加料金**が必要な番組を選んだとき



番組の購入については20ページをご覧ください。

予約の内容を**変更**したい番組を選んだとき (現在時刻以降の予約済み番組)

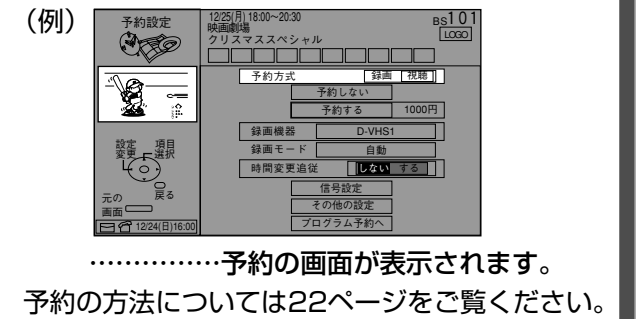


予約の変更については24ページの「予約済みの番組を選んだ場合」をご覧ください。

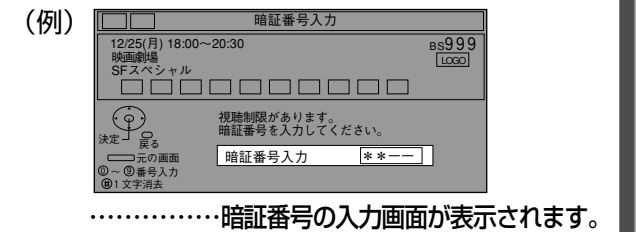
お知らせ

- チャンネルにより契約をしないと視聴できないものがあります。また、番組により無料で視聴できる番組と有料番組があります。※ペイ・パー・ビューとは……………ご覧になった番組の分だけ料金を支払うシステムです。

予約しておきたい番組を選んだとき (現在時刻以降の番組)



視聴制限対象になる番組を選んだとき



暗証番号を入力しないと、この番組は視聴できません。視聴制限の解除方法は37ページ、視聴制限の設定は38～41ページをご覧ください。

番組表を表示する

本機は衛星デジタル各放送の番組を、新聞のテレビ欄のように表示できます。



例 BSデジタル放送を見ているとき



押すと、
BSデジタル放送の
番組表を表示します。

もう一度押すと、
BSデジタル放送
画面に戻ります。



便利機能

便利機能
マークは、 ボタン
が使用できる画面です。
([P. B編15ページ](#))

- 現在放送している番組欄を選んでいるとき
● 押すと、番組を見るか、予約をするかの選択画面になります。(予約するとき [P. 22ページ](#))
- 将来の番組欄を選んでいるとき
● 押すと、「番組内容」画面になります。([P. 13ページ](#))

お知らせ

- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と番組表の内容が一致しないことがあります。
- 110度CSデジタル放送の番組表は110度CSデジタル放送を受信してから番組表ボタンを押します。

お知らせ

- 番組間の区切りが赤線のところには、画面上に表示しきれない放送時間の短い番組が存在します。赤線にカーソルを移動させると、番組名が表示されます。
- 衛星デジタルの ①～⑩ ボタンを押したり、お好み入力でチャンネルを選ぶと、プリセットされているチャンネルが中央に表示されます。また、チャンネル番号入力ボタンを押して ①～⑩ ボタンでチャンネル番号を入力すると、指定したチャンネルが中央に表示されます。ただし、指定したチャンネルがない場合は、指定したチャンネルに近い番号のチャンネルが中央に表示されます。
- 「選局対象」の設定により、表示される内容が変わります。([P. 42ページ](#))
- 番組表を表示中にリモコンの「テレビ」「ラジオ」「独立データ」ボタンを押すと、その選局対象だけの番組表を表示することができます。

見ている番組のタイトルなどを表示する

本機は衛星デジタル各放送局の番組データを利用し、現在ご覧になっている番組の画面上に、番組タイトルや放送時間などの情報を表示することができます。

番組の詳細内容を表示する

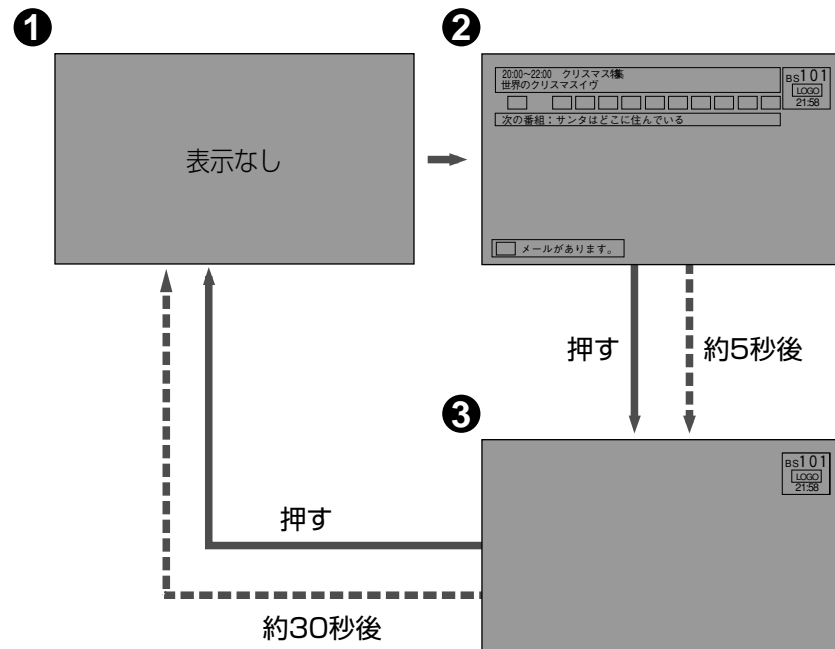
選局中の番組や番組表、各種検索結果一覧などで選んでいる番組の詳細内容を知ることができます。

画面表示

衛星デジタル放送のとき

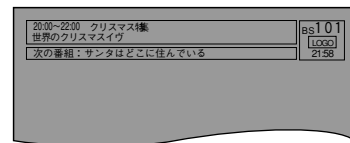
押すごとに
切り替わります。

(②の画面は約5秒間表示後、
自動的に③の画面になります。)



■チャンネル切換えをすると

チャンネルを切換えたときは下の画面が表示されます。



お知らせ

- 現在時刻の表示は衛星電波で送られてきます。本機で時刻設定をする必要はありません。
- 「次の番組：」の表示は番組開始の3分前に表示されます。

1 次のいずれかの状態にする。

- 衛星デジタル放送の視聴中
- 番組表表示中
- 裏番組一覧表示中
- 各検索結果一覧表示中
- 予約一覧表示中
(プログラム予約は除く)
- 番組予約表示中

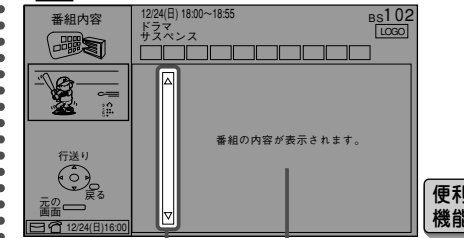
例) 番組表表示中の場合

番組表	24日(25日)	25日(26日)	26日(27日)	27日(28日)	28日(29日)	29日(30日)	30日(31日)	BS	すべて
12月24日(日) 18:00~18:55	ドラマ サスペンス								
16	BS放送	BS放送	BS放送	BS放送	BS放送	BS放送	BS放送		
17	00 アニメ 宇宙人〇〇	00 アニメ 宇宙人〇〇	00 アニメ 宇宙人〇〇	00 アニメ 宇宙人〇〇	00 アニメ 宇宙人〇〇	00 アニメ 宇宙人〇〇	00 アニメ 宇宙人〇〇		
18	00 アニメ 宇宙人〇〇	00 アニメ 宇宙人〇〇	00 アニメ 宇宙人〇〇	00 アニメ 宇宙人〇〇	00 アニメ 宇宙人〇〇	00 アニメ 宇宙人〇〇	00 アニメ 宇宙人〇〇		
19	00 映画劇場	00 料理人〇〇	00 料理人〇〇	00 料理人〇〇	00 料理人〇〇	00 料理人〇〇	00 料理人〇〇		
20	00 クリスマス特	00 クリスマス特	00 クリスマス特	00 クリスマス特	00 クリスマス特	00 クリスマス特	00 クリスマス特		

2

番組内容 押す

例) 番組表表示中の番組内容表示



番組の詳細情報が
スクロールバー
表示されます

■戻りかた

元の画面 押すと
テレビ画面に戻る

便利機能

マークは、 ボタン
が使用できる画面です。
(B編15ページ)

お知らせ

- 「視聴可能年齢」に設定した視聴制限の対象になる番組を選んだときは暗証番号の入力が必要です。(B編37ページ) 暗証番号入力後は、再度「番組内容」ボタンを押してください。
- スクロールバーについて
「番組内容」の情報が多く、1ページを超えているときに表示します。隠れている情報は で字送り(スクロール)してご覧になれます。



お好み選局

出荷時にあらかじめ設定されているプリセットチャンネル(☞8ページ)や、15ページで設定したチャンネルを簡単に呼び出せます。

1 お好み選局
衛星デジタル放送のとき押して、「お好み選局」画面を出す

お好み選局 BS		
ページ 1 / 3		
①101 LOGO	②102 LOGO	③103 LOGO
④141 LOGO	⑤151 LOGO	⑥161 LOGO
⑦171 LOGO	⑧181 LOGO	⑨191 LOGO
* 終了	⑩200 LOGO	# 次へ
①～⑨ 選局		

「お好み選局」画面(全3ページ)

お好み選局
数回押して、ページを切り替える

お好み選局 BS		
ページ 1 / 3		
①101 LOGO	②102 LOGO	③103 LOGO
④141 LOGO	⑤151 LOGO	⑥161 LOGO
⑦171 LOGO	⑧181 LOGO	⑨191 LOGO
* 終了	⑩200 LOGO	# 次へ
①～⑨ 選局		

例 1ページ目を選ぶ

2 チャンネルを選び、中央の決定ボタンを押す

お好み選局 BS		
ページ 1 / 3		
①101 LOGO	②102 LOGO	③103 LOGO
④141 LOGO	⑤151 LOGO	⑥161 LOGO
⑦171 LOGO	⑧181 LOGO	⑨191 LOGO
* 終了	⑩200 LOGO	# 次へ
①～⑨ 選局		

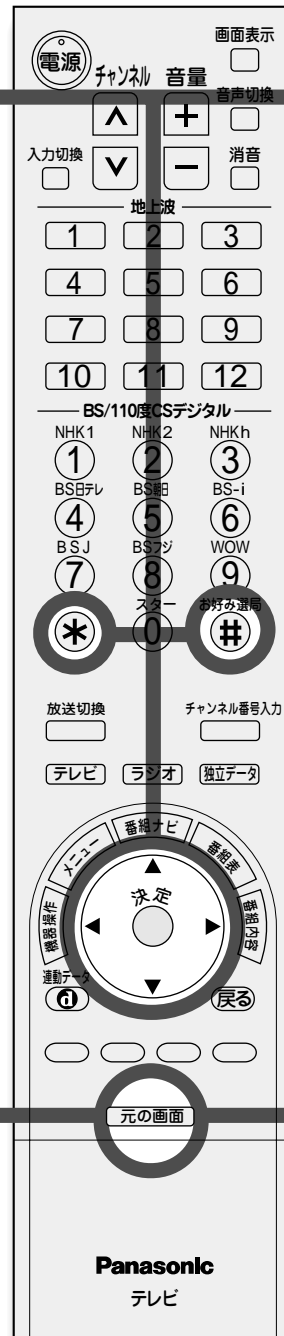
例 ⑧「181」を選ぶ

選んだ番組により、以降の操作が異なります。

- 有料番組を選んだとき (☞20ページ)
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき (☞37ページ)

■戻りかた

- 1ページ目で * 押すと「お好み選局」画面が消える
- 元の画面 押すとテレビ画面に戻る



お好み設定

今、見ているチャンネルを画面上に表示させた選局ボタンに登録(お好み設定)して、簡単に呼び出す(お好み選局する)ことができます。

1 お好み選局
設定したい衛星チャンネルの受信中に押して、「お好み選局」画面を出す

お好み選局 BS		
ページ 1 / 3		
①101 LOGO	②102 LOGO	③103 LOGO
④141 LOGO	⑤151 LOGO	⑥161 LOGO
⑦171 LOGO	⑧181 LOGO	⑨191 LOGO
* 終了	⑩200 LOGO	# 次へ
①～⑨ 選局		

「お好み選局」画面

2 お好み選局
約3秒押し、「お好み設定」画面にする

お好み設定 BS			ページ 1 / 3			ページ 2 / 3			ページ 3 / 3		
①101 LOGO	②102 LOGO	③103 LOGO	①	②	③	①	②	③			
④141 LOGO	⑤151 LOGO	⑥161 LOGO	④	⑤	⑥	④	⑤	⑥			
⑦171 LOGO	⑧181 LOGO	⑨191 LOGO	⑦	⑧	⑨	⑦	⑧	⑨			
* 終了	⑩200 LOGO	# 次へ	⑩			⑩					

「お好み設定」画面

押し、「設定する画面上のボタンを選び、中央の決定ボタンを押す

お好み設定 BS			ページ 1 / 3			ページ 2 / 3			ページ 3 / 3		
①101 LOGO	②102 LOGO	③103 LOGO	①	②	③	①	②	③			
④141 LOGO	⑤151 LOGO	⑥161 LOGO	④	⑤	⑥	④	⑤	⑥			
⑦171 LOGO	⑧181 LOGO	⑨191 LOGO	⑦	⑧	⑨	⑦	⑧	⑨			
* 終了	⑩200 LOGO	# 次へ	⑩			⑩					

例 2ページ目の⑤ボタンを選ぶ

- 設定が終了すると、「お好み設定」画面が消えます。

■戻りかた

- 元の画面 押すとテレビ画面に戻る

お知らせ

- 「お好み選局」画面は、BSを見ているときはBS、CS1を見ているときはCS1、CS2のときはCS2の「お好み選局」画面が表示されます。

お知らせ

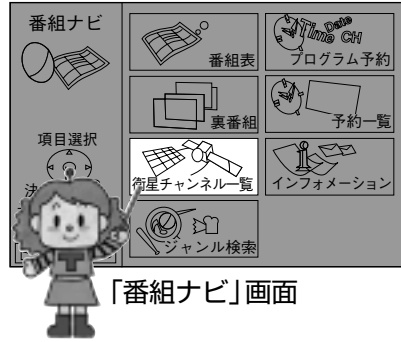
- 「お好み設定」画面では、BS、CS1、CS2、それぞれ30チャンネルずつ設定できます。
- 「お好み設定」画面に設定したチャンネルを削除するときは、上記1、2の手順で削除したいチャンネルを選んでから、# ボタンを1秒以上押ししてください。

衛星チャンネル一覧から選局する

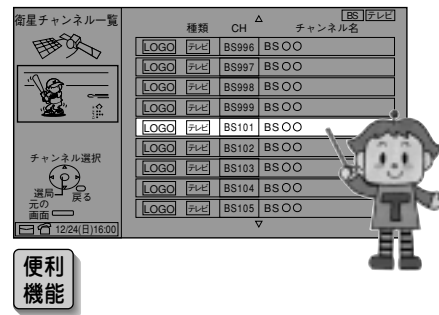
裏番組一覧表から選局する



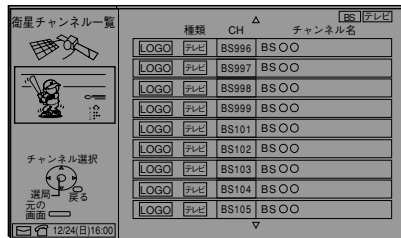
1 衛星デジタル放送のとき
押して、「番組ナビ」画面にする



2 押して、見たい番組を選び
中央の決定ボタンを押す



押して、「衛星チャンネル一覧」を選び
中央の決定ボタンを押す



BSの「衛星チャンネル一覧」画面

便利機能

選んだ番組により、以降の操作が異なります。

- 有料番組を選んだとき (16ページ)
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき (37ページ)

■ 戻りかた
元の画面 押すと
テレビ画面に戻る

便利機能
マークは、ボタンが使用できる画面です。(16ページB編15ページ)



1 衛星デジタル放送のとき
押して、「番組ナビ」画面にする



「番組ナビ」画面

2 押して、見たい番組を選び
中央の決定ボタンを押す



便利機能

押して、「裏番組」を選び、
中央の決定ボタンを押す



便利機能

BSの「裏番組」一覧画面
(見ている番組の画面上に、
現在放送されている各衛星
チャンネルの番組名を一覧
表示します。)

選んだ番組により、以降の操作が異なります。

- 有料番組を選んだとき (16ページ)
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき (37ページ)

■ 戻りかた
元の画面 押すと
テレビ画面に戻る

便利機能
マークは、ボタンが使用できる画面です。(16ページB編15ページ)

お知らせ

- 基本的な選局方法についてはB編：26ページをご覧ください。

お知らせ

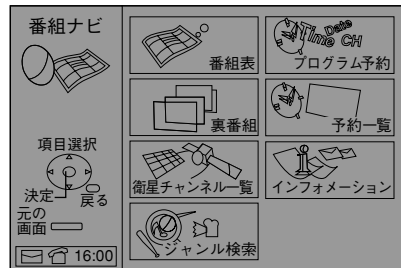
- BSを見ているときはBS、CS1はCS1、CS2はCS2の裏番組を表示します。
- 基本的な選局方法についてはB編：26ページをご覧ください。

番組をジャンル別に検索する

番組のジャンル別情報を、一覧表として画面表示します。
このジャンル検索結果一覧からお好みの番組を検索し、選局や予約ができます。

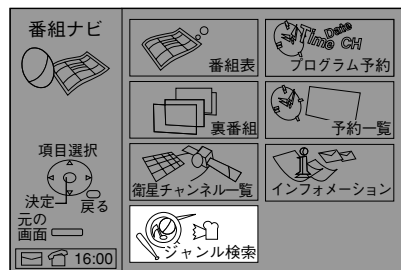


1 衛星デジタル放送のとき押して、「番組ナビ」画面にする



「番組ナビ」画面

押して、「ジャンル検索」を選び中央の決定ボタンを押す



2 押して、お好みのジャンルを選び中央の決定ボタンを押す



この中からお好みのジャンルを選ぶ

例「ニュース・報道」を選んだとき

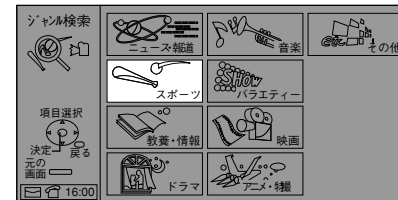


「ジャンル検索結果」一覧画面

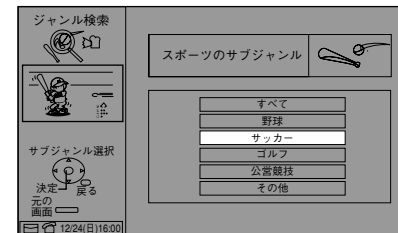
スクロールバー

便利機能 マークは、 ボタンが使用できる画面です。(B編15ページ)

手順**2**で「スポーツ」「教養・情報」「映画」「その他」を選んだときは、さらに細かいサブジャンル一覧が出ます。



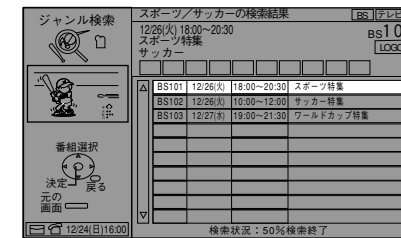
例「スポーツ」を選んだとき



「サブジャンル」画面

さらに、押して「サブジャンル」から、お好みのスポーツを選び、中央の決定ボタンを押す

3 押して、見たい番組を選び中央の決定ボタンを押す



「ジャンル検索結果」一覧画面

選んだ番組により、以降の操作が異なります。

- 現在放送中の番組を選んだとき → 番組を見るか、予約するかを選択場面になります。(予約するときは、B編22ページ手順**4**より)
- 将来の番組を選んだとき (B編22ページ手順**4**より)
- 有料番組を選んだとき (B編20ページ)
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき (B編37ページ)

■ 戻りかた

- 押すと1つ前の画面に戻る
- 押すとテレビ画面に戻る

お知らせ

- BSを見ているときはBS、CS1はCS1、CS2はCS2の番組のみが検索できます。
- スクロールバーについて 「検索結果」の件数が多く、1ページを超えているときに表示します。隠れている内容は で字送り(スクロール)してご覧になれます。

お知らせ

- 「サブジャンル」画面で、項目をすべて検索したい場合は、「すべて」を選んで決定ボタンを押してください。
- 検索が終了すると、「検索状況：100%検索完了」と表示されます。ジャンルによっては検索に時間がかかる場合があります。(検索中でも、既に表示されている番組の選局や予約は可能です。)
- ジャンル検索結果の一覧画面で、リモコンの「テレビ」「ラジオ」「独立データ」ボタンを押すと、その選局対象だけで再検索することができます。

便利機能 マークは、 ボタンが使用できる画面です。(B編15ページ)

有料番組(ペイ・パー・ビュー)を購入する

衛星デジタル放送には無料と有料のものがああります。無料チャンネルと契約済みチャンネルについては選局操作をすることで視聴できます。またペイ・パー・ビュー(番組単位で購入できる)の番組を視聴や録画したいときには、表示画面上での購入操作が必要です。

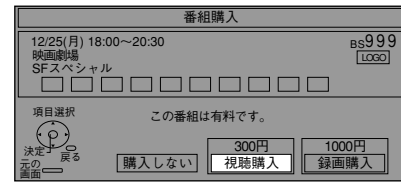
1 ペイ・パー・ビューの番組を選ぶ

- 番組によってはプレビュー(選局した有料番組を購入前にわずかな時間視聴できるサービスのこと)が表示されます。
- プレビュー中のときは を押すと購入画面が表示されます。



2

- 購入する、視聴購入、録画購入、購入しないの項目を選び
- 中央の決定ボタンを押す



購入する

番組を購入したことになり視聴できます。ただし、コピーガードがかかっている番組は録画機器で録画できません。

購入しない

番組を購入しません。他のチャンネルを選局してください。

追加料金を支払うと、視聴できる場合や録画機器で録画できる場合に次の項目が表示されます。

視聴購入

番組を購入したことになり、視聴できますが、コピーガードがかかっているため録画機器では録画できません。

録画購入

番組を購入したことになり、視聴できます。録画機器で録画したいときに選択してください。

コピーガードについて

衛星デジタル放送の中には、ビデオデッキなどで録画できないようにコピーガードをかけている番組があります。コピーガードがかかっている番組を正常に録画することはできません。コピーガードを解除できない番組の場合は「録画購入」の選択項目が表示されません。

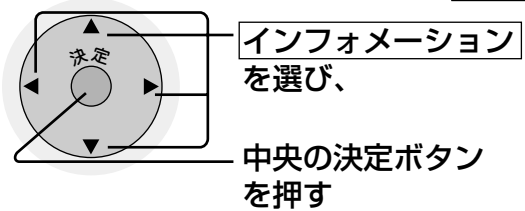
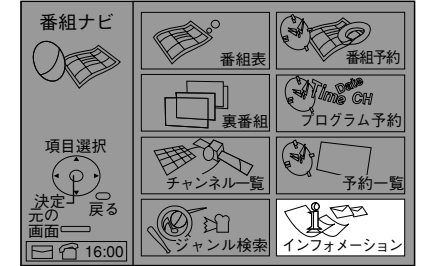
お知らせ

- 画面に表示される購入項目は番組により異なります。例えば「購入する」が表示されているときは、「視聴購入」「録画購入」は表示されません。
- 「購入する」「視聴購入」「録画購入」の項目に表示される金額は、購入金額です。
- 購入した番組を視聴していても他のチャンネルに切換えたり、再度購入した番組のチャンネルに戻すことができます。ただし、有料番組は購入操作が終了した時点で購入したことになり、実際には番組を視聴していなくても料金が請求されます。
- 視聴制限の対象になる番組を選局したときは、暗証番号の入力の画面が表示されます。視聴制限の設定や解除の方法は37ページをご覧ください。
- 購入した番組を録画する場合は、録画機器側の録画操作が必要です。
- 番組に追加購入の必要な信号のある場合は、追加購入の画面が表示されます。画面の説明に従って操作を行ってください。

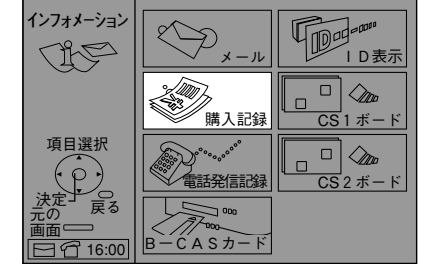
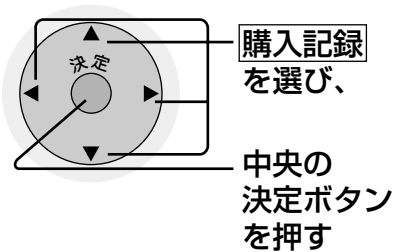
購入記録を確認する

お客様が購入した有料番組の購入日や番組名、金額などの履歴(最新のもの25番組まで)を確認することができます。また購入した累計金額の確認や、累計金額のリセット(0円に戻す)もできます。累計金額がリセットされた項目はうすい文字で表示されます。

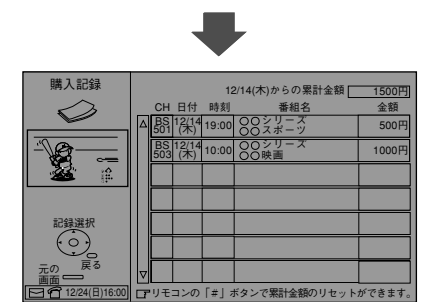
1



2



- BS、CS1、CS2、合わせて、最大25番組までの購入記録を表示します。



3



- 「購入記録」画面が消えます。

お願い

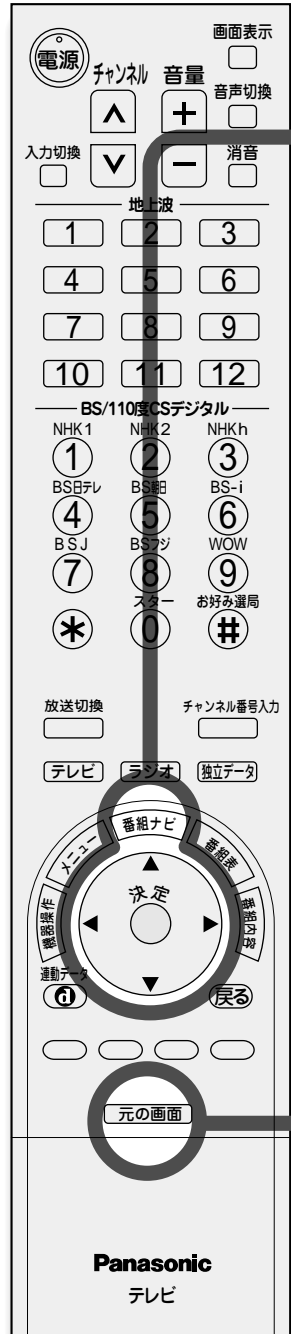
累計金額をリセットしたいときには、 ボタンを押しリセット確認画面を表示させてください。リセット確認画面では◀▶ボタンで「はい」を選び、 ボタンを押すと、累計金額を0円に戻すことができます。0円に戻した時点から新しく購入される分より累計金額として加算されていきます。(購入した有料番組の履歴は消すことができません。)

お知らせ

- 表示されている金額は途中で改定される場合もあり参考金額です。実際に請求される金額とは異なる場合があります。

番組の録画や予約をする

ジャンル検索結果一覧表から現在放送中の番組を選んで録画したり現在時刻以降に放送開始の番組を選んで予約することができます。また、Irシステムやi.LINK接続をしたビデオデッキなどに録画予約の設定も行えます。(P.26ページ)



予約操作の流れ

「番組予約」画面から予約する場合

- 1** **番組ナビ** (例) BSデジタル放送のとき押す
- 2** **番組表**を選び、中央の**決定**ボタンを押す
- 3** 予約したい番組を選び、中央の**決定**ボタンを押す
- 4** **予約方式**を選び、**録画**、**視聴**を切替える

(例) 詳細な設定も行えます。
- 5** **予約する**を選び、中央の**決定**ボタンを押す

(例) 「予約完了」画面が数秒間表示されます。

■予約を中止したいときは
手順④で「予約しない」を選び **決定** を押す。(④の画面に戻ります。)

■終了するときには
元の画面 ボタンで視聴していた画面に戻ります。

便利機能 マークは、**便利機能** ボタンが使用できる画面です。(P.8編 15ページ)

予約の状況によっては

番組を予約しようとしたとき、状況によって別の画面が表示されます。

- 予約済みの番組を選んだ場合 (P.24ページ)
- 予約ができない場合 (P.25ページ)
- 予約がいっぱいの場合 (P.25ページ)

録画

- 放送中の番組の録画や将来の番組を予約録画したいときは、「録画」を選択してください。また、必要に応じて下記の「録画機器」などの詳細な設定を行ってください。ただし、コピーガードが解除できない番組の場合は正しく録画することができません。
- 有料番組の場合、お客様がビデオデッキなどに録画されていなくても料金が請求されます。

視聴

- 本機の電源をオン(受像)にしておけば予約開始時刻の約30秒前に予約実行の予告画面が表示され、5秒前に番組が切替わります。予約開始時刻前には電源をオン(受像)にしておいてください。

詳細な設定を行う場合

予約設定では、次の詳細な設定ができます。

- 録画機器…予約録画する場合にどの録画機器で録画するかを設定します。(P.26ページ)
- 録画モード…標準、3倍などの録画機器側の録画時間を設定します。(P.27ページ)
- 時間変更追従…番組の時間変更に従って予約を実行するかを設定します。(P.27ページ)
- 信号設定…予約実行時の「マルチビュー」、「映像」、「音声」、「二重音声」、「データ」の信号設定を行います。「信号設定」を選び **決定** を押すと、設定画面が表示されます。(P.28ページ)
- その他の設定…上記の他に設定できる項目があります。「その他の設定」を選び **決定** を押すと、設定画面が表示されます。(P.29ページ)
- プログラム予約へ…日時を指定して予約を設定するプログラム予約を行います。「プログラム予約へ」を選び、**決定** を押すと設定画面が表示されます。(P.32ページ)

予約したあとは (P.30ページ)

- 予約が重なっている場合 (P.25ページ)

- お知らせ**
- 「予約設定」画面に表示される金額は、購入合計金額です。無料の場合は表示されません。
 - 予約設定中は**戻る** ボタンで予約操作を中止し、前の画面に戻ることができます。
 - 視聴制限の対象になる番組を選んだときには暗証番号の入力が必要となります。視聴制限の解除の方法は37ページをご覧ください。

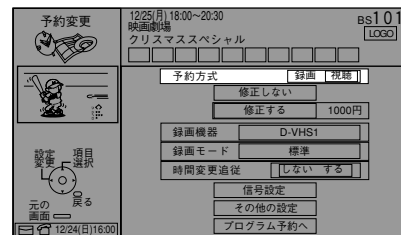
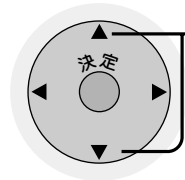
- お願い**
- 「録画機器」の設定を「ビデオ(タイマー)」「DVDレコーダー(タイマー)」にした場合、手順⑤で「予約する」を選ぶとリモコン信号の送信確認の画面が表示されます。画面の説明に従って操作してください。
 - 番組の始まる直前に予約を設定しようとする設定動作時間がないため、番組の開始時刻から予約が実行できない場合があります。Irシステムを使用したDVDレコーダーの場合、予約が実行される90秒前には予約設定を終了してください。DVDレコーダーで現在放送中の番組を録画するときは90秒前にはDVDレコーダーの電源を入れておいてください。ビデオデッキの場合は、予約が実行される30秒前には予約設定を終了してください。

番組の録画や予約をする (つづき)

予約済みの番組を選んだ場合

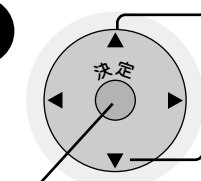
すでに予約した番組を選んだ場合、予約の変更や取り消しができる「予約修正」画面が表示されます。

1 変更したい項目を選び、設定を変更する

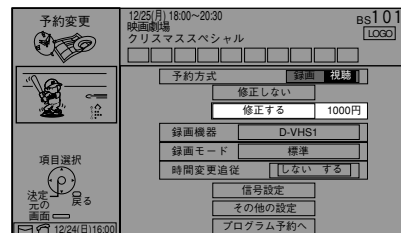


- 設定変更については、26～29ページの「予約の詳細な設定」をご覧ください。

2 修正する、または修正しないを選び、



中央の決定ボタンを押す



元の画面に戻ります。

修正する を選ぶと

- すでに予約している番組の音声や字幕などの設定を変更された状態で予約します。ただし、本機からはIrsystemを使用したタイマー予約で、録画機器に設定した予約の変更はできません。録画機器側で変更操作をしてください。

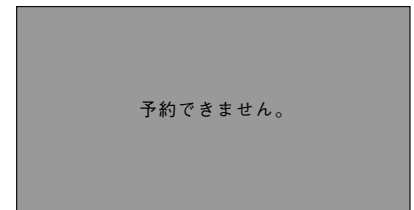
修正しない を選ぶと

- 予約の修正を行わずに前の画面に戻ります。



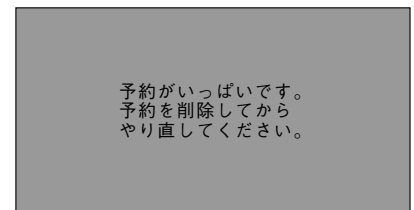
予約ができない場合

契約されていないチャンネルの番組を予約操作した場合に右のような画面が表示され、番組の予約はできません。また、番組の始まる直前に予約を設定しようとすると設定動作時間がないため、予約が設定できない場合があります。ビデオデッキの場合は、予約が実行される15秒前、Irsystemを使用したDVDレコーダーの場合、予約が実行される90秒前には予約設定を終了してください。



予約がいっぱいの場合

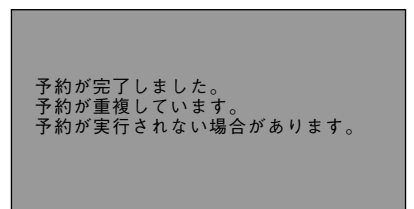
予約がいっぱい（最大24個）の場合、さらに番組を予約しようとすると右のような画面が表示されます。



- 「予約一覧」画面で予約を削除してから、もう一度予約してください。(P.36ページ)

予約が重なっている場合

すでに予約されている番組と同じ時間帯の番組を予約したときは、右のような画面が表示されます。



- 重なった予約を削除したい場合は、「予約一覧」画面で予約を削除してください。(P.36ページ)

お願い

- 予約実行開始の約2分前からは、予約の設定を変更しないでください。予約が正しく実行されない場合があります。

お知らせ

- 予約を取消したい場合は、「予約一覧」画面で予約の取消しができます。(P.36ページ)

お知らせ

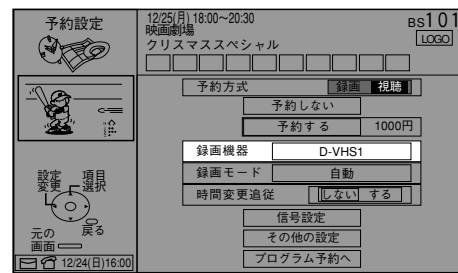
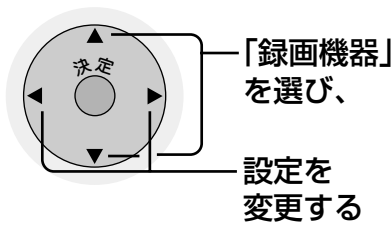
- 予約が重なった場合の予約実行には、優先順位があります。31ページをご覧ください。

番組の録画や予約をする(つづき)

予約の詳細な設定

録画機器について

録画予約する場合に、どの録画機器で録画するかを設定します。

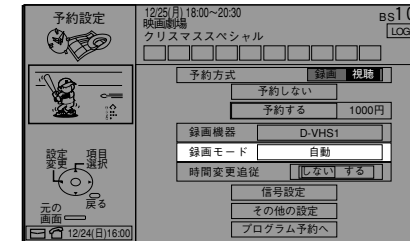
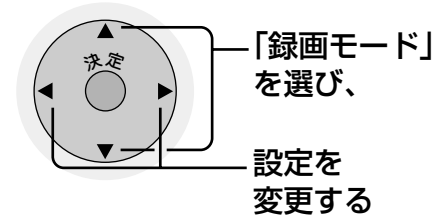


- D-VHS***i.LINK接続のD-VHSビデオデッキで録画する場合に設定します。(末尾の*印は、「i.LINK接続設定」で表示される番号です。)
- HDR***i.LINK接続のハードディスクビデオレコーダーで録画する場合に設定します。(末尾の*印は、「i.LINK接続設定」で表示される番号です。)
- ビデオ(タイマー)**Irシステムを使用してビデオデッキに、タイマー予約で録画する場合に設定します。
- ビデオ(連動)**Irシステムを使用してビデオデッキに、連動予約で録画する場合に設定します。
- DVDレコーダー(タイマー)**Irシステムを使用してDVDレコーダーに、タイマー予約で録画する場合に設定します。
- DVDレコーダー(連動)**Irシステムを使用してDVDレコーダーに、連動予約で録画する場合に設定します。
-Irシステムやi.LINK接続を使用できない録画機器の場合に設定します。録画機器側の録画予約の設定は、録画機器側で設定してください。



録画モードについて

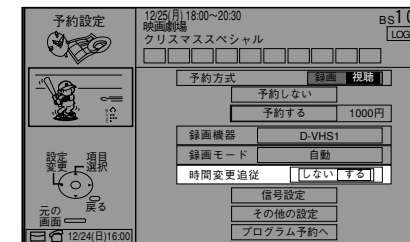
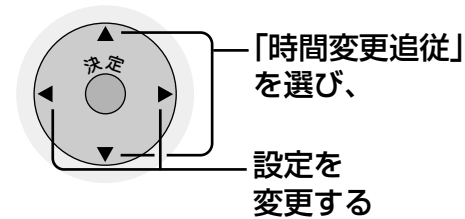
Irシステムやi.LINK接続機器を使用して録画予約する場合に設定します。



- 自動**録画機器が **D-VHS*** **HDR*** のときに選べます。衛星デジタル放送の画質にあわせて各録画機器で自動的にデジタル記録します。ただし、デジタル記録できない場合は、録画機器に設定している録画モードでアナログ録画されます。(HDR*の場合はハードディスクビデオレコーダー側に設定している録画モードでエンコード録画します。)
- 標準 3倍 5倍**録画機器が **D-VHS*** **ビデオ(タイマー)** **HDR*** のときに選べます。衛星デジタル放送を、設定した各録画モードでアナログ録画します。(本機背面のモニター出力からの映像・音声を録画します。) ※HDR*の場合、標準はSP、3倍はLP、5倍はEPでエンコード録画します。(NV-HDR1000)
- 標3**録画機器が **ビデオ(タイマー)** のときに選べます。衛星デジタル放送を「標準」でアナログ録画し、テープ残量が少なくなると自動的に「3倍」に切り替わります。
- XP SP LP EP FR**録画機器が **DVDレコーダー(タイマー)** のときに選べます。設定した録画モードでエンコード録画します。
-設定できません。(録画機器側で設定してください。)

時間変更追従について

番組の時間変更を追従して予約を実行するかしないかを設定します。(☞35ページ)



- する**番組の時間変更に合わせて予約を実行します。ただし、**ビデオ(タイマー)** **DVDレコーダー(タイマー)** のときは対応しません。(機器側で時間変更操作をしてください。)
- しない**予約した番組の放送開始時間が変更しても最初の予約設定時間で予約を実行します。ただし、放送の開始時刻が予約設定の終了時刻より後の場合は予約が実行されません。

お知らせ

- 「連動予約」、「タイマー予約」については31ページをご覧ください。
- **ビデオ(タイマー)**、**ビデオ(連動)**、**DVDレコーダー(タイマー)**、**DVDレコーダー(連動)** の項目は、Irシステムの設定を行わなければ表示されません。(☞C編：50ページ) また、**ビデオ(タイマー)** **DVDレコーダー(タイマー)** はIrシステムの設定の「メーカー」の設定を「松下」にし、「リモコン種別」の設定を「ビデオ1」「ビデオ2」「ビデオ3」「DVDレコーダー1~3」に設定したときのみ表示されます。(☞C編：50、51ページ)
- ハードディスクビデオレコーダーをi.LINK接続して録画される場合は**HDR***での使用をお勧めします。
- **D-VHS***、**HDR*** の項目は「i.LINK接続設定」で「使用する」に設定しなければ表示されません。(☞54、55ページ)

お知らせ

- 設定した録画モードの機能のない録画機器の場合は、録画機器に設定されている録画モードでアナログ録画されます。ただし、**ビデオ(タイマー)** で「5倍」に対応していない録画機器の場合は「標準」でアナログ録画されます。

番組の録画や予約をする (つづき)

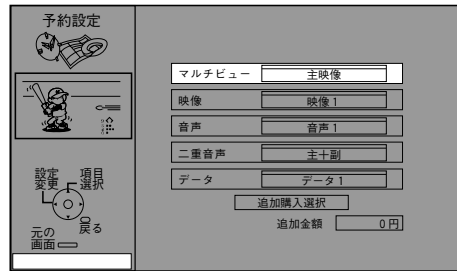
予約の詳細な設定 (つづき)

信号設定について

予約実行時の「マルチビュー」「映像」「音声」「二重音声」「データ」の状態を設定します。また、追加購入が必要な信号の選択もできます。

1 まず、22ページの①～④の手順で「信号設定」を選び を押す

2 項目を選び 設定を変更する

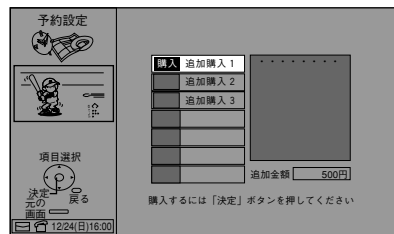


- マルチビュー** …番組がマルチビュー放送の場合に番組を設定します。
- 映像** ……映像が複数ある場合に映像を設定します。
- 音声** ……音声は複数ある場合に音声を設定します。
- 二重音声** …二重音声の場合に「自動」、「主」、「副」、「主+副」を設定します。「自動」に設定すると予約方式が「視聴」の場合、予約時に設定されている二重音声の設定になり、「録画」の場合、「主+副」の設定になります。
- データ** ……データが複数ある場合にデータを設定します。「-」に設定すると、予約実行時に、データ放送の指示にしたがいデータ放送画面を表示します。必ず表示させたい場合は、「-」以外を選択してください。

追加購入選択について

番組の中に購入が必要な信号がある場合、▲▼ボタンで「追加購入選択」を選び、 ボタンを押すと表示される「追加購入選択」画面で信号を購入設定できます。

購入したい信号を選び、
 中央の決定ボタンを押す



- 購入選択した信号には **購入** アイコンが表示されます。
- 購入をキャンセルしたいときは、再度 ボタンを押してください。
- 購入選択を終る場合は ボタンを押してください。

3 押す (設定終了)
● 「予約設定」画面に戻ります。

お知らせ

- i.LINK接続を使用してD-VHSビデオデッキやHDRでデジタル録画する場合は、複数の信号があるときに優先して録画する信号の設定になります。(信号によっては、自動的に複数の信号を録画する場合もあります。)
- 「プログラム予約」からは「信号設定」は「二重音声」のみ設定できます。

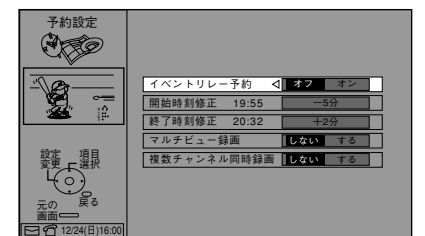


その他の設定について

信号設定などの他にも設定できる内容があります。

1 まず、22ページの①～④の手順で「その他の設定」を選び を押す

2 項目を選び 設定を変更する



イベントリレー予約 …予約した番組と同様な番組が引き続き別のチャンネルで行われる場合に続けて予約を実行したいときは「オン」に設定します。

開始時刻修正 ……番組の一部分だけを録画したい(余分な放送部分をカットしたい)ときに設定します。録画を実行する時間を番組の開始時刻の1分前から終了時刻の6分前まで修正できます。

終了時刻修正 ……番組の一部分だけを録画したい(余分な放送部分をカットしたい)ときに設定します。録画を終了する時間を録画開始時刻の6分後から番組の終了時刻の1分後まで修正できます。

マルチビュー録画 …予約した番組がマルチビュー放送の場合に、副番組も同時に録画したいときは「オン」に設定します。本機やi.LINK接続の機器に予約する場合に設定できます。

3 押す (設定終了)
● 「予約設定」画面に戻ります。

お知らせ

- 「プログラム予約」から「その他の設定」画面を表示させた場合、「イベントリレー予約」、「開始時刻修正」、「終了時刻修正」の項目は表示されません。
- 番組時間が6分以内の番組は「開始時刻修正」「終了時刻修正」は設定できません。

番組の録画や予約をする (つづき)

予約後の注意点

番組を予約したあとは、次の点にご留意ください。

- 有料番組を予約した場合は、予約が実行されると自動的に番組が購入されます。
- 有料番組の予約が実行されると実際には視聴や録画をされていなくても料金が請求されます。
- 番組によっては放送時間が変更される場合があります。「時間変更追従」の設定を「する」にすると、最大3時間までに確定した時間変更に対応できます。(P.27、35ページ参照)
- 「衛星アンテナ設定」画面と「受信設定」画面を表示中に予約が始まると予約が無効になります。

録画

を選んだ場合

- 衛星デジタル放送を録画予約した場合、予約の実行中は録画優先のため衛星チャンネルが固定(ロック)され、他の衛星チャンネルは見られません。
※実行中の録画予約を解除(録画を途中で止める)ときは…番組表ボタンや番組ナビボタンを押すと、画面に予約録画を中止してよいかの確認画面が表示されます。予約録画を中止する場合は画面の説明に従って操作してください。

「録画」で予約をしても、コピーガードがかかっている番組は録画機器で正しく録画することができません。また、D-VHSビデオデッキでは、デジタルコピーガードによってi.LINKでのデータ出力がされない番組の場合、アナログ録画になります。

- Irシステムを使用して録画機器に予約録画(連動予約、タイマー予約)する場合は下記の点にご留意ください。(連動予約、タイマー予約については31ページ参照)
 1. 連動予約の場合、録画機器の電源は「切」にし、予約録画の待機状態にはしないでください。タイマー予約の場合、録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
 2. 連動予約を設定している場合は、録画機器の入力を本機に接続した入力に切り替えてください。また、録画機器にロック機能がある場合は、解除しておいてください。
 3. 連動予約実行中は、録画機器の操作は行わないでください。録画が中止されるなどにより、正常に録画できません。
- i.LINK接続を使用して録画機器に予約録画を設定した場合、録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
- Irシステムやi.LINK接続を使用できない録画機器で録画する場合は、録画機器側で録画予約の設定を行ってください。
- 予約録画の実行中にi.LINKケーブルの抜き差しは行わないでください。予約が終了してもi.LINK接続を使用した録画機器の録画停止ができません。
- 予約した番組が始まる20~30秒前には本機の電源をオン(受信)にしておいてください。電源をオフ(機能待機)にしていると予約が無効になります。

視聴

を選んだ場合

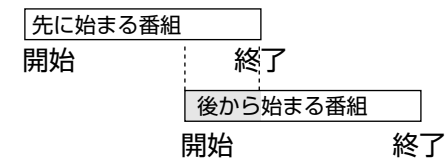
予約の優先順位について

予約した番組の放送開始時間が他の予約した番組と重なってしまったときは、本機内部で優先順位をつけ、自動的に予約動作を行います。

予約の優先順位

- ① 放送開始時間の早い番組を優先

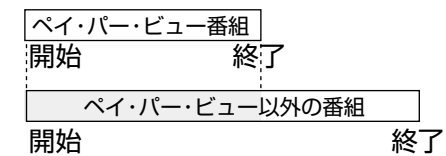
部分：録画しません



- ② 開始時刻が同じ場合

ペイ・パー・ビュー番組を優先

部分：録画しません



※ペイ・パー・ビュー番組同士、またはペイ・パー・ビュー以外の番組同士の場合はチャンネル番号の小さい番組を優先します。

お知らせ

- 録画機器側で別の予約を設定されて予約が重なった場合などは、ご希望の番組が録画できない場合があります。
- 一度開始した予約動作を中止して他の予約を実行することはありません。
- チャンネルが異なる番組を時間を続けて録画予約した場合、前の番組の録画が約5秒早く終了します。

連動予約とタイマー予約について

Irシステムを使用して録画機器への録画予約の設定には次の2種類があります。

連動予約とは

予約した番組の開始時と終了時に、本機と接続した録画機器へ録画開始と終了のリモコン信号を自動的に送信して番組を録画する方式のことです。予約実行前には録画機器の入力を本機に接続した入力に切り換え、録画機器側で録画モードの設定を行ったうえ、録画機器の電源を「切」にしておいてください。(予約録画の待機状態にはしないでください。)

- 「時間変更追従」の設定を「する」にすると番組の開始時間が変更になっても最初の予約開始時刻から最大3時間まで追従できます。また、録画機器への連動予約も自動的に変更されます。

タイマー予約とは

本機で番組を予約した時点で、本機と接続した録画機器にタイマー予約のリモコン信号を自動的に送信する方式で、録画機器は予約録画の待機状態になります。予約実行時には、自動的に録画機器は設定した外部入力、録画モードで録画を行います。(連動予約と違い、予約実行前に録画機器側の入力切り換えやテープ速度を都度設定する必要はありません。)

- タイマー予約は、1989年以降発売の当社製タイマー予約機能付録画機器で、「Irシステム設定」(C編：64ページ)の「メーカー」設定が「松下」のとき、「リモコン種別」が「ビデオ1」「ビデオ2」「ビデオ3」「DVDレコーダー1~3」のものに対応できます。(「ビデオ4」「ビデオ5」には対応できません。)
- 「時間変更追従」の設定を「する」にしている場合、予約の時間変更があったときは、本機から録音機器のタイマー予約の変更はできません。録音機器側で変更してください。(P.27、35ページ)
- 深夜放送の番組や24時間番組などで日付が変わっても放送される番組は、タイマー予約を行っても録画機器側の機能として、正しい時間帯の予約ができなかったり、予約が無効になる場合があります。
- 予約実行前には、録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
- タイマー予約後の録画機器の機能や注意事項については、録画機器の取扱説明書をよくお読みください。

日時を指定して予約する (プログラム予約)

本機は番組ごとに予約する機能の他に、日時を指定して予約できるプログラム予約機能があります。また、毎週放送される連続ドラマなど曜日を指定して毎週予約を実行することもできます。



予約操作の流れ

(例) BSの103チャンネルの1月1日12:00~14:00に予約設定する場合

1 **番組ナビ** (BSデジタル放送を選局してから押す) (CS1を予約するときはCS1、CS2を予約するときはCS2を選局してから番組ナビボタンを押します。)

2 **プログラム予約** を選び、
中央の**決定** ボタンを押す

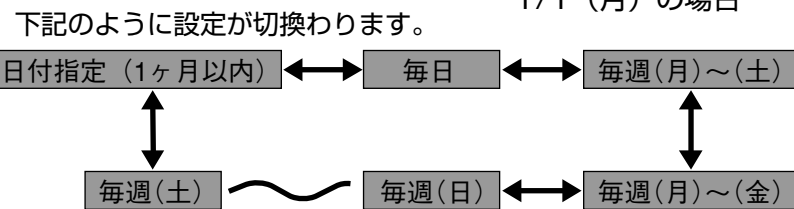
3 **予約チャンネル** を選び、
予約したいチャンネルを選ぶ

103チャンネルの場合

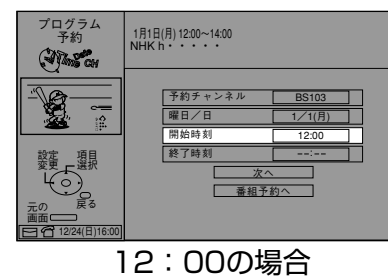
- **決定** ボタンを押せば、①～④ ボタンでチャンネルを設定することもできます。
(**#** ボタンを押すごとに最後の桁を消すことができます。)

4 **曜日/日** を選び、
予約する日を選ぶ

1/1 (月) の場合

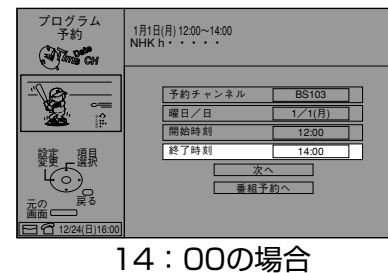


5 **開始時刻** を選び、
予約を開始する時間を選ぶ



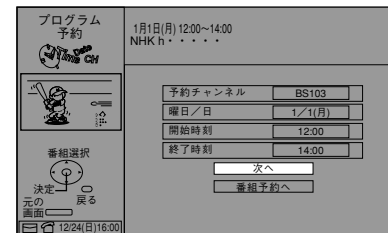
- **決定** ボタンを押せば、①～④ ボタンで設定することもできます。
(**#** ボタンを押すごとに最後の桁を消すことができます。)

6 **終了時刻** を選び、
予約を終了する時間を選ぶ



- **決定** ボタンを押せば、①～④ ボタンで設定することもできます。
(**#** ボタンを押すごとに最後の桁を消すことができます。)

7 **次へ** を選び、
中央の**決定** ボタンを押す



「予約設定」画面が表示されますので、続けて22ページ手順④から予約設定を行ってください。



22ページの手順④へ

お知らせ

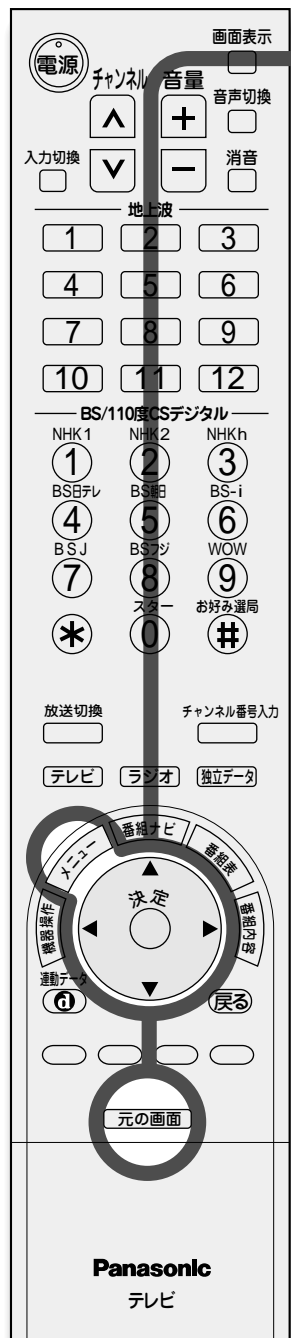
- 「曜日/日」の設定は赤ボタンと青ボタンで「日付指定」「毎日」「毎週(日)」の設定値へ移動できます。「プログラム予約」を選ぶと…
- 暗証番号が未登録の場合、暗証番号の登録画面が表示されます。
- 視聴年齢制限を設定している場合、暗証番号の入力画面が表示されます。
- 暗証番号については (P.37~41ページ)。
- 暗証番号を入力せずに、数秒経過すると暗証番号登録画面または暗証番号入力画面が消えます。この場合に続けてプログラム予約を設定すると予約実行時に視聴制限のある番組は視聴、録画ができなくなります。

お知らせ

- 番組を選んで予約を設定したい場合は、▲▼ボタンで「番組表へ」を選び、**決定** ボタンを押してください。22ページの手順③の「番組表」画面が表示されます。
- 設定した時間内に視聴制限対象となる番組がある場合、その番組の予約は実行されません。

予約の事前設定

「録画・視聴設定」画面では、Irシステムやi.LINK接続を使用して録画機器に録画予約する場合の事前設定ができます。



1 押して、「メニュー」画面にし、

押して、「初期設定」を選び、中央の決定ボタンを押す

「メニュー」画面

2 押して、「衛星デジタル設定」を選び、中央の決定ボタンを押す

「衛星デジタル設定」画面

●「衛星デジタル設定画面は3ページ構成です。」

で項目を送ると自動的にページが変わります。

3 ページ3/3の「録画・視聴設定」を選び、押す

●各項目の設定を行ってください。

4 元の画面 押す (設定終了)

●「録画・視聴設定」画面が消えます。

時間変更追従

予約した番組で放送時間の変更が確定した場合に、時間変更に合わせて予約を実行する設定ができます。予約開始設定時間から最大で3時間の遅れまで対応します。

する、しないを選び、設定を切替える

する …時間変更に合わせて予約を実行します。ただし、「録画機器」の設定を「ビデオ(タイマー)」「DVDレコーダー(タイマー)」にしたタイマー予約の時間変更はできません。ビデオデッキ側で時間変更の操作を行ってください。

しない …予約した番組の放送開始時間が変更しても最初の予約設定時間で予約を実行します。ただし、予約設定時間内に番組が始まらない場合は予約は実行されません。

マルチビュー録画

i.LINK接続機器でデジタル録画する場合、予約した番組がマルチビュー放送の番組のときに、副番組も同時に録画する設定ができます。

オン、オフを選び、設定を切替える

オン …予約した番組がマルチビュー放送の番組の場合に、副番組も同時に録画します。ただし、i.LINK接続機器で録画の場合に有効です。

オフ …予約した番組がマルチビュー放送の番組の場合に、主番組のみ録画します。

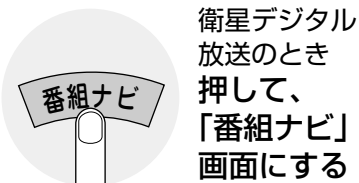
お知らせ

- 「録画・視聴設定」の各設定は電源を「切」「入」しても記憶しています。
- 「連動予約」「タイマー予約」については、31ページをご覧ください。
- IrシステムについてはC編：54、62ページ、i.LINK接続については50、66ページ、C編：56ページをご覧ください。

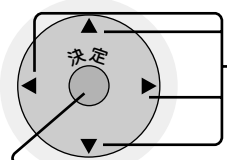
予約の確認、変更、取消しをする

「予約一覧」画面では、予約された番組の確認、変更、取消しや、予約が実行された番組の確認ができます。

1



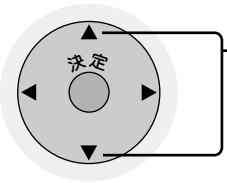
衛星デジタル放送のとき
押して、「番組ナビ」画面にする



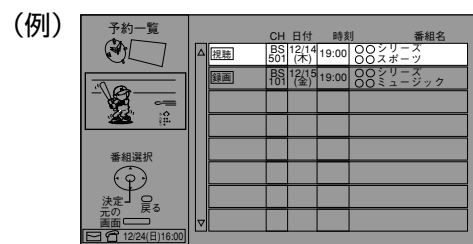
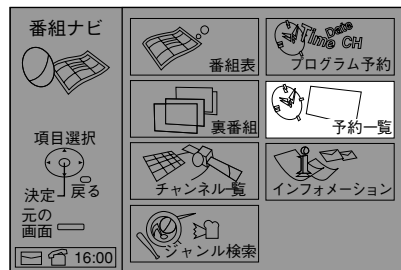
「予約一覧」を選び、

中央の決定ボタンを押す

2

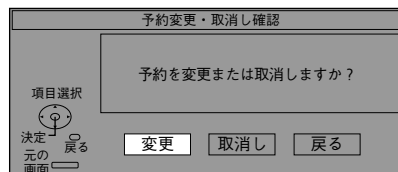


一覧表の中に黄色表示の△▽マークがあれば、表示送りをして、予約番組の確認をする



予約の変更、取消しをしたいとき

▲▼ボタンで変更または取消したい予約を選び、決定ボタンを押すと下図の画面が表示されます。



- 予約を変更したい場合は、「変更」を選んで決定してください。「予約変更」画面 (P.24ページ) または「プログラム予約」画面 (P.32ページ) が表示されます。
- 予約を取消したい場合は、「取消し」を選んで決定してください。
- 「戻る」を選び決定すると、「予約一覧」画面に戻ります。

3

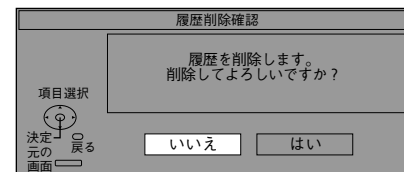


押す (確認終了)

- 「予約一覧」画面が消えます。

実行済みの予約の履歴を消したいとき

▲▼ボタンで予約実行済みの予約を選び、決定ボタンを押すと下図の画面が表示されます。



- 予約の履歴を消したいときは「はい」を選んで決定してください。
- 「いいえ」を選び決定すると「予約一覧」画面に戻ります。

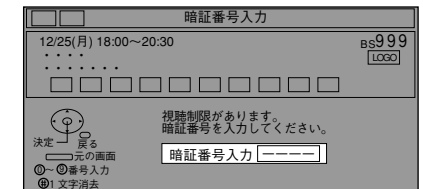
お知らせ

- 8件を超える予約内容は▲▼ボタンで表示送りをして確認できます。
- 「予約一覧」画面でグレー表示されている内容は、実行済の予約履歴です。

視聴制限を一時的に解除したいとき

視聴制限の対象になる番組を選んだとき

選局した番組がお客様の設定された制約 (視聴可能年齢 / 一番組限度額) の対象になる場合には、「暗証番号入力」画面が表示されます。



リモコンの①～⑨ボタンで暗証番号 (4桁) を入力すると、視聴制限が一時解除できます。

視聴制限を一時解除すると、本機の電源をオフ (または機能待機) にするまで解除状態が続きます。

ただし、一番組限度額の対象になる番組を選んだ場合は、視聴制限を解除しても必ず「暗証番号入力」画面が表示されます。

お願い

- 暗証番号を間違えると再度「暗証番号入力」画面が表示されます。暗証番号を確認のうえ入力してください。

お知らせ

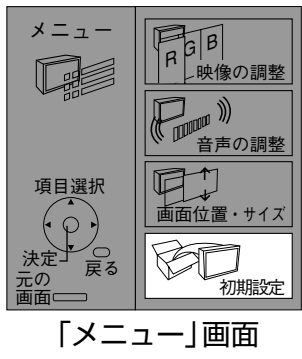
- (#) ボタンを押すと最後の桁を取り消すことができます。
- 視聴制限の設定は (P.38～41ページ)。
- 暗証番号が未登録の場合は (P.38～41ページ)。

暗証番号の登録と、「視聴制限設定」画面の出し方

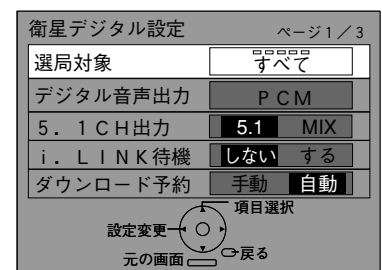
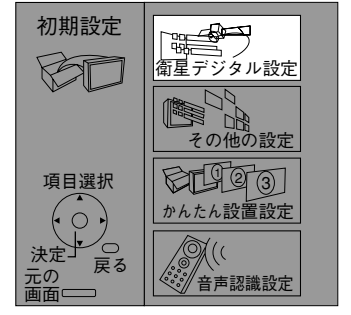


1 押し、
「メニュー」
画面にし、

押し、
「初期設定」
を選び
中央の決定
ボタンを
押す

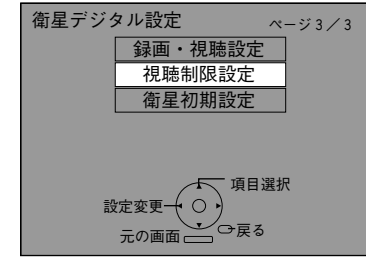


2 押し、
「衛星デジタル
設定」を選び
中央の決定
ボタンを押す



●「衛星デジタル設定」画面は
3ページ構成です。
で項目を送ると
自動的にページ
が変わります。

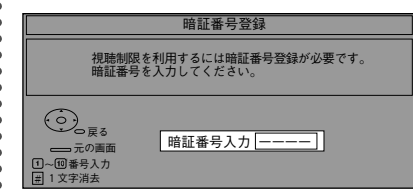
3 押し、
ページ3/3の
「視聴制限
設定」を選び
中央の決定
ボタンを
押す



4 リモコンの数字ボタン
で暗証番号を入力(登録)
する



初めて暗証番号を登録する場合

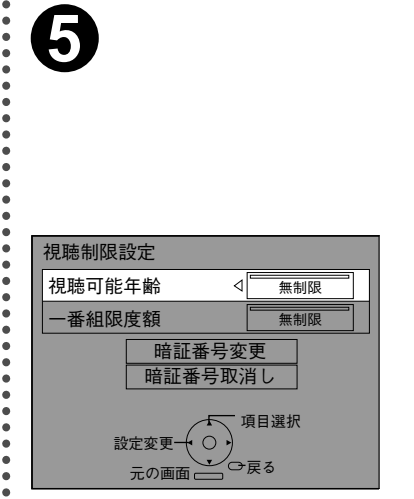


「暗証番号登録」画面

- 画面の説明に従って、同じ暗証番号(4桁)を2回入力してください。
- 暗証番号は忘れないようにメモをしておいてください。

すでに暗証番号が登録されている場合

- 暗証番号を登録している場合は、「暗証番号入力」画面が表示されます。暗証番号(4桁)を入力してください。



「視聴制限設定」画面

- 番組により視聴可能年齢を制限する設定ができます。(P.40ページ)
- 有料番組(ペイ・パー・ビュー)を購入するとき、一番組あたりの購入限度額を制限する設定ができます。(P.40ページ)
- 必要により暗証番号の変更が可能です。(P.41ページ)
- 暗証番号を取消することで、視聴制限の設定が無効になります。(P.41ページ)

お知らせ

番組が視聴年齢制限の対象になるときは番組名が「●●●」表示され、暗証番号の入力をしない限り番組を視聴したり、詳細情報も見ることができません。

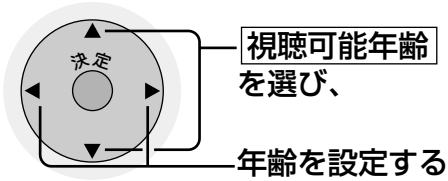
お知らせ

- (#) ボタンを押すごとに最後の桁を取消することができます。
- 暗証番号の数字は、画面上には表示されません。(****と表示されます。)
- 暗証番号入力(登録)画面で暗証番号を入力せずに数秒経過すると暗証番号入力(登録)画面は消えます。

まず、38、39ページの操作で「視聴制限設定」画面にする。

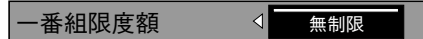
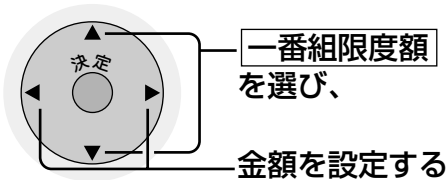
視聴可能年齢の設定

番組によっては視聴できる対象年齢を制限しているものがあります。設定年齢より高い視聴年齢制限の番組は、各一覧表などで番組名が「●●●」表示されます。工場出荷時は「無制限」（制限がない状態）に設定されています。



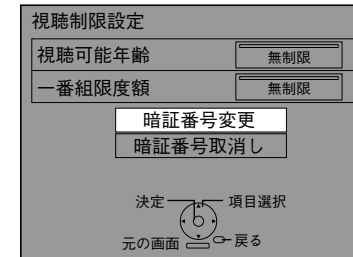
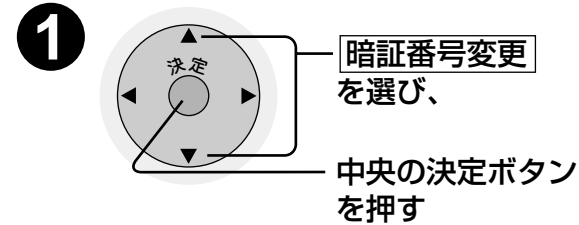
一番組購入限度額の設定

一番組制限額とは、有料番組や有料信号を購入する際に、料金が設定している一番組限度額より高額であれば、暗証番号を入力しない限り視聴（購入）できないようにする機能です。工場出荷時は「無制限」（制限がない状態）に設定されています。

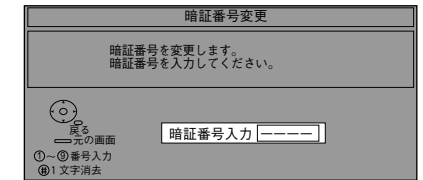


暗証番号変更

暗証番号の変更を必要とする場合のみ、次の手順で新しい暗証番号を入力してください。



(#) ボタンを押すごとに最後の桁を取消することができます。



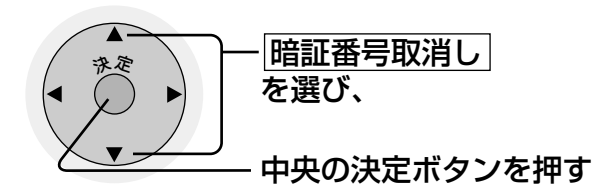
- 画面の説明に従って、変更操作をしてください。
- 暗証番号の登録が終わると、「暗証番号変更」画面が消え、約10秒後、「視聴制限設定」画面に戻ります。

お願い

- 暗証番号は変更された時点で忘れないように、メモをしておいてください。

暗証番号取消し

暗証番号の取消しをすると、再度暗証番号を登録するまで視聴制限の設定が無効になります。



- 暗証番号取消しの確認画面が表示されます。画面の説明に従って暗証番号を削除してください。
- 暗証番号の取消しが終わると、約10秒後、「衛星デジタル設定」画面に戻ります。

暗証番号変更は…

- 暗証番号を入力しても画面上では****と表示されます。

暗証番号取消しは…

- もう一度、視聴制限を有効にするときは、暗証番号の登録が必要です。再度、「視聴制限設定」を選んで暗証番号を登録してください。

お知らせ

視聴可能年齢の設定は…

- 「4才」から「19才」までの1才単位の設定と「無制限」の設定ができます。
- 「無制限」に設定すると番組の対象年齢に関係なく番組が視聴できます。
- 「視聴可能年齢」で設定した年齢より、視聴年齢制限の高い番組を視聴したいときには、視聴制限が一時解除されていない限り、暗証番号の入力が必要となります。

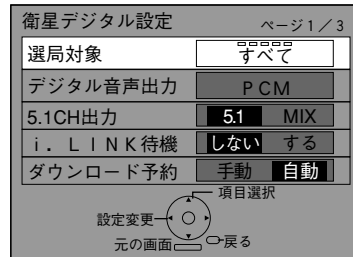
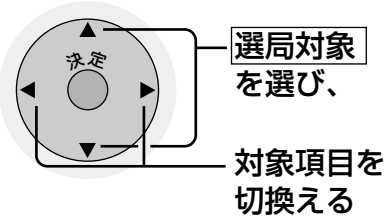
一番組限度額の設定は…

- 「100円」、「500円」、「1000円」、「1500円」、「2000円」、「2500円」、「3000円」、「無制限」の設定ができます。
- 「無制限」に設定すると、一番組の料金に関係なく番組を購入することができます。
- 「一番組限度額」で設定した金額より高額の番組を視聴したいときには、暗証番号の入力が必要となります。

選局対象を指定したいとき

チャンネル **▲** **▼** ボタンによる順送り選局や「裏番組」、「番組表」などで表示させるチャンネルを指定する設定です。

まず、34ページの手順①、②の操作で「衛星デジタル設定画面にする。



「衛星デジタル設定」画面

- お好み** … リモコンのBS/110度CSデジタル数字ボタンに設定しているプリセットチャンネルと、「衛星チャンネル設定」で設定した11~30までのチャンネルを選局したり、表示させることができます。
- テレビ** … テレビ放送（映像+音声）のチャンネルのみ順送り選局したり表示させることができます。
- ラジオ** … ラジオ放送（音声）のチャンネルのみ順送り選局したり表示させることができます。
- データ** … データ放送のチャンネルのみ順送り選局したり表示させることができます。
- すべて** … 現在放送されているすべてのチャンネルを順送り選局したり表示させることができます。

■設定を終了するときは

- 元の画面** ボタンを押す
- 「衛星デジタル設定」画面が消えます。

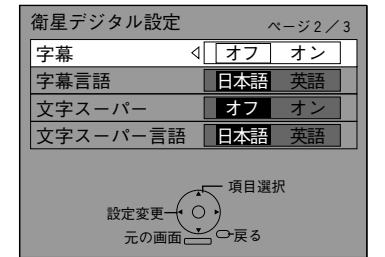
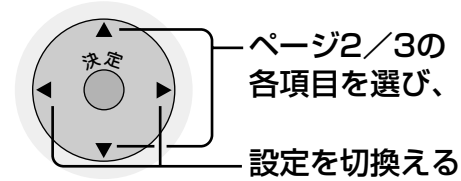
お知らせ

- 設定した項目に該当するチャンネルが1つしかない場合はチャンネル **▲** **▼** ボタンで切替えできません。
- 「プリセット」については、8ページをご覧ください。
- 工場出荷時は「すべて」に設定されています。

字幕や文字スーパーを見たいとき

字幕のある番組、文字スーパーのある番組での表示設定ができます。

まず、34ページの手順①、②の操作で「衛星デジタル設定画面にする。



「衛星デジタル設定」画面

字幕

- オン** … 字幕を表示します。
- オフ** … 字幕を表示しません。ただし、放送により強制的に表示される字幕の場合は、この設定は無効になります。

字幕言語

- 日本語** … 日本語の字幕を表示します。
- 英語** … 英語の字幕を表示します。

文字スーパー

- オン** … 文字スーパーを表示します。
- オフ** … 文字スーパーを表示しません。ただし、強制的に表示される文字スーパーの場合は、この設定は無効になります。

文字スーパー言語

- 日本語** … 日本語の文字スーパーを表示します。
- 英語** … 英語の文字スーパーを表示します。

※文字スーパーは視聴者にお知らせしたいことを番組放送中の画面上に文字で表示します。

■設定を終了するときは

- 元の画面** ボタンを押す
- 「衛星デジタル設定」画面が消えます。

お知らせ

- 設定しても送られてくる情報によっては設定が無効になる場合があります。

衛星データ放送を見たいとき

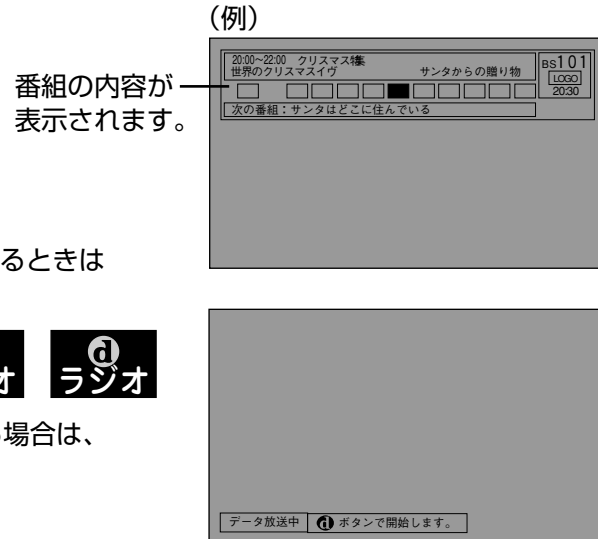
衛星データ放送の番組では、画面に表示される説明に従い操作することでご希望の情報を引き出すことができます。衛星データ放送番組は次のものがあります。

- テレビ放送やラジオ放送に連動して衛星データ放送が行われるもの
- 番組自体が衛星データ放送のもの（選局すると衛星データ放送画面が表示されます）

衛星データ放送の確認のしかた



例
BSデジタル放送のとき
押す

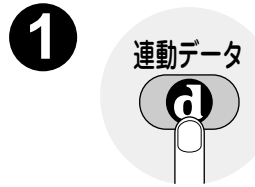


下記いずれかのアイコンが表示されているときはデータ放送の番組です。

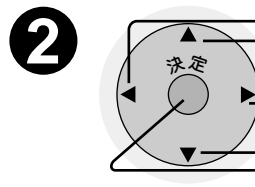


- 番組の途中で衛星データ放送が始まる場合は、右のような画面が表示されます。

操作のしかた



- 1 連動データ 押す
- 衛星データ放送画面が表示されます。（選局すると自動的にデータ放送画面になる番組もあります。）



- 2 項目を選び
中央の決定ボタンを押す

お願い
衛星データ放送の番組によって画面に専用の選択画面や数字入力画面が表示されます。また、本機のボタン機能は衛星データ放送の番組で使用するときのみ機能が変化する場合があります。それらの場合の操作は、画面に表示される説明に従ってください。

■衛星データ放送を終了したい場合は、**元の画面** ボタンを押す

お知らせ

- 操作のしかたは番組の内容によって異なります。
- 情報の多いデータ放送の場合、**連動データ** ボタンを押してもすぐにデータ放送画面が表示されない場合があります。
- 衛星データ放送の番組で電話回線を使用中には、同じ回線に接続の電話機などは使用できません。
- 衛星データ放送の番組では、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合もあるため、通信中は**電源** ボタン、**テレビ操作** ボタン以外は本機の操作ができなくなる場合があります。

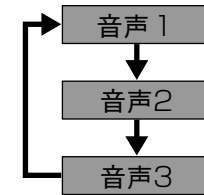
同一チャンネルの複数コンテンツを切替える

番組により、映像や音声などの信号を切替えて楽しむことができます。切替え可能な信号の内容は番組により異なります。また切替えた信号が有料な場合もあります。

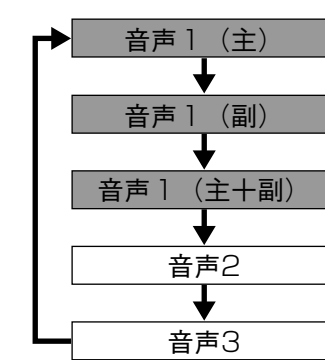
音声信号を切替える場合



押す



- 番組に複数の音声があるとき、切替えができます。
- 切替えた音声が多音声の場合は下図のように切替わります。
(例) 音声1が多音声の場合



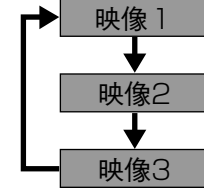
二重音声について
二重音声には2種類あります。

- 2カ国語放送
主音声(日本語)と副音声(外国語)を選んで聞ける情報(主音声で外国語、副音声で日本語が送信される場合もあります。)
- 音声多重放送
主音声とは別の音声(副音声)を選んで聞ける情報

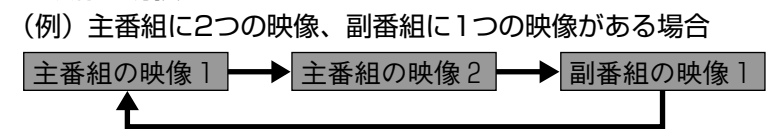
映像信号を切替える場合



押す



- 番組に複数の映像があるとき、切替えができます。
- マルチビュー放送の場合は主番組、副番組の切替えができます。副番組は最大で2つあります。また、主番組、副番組に複数の映像がある場合も映像の切替えができます。



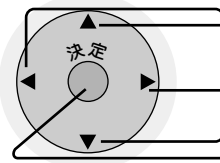
お知らせ

- 操作のしかたは番組の内容によって異なります。
- 衛星データ放送の番組で電話回線を使用中には、同じ回線に接続の電話機などは使用できません。

電話発信記録を見る

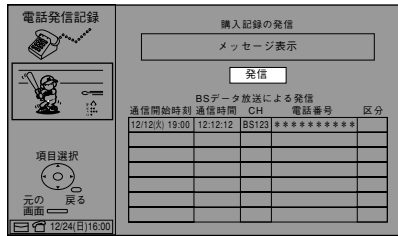
電話発信記録では、「衛星データ放送の番組から発信した最近の発信履歴内容」と「まだセンターへ送っていない番組購入記録の有無」が確認できます。もし未発信の番組購入記録がある場合は、手動ですぐに発信することもできます。(通常は定期的に自動的に発信されます)

まず、6、7ページの手順でインフォメーション画面にする。



電話発信記録を選び、

中央の決定ボタンを押す



- 購入記録が送信できる場合は ▲ ▼ ボタンで「発信」を選んで ボタンを押すと、電話回線を通してセンターへ番組の購入記録などを発信できます。
- i.LINKに接続したD-VHSビデオデッキから本機を通じて電話発信を行ったとき、区分表示に のアイコンが表示されます。

■確認を終了するときは

ボタンを押す

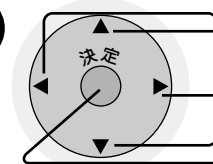


メールを見る

メールとは衛星デジタル放送受信者お客様)に送られるメッセージです。メールの内容には電話回線の通信異常や、予約番組の無効内容、機能向上のためのダウンロード情報などもありますので、下記の手順で届いたメールの内容を必ず確認してください。(このメールはインターネットのメールではありません。)

まず、6、7ページの手順でインフォメーション画面にする。

1

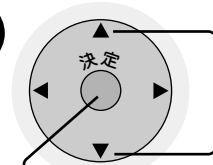


メールを選び、

中央の決定ボタンを押す

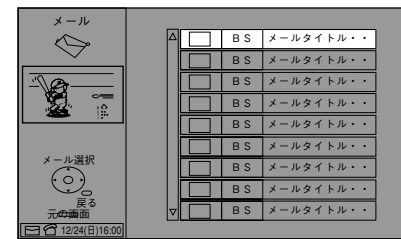


2



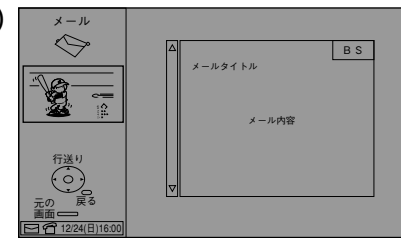
確認したいメール項目を選び、

中央の決定ボタンを押す



3

内容を確認する (例)



- 他のメールを読みたいときは ボタンを押し、手順 2 から操作してください。

■確認を終了するときは

ボタンを押す

お願い

B-CASカードが挿入されていないとメールを受信することができません。B-CASカードは本機に異常が発生しない限り抜かないでください。

お知らせ

- メール未読、既読についてはアイコンで表示されています。



未読メール

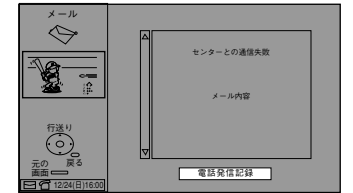


既読メール

- メールは24通(1つの放送局には最大13通)まで保存できます。合計で24通(または1つの放送局で13通)を超えるメールは古い順から自動的に削除されます。

電話回線の通信異常通知

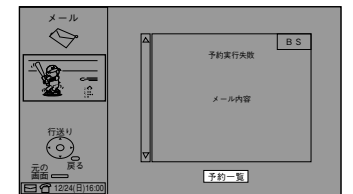
電話回線を使用した通信で異常があった場合に次のメールが届きます。



- 通信異常のメールが届いた場合は、電話回線の接続 (C編: 53ページ)、電話設定 (C編: 36~39ページ)を確認のうえ、正しく接続や設定を行ってください。電話回線の接続や設定に問題がない場合は、PPV(ペイ・パービュー)の契約をしている放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。
- ボタンを押すと「電話発信記録」画面が表示されます。(C編: 46ページ)

予約の警告、失敗の通知

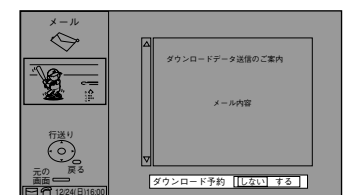
予約が失敗した場合に次のメールが届きます。



- ボタンを押すと「予約一覧」画面が表示されます。(C編: 36ページ)

ダウンロードの通知

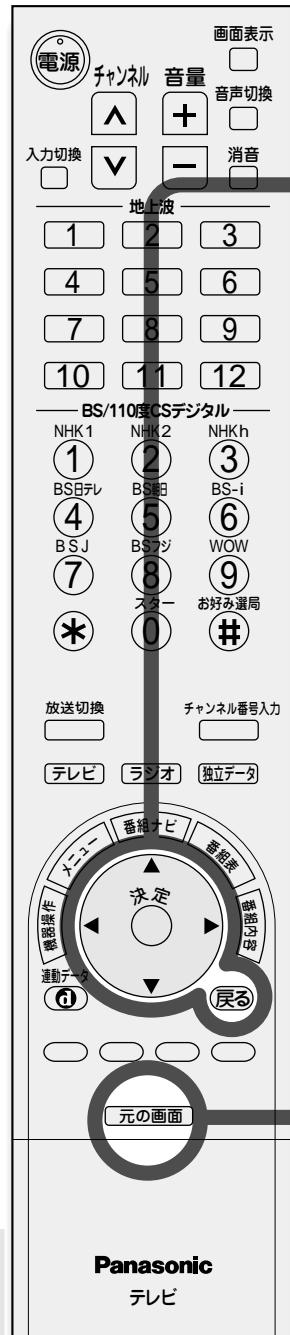
ダウンロードの予約やダウンロードの実行結果のメールが届きます。ダウンロードについてはC編: 48ページをご覧ください。



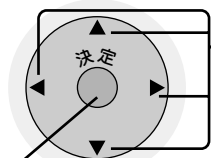
ボードを見る

ボードとは110度CSデジタル放送のプラット・ワンとスカイパーフェクTV!2から送られるお知らせです。掲示板のようなものと考えて、定期的に確認するようにしてください。

まず、6、7ページの手順でインフォメーション画面にする。

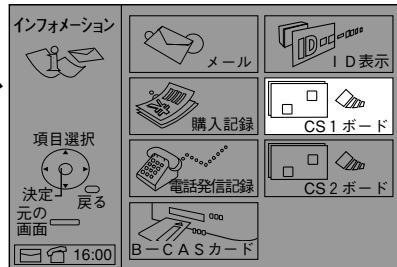


1



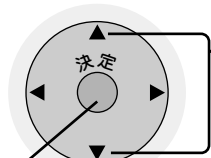
CS1ボード または
CS2ボード を選び、

中央の決定ボタン
を押す



・CS1ボード・プラット・ワン
・CS2ボード・スカイパーフェクTV!2

2



確認したいボード
項目を選び、

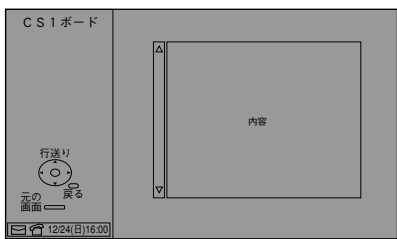
中央の決定ボタン
を押す



3

内容を確認する

(例)



- 他のボードを読みたいときは **戻る** ボタンを押し、
手順 2 から操作してください。

■ 確認を終了するときは

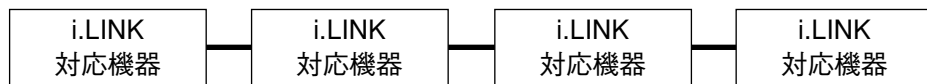
元画面 ボタンを押す

i.LINK (アイリンク) とは、デジタル映像やデジタル音声などのデータ転送や、接続した機器に対して、操作なども行えるシリアル転送方式のデジタルインターフェース IEEE1394の呼称です。IEEE1394は米国電子電気技術者協会 (IEEE) によって標準化された国際標準規格です。

現在、100 Mbps/200 Mbps/400 Mbpsの転送速度があり、転送速度はi.LINK端子の周辺にそれぞれS100、S200、S400と表示されます。本機では最大200 Mbpsの転送が可能のため、S200と表示されています。また、i.LINKは直接つないだ機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせず機器を接続していくことができます。高速で大量のデータを転送できるi.LINKは、今後さまざまなデジタルAV機器やパソコン周辺機器に採用され、デジタルネットワークを実現するようになると考えられています。

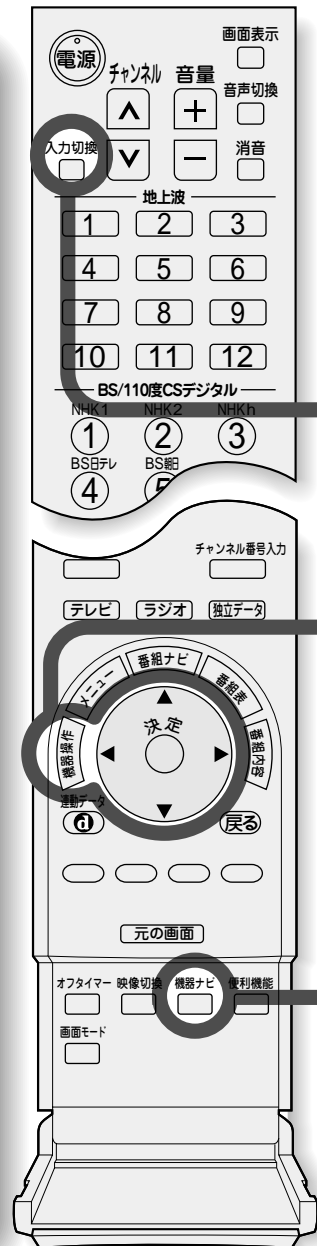
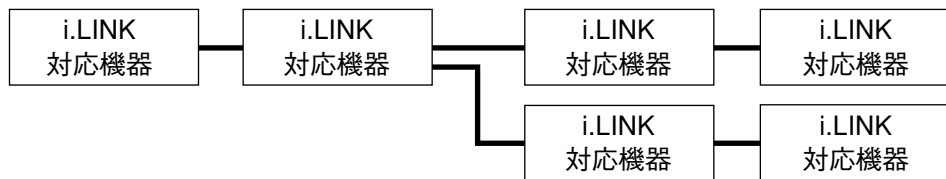
■i.LINKの接続方法

- i.LINK対応機器の接続はi.LINKケーブルで接続します。最大17台まで接続することができます。ただし、本機で確認できるi.LINK対応機器は15台までです。



データは接続したすべてのi.LINK対応機器に流れます。操作したいi.LINK対応機器の間に別のi.LINK対応機器が接続されていても、機器とデータのやりとりや操作ができます。

- i.LINK端子が3端子以上ある機器の場合、途中から分岐してツリー型に接続することもできます。ツリー型で接続の場合は、最大63台まで接続することができます。



■本機で操作できるi.LINK対応機器は

本機では、当社製i.LINK対応D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダーのうち同時に2台まで接続して、基本的な操作のみができます。当社製i.LINK対応D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダーでは、本機を使用してデジタル録画した衛星デジタル放送を再生し、本機で視聴することができます。

■i.LINK接続上のご留意

- 本機は最大転送速度が200 Mbpsのため、S200対応以上の4ピンi.LINKケーブルをご使用ください。(C編：56ページ)
- i.LINK対応機器と接続してご使用中のときは、使用していない機器のi.LINKケーブルを外したり、接続したり、電源のオン/オフは行わないでください。映像・音声がかかる場合があります。
- 接続が輪 (ループ接続) にならないようにしてください。データを送信したi.LINK対応機器に同じデータが戻り、誤作動を起こします。
- i.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータの中継できない機器があります。接続するi.LINK対応機器の取扱説明書もご覧ください。また、本機では「i.LINK待機」の設定で電源オフ時のi.LINK制御の設定を切換えできます。(C編：61ページ)
- パソコンやパソコン周辺機器を接続していると誤作動を起こす場合があります。

i.LINK対応機器を操作する

本機のリモコンを利用してi.LINKに対応した当社製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムの基本的な操作が行えます。C編：56ページに記載のi.LINKの接続を行い、66ページ記載のi.LINK接続設定を確認のうえ、次の操作を行ってください。

操作画面の表示のさせかた

本機でi.LINK対応機器を操作するには、操作画面を表示させます。表示された操作画面で▲▼◀▶ ボタンと ボタンで操作できます。

リモコンの機器操作パネルボタンで操作画面を表示させる場合

- 1 何回か押し、操作したい機器のパネルを表示させる。

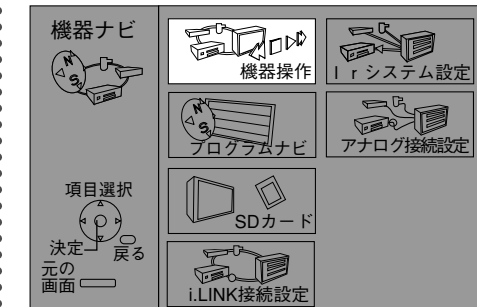
地上波放送または衛星デジタル放送視聴中に押すとまず、前回の操作で一番最後に表示した機器操作パネルが表示され、さらに押すごとに、各機器のパネルを表示します。

各機器の視聴中に押した場合は、直接その機器の操作パネルを表示します。

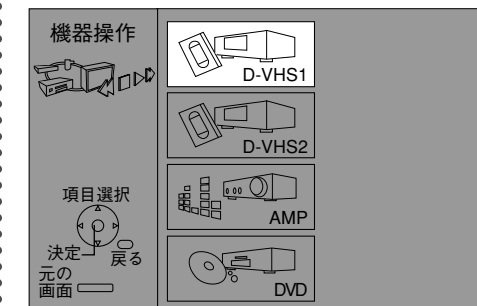
視聴中の映像	表示される操作画面	ページ
地上波放送 または 衛星デジタル放送	アンブ	58 ページ
D-VHS * (i.LINK接続した D-VHSビデオデッキ)	D-VHSビデオデッキ	52 ページ
HDR * (i.LINK接続した ハードディスク ビデオレコーダー)	HDR	52 ページ
DVD * (i.LINK接続した DVDホームシアター サウンドシステム)	DVD	56 ページ

「機器操作」画面から操作画面を表示させる場合

- 1 押し、
 機器操作 を選び、
 を押し



- 2 操作画面を表示させたい機器を選び、
 を押し



・「D-VHS」、「HDR」は52ページ、「DVD」は56ページ、「アンブ」は58ページを参照ください。

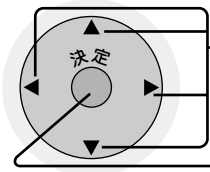
お知らせ

- i.LINK接続設定されていないと、i.LINK端子に接続されていても操作画面は表示されません。(C編：66ページ) 「アナログ接続設定」でi.LINK接続機器を設定していなければ ボタンを押しても、「DVD*」には切換わりません。(C編：68ページ)

D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダー(HDR)を操作する

「D-VHS操作パネル」画面では、D-VHSビデオデッキの基本的な操作が行えます。
「HDR操作パネル」画面では、ハードディスクビデオレコーダーの基本的な操作が行えます。

まず、51ページの操作で操作画面を表示する。



操作したい機能にカーソルを移動させ、

押す

■ 機器操作パネルを消したいときは

◀ 戻る ボタンを押す

DVDホームシアターサウンドシステムの電源の「入」/「切」を切換えます。「入」の場合、赤い色が表示されます。(P.56ページ)
DVDホームシアターサウンドシステムがi.LINK接続設定されていない場合は表示されません。

操作している機器の電源のオン/オフを切り換えます。オンの場合、赤い色が表示されます。

操作している機器の「i.LINK接続設定」で設定された番号表示

操作している機器の状態表示

カーソルで選択している機能名表示

再生時間表示



- プログラムナビ
……プログラムナビを表示 (P.54ページ)
 - ……カセット挿入済み表示
 - D ……録画テープの種類表示
D : D-VHSテープ
S : S-VHSテープ
表示なし : VHSテープ
 - ……カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている表示 (録画できません。)
- ※「HDR操作パネル」画面では、上記の内容は表示されません。

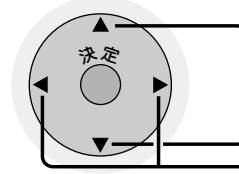


各操作パネル画面から本機で受信中の衛星デジタル放送を録画するには

- 録画したい衛星デジタル放送画面にする
- 操作パネルを表示させる
 - 機器操作ボタンまたは機器ナビボタンで操作パネルを表示させます。(P.51ページ)
- 録画する
 - (録画) を選んで、● ボタンを押すと、録画が開始されます。

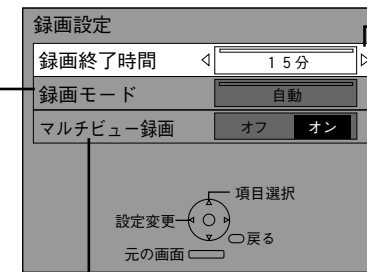
録画設定

手動で録画する前に設定します。録画が終了すると各設定値は元に戻ります。(詳しくはお知らせ参照)



① 録画終了時間、録画モード、マルチビュー録画 を選び、

② 設定を切り換える



録画終了時間

指定無し

- 停止を押すか、テープ残(ハードディスク残)がなくなるまで録画します。

番組終了まで

- 現在視聴中の番組を終了まで録画します。

15分、30分、60分、90分、120分、180分

- 設定した時間だけ録画をします。

マルチビュー録画

オン

- マルチビュー放送の番組の場合に、副番組も同時に録画します。

オフ

- マルチビュー放送の番組の場合に、主番組のみ録画します。

録画モード

自動

- 衛星デジタル放送を、放送の画質にあわせて各録画機器で自動的にデジタル記録します。ただし、デジタル記録できない場合は、録画機器に設定している録画モードでアナログ録画されます。(HDRの場合は、HDRに設定している録画モードでエンコード録画します。)

標準、3倍、5倍、STD、LS3

- 衛星デジタル放送を、設定した録画モードで記録します。
※HDRの場合、標準はSP、3倍はLP、5倍はEPでエンコード録画します。(NV-HDR1000)

お願い

- 大切な番組を録画する場合は、予約設定で録画予約をしてください。(P.22ページ)

お知らせ

- 選択した録画モードの機能がないD-VHSビデオデッキの場合は、D-VHSビデオデッキに設定されている録画モードで録画されます。
- 録画終了すると「録画終了時間」は「指定無し」、「録画モード」は「自動」、「マルチビュー録画」は「衛星デジタル設定(録画・視聴設定)」の設定値に戻ります。
- 録画設定で録画終了時間を設定した場合は、録画終了まで衛星チャンネルはロックされます。

お知らせ

- 録画中は「録画設定」画面を表示できません。
- 操作する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 操作中は、本機の機能(チャンネル一覧など)が一部使用できなくなります。
- カーソルが「電源」または「アンプ」以外の所にあるときは、数秒たつとパネル左側の「電源」「アンプ」部分が消えます。再度、表示させたい場合は、カーソルを左へ移動すれば、表示されます。

プログラムナビについて

本機にi.LINK接続しているD-VHSデッキで録画した番組の内容を見る場合や再生するときに使用します。

リモコンの機器ナビボタンでプログラムナビ画面を表示させる場合

1 機器ナビを押して、

2 D-VHSを選び、

D-VHS操作パネル画面からプログラムナビ画面を表示させる場合

プログラムナビを選び、

押す

再生中 01:23.15

電源 アンプ

再生 録画設定 プログラムナビ

↓

プログラムナビ画面が表示されます

録画開始時刻と録画時間
録画した日 録画したチャンネル 番組タイトル

プログラムナビ	CH	日付	開始時刻 録画時間	番組タイトル
Beauty [Tsushin] データ放送中	BS 210 151	(土)	18:46 1h05m	なにわコメディー○○
	BS 210 151	(土)	18:46 1h05m	なにわコメディー○○
	BS 210 151	(土)	18:46 1h05m	○○商店街
	BS 210 161	(土)	17:00 1h15m	2001J-PHONE○○○○
	BS 210 171	(土)	19:30 1h05m	地球見聞録

プログラムナビ表示

お知らせ

- 地上波などアナログ放送が録画されている場合、番組タイトルは表示されません。



再生する

1 番組を選び、

2 押す

再生がはじまります

DVD機能を実行する

「DVD操作パネル」画面では、DVDホームシアターサウンドシステムのDVD機能の基本的な操作が行えます。

まず、51ページの操作で操作画面を表示する。



操作したい機能にカーソルを移動させ、
決定を押す

選んでいるディスクの種類とチェンジャー番号を表示します。

DVDホームシアターサウンドシステムの電源の「入」/「切」を切替えます。「入」の場合、赤い色が表示されます。

■ 機器操作パネルを消したいときは
戻る ボタンを押す

カーソルで選択している機能名表示

例 DVDのとき

DVDホームシアターサウンドシステムの状態表示

メニュー
● DVDのディスク挿入時、DVDのメニューを表示します。

トップメニュー
● DVDのディスク挿入時、DVDのタイトルメニューを表示します。

画面表示
● DVDホームシアターサウンドシステムの操作メニューバー（GUI画面）を表示します。2枚目以降の操作メニューバーを表示させたいときは、機器操作ボタンを押して「DVD操作パネル」画面を表示させて再度「画面表示」を選んでください。

リターン
● ビデオCDのディスク挿入時、ビデオCDのメニューを表示します。

再生中

再生

再生中

メニュー

トップメニュー

画面表示

1つ前へスキップ

一時停止

1つ先へスキップ

早戻し

再生

早送り

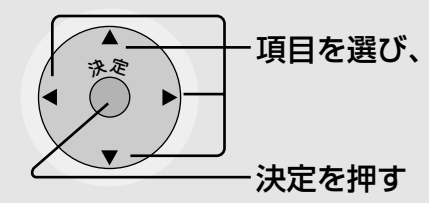
停止

DVDやビデオCDのメニューが表示されたら

本機のリモコンで操作することができます。

(表示例)

1 全編	4 撮影日誌
2 場面	5 インタビュー
3 音声	6 出演者



※ビデオCDの場合は、数字ボタンでのみ操作できます。

お知らせ

- 「メニュー」「トップメニュー」「画面表示」「リターン」を選ぶと、「DVD操作パネル」画面が消える場合がありますが、機器操作ボタンを押すと、再度、操作パネルを表示します。
- CDの場合は「画面表示」などの項目は表示されません。
 - ビデオCDの場合は、「リターン」のみが表示されます。
 - DVDホームシアターサウンドシステムの取扱説明書もよくお読みください。
 - カーソルが「電源」以外の所にあるときは、数秒たつとパネル左側の「電源」部分が消えます。再度、表示させたい場合は、カーソルを左へ移動すれば、表示されます。

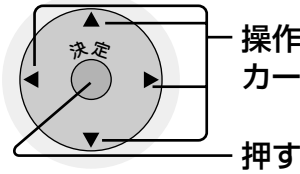
メモ

- DVDホームシアターサウンドシステムの電源が「入」のときは
- 音量 + 本機のリモコンで、DVDホームシアターサウンドシステムの音量調整ができます。
 - 消音 - 消音
- (ただし、本機でDVDホームシアターサウンドシステムが使用可能な状態で59ページの「セレクト」画面で「TVデジタル」を選択している必要があります。また、SDメモリーカードの操作中は「SD音楽再生」以外の音が出ません。(P.74ページ))

アンプ機能を操作する

「AMP操作パネル」画面では、DVDホームシアターサウンドシステムのアンプ機能の基本的な操作が行えます。

まず、51ページの操作で操作画面を表示する。



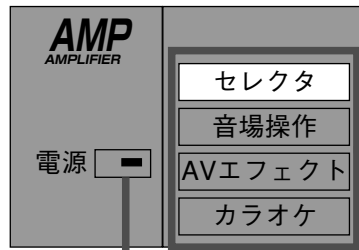
操作したい機能にカーソルを移動させ、

押す

■ 機器操作パネルを消したいときは

戻る ボタンを押す

「AMP操作パネル」画面



DVDホームシアターサウンドシステムの電源の「入」/「切」を切換えます。「入」の場合、赤い色が表示されます。

セレクト

● DVDホームシアターサウンドシステムに接続している機器の入力選択画面を表示します。(P.59ページ)

音場操作

● DVDホームシアターサウンドシステムの音場操作の選択画面を表示します。(P.60ページ)

AVエフェクト

● DVDホームシアターサウンドシステムのAVエフェクト選択画面を表示します。(P.62ページ)

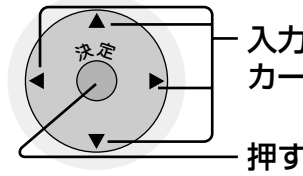
カラオケ

● DVDホームシアターサウンドシステムのカラオケモードの選択画面を表示します。(P.64ページ)



セレクト画面 (入力機器の選択)

アンプ操作パネルから「セレクト」を選び決定すると、下図のような「セレクト」画面を表示します。DVDホームシアターサウンドシステムの入力機器を選択することができます。



入力したい機器にカーソルを移動させ、

押す

「セレクト」画面



例 DVD/CDを選ぶ

- ビデオデッキのとき VCR
 - カセットデッキなど 外部入力
 - アナログテレビのとき TVアナログ
 - 本機のとき TVデジタル
 - FM/AMラジオ FM/AM
- ※ FM/AM はアンプの状態表示のみ。
(カーソルを移動させることはできません。)

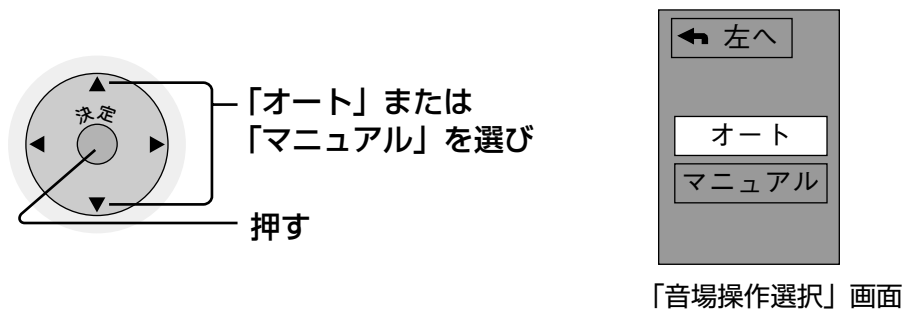
お知らせ

- DVDホームシアターサウンドシステムの電源が「切」のときは、右側の項目は選べません。
- DVDホームシアターサウンドシステムの取扱説明書もよくお読みください。

アンプを操作する (つづき)

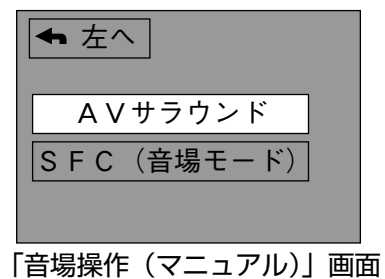
音場操作

AMP操作パネル (P58ページ) から「音場操作」を選び決定すると、下図のような「音場操作選択パネル」が表示します。



オート……本機で衛星デジタル放送を楽しむときに、各番組のジャンル情報に合わせて、自動的に聞きやすい音声に切り替わります。

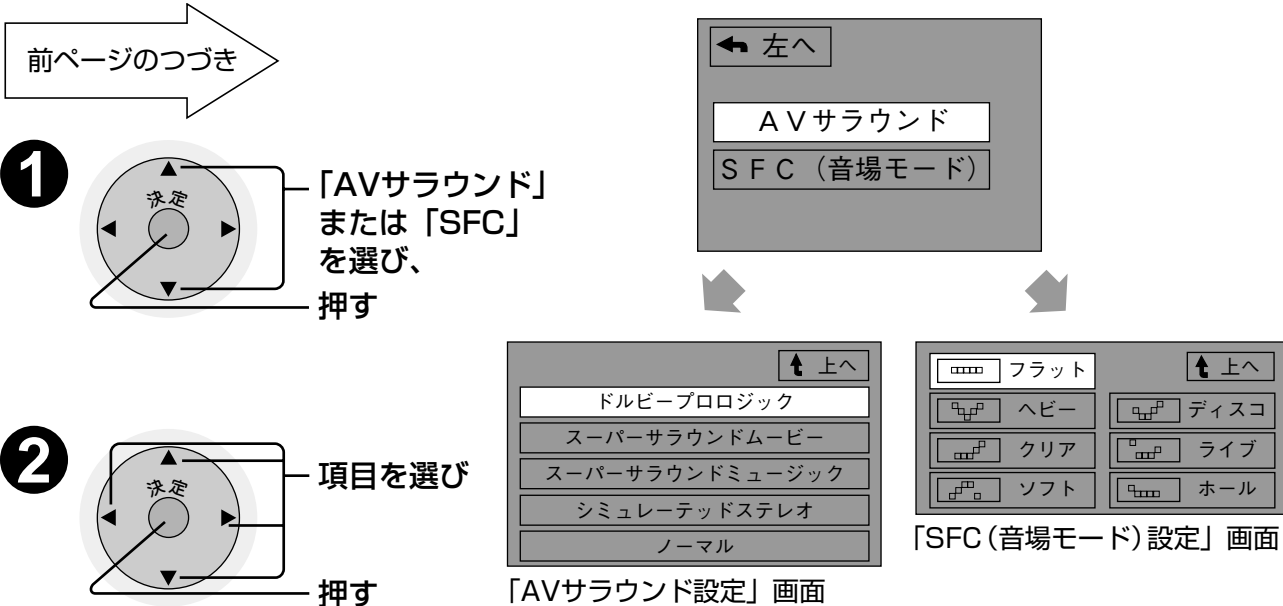
マニュアル……マニュアルを選んで決定すると、下図の「音場操作 (マニュアル)」画面が表示され、お好みのAVサラウンドやSFC (音場モード) の設定ができます。



詳しくは右ページ



音場操作 (マニュアル)



AVサラウンドの効果

- ドルビープロロジック**……ドルビーサラウンドで記録されたDVD、ビデオテープ、CDなどのとき
- スーパーサラウンドムービー**……普通のステレオ音声の映画のとき
- スーパーサラウンドミュージック**……ステレオ音声の音楽のとき
- シミュレーテッドステレオ**……モノラル音声のとき
- ノーマル**……サラウンド効果を使わない通常の音声に

SFC (サウンドフィールドコントロール) の効果

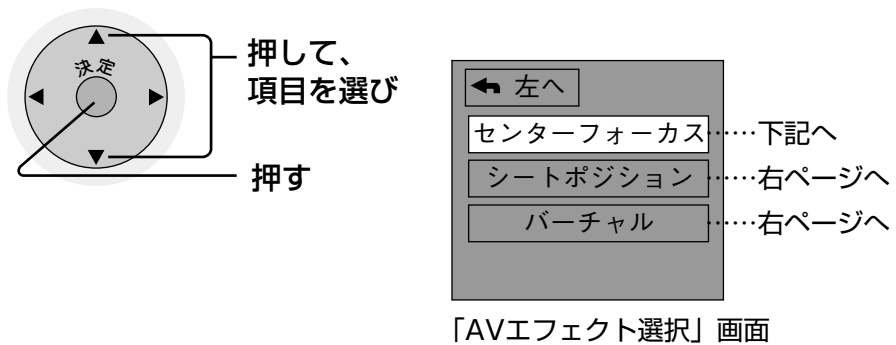
- フラット**……SFC効果を使わない通常の音声に
- ヘビー**……ロックなど。パンチを効かせます。
- クリア**……ジャズなど。高音部を鮮明にします。
- ソフト**……BGMなど。ソフトな音声にします。
- ディスク**……ディスクのような長い残響音があります。
- ライブ**……ボーカルにつやを出します。
- ホール**……大ホールのような音の広がりがあります。

お知らせ

- 「音場モード」を「オート」にしても、送られてくる衛星デジタル放送の情報によっては、自動的に切り替わらない場合があります。

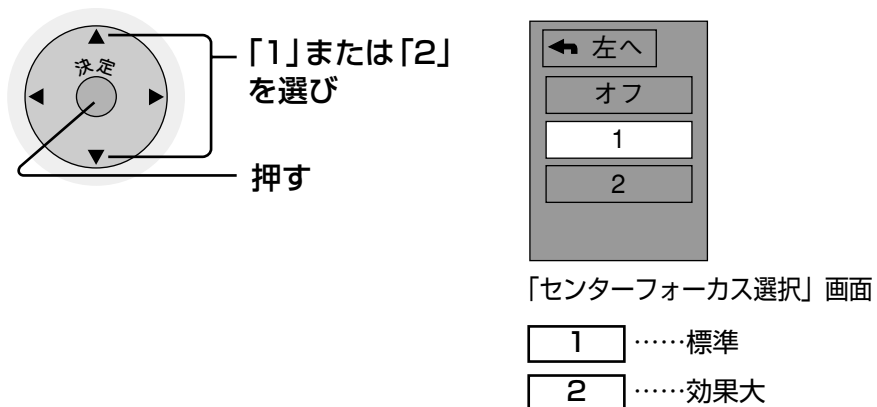
AVエフェクト

AMP操作パネル(58ページ)から「AVエフェクト」を選び決定すると下図のような「AVエフェクト選択」画面が表示します。



センターフォーカス

テレビの上方に置いたセンタースピーカーの音が、テレビ画面の位置から出ているように聞こえます。

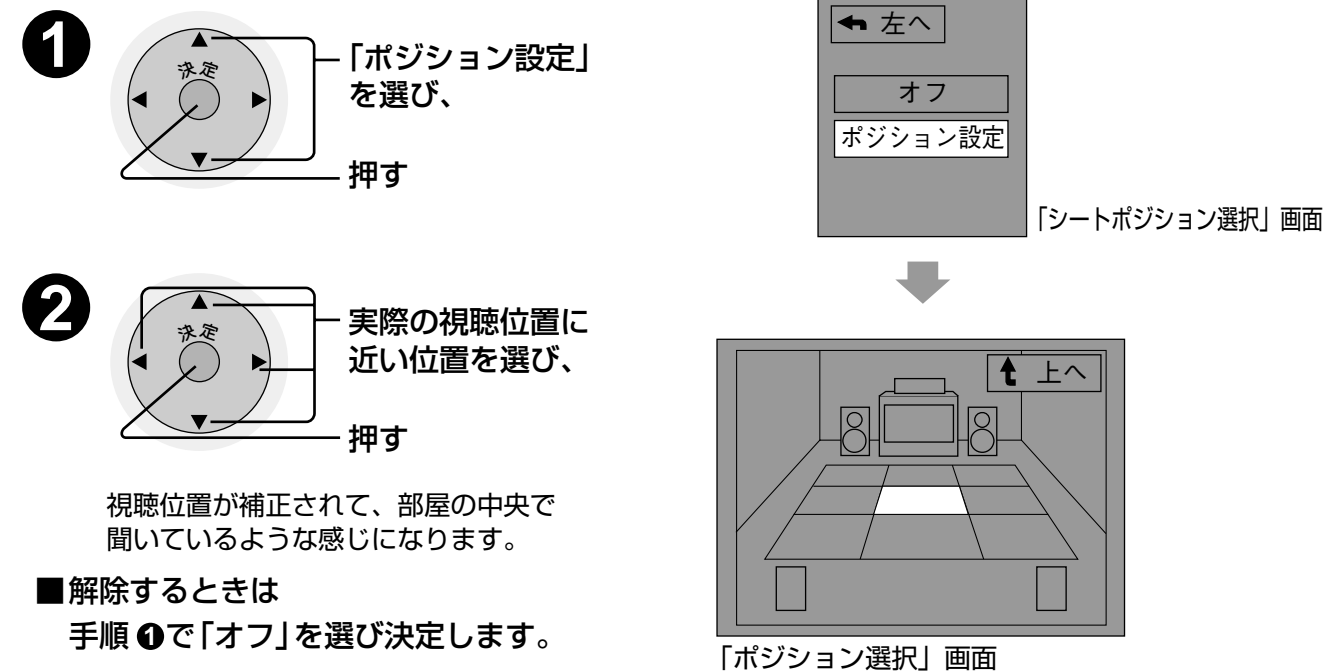


■解除するときは
▲▼で「オフ」を選び決定する



シートポジション

室内の配置などによって理想的な位置(中央)で視聴できない場合に調整します。



バーチャル

設置場所の都合でサラウンドスピーカーをフロントスピーカーの横に置いている場合(バーチャルリア)や、いくつものサラウンドスピーカーがあるかのような効果を作りたい場合(マルチリア)に設定します。



バーチャルリア ……前面に設置したサラウンドスピーカーの音が、後ろから出ているように聞こえます。

マルチリア ……サラウンドスピーカーの数が増えたように聞こえます。

■解除するときは
▲▼で「オフ」を選び決定する

お知らせ

- 「AVエフェクト」の設定は、2チャンネルの音声の場合、無効になります。

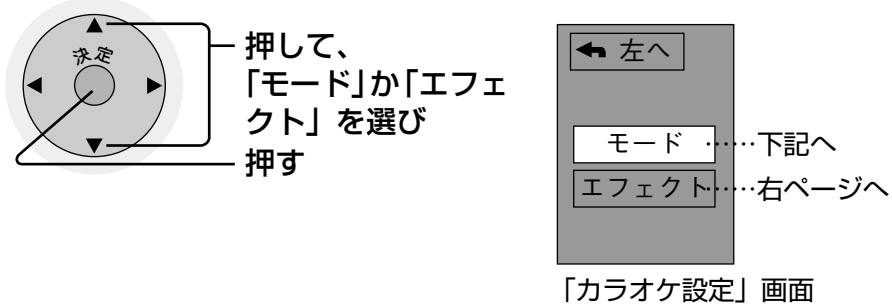
お知らせ

- 「バーチャル」の設定を「バーチャルリア」にしている場合は、「シートポジション」の設定できる位置が3箇所になります。また、DVDホームシアターサウンドシステム側で「3Dエンハンスサラウンド」機能を設定している場合にも3箇所になります。

アンプを操作する (つづき)

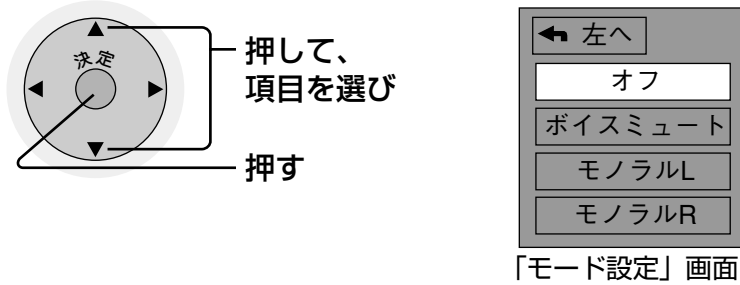
カラオケ

AMP操作パネル(58ページ)から「カラオケ」を選び決定すると下図のような「カラオケ設定パネル」が表示されます。



モード

ビデオCDやCDの再生中にボーカルの音声を「入」/「切」できます。

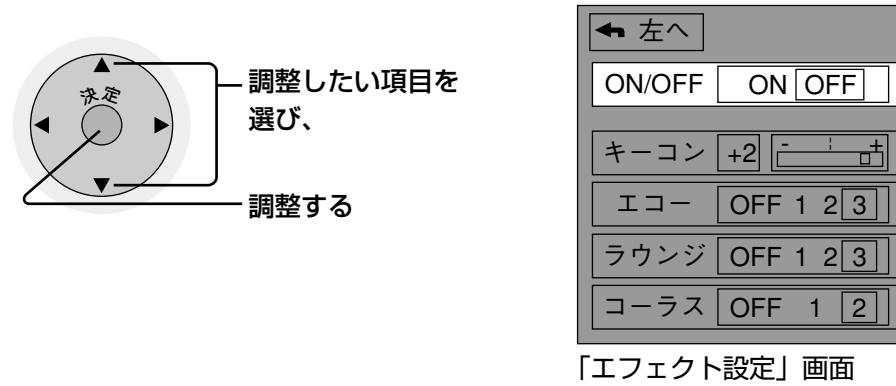


- オフ** …… 通常の音声
- ボイスミュート** …… 普通の音楽CDなどのとき
ディスクに収録されているボーカルの音量を小さくします。(完全には消えません。)
- モノラルL**
モノラルR …… 音声多重ディスクのとき
左チャンネル (L) または右チャンネル (R) の音声だけになります。ボーカルが消える方を選んでください。



エフェクト

カラオケを楽しんでいるときに、音に次の効果を加えることができます。



- ON/OFF** …… エフェクト (効果) を「入」/「切」します。
- キーコン** …… キー (音の高さ) を調整します。
- エコー** …… エコーをかけます。
- ラウンジ** …… エコーをかけたマイクの音をセンターとサラウンドのスピーカーから出すことによってラウンジで楽しんでいるような雰囲気を作ります。
- コーラス** …… コーラスをしているような雰囲気を作ります。

お知らせ

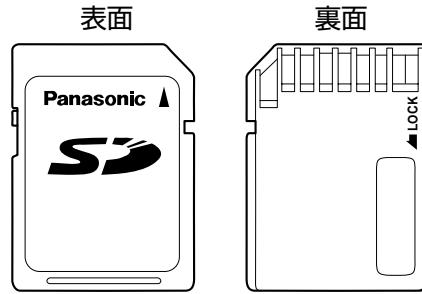
- ディスクによっては、選べないこともあります。
- ボイスミュートはボーカルの音声を完全に消すものではありません。また、モノラル録音されたディスクでは使用できません。

お知らせ

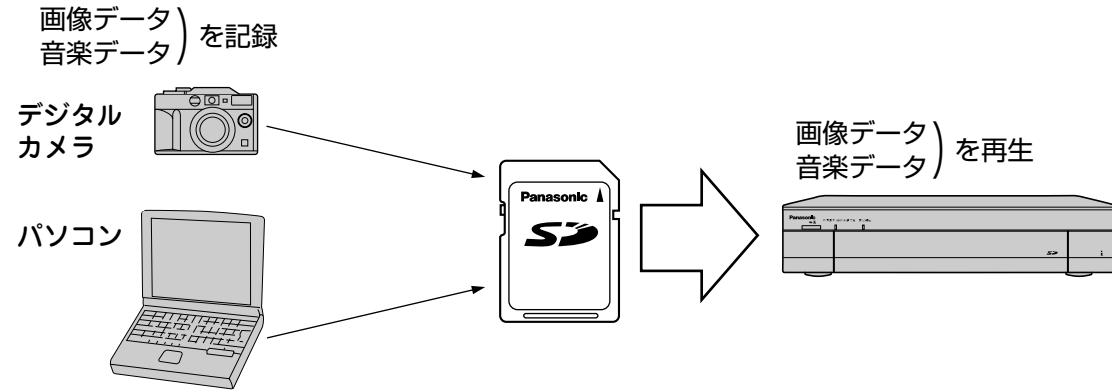
- 複数のエフェクト (効果) を同時に使うことができます。ただし、エコーとラウンジの効果を同時に使うことはできません。
- 「ON/OFF」の設定が「OFF」のとき、「キーコン」「エコー」「ラウンジ」「コーラス」の設定を変更することはできません。

SDメモリーカードについて

SDメモリーカードは、「Secure Digital」の頭文字をとった名前で作著作権保護機能を内蔵したメモリーカードです。24mm×32mm×2.1mmの切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーで、MD（ミニディスク）やCD（コンパクトディスク）、カセットテープに替わる次世代の記録媒体です。



本機では、デジタルカメラやデジタルビデオカメラなどで用意した画像データや、パソコンで編集した音楽データを再生することができます。（本機ではテレビの映像や音声を記録することはできません。）



■本機で再生できる画像データ、音楽データについて

再生できる画像データ

- ・ DCF規格の画像データ
 - ・ SDメモリーカード対応の機器間データ転送用フォルダ「IMEXPORT」のExif2.1以上の画像データ
- ただし、ファイル名が日本語の場合は、表示できません。

再生できる音楽データ

- ・ AAC方式の音楽データ
- ただし、サンプリング周波数がハーフレート（24kHz、22.05kHz、16kHz）のデータは再生できません。

■SDメモリーカードの使用上のお願ひ

SDメモリーカード使用中（「SDカード」画面での操作中）は電源を切ったり、SDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカードのデータが破壊されることがあります。

DCF (Design rule for Camera File system)

デジタルカメラの統一フォーマットとしてJEITA（電子情報技術産業協会）によって制定された画像ファイルフォーマットです。DCF対応のデジタル機器間で画像ファイルを相互に利用することが簡単にできます。

AAC (Advanced Audio Coding)

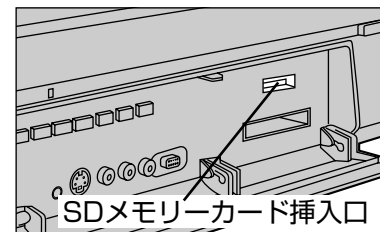
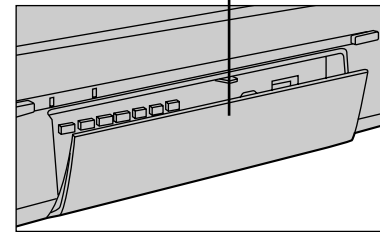
音声符号化の規格の一つです。

CD（コンパクトディスク）並みの音質の音楽データを約1/12にまで圧縮できます。

SDメモリーカードの入れかた

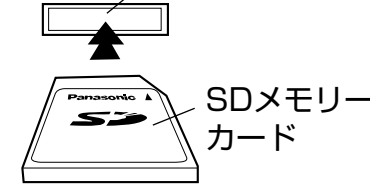
1 本機前面の扉を開ける

「△」部を押す

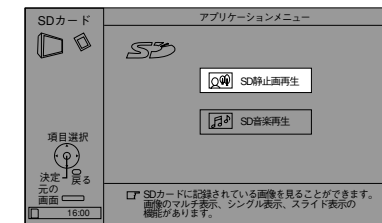


2 SDメモリーカードを挿入する

SDメモリーカード挿入口

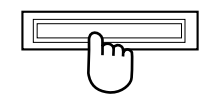


- カードの表面を上にして、奥まで押し込んでください。
- 電源を入れたままSDメモリーカードを挿入すると「SDカード」画面が表示されます。ただし、予約実行中の場合は表示されません。



3 本機の前面扉を閉める

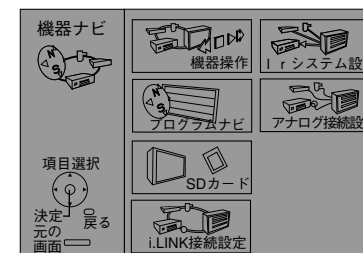
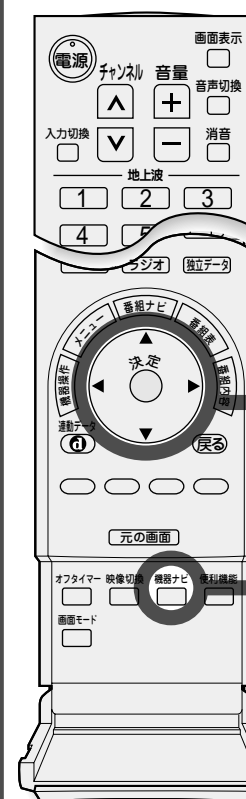
SDメモリーカードの抜きかた
挿入されているSDメモリーカードを奥に押し指をはなせば出てきます



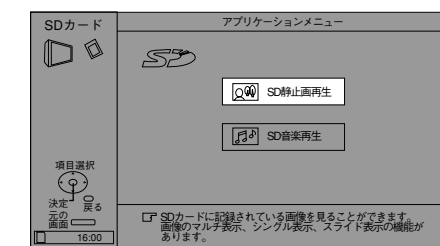
※必ず「SDカード」画面を消してから抜いてください。読み込み中に抜くとデータが破壊されることがあります。

「機器ナビ」画面から「SDカード」画面を表示させる

1 機器ナビ ボタンを押す



2 押して、「SDカード」を選び、決定する

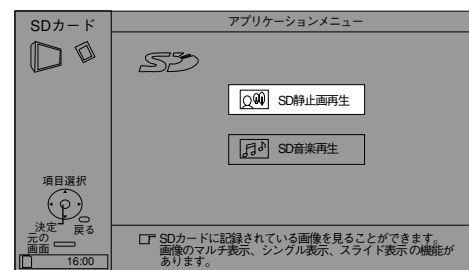


SDメモリーカードに入っている画像データを一度に最大9個の縮小画像で表示させることができます。
また各画像の日付や画素数などの確認も行うことができます。

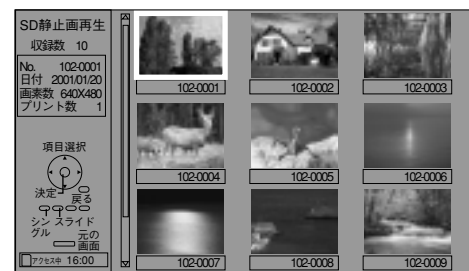
まず、69ページの操作で「SDカード」画面にする。



押して、「SD-静止画再生」を選び、押す



「SDカード」画面



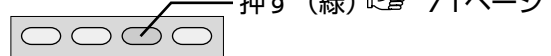
「SD静止画再生（マルチ表示）」画面

画像を見るには、3つの方法があります

「SD静止画再生」画面を表示させた状態で、操作します。

マルチ表示

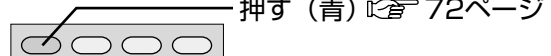
画面に最大9個の縮小画像を表示させて見ることができます。



押す（緑） 71ページ

シングル表示

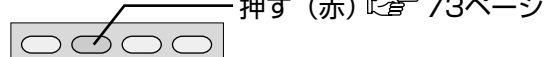
1つの画像ずつ、画面に大きく表示させて見ることができます。



押す（青） 72ページ

スライド表示

連続して画像を表示させて見ることができます。

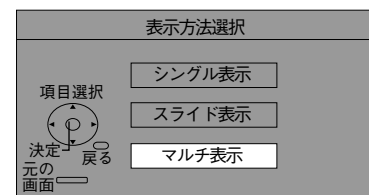
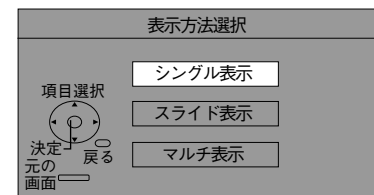


押す（赤） 73ページ

「マルチ表示」「シングル表示」「スライド表示」は、「表示方法選択」画面からも切替えできます。

1 「SD静止画再生」画面を表示中に **決定** ボタンを押す

2 **▲▼** ボタンで項目を選び、**決定** ボタンを押す



お知らせ

- 緑、青、赤ボタンは、「マルチ表示」画面、「シングル表示」画面、「スライド表示」画面で使用できます。「番組表」画面など別の画面では、ボタン機能が変わります。



カーソルを移動させて、画像を確認する

収録数

SDメモリーカードに記録されている画像の総枚数表示



青色の△▽マークを表示します。エラー表示
10枚以上の画像があるとき、黄色の△▽を表示します。
▲▼ボタンで表示送りをして見てください。

エラー表示
画像データが読み込めないなど小画像が表示できない場合に表示されます。

アクセス中表示

SDメモリーカードの読み込み中は「 アクセス中」が表示されます。このときにSDメモリーカードは抜かないでください。データが破壊される場合があります。

画像情報（カーソル位置の画像）

- No. ……画像番号（ファイルネーム）
 - 日付 ……画像がSDメモリーカードに書き込まれた日付
 - 画素数 ……原画の画素数（横×縦）
 - プリント枚数 …「ラボ・プリントサービス」などにプリントしてもらう枚数表示。本機では枚数の変更はできません。すでに設定されている枚数を表示します。
- ※画像データが読めないなど主画像が表示できない場合は、エラー表示されます。

お知らせ

- **元の画面** ボタンで「SD静止画再生」画面を消すことができます。
- サムネイル（小画面データ）のない場合は、マルチ表示できません。

画像を見る (シングル表示)

SDメモリーカードに入っている画像を1つずつ大きく表示させて見ることができます。横に向いた画像や上下反転した画像を回転させたり、拡大、縮小させることができます。

まず、69、70ページの操作で「シングル表示」画面にする。

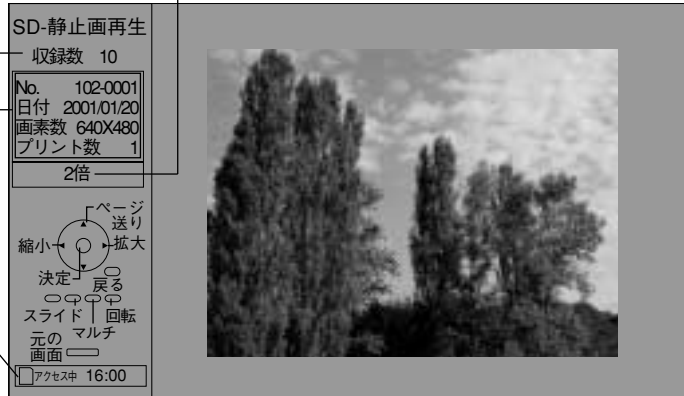
押し、画像を切替える

SDメモリーカードに記録されている画像の総枚数表示

表示中の画像の倍率表示

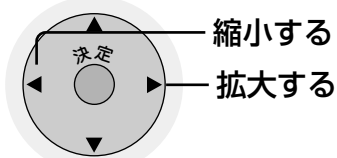
画像情報
(現在表示されている画像)
(71ページ)

アクセス中表示
(71ページ)



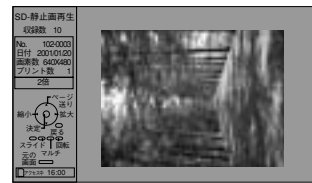
「SD静止画再生 (シングル表示)」画面

画像を拡大、縮小させる



- 「2倍」、「原寸」、「1/2倍」の切替えができます。

画像を回転させる



- 黄色ボタンを押すごとに、時計回りに90度ずつ回転します。



お知らせ

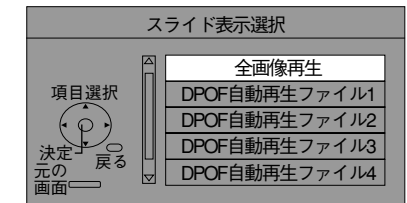
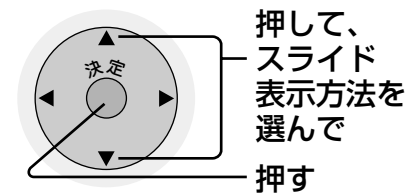
- ボタンで「SD静止画再生」画面を消すことができます。
- 拡大や縮小した画像を回転させると「原寸」で表示されます。

画像を見る (スライド表示)

SDメモリーカードに入っている画像を連続して見ることができます。

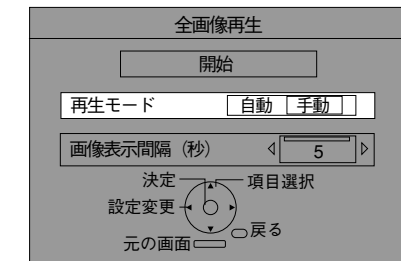
まず、69、70ページの操作で「スライド表示」画面にする。

- 1 SDメモリーカードに「DPOF自動再生ファイル*」が入っていない場合は、下記の画面は表示されません。手順②を行ってください。



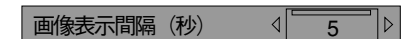
- 「全画像再生」を選ぶとすべての画像を「マルチ表示」画面の順番に表示されます。
- 「DPOF自動再生ファイル」が5個以上あるとき、黄色の△▽マークを表示します。▲▼ボタンで表示送りをしてください。

- 2 押し、「再生モード」を選び、切替える

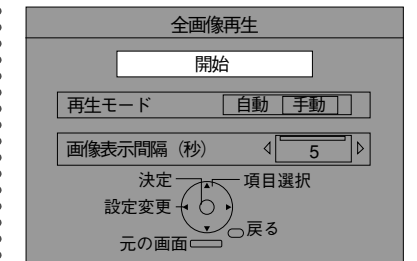


手動 …リモコンの▲▼ボタンを押すごとに画像が切替わる設定になります。

自動 …設定した時間間隔で自動的に画像が切替わります。画像表示間隔を下記の手順で変更することができます。



- 3 押し、「開始」を選び、押す



スライド表示が始まります

- 「再生モード」を「手動」に設定した場合は、▲▼ボタンで画像を切替えてください。

スライド表示を止めるには

- ボタンを押して、「表示方法選択」画面を表示させます。(70ページ) この場合、「スライド表示」を選ぶか、 ボタンで、スライド表示の再開ができます。

* DPOF自動再生ファイルとは
スライド表示のために画像を表示させる順番を記述したファイルです。本機では、このファイルを作成することはできません。

お知らせ

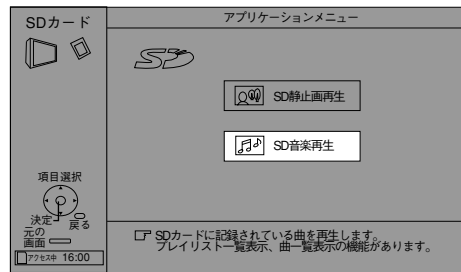
- 横に向いた画像は、「シングル」画面で、画像を回転させると、正常に表示させることができ、その設定でスライド表示されます。
 ボタンで「SD静止画再生」画面を消すことができます。

SDメモリーカードの音楽を聴く

SDメモリーカードに入っている音楽を再生することができます。

まず、69ページの操作で「SDカード」画面にする。

1 押して、「SD音楽再生」を選び、押す



2 押して、操作したい機能にカーソルを合わせ、押す

選択されているプレイリスト表示
 選択されている曲情報表示
 カースルで選択している機能名表示
 操作ボタン(下記参照)
 再生中表示
 アクセス中表示(71ページ)

状態表示

再生曲表示 曲番号 曲タイトル

曲選択 (75ページ)

「SD音楽再生」画面

操作ボタンについて

1つ前の曲へ 一時停止 停止

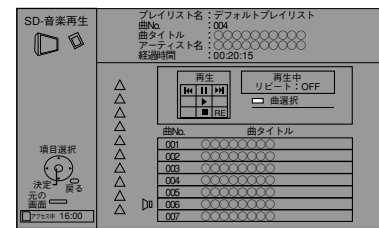
次の曲へ 再生 リpeat

リピートは押すごとに下記のよう
 に切り替わります。
 リpeat OFF → 1曲リpeat
 ↓ 全曲リpeat ↓



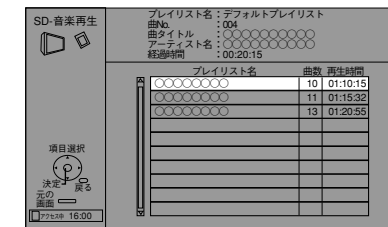
聞きたい曲を選んで再生する

1 押して、「曲選択」を選び、押す

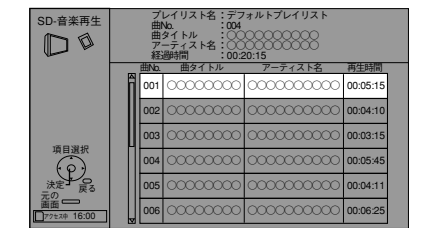


2 SDメモリーカードに「プレイリストファイル」が入っていない場合は、下記の画面は表示されません。手順③を行ってください。

押して、プレイリストファイルを選び、押す



3 押して、聞きたい曲を選び、押す



再生が始まり、手順①の画面が表示されます。

プレイリストファイルとは

- 再生する曲と順番を記述したファイルです。本機では、このファイルを作成することはできません。

お知らせ

- 戻る ボタンで1つ前の画面に戻すことができます。また、元の画面 ボタンで「SD音楽再生」画面を消すことができます。
- 画面に表示しきれない曲やファイルがあるとき、黄色の△▽マークを表示します。
▲▼ボタンで表示送りをして確認してください。

Lined writing area for page 76, consisting of 25 horizontal dashed lines.

Lined writing area for page 77, consisting of 25 horizontal dashed lines.

仕様

本 体		
品 番	TU-PH320	
種 類	プラズマディスプレイ用BS・110度CSデジタルチューナー	
使 用 電 源	AC100V±10V 50/60Hz	
消 費 電 力	48W 本体電源「切」時 0.06W リモコンで電源「切」時 0.2W (ただし機能待機時 約34W)	
受 信 チャンネル	VHF ch1~12 / UHF ch13~62 / CATV c13~c38 / BS 000~999 CSデジタル 000~999	
動 作 使 用 条 件	周囲温度: 0℃~40℃	
接 続 端 子	NTSC関連	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオ入力1~3 [S2映像 : 輝度・色信号分離(75Ω) 映像: 1Vp-p(75Ω) 音声 : 左・右 0.5Vrms] ● モニター出力 [S2映像 : 輝度・色信号分離(75Ω) 映像: 1Vp-p(75Ω) 音声 : 左・右 0.5Vrms] ※ビデオ入力1、コンポーネント(色差)ビデオ1~2、パソコン入力の信号はモニター出力しません。 お知らせ ● モニター出力のS2映像……「フル映像」出力のときはDC約5Vを重畳、 「ワイドクリアビジョン映像」出力のときはDC約2Vを重畳
	コンポーネント(色差)ビデオ関連	<ul style="list-style-type: none"> ● 入力1~2 [D4映像(Y: 1V [p-p] (75Ω)、Pb/Cb: 0.7V [p-p] (75Ω)、Pr/Cr: 0.7V [p-p] (75Ω)) 音声 : 左・右 0.5V [rms] ※ 入力信号(525i [480i]、525p [480p]、1125i [1080i]、750p [720p]) 自動切替式
	衛星関連	● BS・110度CS-IF入力(75Ω) 兼衛星アンテナ用電源(DC15V) 出力
	パソコン関連	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコン入力(マルチスキャン方式) * 対応周波数: 本機と接続するプラズマディスプレイに依存 映像(ミニD-sub15ピンコネクタ) 音声 左・右: 0.5Vrms (音声入力はビデオ入力3と共用)
	5.1CH音声モニター出力	● 音声モニター出力:(フロント左・右、センター、サブウーハー、サラウンド左・右):(0.5Vrms)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 光デジタル音声出力端子: -18dBm 660nm JEITA CP-1201準拠 ● モジュラー端子(電話回線): 2400bps、MNP4(着呼機能なし) ● i.LINK端子S200: IEEE1394準拠 ● Irシステム(Irシステムケーブル[付属品]用) ● ヘッドホン/イヤホン(16~32Ω推奨) ● ディスプレイ信号出力(専用端子) 	
外 形 寸 法	横幅43.0cm 高さ9.9cm 奥行30.9cm	
質 量	5.5kg	
キャビネット材質	前面: スチロール樹脂、その他: スチール(鉄板)	

リモコン (品番 EUR7610Y30)	使用電源	DC3V(単4形乾電池2コ)	リモコン 操作距離	約7m以内(プラズマディスプレイ正面距離)
	質 量	約160g(乾電池含む)		約5m以内(受光部左右30°以内)

本機を使用できるのは、日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品 番	TU-PH320
	販売店名	☎ () —		

ID番号	カードID (B-CASカード番号)
A編: 7ページに記載の「インフォメーション」画面の「B-CASカード」、 「ID表示」で確認できる「カードID」と「デコーダーID」の番号 を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。	デコーダーID

松下電器産業株式会社 PDP事業グループ
〒569-1194 大阪府高槻市幸町1番1号 ☎(0726)82-6647
© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) 2002

M0502-0

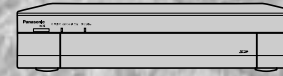
この取扱説明書はエコマーク認定
の再生紙を使用しています。

Panasonic

プラズマディスプレイ用

業務用 BS・110度CSデジタルチューナー 取扱説明書

品番 TU-PH320



B

本機の使い方

編

ふだん本機をお使いに
なるときの説明です

basic

上手に使うって上手に節電

保証書別添付

- 取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

安全上の
ご注意

本機の
楽しみかた

各部の
なまえ
とほたらき

テレビを
見よう

便利機能
を使おう

拡大画面の
使い方

見やすい
映像にしよう

聞きやすい
音にしよう

本機を
上手に
使うために

もくじ

- このたびは、パナソニック BS・110度CSデジタルチューナーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この説明書と別冊の「設置／接続と設定」、「衛星デジタルの応用／機器操作」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ご使用前に、4～9ページの安全上のご注意を必ずお読みください。
- 説明書は、目的の内容がすぐ見つかるよう、分冊にしています。各説明書の主な内容は、表紙に書いてあります。



本機の使い方 (B編) BasicのBです

- ふつうのテレビとして使いたい
- 画質や音質を調整したい
- タイマーで電源を切りたい
- ワイド画面の使い方が知りたい
- 思い通りにならないとき／故障かな?と思うとき



設置／接続と設定 (C編) ConnectionのCです

- はじめて本機を設置するとき
- 外部機器を接続したい
- 設置場所を変えたい
- 各種の設定を変更したい

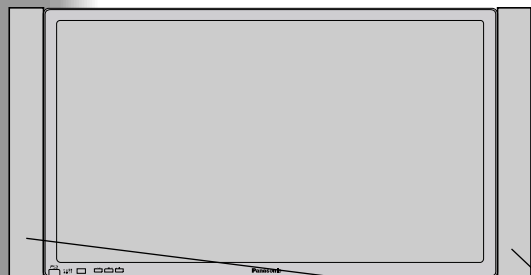
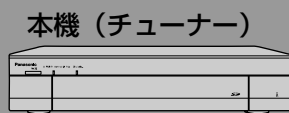


衛星デジタルの応用／機器操作 (A編) ApplicationのAです

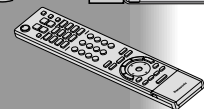
- 番組表を見たい
- 番組を予約したい
- 番組を検索したい
- 有料番組が見たい
- 視聴条件の設定について
- i.LINKについて
- SDメモリーカードについて

本機はプラズマディスプレイ専用チューナーです。

プラズマディスプレイ (別売)



組み立て、接続の方法は別冊のC編：4ページを参照ください。



スピーカー (別売)

安全上のご注意

4ページ～

各部のなまえとはたらき

12ページ～

<各部の基本説明>

- リモコン各部のなまえ ……………12
- リモコンのメニューボタンについて ……12
- ディスプレイ ……………16
- 本体前面操作部 ……………16
- 本体背面端子部 ……………18

便利機能を使おう

32ページ～

- 放送内容などを知りたいとき ……………32
- 一時的に音を消したいとき ……………32
- タイマーで自動的に電源を切る ……………32
- テレビ放送終了時、自動的に電源を切る…33
- 長時間、操作をしなかったとき、自動的に電源を切る ……………33

見やすい映像にしよう

42ページ～

- 最適な画質を選ぼう (映像メニュー) ……42
- 映像メニューの内容を調整したいとき …43
- 画質をプロ級に調整しよう (テクニカル調整)…44
- 映像のざらつき感を少なくする (NR) …45
- ビデオなどの映像が不自然に見えるとき (3次元Y/C分離) ……………45

聞きやすい音にしよう

46ページ～

- 最適な音質を選ぼう (音声メニュー) ……46
- 音声メニューの内容を調整したいとき …47
- 音声多重放送を聞く ……………48
 - ・2カ国語 (二重) 放送の副音声を聞くとき…48
 - ・ステレオ放送で雑音があるとき ……48
 - ・衛星デジタル放送の音声信号を切換えるとき …49

本機の楽しみかた

10ページ～

テレビを見よう

22ページ～

- 地上放送 (VHF/UHF) を楽しむ ……………22
- パソコンを使う ……………23
- ビデオなどの外部機器を楽しむ ……24
- D-VHSビデオデッキ (当社製) を楽しむ…25
- 衛星 (BS/110度CS) デジタル放送を楽しむ ……………26
- SDメモリーカードで画像や音楽を楽しむ…30

拡大画面の使い方

34ページ～

- 自動で拡大画面にする場合 ……………34
- 映像に合わせて拡大画面を選ぶ場合 ……35
- 画面の位置やサイズを調整する ……………36
 - <テレビ画面やビデオ入力するとき>
 - ・画面の幅を切替える ……………36
 - ・画面の縦サイズを変える ……………36
 - ・画面外にはみ出た映像を見る ……………36
 - <パソコン入力画面のとき>
 - ・最適な映像を選ぶ ……………39
 - ・好みの画質に調整する ……………39
 - ・テクニカル調整 ……………39
 - ・画面の位置や大きさ (サイズ) の調整 …40
 - ・クロック位相合わせ ……………40
 - ・最適な音質を選ぶ ……………41
 - ・好みの音質に調整する ……………41
 - ・コンサートホールの臨場感を楽しむ …41
 - ・パソコン画面を安定させる ……………41

本機を上手に使うために

50ページ～

- 故障かな!? ……………50
- メッセージ表示一覧 ……………55
- アイコン一覧 ……………56
- お手入れ／上手な使い方 ……………58
- How to Use ……………59
- 総合索引 ……………60
- 保証とアフターサービス ……………62
- 仕様 ……………裏表紙



安全上のご注意
本機の楽しみかた
各部のなまえとはたらき
テレビを見よう
便利機能を使おう
拡大画面の使い方
見やすい映像にしよう
聞きやすい音にしよう
本機を上手に使うために

安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

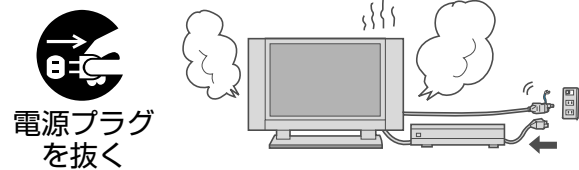
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告

異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。

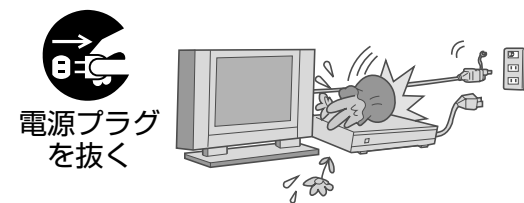
そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

■故障(画面が映らない、音が出ないなど)や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！
電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください。



煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

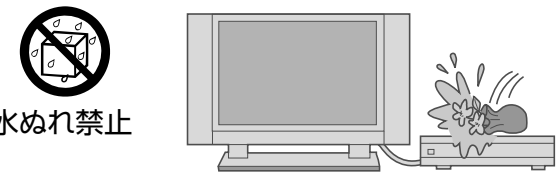
■内部に異物や水などが入ったり、本機を落としたり破損したら、電源プラグを抜く！



●表紙および4ページ以降のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

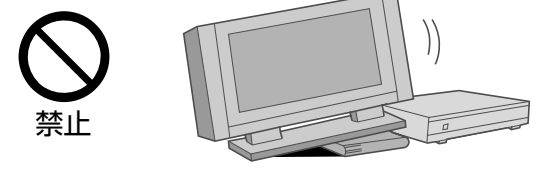
警告

■上に水などの入った容器を置かないでください



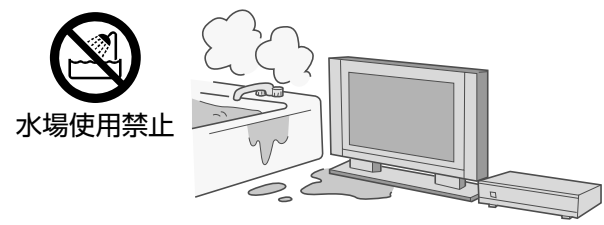
水ぬれ禁止
水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器。)

■不安定な場所に置かないでください



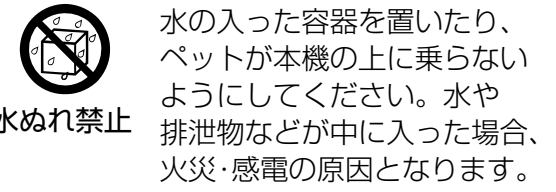
ぐらついた台の上や傾いた所など倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■風呂場、シャワー室では使用しないでください



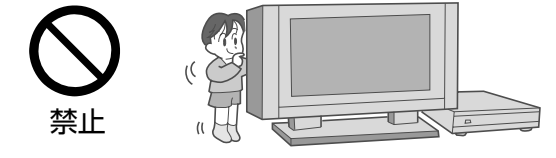
火災・感電の原因となります。

■水が入ったり、ぬらしたりしないようにしてください



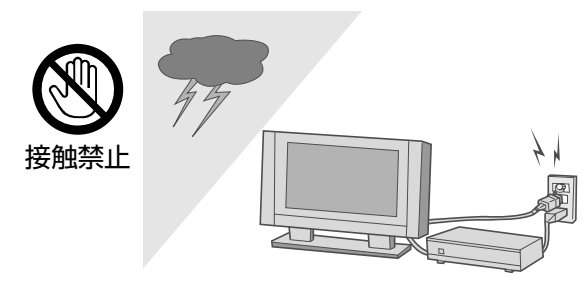
水ぬれ禁止
水の入った容器を置いたり、ペットが本機の上に乗らないようにしてください。水や排泄物などが中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■異物を入れないでください



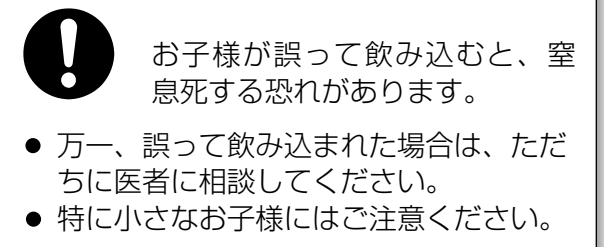
禁止
通風孔やB-CASカード挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。また、小さな金属物(釘、針、ヘアピン、クリップなど)を上に乗らないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。
●特にお子様にはご注意ください。

■雷が鳴りだしたら本機やケーブルには触れないでください



感電の原因となります。

■デジタル音声出力(光)端子のカバーは幼児の手の届かないところへ保管してください



！ お子様が悪く飲み込むと、窒息死する恐れがあります。
●万一、誤って飲み込まれた場合は、ただちに医者に相談してください。
●特に小さなお子様にはご注意ください。

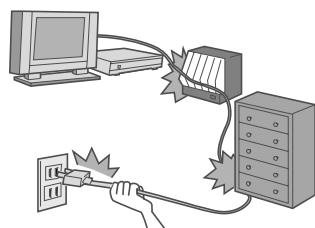
警告

電源コードについて

■電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください



禁止



傷つけたり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたりねじったり、引っばったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外では使用しないでください



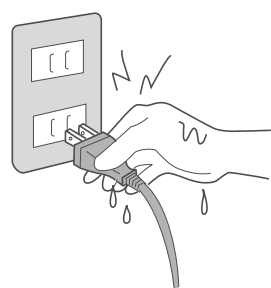
禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

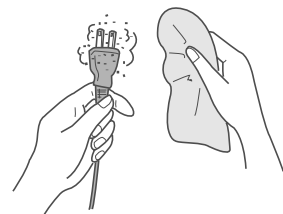


ぬれ手禁止



感電の原因となります。

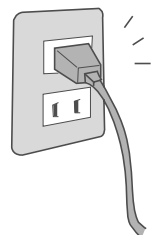
■電源プラグにほこりが付着しないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください



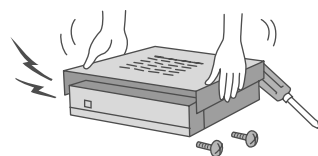
差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ケースを外したり、改造したりしないでください。



分解禁止



また、内部に触れないでください。火災・感電の原因となります。

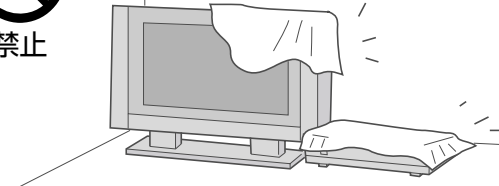
- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

注意

■本機の通風孔をふさがないでください



禁止



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

- 壁から5cm以上の間隔をおいて据えつけてください。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■接続ケーブルを引っばったり、ひっかけたりしないでください



禁止

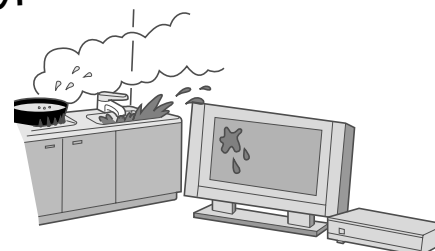
倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください

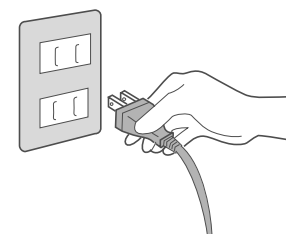


禁止



調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください



コードを引っばったり、はさみやペンチで切ったりしないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

■接続ケーブルの処理は確実に行ってください

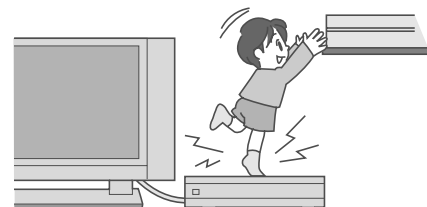


ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされると、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

■本機に乗らないでください



禁止



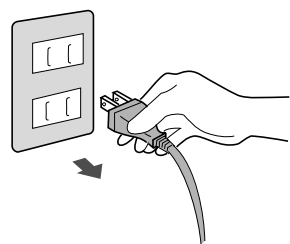
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、小さなお子様にはご注意ください。

■長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグを抜く



電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■移動させる場合は、接続線ははずしてください



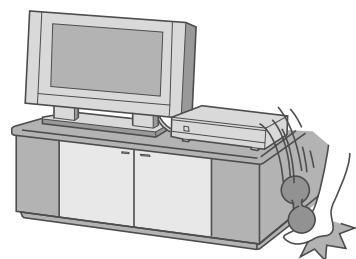
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線ははずしたことを確認のうえ、行ってください。
- 本機に衝撃を与えないでください。

■上に重い物を置かないでください



禁止



バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

■電池を入れるときには、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意してください



機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください



禁止

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お手入れについて

■1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください

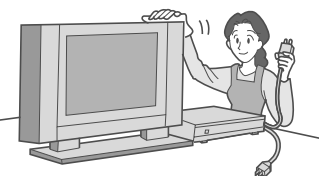


内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

■お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグを抜く



感電の原因となることがあります。

アンテナについて

■アンテナ工事には、技術と経験が必要です



販売店にご相談ください。

- 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- BS、CS放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

ふつうのテレビとして楽しむ

操作方法是この冊子をご覧ください



- 今までお使い慣れたテレビと同様の操作で、地上波放送がご覧になれます。
- 衛星デジタル放送をふつうにご覧になりたいときも、今までのテレビに近い感覚でご覧になれます。
- 一般的な画質調整機能に加え、さらに細かい調整が可能です。
- 豊富な音声調整機能により、音楽好きな方からちょっと聞きづらいと思われるお年寄りの方まで、お好みの調整が可能です。
- むだな明るさをおさえることで消費電力をひかえめにする機能や、「オフタイマー」、「無操作自動オフ」、「無信号自動オフ」などの省エネに役立つ設定ができます。

本機ご使用にあたっての留意

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

最新のデジタル端子対応機器を接続して楽しむ

接続方法はこの冊子(C編)をご覧ください
※接続機器の取扱説明書もご覧ください



■ D端子を装備

本機は、D4映像入力端子を装備しています。コンポーネントビデオ出力端子付きの機器を接続すると、高画質な映像をお楽しみいただけます。

D端子の種類と対応できる映像信号

信号 端子	525i (480i)	525p (480p)	1125i (1080i)	750p (720p)
D1	○	×	×	×
D2	○	○	×	×
D3	○	○	○	×
D4	○	○	○	○

■ i.LINK端子を装備

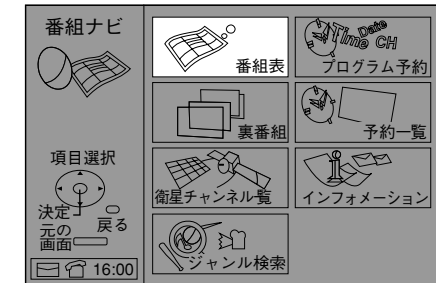
i.LINK対応の当社製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムを接続すると、本機のリモコンで基本的な操作が行えます。また、D-VHSビデオデッキへの録画予約が簡単に行えます。

■ AAC5.1チャンネル出力可能な光デジタル音声出力端子を装備

光デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器と接続して、高品位の音声がお楽しみいただけます。また本機は衛星デジタル放送の音声(AACフォーマット)をそのまま出力することもできます。さらに、本機はAACデコーダーを内蔵しているため、マルチステレオ放送の番組では、5.1チャンネル音声入力端子付きAVアンプに接続するだけでも臨場感のある音声をお楽しみいただけます。

衛星デジタル放送やi.LINK対応機器、SDメモリーカードに関連する色々な機能を楽しむ

接続方法はこの冊子(A編)をご覧ください



各選択画面(番組ナビや番組表など)では、▲▼▶ ボタンで項目を選び、決定ボタンを押すことにより、ご希望の画面に切り替わります。

■ 衛星デジタルハイビジョン放送に対応

本機は、衛星デジタルハイビジョン放送に対応しています。また、衛星デジタル放送で放送される衛星テレビ放送や、衛星データ放送、衛星ラジオ放送などのサービスにも対応しています。

■ EPG(電子番組ガイド)機能

衛星デジタル放送の番組表を新聞のテレビ欄のように最大8日間まで表示できます。また、チャンネル一覧やジャンル別に表示できる機能もあり簡単に選局できます。

■ 視聴制限設定機能

視聴年齢制限付き番組に対する視聴可能年齢の設定とPPV(ペイ・パー・ビュー)などで一度に購入できる上限金額の設定ができます。

■ 字幕表示機能

字幕付きの番組を選局した場合は、字幕の表示ができます。

■ i.LINK

当社製i.LINK対応D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムを接続すれば、本機のリモコンで基本的な操作ができます。

■ アイコン情報(シンボルマークによる情報)表示

番組の視聴制限や信号の種類、予約内容、メールの有無など各画面において有効なアイコンが表示されます。

■ Irシステム

付属のIrシステムケーブルを使用すると、ビデオデッキなどへの録画予約が簡単にできます。Irシステムに対応できる機器についてはC編:56ページをご覧ください。

■ ダウンロード機能

衛星から送られてくるダウンロードデータを本機に取り込む機能があります。

■ SDメモリーカード

SDメモリーカードにあらかじめ入っている画像データを見たり、音楽データを聞くことができます。

商標について

- i.LINKとi.LINKロゴ"i"は、ソニー株式会社の商標です。
- D-VHSは、日本ビクター株式会社の登録商標です。
- SDロゴは商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

リモコン各部のはたらき

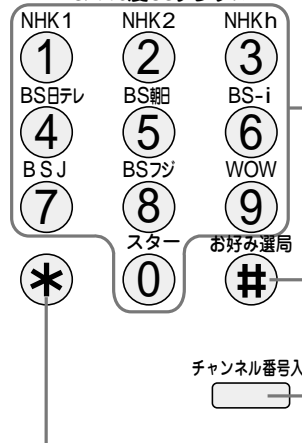
各部のなまえ
とはたらき

リモコン操作表示ランプ

リモコンボタンを押すと点滅します。
電池が消耗すると暗くなります。(電池交換の目安に)

地上波放送のチャンネルを直接選ぶ

BS/110度CSデジタル



衛星デジタル放送の「プリセット選局」や「番号入力選局」などの数字入力に使用します。

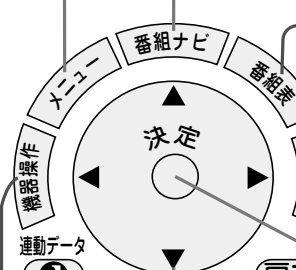
お好み選局の画面を呼び出したり「暗証番号」や「郵便番号設定」で入力した数字の最後の桁を1つずつ消すことができます。

衛星デジタル放送を「番号入力選局」するとき

衛星デジタルのデータ放送で、画面に指示がある場合に使います。

メニュー画面を出す

衛星デジタル放送のとき、各機能の操作



衛星デジタル放送のとき、番組表を表示する

現在選局中または選択中の衛星デジタル放送の「番組内容」画面を表示

各種選択や調整項目を決定する

各種の選択や調整・設定などで、1つ前の画面に戻りたいとき

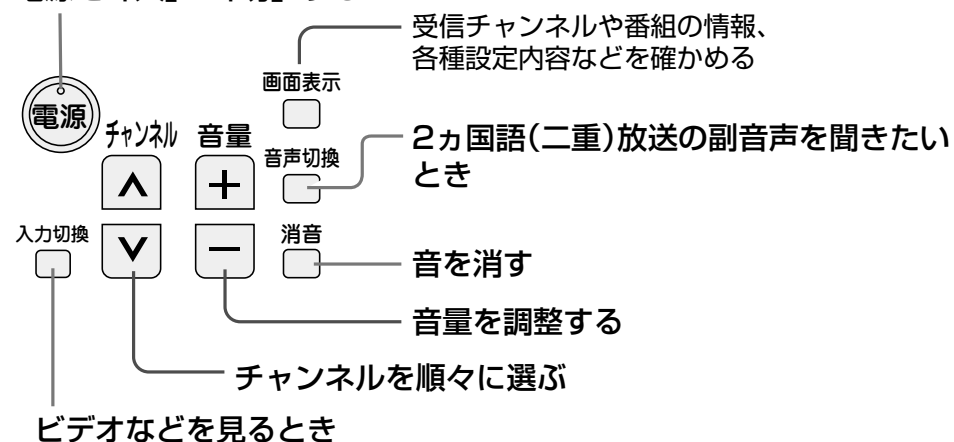
画面で確認しながら、各種の選択や調整・設定に使う

衛星テレビ放送や衛星ラジオ放送に付加して放送されるデータ放送画面を表示する

i.LINK接続した当社製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムの操作パネルを表示する

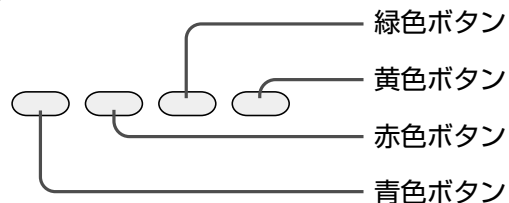


テレビ本体の電源が「入」状態で、電源を「入」・「切」する



地上波 (U/V) 放送と衛星 (BS/110度CS) デジタル放送の切り替えに使用します。

衛星デジタル放送サービスを切り換える時に使用します。(選局チャンネルは各サービスごとに記憶します。)



「番組表」画面などで番組表を表示させる日付の切替えや、衛星データ放送時、画面に各色ボタンが使用できる表示があるときなどに使用できます。

地上波放送のとき

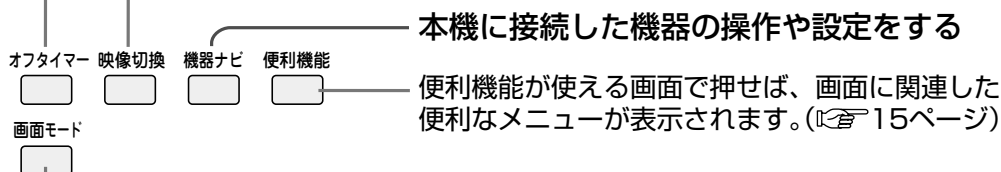
●メニュー表示などの状態から、地上波放送の画面に戻ります。

衛星デジタル放送のとき

●メニュー表示、番組表などの状態から、衛星デジタル放送の画面に戻ります。

タイマーで自動的に電源を切る

衛星デジタル放送で複数の映像が有る番組や、マルチビュー放送の場合に、他の映像に切り換えることができます。



本機に接続した機器の操作や設定をする

便利機能が使える画面で押せば、画面に関連した便利なメニューが表示されます。(15ページ)

拡大画面の種類を選ぶ

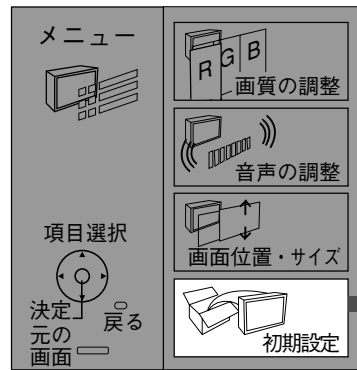
リモコンのメニューボタンについて

メニューボタンは本機の各種調整や設定機能を操作する入口です。

1 押すとメニュー画面が出ます。画面で確認しながら設定や調整ができます。

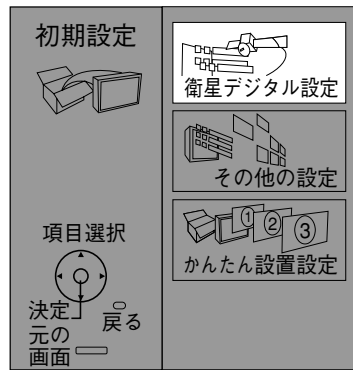
2 押して、設定したい項目を選び、中央の決定ボタンを押す

押して、設定したい項目を選び、中央の決定ボタンを押す



「メニュー」画面

- 「画質の調整」画面
映像、色の濃淡や明暗を調整するとき
([P.42~44](#)ページ)
- 「音声の調整」画面
音声やバランスなどを調整するとき
([P.46、47](#)ページ)
- 「画面位置・サイズ」画面
画面位置や画面サイズを調整するとき
([P.36~41](#)ページ)



「初期設定」画面

- 「衛星デジタル設定」画面
衛星デジタル放送の各設定や調整するとき
([P.C編：34](#)ページ)
- 「その他の設定」画面
テレビの使用環境に関する各種設定をするとき
- 「かんたん設置設定」画面
ひっこしなどで設置場所が変わったときや、本機の設定を最初からやり直したいとき
([P.C編：6](#)ページ)



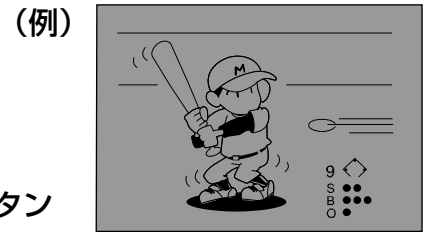
便利機能マーク (便利機能) について

この説明書で便利機能マークを付けているところは、この画面で便利機能ボタンを押せば、便利機能メニューが表示されます。便利機能メニューはボタンを押した画面から便利なメニューが表示されます。

1 押す



2 項目を選び、中央の決定ボタンを押す



- 便利機能メニューの中には◀▶ボタンで切替える項目もあります。

お知らせ

- 便利機能メニューを消したいときは、再度便利機能ボタンを押します。

お願い

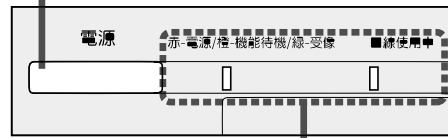
- 便利機能メニューはさまざまな画面から利用できますが、この説明書に記載の操作方法を十分に習得してから便利機能メニューを活用してください。

各部の基本説明

本体前面操作部

電源の「入」・「切」をする

- 「切」にすると、電源ランプ表示が消え、リモコン操作ができません。
- ディスプレイ側の電源ランプは赤色になります。



本機およびディスプレイ部の電源ボタンで電源「入」のときの

■ 電源ランプについて

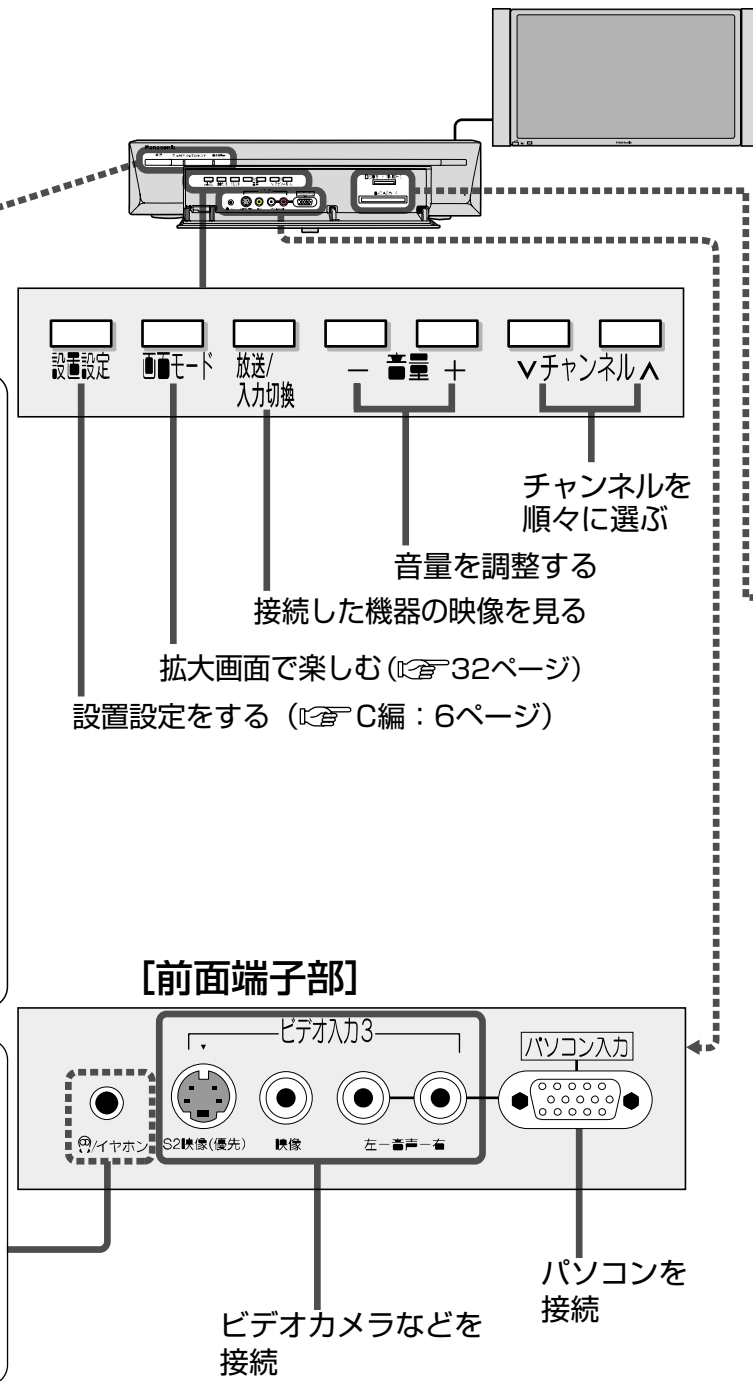
- リモコンで電源を切る …… 赤色
- リモコンで電源を切っている状態で…
 - i.LINK待機を「する」にしているとき (C編：61ページ) …… 橙色
 - 自動的にダウンロード中、情報の受信中、視聴記録の送信中 (通常、深夜から早朝)、予約録画が実行中のとき
- リモコンで電源を入れる …… 緑色

■ 回線使用中ランプについて

- 電話回線に接続時 …… 赤色
- 本機から電話回線を通じて通信を行うと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。

M3プラグ専用

- ヘッドホン (ステレオ) または イヤホン (モノラル)
- イヤホンの場合は2カ国語 (二重) 放送で、「主+副」を選ぶと「主」音声聞こえます。
※ 接続するヘッドホン/イヤホンにより音量・音質に差があります。



カード挿入部

B-CASカード挿入口

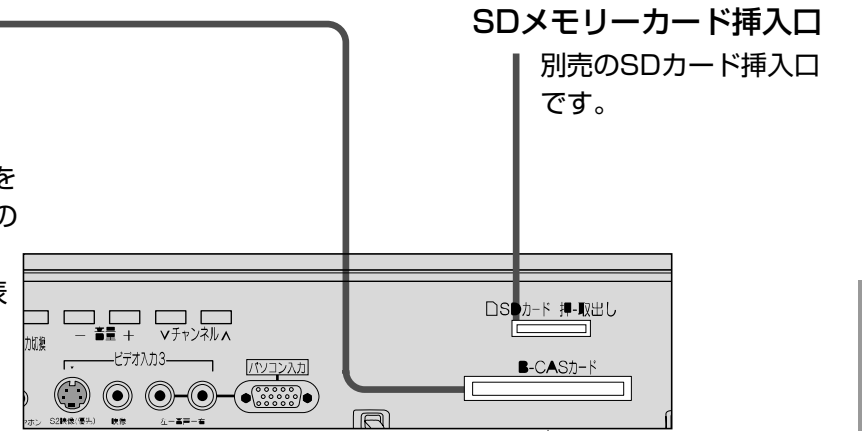
付属のB-CASカードを挿入します。

SDメモリーカード挿入口

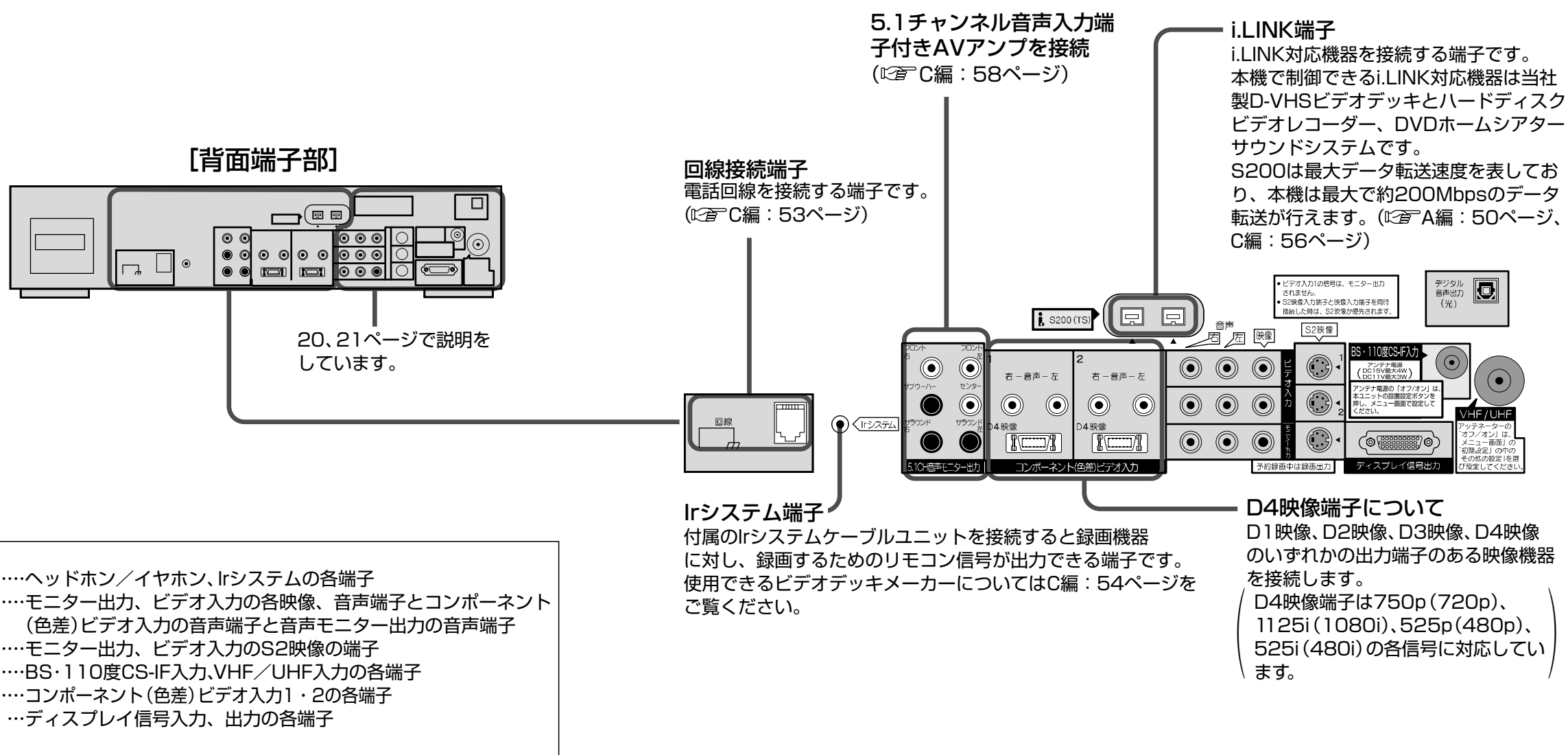
別売のSDカード挿入口です。

お知らせ

- B-CASカードを挿入前に必ず本機の電源を「切」にし、C編：52ページをよくお読みのうえお取り扱いください。
- カードの挿入前に、この取扱説明書の裏表紙にカード番号を記入してください。
- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。



各部の基本説明



お知らせ

● **コンポーネント(色差)ビデオ入力の接続について**

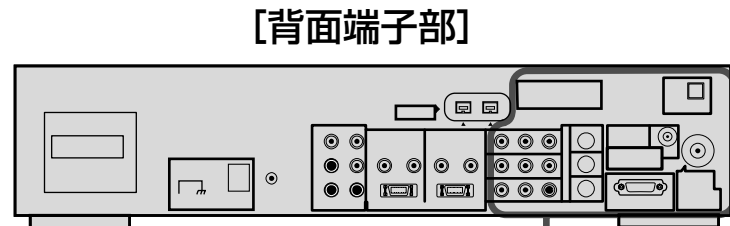
色同士の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号(緑系は3つの信号から自動算出)に分け、それぞれの専用回路で信号処理後、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像が楽しみなれます。

お知らせ

コンポーネント(色差)ビデオ入力について

- 入力信号は、750p(720p)、1125i(1080i)、525p(480p)、525i(480i)の各信号に対応しています。
- 525i(480i)信号は、機器によって、「Y、P_B、P_R」「Y、C_B、C_R」「Y、B-Y、R-Y」と表示されています。

各部の基本説明



【背面端子部】

デジタル音声出力(光) 端子

(C編: 59ページ)

デジタル音声の光出力端子です。

（使用する場合はカバーを外して光デジタルケーブル
（別売: RP-CA2010A<1m>）を接続してください。

※この端子を使わないときは、ほこりの付着を防止するため、
必ずカバーを装着しておいてください。

ビデオなどの映像機器を接続

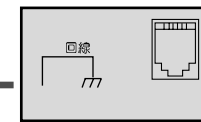
(C編: 55ページ)

衛星アンテナ線を接続

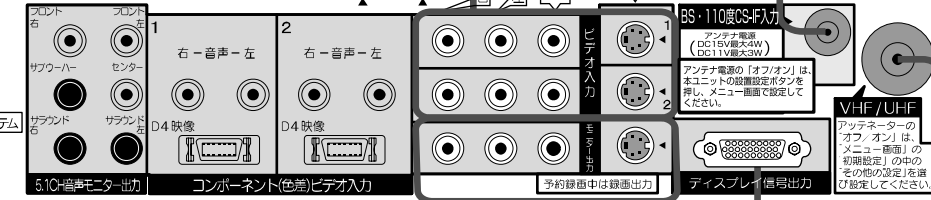
(C編: 50ページ)

•ビデオ入力の場合は、モニター出力
されません。
•S2映像入力端子と映像入力端子を同時
接続した際は、S2映像が優先されます。

デジタル
音声出力
(光)



LANケーブル



VHFまたはUHF アンテナ線を接続

(C編: 50ページ)

ディスプレイ部への 専用ケーブルを接続する

(C編: 4ページ)

本機で受信できるテレビ放送と、ビデオ入力2、3に接続した
各機器の映像と音声の信号を出力します。

- ビデオ入力1とコンポーネント(色差)ビデオ入力1~2の
信号およびパソコンの信号は出力しません。
- 予約録画中は、その予約録画チャンネルの映像・音声を出力
します。
- 「S2映像」端子はビデオ入力2、3の「S2映像」に入力した
信号と衛星デジタル放送の信号を出します。(地上波放送
は出力しません)

●ID-1 検出機能について

ビデオ入力1~3の「映像」端子やS2映像端子、およびコンポーネント(色差)
ビデオ入力(525i又は525p信号)にID-1対応機器を接続したとき、ID-1検
出が働くと、縦長映像は「フル」画面に、横長映像は「ワイド」画面になります。

お知らせ

●S2映像端子の機能について

S映像、S1映像にも対応します。(音声コードは同時に接続してください。)

S映像……良い画質を得るため映像信号を輝度信号と色信号に分離したもの。

S1映像 ……S映像の機能に加え、ワイドテレビ対応ビデオなどからの縦長映像は「フル」画面になります。

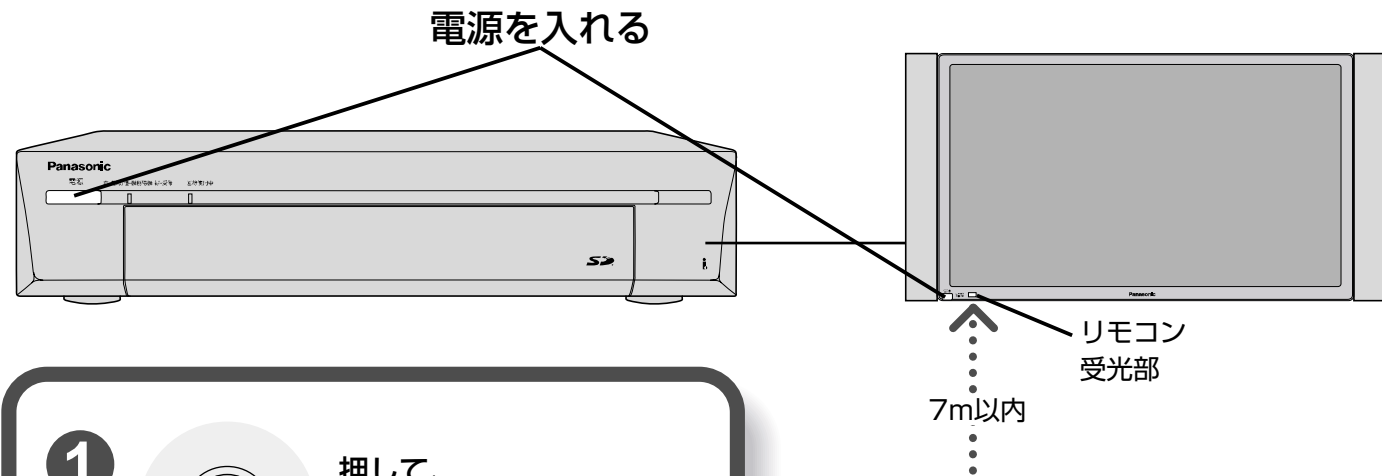
S2映像 ……S映像とS1映像機能に加え、ワイドクリアビジョン映像の場合は「ワイド」画面になります。

●接続端子の優先について

「S2映像」と「映像」端子は「S2映像」が優先します。(同時接続時)

地上放送(VHF/UHF)を楽しむ

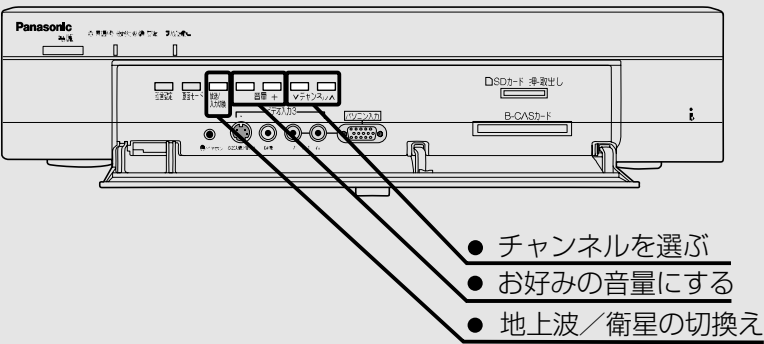
パソコンを使う



- 1 押して、テレビをつける
- 2 見たいチャンネルを選ぶ
- 3 押して、お好みの音量にする

- お知らせ**
- 電源を切っても…
チャンネルや音量などは記憶されます。
 - 音量を下げると…
消費電力や音のひずみが少なくなります。

リモコンが使えないとき



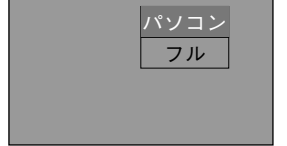
まず、お確かめください

- 1 **パソコンを接続する**
音声の入力は前面の「ビデオ入力3」の音声端子に接続（本機の前面扉内）



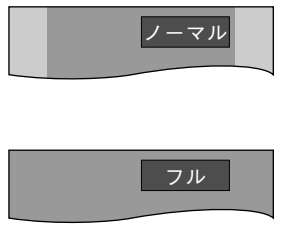
パソコンを使う

- 1 **入力切換**
何回か押して、「パソコン」の画面に切替える
 - 「パソコン」画面に切替わらない場合は、入力スキップの設定確認してください。（C編：31ページ）



- 2 **パソコンを操作する**
■ 画面のサイズを切替えるときは

画面モード 押すごとに「ノーマル」、「フル」が切替わります。



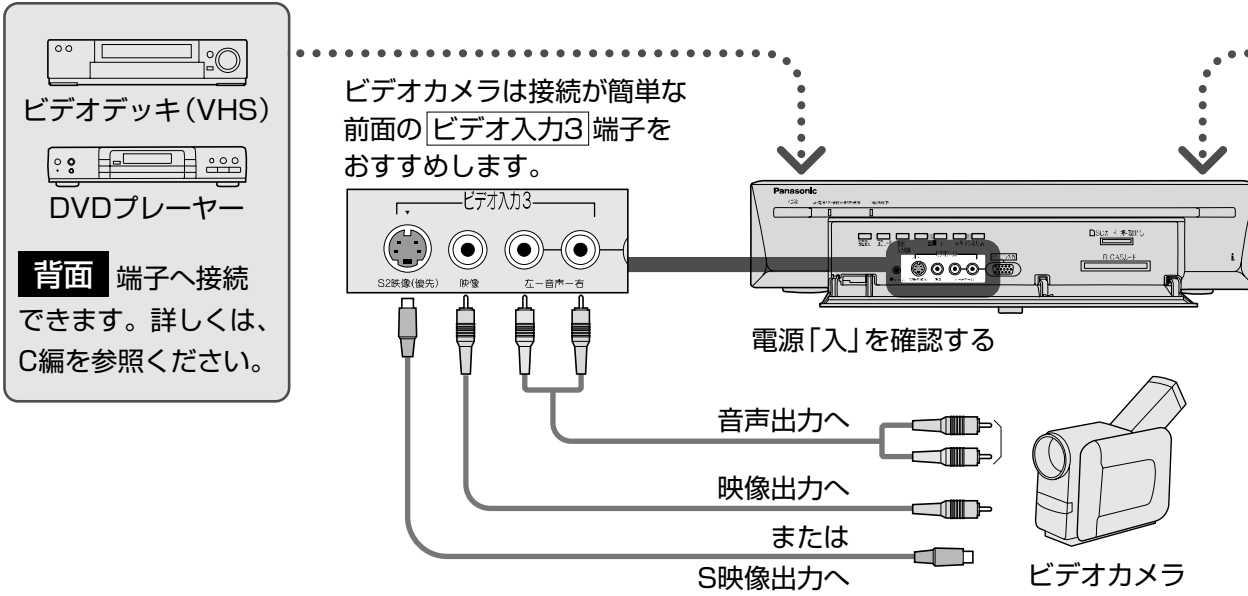
- お知らせ**
- モノラル音声の場合は「左」の端子に接続してください。左右スピーカーから同じ音声が出力されます。
 - パソコンの接続はC編：60ページをご覧ください。
 - 静止画を長時間映すと、プラズマディスプレイパネルに映像の焼き付き（残像現象）を起こす恐れがあります。

ビデオなどの外部機器を楽しむ

D-VHSビデオデッキなどのi.LINK機器を楽しむ

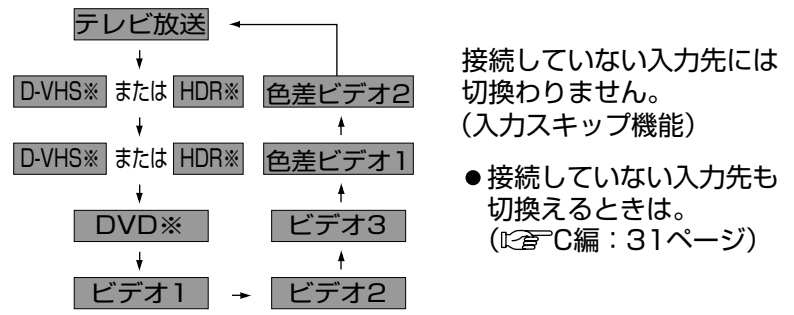
画面上に操作パネルを表示し、本機のリモコンで、D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムの基本的操作ができます。(当社製D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムのみ)

まず、接続を確認する



1 **電源** テレビをつける

2 **入力切替** 押すごとに
切替わります。



3 **接続機器を操作します。**

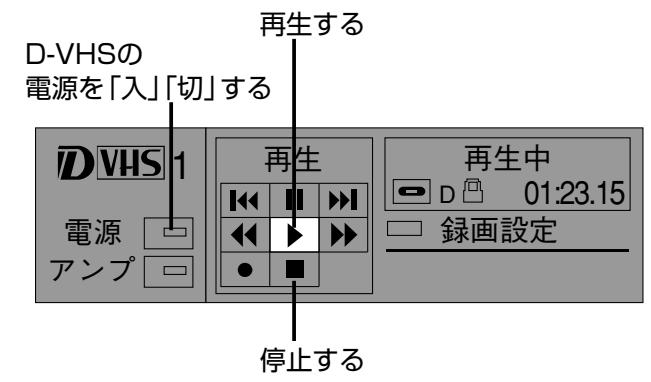
※は、現在選択されているi.LINK接続機器の
番号が表示されます。(A編：66ページ)

- お知らせ**
- S映像をS2端子に入力した場合は、「S-ビデオ」の表示をします。
 - 接続に合わせてビデオ入力やコンポーネント（色差）ビデオ入力の表示を書換えることができます。(C編：68ページ)
 - 本体の放送/入力切替ボタン操作時は「テレビ放送」が、「地上波」→「BS」→「CS1」→「CS2」の順に切り替わります。
 - ブラウン管の走査を利用した電子銃などのゲーム機器はプラズマディスプレイの構造上、使用できません。



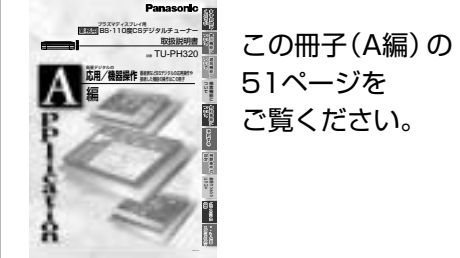
例 D-VHSのビデオデッキの場合

- 1** **電源** 押して、
テレビをつける
- 2** **機器操作** 何回か押して、
操作したい機器の
パネルを表示される



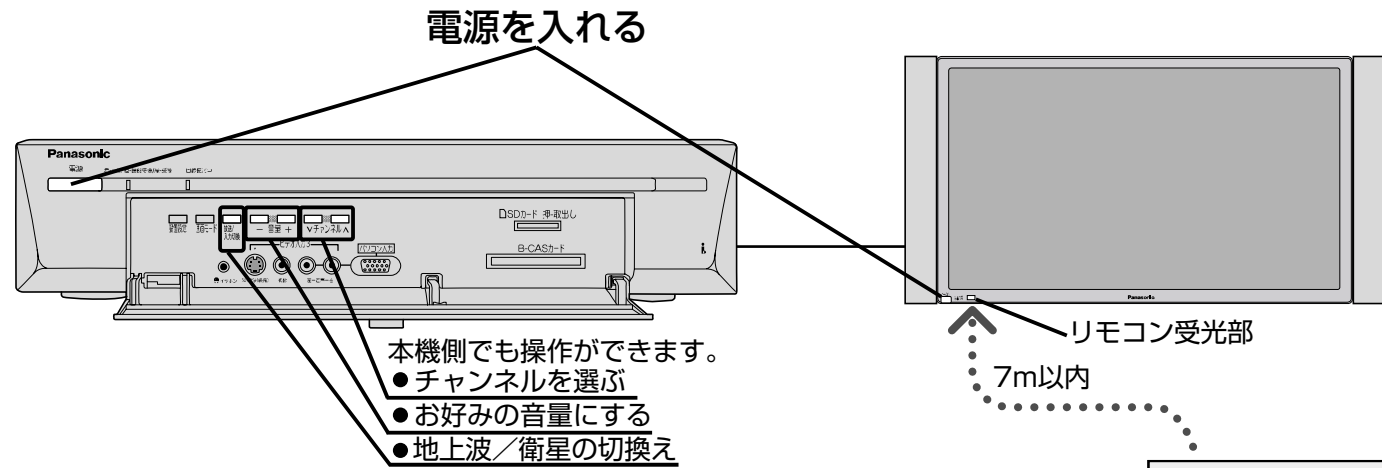
■機器操作パネルを消したいときは
戻る ボタンを押す

機器操作パネルのさらに詳しい説明やハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムについては



- お知らせ**
- D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダー、DVDホームシアターサウンドシステムを、機器操作パネルで操作する場合、i.LINK端子への接続(C編：56ページ)と、i.LINK接続設定(A編：66ページ)が必要です。

衛星(BS/110度CS)デジタル放送を楽しむ



プリセット選局

本機では、あらかじめ①～⑩ボタンにチャンネルを設定(プリセット)しています。直接①～⑩ボタンを押すと、設定されているチャンネルを簡単に選局できます。

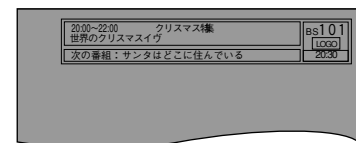
例 ①に設定されているBSデジタルのNHK(BS1)を選局する場合

1 電源ボタンを押して、テレビをつける

2 放送切換ボタンを押して、放送を「BS」に切り換える

3 ①ボタンを押す
選んだ番組によって、以降の操作が異なります。
●有料番組を選んだとき (A編: 20ページ)
●視聴制限の対象になる番組を選んだとき (A編: 37ページ参照)

4 音量ボタンを押して、お好みの音量にする



110度CSデジタル放送について

通信衛星 (Communication Satellite) を使って行う放送で、ニュース・映画・スポーツ・音楽などの専門チャンネルをメインにした放送です。

＜お問い合わせ先＞

プラットワン・カスタマーセンター

スカイパーフェクTV!2 カスタマーセンター

0570-001-012 (ナビダイヤル)
(携帯電話・PHSからはご利用になれません)
受付時間 10:00~20:00 (年中無休)

0570-088-222 (ナビダイヤル)
(または、045-339-0002)
受付時間 10:00~20:00 (年中無休)

順送りして選ぶ(アップダウン選局)



衛星デジタル受信中にチャンネル▲▼ボタンを押すと衛星チャンネルを順送りします。(BSのときはBS、CS1のときはCS1、CS2はCS2だけで順送りします。)

- 選んだチャンネルで放送中の番組によって、以降の操作が異なります。
- 有料番組を選んだとき (A編: 20ページ)
 - 視聴制限の対象になる番組を選んだとき (A編: 37ページ)

工場出荷時のプリセット設定 (放送曲名は実際の表示と異なる場合があります。)

BSデジタル放送		CS1デジタル放送		CS2デジタル放送	
①	101チャンネル NHK1 (NHK BS1)	①	001チャンネル スペースステリア (プロモCH)	①	100チャンネル マルチチャンネル エンターテイメント
②	102チャンネル NHK2 (NHK BS2)	②	999チャンネル 日本ビーエス放送	②	110チャンネル シーエス・ワンテン
③	103チャンネル NHKh (NHK ハイビジョン)	③	963チャンネル 日本メディアーク	③	123チャンネル シーエス映画放送
④	141チャンネル BS日テレ	④	011チャンネル シーエス日本	④	128チャンネル ハリウッドムービーズ
⑤	151チャンネル BS朝日	⑤	055チャンネル イービー放送	⑤	250チャンネル アクティブ・スポーツ・ブロードキャスティング
⑥	161チャンネル BS-i	⑥	900チャンネル メガポート放送	⑥	160チャンネル シー・ティ・ビー・エス
⑦	171チャンネル BSJ (BSジャパン)	⑦	700チャンネル スペースステリア	⑦	170チャンネル インタラクティブ・ヴィ
⑧	181チャンネル BSフジ	⑧	チャンネル	⑧	182チャンネル サテライト・サービス
⑨	191チャンネル WOW (WOWOW)	⑨	090チャンネル CS-WOWOW	⑨	194チャンネル シーエス九州
⑩	200チャンネル スター (スター・チャンネル)	⑩	チャンネル	⑩	190チャンネル 阪急電鉄

(予定: 2002年1月現在)

お知らせ

アップダウン選局は…

- 「衛星デジタル設定」画面の選局対象の設定により順送りするチャンネルが異なります。なお、順送りするチャンネルがない場合は選局できません。選局対象の設定についてはA編: 42ページをご覧ください。

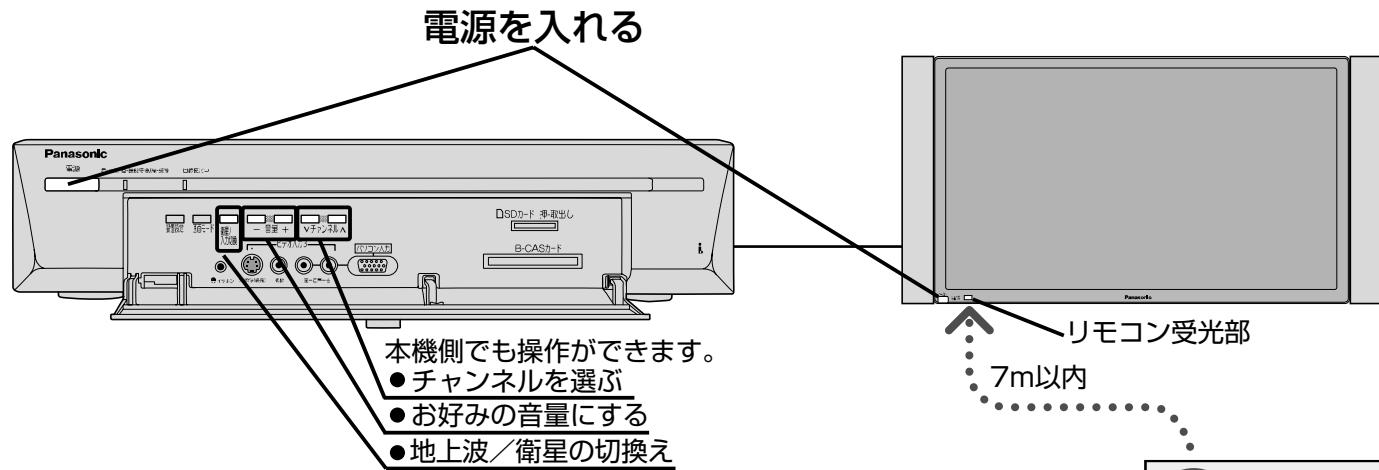
衛星デジタル放送を録画される時は…

- 録画予約をしてください。(A編: 22ページ)
- ご覧中の番組を録画する場合も録画予約をしてください。録画予約の操作をしませんと違ったチャンネルの番組が録画される場合があります。

お知らせ

- プリセットされているチャンネルは変更ができます。(C編: 42ページ参照)

衛星(BS/110度CS)デジタル放送を楽しむ



番号で直接選ぶ(番号入力選択)

選局したいチャンネル番号があらかじめ分かっている場合、3桁のチャンネル番号を入力して選局できます。

例 BSデジタルチャンネル番号101を選局する場合

- 1** 放送切換

押して、放送を「BS」に切り換える

BS → CS1 → CS2
↑ ↓
地上波

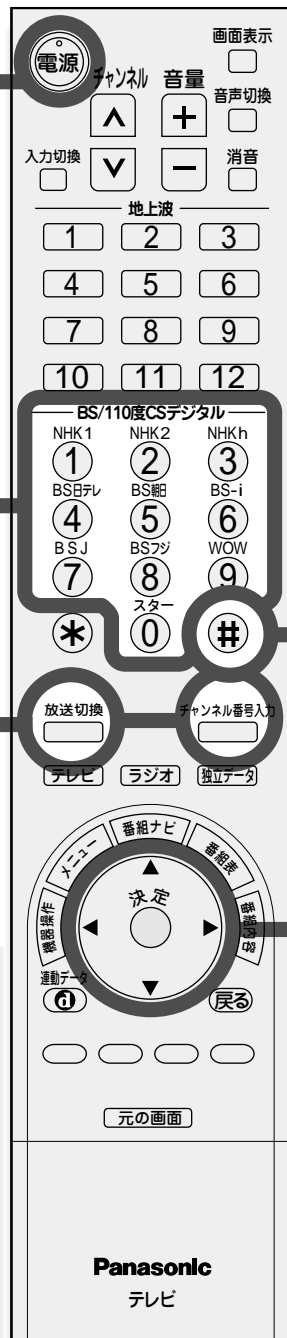
押すごとに切り換わります。
- 2** チャンネル番号入力

押す

「チャンネル番号入力」画面が表示されます。
- 3** 見たいチャンネルの番号を押す

約5秒以内に押す

約5秒以内に押す



お知らせ

- チャンネル番号を正しく入力しなかったときや約5秒以内につぎの番号を押さなかったときは、選局動作をしません。

お好み選局

出荷時にあらかじめ設定されているプリセットチャンネル(27ページ)や、A編15ページで設定したチャンネルを簡単に呼び出せます。

例 BSデジタルチャンネル番号181を選局する場合

- 1** 放送切換

押して、放送を「BS」に切り換える

BS → CS1 → CS2
↑ ↓
地上波

押すごとに切り換わります。
- 2** お好み選局

押して、「お好み選局」画面を出す

押すごとにページが切り換わります。(全3ページ)

(ページを戻すときは*ボタンを押す)

お好み選局			BS	放送表示
ページ 1 / 3				
①101	②102	③103		
LOGO	LOGO	LOGO		
④141	⑤151	⑥161		
LOGO	LOGO	LOGO		
⑦171	⑧181	⑨191		
LOGO	LOGO	LOGO		
* 終了	⑩200	# 次へ		
①~⑨ 選局				「お好み選局」画面
- 3** チャンネルを選び、中央の決定ボタンを押す

 - ①~⑨ ボタンで直接選ぶこともできます。

■戻りかた

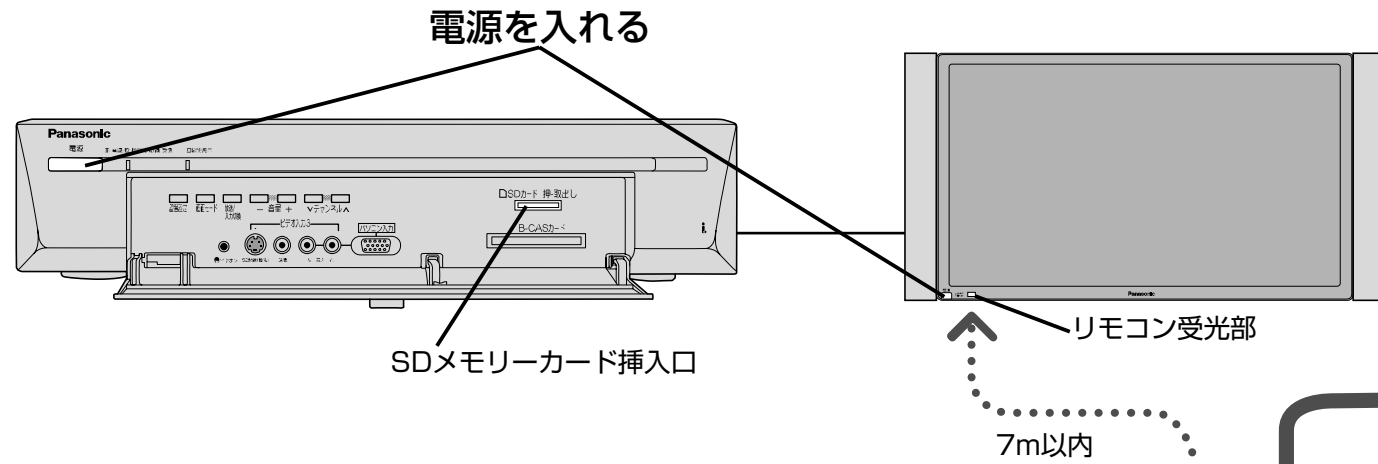
 - 1ページ目で*押すと「お好み選局」画面が消える
 - 元画面 押すとテレビ画面に戻る

お好み選局			BS	
ページ 1 / 3				
①101	②102	③103		
LOGO	LOGO	LOGO		
④141	⑤151	⑥161		
LOGO	LOGO	LOGO		
⑦171	⑧181	⑨191		
LOGO	LOGO	LOGO		
* 終了	⑩200	# 次へ		
①~⑨ 選局				例 ⑧「181」を選ぶ

お知らせ

- 「お好み選局」画面は、BSを見ているときはBS、CS1をみているときはCS1、CS2のときはCS2の「お好み選局」画面が表示されます。

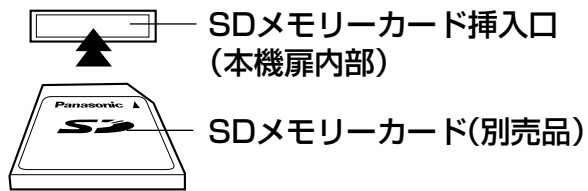
SDメモリーカードで画像や音楽を楽しむ



1 押して、テレビをつける

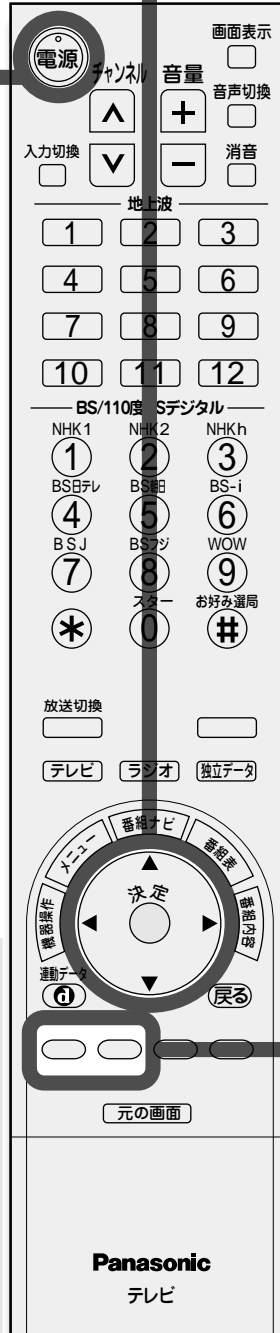


2 SDメモリーカードを入れる

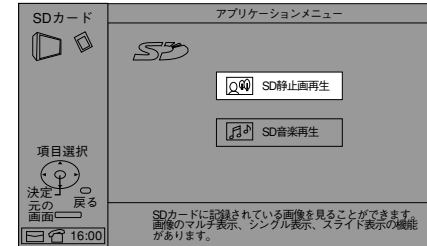


カードの表面(ラベル面)を上にして、挿入してください。

SDメモリーカードを挿入すると自動的に「SDカード」画面が表示されます。



3 押して、項目を選び、
押す

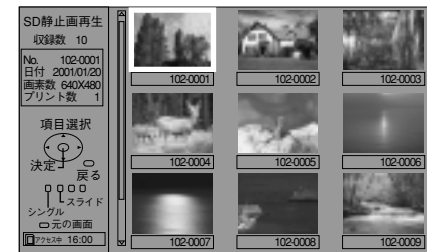


画像を見る場合は **SD静止画再生** を選ぶ

音楽を聞く場合は **SD音楽再生** を選ぶ

● SDメモリーカードに画像データや音楽データが記録されていない場合は選択できません。

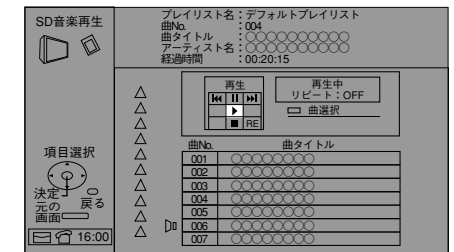
4 SD静止画再生



「マルチ表示」画面

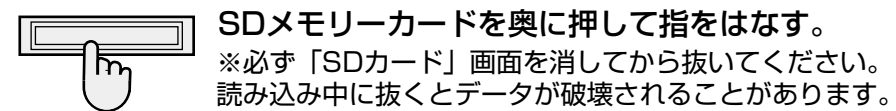
● 画像の表示方法には、他に2つあります。
「シングル表示」… 青ボタンを押す
「スライド表示」… 赤ボタンを押す

SD音楽再生



● ▲▼◀▶ボタンで ▶ を選び、
決定ボタンを押せば音楽の再生が始まります。

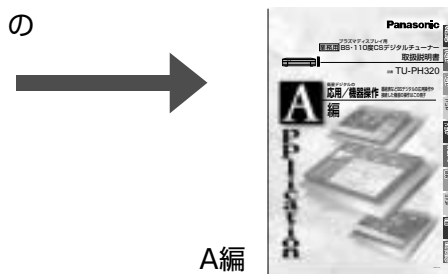
■ SDメモリーカードの抜きかた



■ 画面を消したいときは

元の画面 ボタンを押す

「SDメモリーカード」の
さらに詳しい説明は



この冊子(A編)の
68~75ページを
ご覧ください。

お願い

● SDメモリーカードからデータを読み込み中は、画面左下に「アクセス中」が表示されます。このときにSDメモリーカードは抜かないでください。データが破壊される場合があります。

「画面表示」「消音」「オフタイマー」について



放送内容などを知りたいとき「画面表示」

画面表示 押すとチャンネル番号やオフタイマー残り時間、画面モードの状態などの表示をします。最後はチャンネル番号が残り、表示を消すときもこのボタンを押します。(表示は約30秒後自動的に消えます。)

音声切換 (☞48ページ)

- チャンネル表示と放送内容
 - モノラル放送のとき…緑色
 - ステレオ放送のとき…黄色
 - 2カ国語放送のとき…赤色
- 画面モード (☞35ページ)
- 予約録画中のチャンネル (☞A編: 20ページ)
- GRの「オン」「オフ」 (☞C編: 25ページ)
- オフタイマーセット残り時間 (☞本ページ)

■衛星デジタル放送のときは
●番組タイトル、開始時刻、終了時刻などが表示できます。(☞A編: 12ページ)

一時的に音を消したいとき「消音」

電話応対や来客などのときに便利です。

消音 押すと画面に「消音」の文字が出て音が消えます。もう一度押すと解除されます。

●電源の「切」「入」や、音量を変えても解除されます。

タイマーで自動的に電源を切る「オフタイマー」

オフタイマー 押すごとに設定時間(分)が選べます。

オフタイマー 0 → 30 → 60 → 90 (分)

- 「0」表示にするとオフタイマーが解除されます。
- 電源が切れる3分前になると3、2、1と点滅表示の後、自動的に電源が切れます。
- オフタイマーの残り時間を知りたいときは **画面表示** ボタンを押します。

お知らせ

- オフタイマーをセット中に停電などで電源が切れると…停電が回復後オフタイマーは解除され、リモコンで電源を切った状態になります。

自動的に電源を切りたいとき (無信号自動オフ・無操作自動オフ)

- 「無信号自動オフ」
- 「入」にすると、テレビ放送が終了して電波が来なくなったときなど、約10分後自動的に電源が切れます。
- 「無操作自動オフ」
- 「入」にすると最後の操作から約3時間以上、リモコンや本体操作部で操作をしなかったとき、自動的に電源が切れます。

まず、14ページの手順で「その他の設定」画面にする。



例「無操作自動オフ」の設定をする場合

押して、「無操作自動オフ」を選び

押して、設定する

押して、終了する

無操作自動オフ 切 入

無操作自動オフ 切 入

●「その他の設定」画面は3ページ構成です。

で項目を送ると自動的にページが変わります。

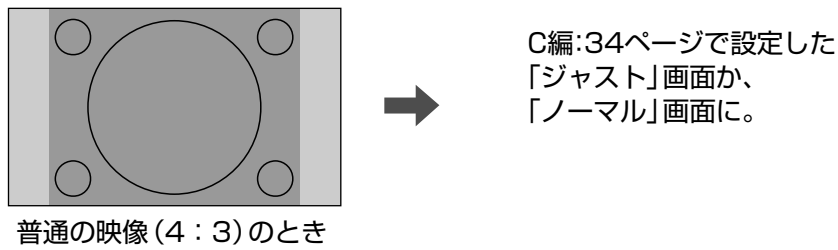
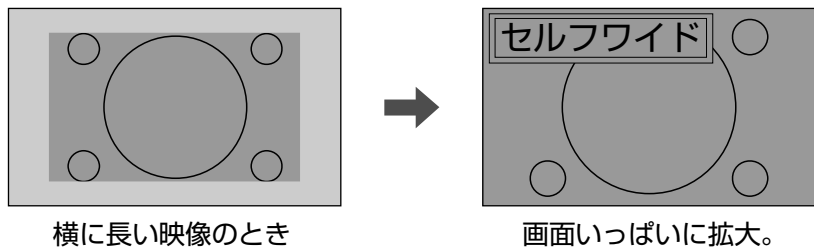
お知らせ

- 無操作自動オフが働いて電源が切れたときは、次回に電源を入れると「無操作自動オフが働きました」と約10秒間表示します。
- 無信号自動オフが働いて電源が切れたときは、次回に電源を入れると「無信号自動オフが働きました」と約10秒間表示します。
- ビデオ入力やコンポーネント(色差)ビデオ入力時も、映像がなくなると無信号自動オフが働きます。ただし、衛星デジタル放送受信時や、ビデオなどがブルーバック画面のときは働きません。
- パソコン入力時は、無信号自動オフおよび無操作自動オフは働きません。

映像に合わせた拡大画面にする

自動で拡大画面にする場合

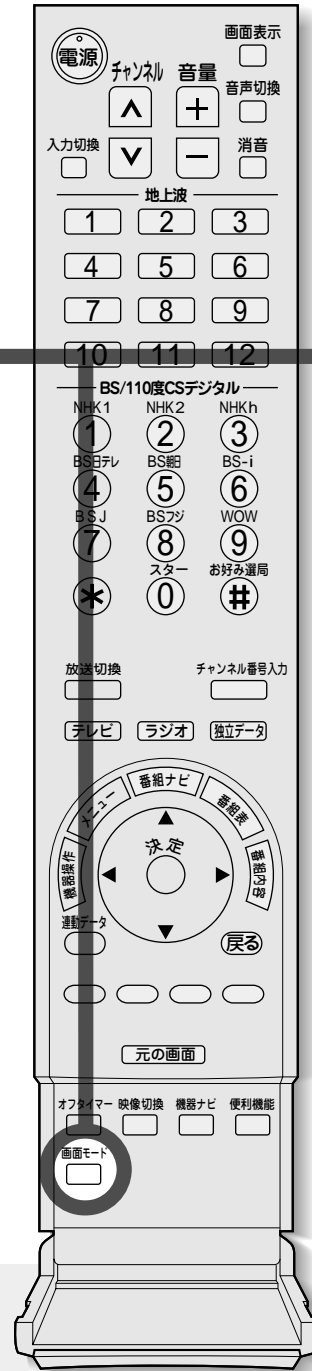
画面モード
1回押すと「セルフワイド」になり自動的に拡大画面になります。
● 本体のボタンでも操作できます。



「ワイドクリアビジョン」の放送と映像ソフトも楽しめます。

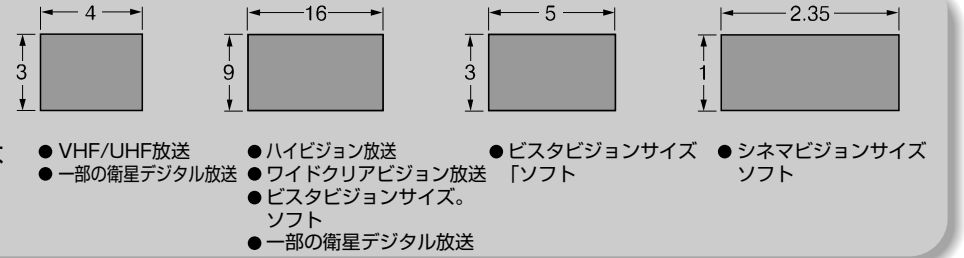
「ワイド」 ED2信号を検出すると自動的に「ワイド」画面になります。(C編:29ページ)
現行のテレビ放送(横縦比4:3)と画面のワイド化(横縦比16:9)の両立性を確保しつつ、映像の高画質化を目的としたものです。本機は自動的に画面を拡大する回路を内蔵しています。

■「ワイドクリアビジョン」を受信中に一旦、画面モードを変えると「ワイド」にはなりません。(再度「ワイド」にするときは、画面モードボタンを1回押す。)

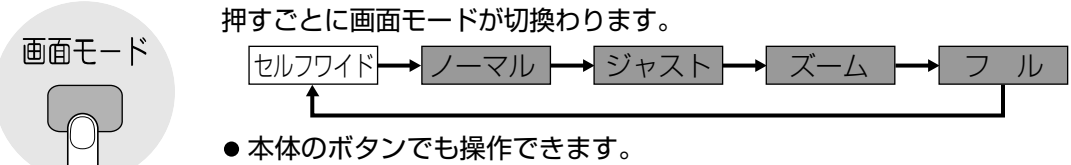


メモ

■映像の横縦比(アスペクト比)
放送や映像ソフトの映像比率(画面の横と縦の比)には、次のような種類があります。



映像に合わせて拡大画面を選ぶ場合



映像	画面モード	拡大画面
ノーマル	ノーマル に切換える	ノーマル 普通の映像(4:3)そのまま
横長	ジャスト に切換える	ジャスト 横に広がり、違和感の少ない映像に
縦長	ズーム に切換える	ズーム 画面いっぱいに映像を拡大
	フル に切換える	フル 横に広がり、正常な映像に

お知らせ

- コマーシャルのときなど画面サイズが変わって見づらく思われるとき(映像の比率が短い時間で変わるため)
 - 画面モードボタンでご希望の拡大画面をお選びください。
- 接続端子「S2映像」からS1またはS2映像を入力するとS1映像は「フル」、S2映像は「ワイド」になります。
 - ID-1検出をしたときも、画面サイズが切り替わります。(C編:26ページ)
- ゲームソフトで画面が欠けるとき
 - 画面モードボタンで「フル」か「ノーマル」に(C編:35ページ)

お知らせ

- 画面モードは地上波放送、衛星デジタル放送(またはD-VHS)ビデオ1~3・色差ビデオ1~2・パソコンごとに記憶します。
- 525p(480p)信号のときは「フル」、「ズーム」の切換えになります。
- 750p(720p)信号、1125i(1080i)信号のときは「フル」に固定されます。
- 接続端子「S2映像」からS1またはS2映像を入力するとS1映像は「フル」、S2映像は「ワイド」になります。
- ID-1検出をしたときも、画面サイズが切り替わります。(C編:26ページ)

画面の位置やサイズを調整する

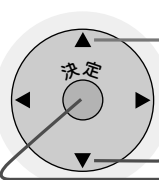
<テレビ画面やビデオ入力するとき>

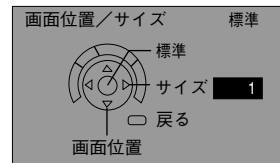
まず、調整画面にする

- 1** 画面モード 押して、調整したい画面モードにする


- 2** メニュー 押して、「メニュー」画面を出し


- 3** 押して、「画面位置・サイズ」項目を選び、中央の決定ボタンを押す





例「ズーム」画面の場合

ご注意 本機は、各種の画面モード切換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。

- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切換え機能（ズーム等）を利用して、

画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

- ワイド映像でない従来（通常）の4：3の映像をズーム・ジャスト・フルモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

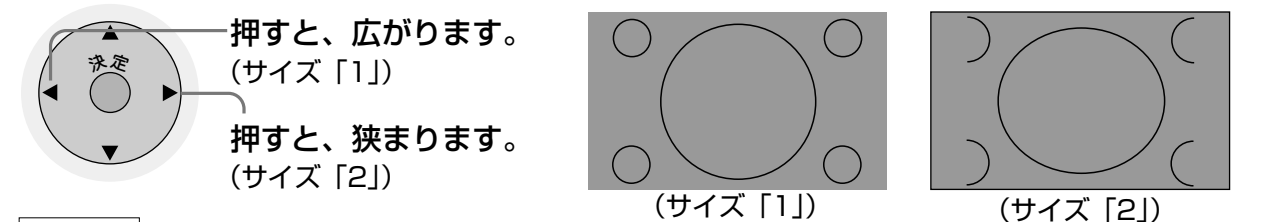
お知らせ

- 本機背面の「モニター出力」端子からの信号は画面サイズや位置を調整しても変わりません。
- 画面モードが「フル」（1080i映像以外）のときは調整できません。

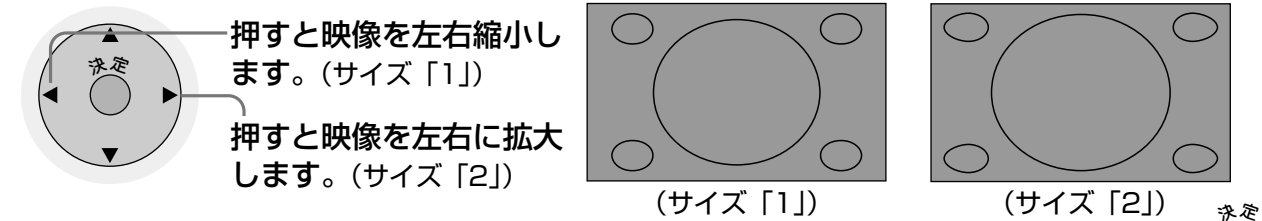


画面の幅を切換える

ノーマル 画面のとき（サイズ「1」で、映像の両端にノイズ状のものが見えるときは、サイズ「2」にします。）



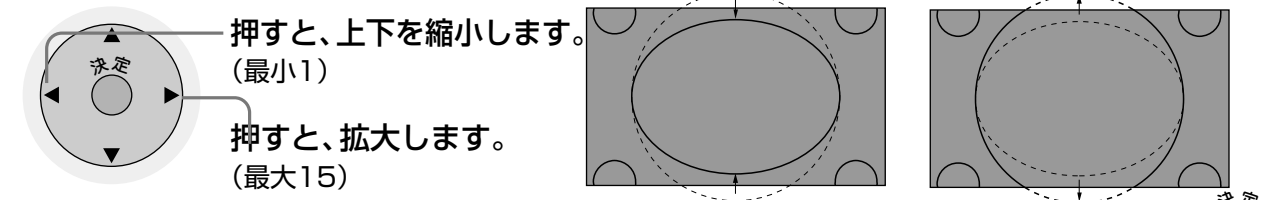
ジャスト 画面のとき（サイズ「1」で、映像の両端にノイズ状のものが見えるときは、サイズ「2」にします。）



- 標準に戻すとき →
- 「メニュー」画面に戻るとき →
- 調整が終わったら →

画面の縦サイズを変える

ズーム 画面または1125i映像のとき

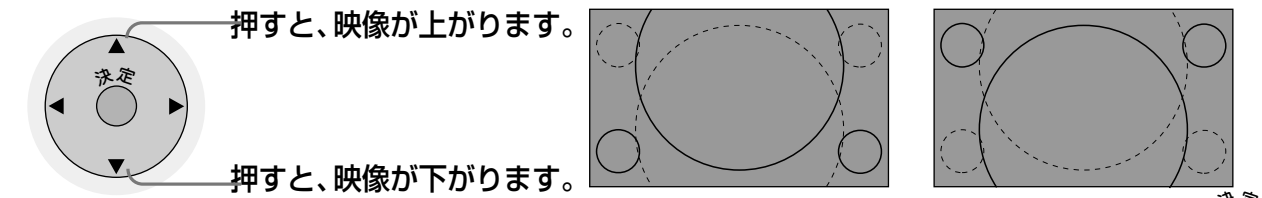


※ 1125i映像のときは、サイズ「1」、サイズ「2」の切換えになります。（下部をほぼ基点として上部が変化）

- 標準に戻すとき →
- 「メニュー」画面に戻るとき →
- 調整が終わったら →

画面外にはみ出た映像を見る

ズーム ・ **ジャスト** 画面、およびワイドクリアビジョン映像のとき



- 上下の調整は、「ズーム」およびワイドクリアビジョン映像では、連続変化し、「ジャスト」では、上下各1段階です。

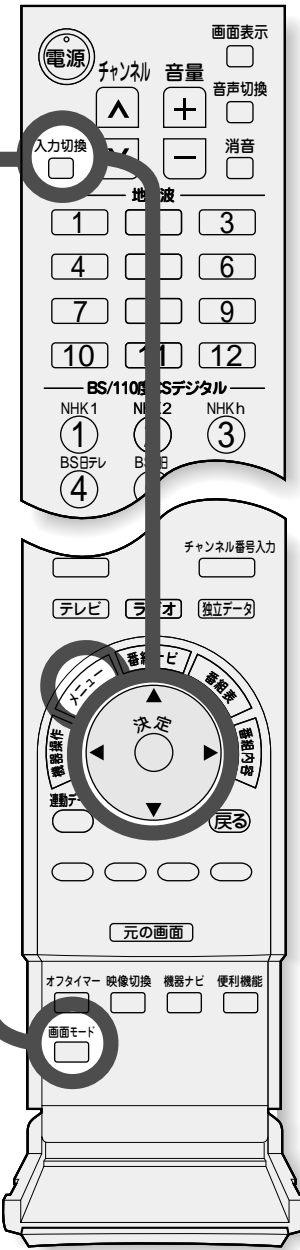
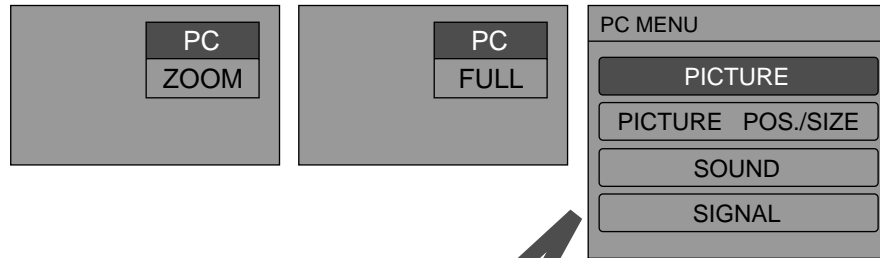
- 標準に戻すとき →
- 「メニュー」画面に戻るとき →
- 調整が終わったら →

パソコン画面の調整／設定

<パソコン入力画面のとき>

まず、メニュー画面を出す

- ① 入力切替 を押して PC画面にする。
- ② 画面モード を押して調整/設定したい画面にする。
- ③ を押して「PC MENU」を出す。



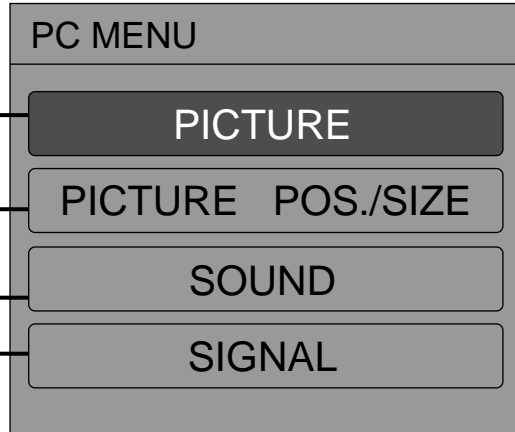
PC MENU 画面の説明

パソコン画面の濃淡が調整可能 (専門的な細かな調整も可能です。)

パソコン画面の位置、サイズが調整可能

音質が調整可能

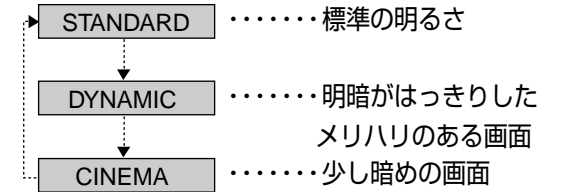
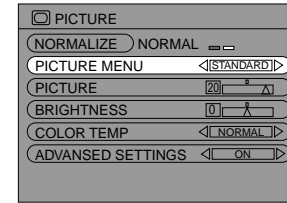
パソコンの映像信号 (同機信号) に合わせた設定が可能



- 39～41ページの各調整、設定はこの「PC MENU」を出した状態から行ってください。

■ 最適な映像を選ぶ (映像メニュー <PICTURE MENU>)

- ① 「PC MENU」から▲▼を押して、「PICTURE」を選び、 を押す。(「PICTURE」画面になる)
- ② ▲か▼を押して、「<PICTURE MENU>」を選び、 を押す。
- ③ ◀か▶を押して、ご希望の映像メニューを決める。

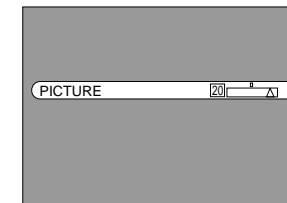
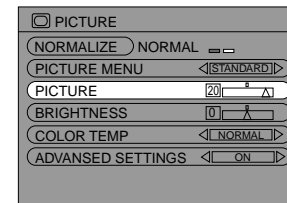


■ 好みの画質に調整する

- ① 「PC MENU」から▲▼を押して、「PICTURE」を選び、 を押す。(「PICTURE」画面になる)
- ② ▲か▼を押して、調整したい項目を選ぶ。
- ③ ◀か▶を押して、調整する。

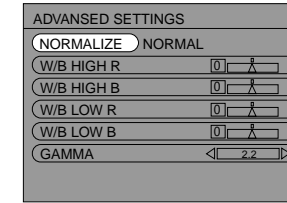
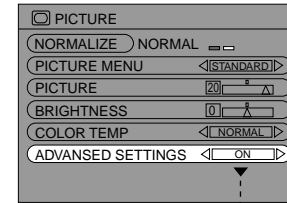
お知らせ

- 「ADVANCED SETTINGS」を「OFF」にするとテクニカル調整の内容は反映されません。



■ テクニカル調整・・・一層きめ細やかな調整をする

- ① 上記の手順③で「ADVANCED SETTINGS」を「ON」にする。
- ② ▼を押して、「[ADVANCED SETTINGS]」の表示になる。
- ③ ◀か▶を押して、調整したい項目を選び、さらに▲か▼を押して、調整する。



▼マークが出ます。

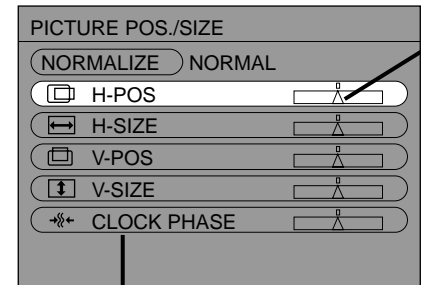
- 「画質の調整」画面に戻るとき→ ▲▼で「NORMALIZE」より上、または「GAMMA」より下を選ぶ。

お知らせ

- 調整・設定内容は電源を「切」、「入」しても記憶しています。
- 調整画面を出したまま、約1分以上、次の操作をしない場合は表示が消えます。
- 各調整レベルを標準値に戻すには「NORMALIZE」を選び、 を押します。
- 調整や設定を終了後、調整/設定画面を消すには再度 を押します。
- 画面に何も映っていない(無信号)状態では調整不可能です。

表示画面の説明

例「PICTURE POS./SIZE」画面



◀か▶を押すと左右に動きます。(調整の目安に。)

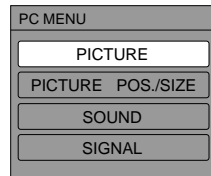
▲▼で項目が選べます。

項目	調整範囲	内容
W/B HIGH R [R ドライブ]	- 30 (色温度高) ~ 30 (色温度低)	赤色の明るい部分の色温度を調整します
W/B HIGH B [B ドライブ]	- 30 (色温度低) ~ 30 (色温度高)	青色の明るい部分の色温度を調整します
W/B LOW R [R カットオフ]	- 30 (色温度高) ~ 30 (色温度低)	赤色の暗い部分の色温度を調整します
W/B LOW B [B カットオフ]	- 30 (色温度低) ~ 30 (色温度高)	青色の暗い部分の色温度を調整します
GAMMA [ガンマ]	2.0 2.2 2.5	通常は「2.2」でご使用ください

パソコン画面の調整／設定

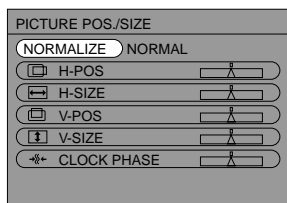
<パソコン入力画面のとき>

- 38ページの要領で「PC MENU」を出してください。



■ 画面の位置や大きさ (サイズ) の調整

- ① 「PC MENU」から▲▼を押し、て、「PICTURE POS./SIZE」を選び、決定を押す。
(「PICTURE POS./SIZE」画面になる)
- ② ▲か▼を押し、調整したい項目を選び、
- ③ ◀か▶を押し、見やすいように調整する。

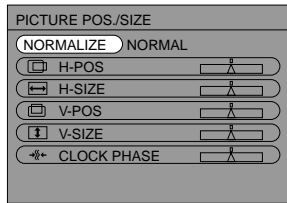


機能説明	■ 水平位置 [H-POS] ◀ : 画面が左へ移動。 ▶ : 右へ移動。
	■ 水平サイズ [H-SIZE] ◀ : 画面の左右が狭まる。 ▶ : 左右に広がる。
	■ 垂直位置 [V-POS] ◀ : 画面が下へ移動。 ▶ : 上へ移動。
	■ 垂直サイズ [V-SIZE] ◀ : 画面の上下が狭まる。 ▶ : 上下に広がる。

■ クロック位合わせ

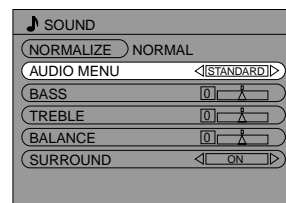
パソコンの信号によっては画面に輪郭のにじみやぼけが発生することがあります。

- ① 「PC MENU」から▲▼を押し、て、「PICTURE POS./SIZE」を選び、決定を押す。
- ② ▲か▼を押し、「CLOCK PHASE」を選び、
- ③ ◀か▶を押し、見やすいように調整する。



■ 最適な音質を選ぶ (音声メニュー <AUDIO MENU>)

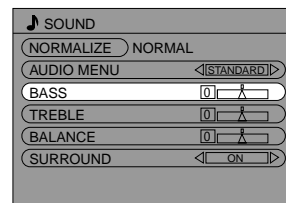
- ① 「PC MENU」から▲▼を押し、「PICTURE」を選び、決定を押す。
- ② ▲か▼を押し、「AUDIO MENU」を選び、
- ③ ◀か▶を押し、ご希望の音声メニューを選ぶ。



AUDIO MENU ◀STANDARD▶ ...送られてくるそのままの音
 AUTO ...聞き取りにくい小さな音や急な大きな音も聞きやすい音量に自動調整します。
 (音量ボタンで調整した数字はそのまま。)

■ 好みの音質に調整する

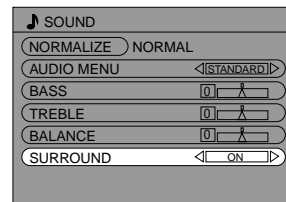
- ① 「PC MENU」から▲▼を押し、「SOUND」を選び、決定を押す。
- ② ▲か▼を押し、調整したい項目を選び、
- ③ ◀か▶を押し、調整する。
好みの音質に調整できる項目は、次の3つです。



BASS低音調整
 TREBLE高音調整
 BALANCE左右音量調整

■ コンサートホールの臨場感を楽しむ

- ① 「PC MENU」から▲▼を押し、「SOUND」を選び、決定を押す。
- ② ▲か▼を押し、「SURROUND」を選び、
- ③ ▶を押し、「ON」にする。
(「OFF」...◀を押す。)

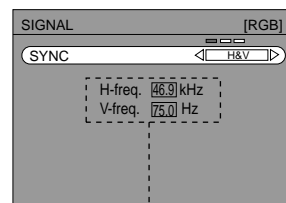


SURROUND ◀OFF▶ ...通常の音声で聞く。
 ON ...臨場感のある音声で聞く。

●サラウンドの設定は音声メニュー (AUDIO MENU) の「STANDARD」、「AUTO」ごとに記憶します。

■ パソコン画面を安定させる

- ① 「PC MENU」から▲▼を押し、「SIGNAL」を選び、決定を押す。
- ② ▲か▼を押し、項目を選び、
- ③ ◀か▶を押し、調整・設定をする



SYNC ◀H&V▶ ...ふだんは「H&V」で。
 ON G ...パソコンが「SYNC ON G」の場合、この表示に。
 ON VIDEO ...特殊仕様の専用機器用。

現在接続しているパソコン信号の周波数を表示します。

- H-freq. - 水平走査周波数 (kHz)
- V-freq. - 垂直走査周波数 (Hz)

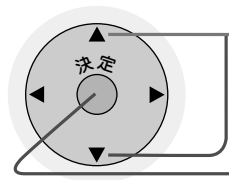
最適な画質を選ぼう

「映像メニュー」

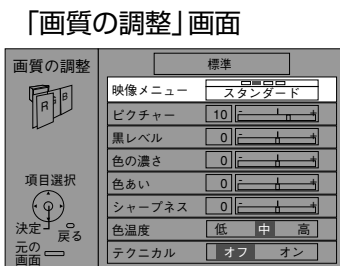
お好みの画質にしよう

まず、「画質の調整」画面にする

- 14ページの手順で「メニュー」画面にしたあと、次の操作をしてください



- 1 「画質の調整」を選び
- 2 押す

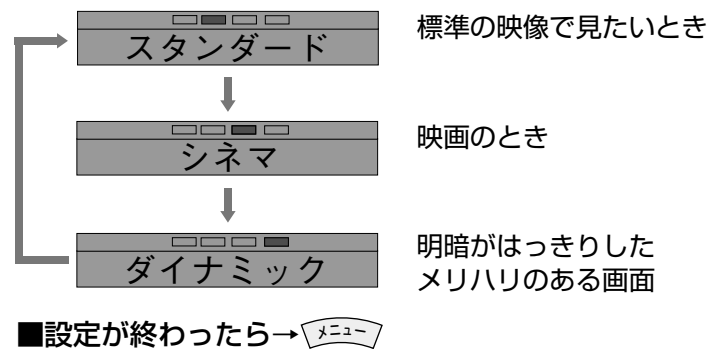


最適な映像メニューを選ぶ

映像ソフトの明るさや、部屋の明るさに合った最適映像で楽しめます。

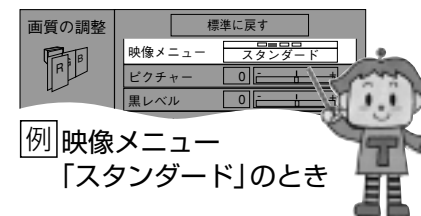


「映像メニュー」の項目を選び、押して選択する

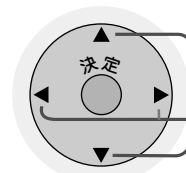


「映像メニュー」の内容をお好みの画質に調整したいとき

- 1 42ページの手順で調整したい「映像メニュー」を選ぶ



- 2 お好みに調整する



押して、項目を選択する
押して、調整する

項目

ピクチャー

部屋の明るさに合わせた濃淡、明るさに

黒レベル

夜の画面や髪の毛などを見やすく

色の濃さ

やや、うすめの色に

色あい

肌色をきれいに

シャープネス

シャープな映像に

色温度

お好みの色調に
(低：暖色、高：寒色)

- 「画質の調整」画面は「テクニカル」を「オン」にすると2ページ構成になります。



で項目を送ると自動的にページが変わります。

テクニカル

映像メニュー「スタンダード」、「シネマ」のとき、テクニカル「オフ」、「オン」が切り替わります。

テクニカル **オフ** **オン**

さらにきめ細かく、プロ級に調整した映像がご覧になれます。(44ページ)

テクニカル **オフ** **オン**

今選んでいる映像メニューの画質になります。

- 設定を標準に戻したいときは

▲▼で **標準に戻す** を選び **決定** を押す。

- 設定が終わったら→メニュー

お知らせ

- 調整値は色差(又は衛星デジタル)の525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)、750p(720p)、それ以外の映像ごとに、さらに映像メニュー(スタンダード、シネマ、ダイナミック)ごとに記憶します。
- 「ピクチャー」を明るい映像で上げても変化しません。また暗い映像で下げても変化しません。

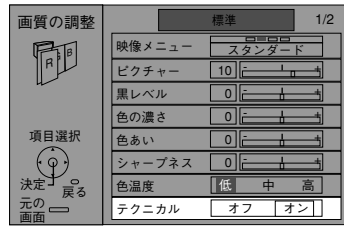
画質をプロ級に調整しよう

「テクニカル調整」

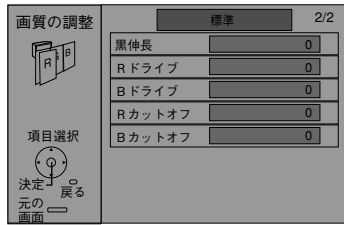
映像メニューが「スタンダード」か「シネマ」のときのみ調整ができます。

一層きめ細かな調整をする (テクニカル調整)

1 43ページの手順で「テクニカル」を「オン」にする

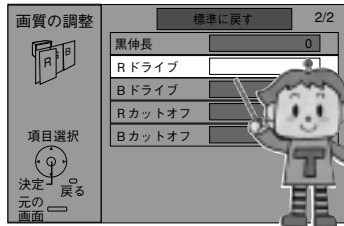


2 押して、2/2ページ目の画面にする



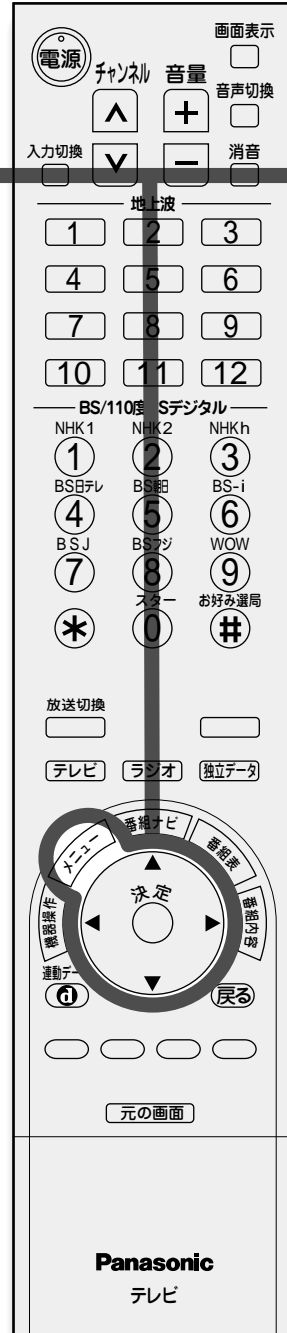
3 押して、各項目を選び

例 Rドライブを選んだとき



押して、調整する

- 通常画面に戻すとき → メニュー
- 「画質の調整」画面に戻すとき → ▲ ▼で「標準」/「標準に戻す」より上、「Bカットオフ」より下を選ぶ
- 標準に戻すとき → ▲ ▼で **標準に戻す** を選び を押す



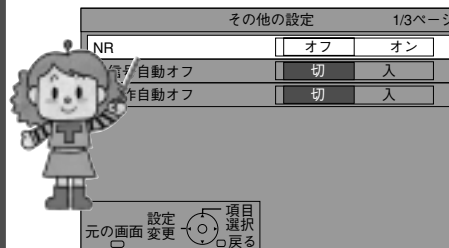
映像のざらつき感を少なくする ^{〔NR〕} ビデオなどの映像が不自然に見えるとき ^{〔3次元Y/C分離〕}

まず、14ページの手順で「その他の設定」画面にする。

映像のざらつき感を少なくする ^{〔NR〕}

1 押して、「NR」を選び

2 押して、「オン」にする

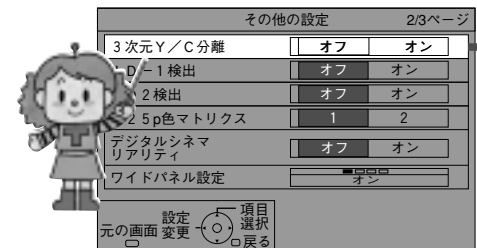


■設定が終わったら → メニュー

ビデオなどの映像が不自然に見えるとき ^{〔3次元Y/C分離〕}

1 押して、「3次元Y/C分離」を選び

2 押して、「オン」にする



■設定が終わったら → メニュー

項目	調整範囲	内容
黒伸長	0 (補正無し) ~ 15 (補正強)	中間より暗い部分の階調の変化を調整します。
Rドライブ	-30 (色温度高) ~ 30 (色温度低)	赤色の明るい部分の色温度を調整します。
Bドライブ	-30 (色温度低) ~ 30 (色温度高)	青色の明るい部分の色温度を調整します。
Rカットオフ	-30 (色温度高) ~ 30 (色温度低)	赤色の暗い部分の色温度を調整します。
Bカットオフ	-30 (色温度低) ~ 30 (色温度高)	青色の暗い部分の色温度を調整します。

お知らせ

- 「NR」は衛星デジタル放送やコンポーネント (色差) ビデオ入力で525p (480p)、750p (720p)、1125i (1080i) 信号のときは動きません。
- 「3次元 Y/C分離」は衛星デジタル放送、D-VHS、HDR、コンポーネント (色差) ビデオ1~2のときは選ばません。

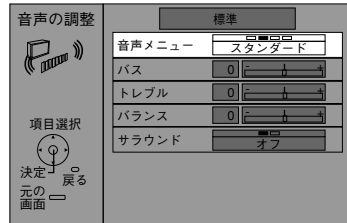
最適な音質を選ぼう

「音声メニュー」

まず、「音声の調整」画面にする

14ページの手順で「メニュー」画面にしたあと、次の操作をしてください

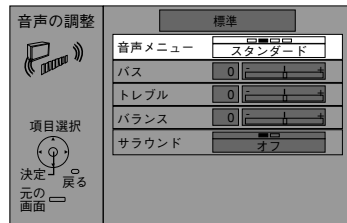
「音声の調整」画面



- ① 「音声の調整」を選び
- ② 押す

最適な音声メニューを選ぶ

- ① 「音声メニュー」を選び、
- ② 押して選択する



- オート** 小さな音・大きな音を聞きやすい音量に自動調整
- スタンダード** 送られてくるそのままの音
- ダイナミック** メリハリ感を強調した音に
- 快聴** 音の高域部分(4kHz付近)を強調

パソコン入力画面のときは **オート** か **スタンダード** の選択になります。

■設定が終わったら→ **メニュー**

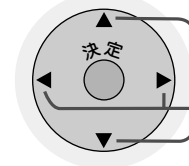


少し聞こえにくくなったと思われる高齢の方へのおすすめ機能です。



「音声メニュー」の内容をお好みの音質に調整したいとき

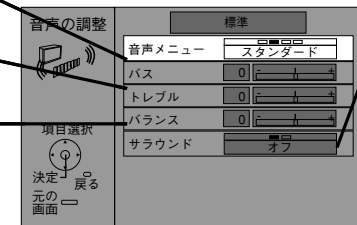
- ① 46ページの手順で調整したい「音声メニュー」を選ぶ
- ② お好みに調整する



押して、項目を選択する
押して、調整する

例 音声メニュー「スタンダード」のとき

- バス** 低音を調整するとき
- トレブル** 高音を調整するとき
- バランス** 左右の音量を調整するとき



- サラウンド** コンサートホールの臨場感を楽しむとき
「サラウンド」を「オフ」から切換えるとステレオ音声やソフト再生のとき
サラウンド **ワイド**
- モノラル音声のとき
サラウンド **モノラル** になります

■設定を標準に戻したいときは

▲▼で **標準に戻す** を選び **決定** を押す

■設定が終わったら→ **メニュー**

お知らせ

- 「バス」「トレブル」「バランス」「サラウンド」は、音声メニューごとに記憶します。
- 2カ国語(二重)放送で「主+副」音声のときはサラウンドは「オフ」になります。
- ヘッドホンまたはイヤホンをご使用の場合、「音声の調整」画面での調整機能は働きません。

お知らせ

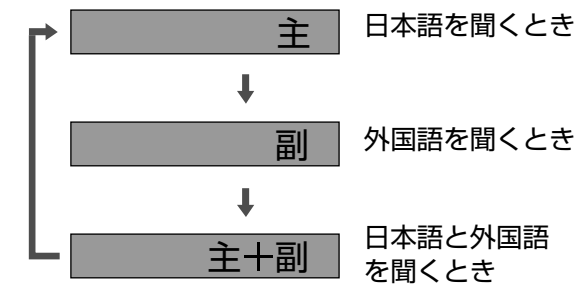
- 音声メニュー(オート、快聴)は聞きとりにくい小さな音や、急な大きな音も聞きやすい音量に自動調整します。(音量ボタンで調整した数字はそのまま。)

音声多重放送を聞く／ コンサートホールの臨場感を楽しむ

2カ国語(二重)放送の副音声を聞く

音声切換

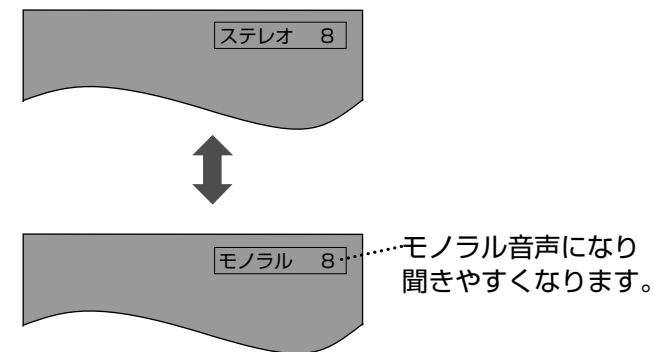
押すごとに選べます



ステレオ放送で雑音があるとき

音声切換

押すごとに切換わる

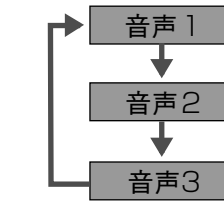


衛星デジタル放送の音声信号を切替えるとき

番組により、音声の信号を切替えて楽しむことができます。
切替え可能な信号の内容は番組により異なります。
また切替えた信号が有料な場合もあります。

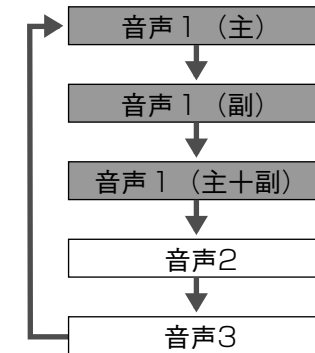
音声切換

押す



- 番組が複数の音声で放送されているとき、切替えができます。
- 切替えた音声が多音声の場合は下図のように切替わります。

(例) 音声1が多音声の場合



二重音声について

二重音声には2種類あります。

- 2カ国語放送
主音声(日本語)と副音声(外国語)を選んで聞ける情報(主音声で外国語、副音声で日本語が送信される場合もあります。)
- 音声多重放送
主音声とは別の音声(副音声)を選んで聞ける情報

お知らせ

- ステレオ放送は地上放送の場合のみ、モノラルに切替えができます。
- 2カ国語(二重)放送のとき…
- 地上波(VHF/UHF)放送のとき、電源を「切」「入」すると「主」に戻ります。
- 放送によっては「主」で原語を、「副」で日本語を送る場合があります。
- 外部入力時は、接続機器側で切替えてください。ただし、i.Link接続のD-VHSビデオデッキでデジタル録画した衛星デジタル放送の場合は本機で切替えてください。

お知らせ

- 有料番組を購入するときは、画面の表示に従って操作してください。

故障かな!?

テレビ放送のとき (VHF・UHF)

症状	原因と処置	ページ
映像が揺れる 映像が不鮮明	<ul style="list-style-type: none"> アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線をしていませんか？ アンテナ線は正しく接続されていますか？ ビデオをご使用の場合はビデオの「テレビ/ビデオ」切換が「テレビ」側に切り替わっていますか？ チャンネルの微調整は正しく調整されていますか？ 	— C編 50 — C編 24
画面にはん点が出たり、画面が揺れる	<ul style="list-style-type: none"> 自動車や電車、高圧線、ネオンなどからの影響（妨害電波や誘導電磁波）を受けていませんか？ 	—
映像が2重3重に見える	<ul style="list-style-type: none"> アンテナの方向がずれていませんか？ 山やビルからの反射電波を受けていませんか？ GRの設定が「オフ」になっていませんか？ 	— — C編 25
色模様が出たり、色が消える	<ul style="list-style-type: none"> 他のテレビからの影響（妨害電波）を受けていませんか？ →本機の設置場所を変えると良化することもあります。 	—
ビデオで選局すると一瞬横縦に黒い帯が出る	<ul style="list-style-type: none"> チャンネルが切り替わる時に発生するノイズです。故障ではありません。 	—
あるチャンネルだけ映りが悪い	<ul style="list-style-type: none"> チャンネルの微調整は、正しいですか？ 	C編 24
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイや本機の電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ディスプレイとの接続ケーブルは正しく接続されていますか？ リモコンで電源が入らない場合は、ディスプレイと本機の電源が「入」になっていますか？ ディスプレイの電源ランプが、緑色に10秒程度点滅する場合、本機の電源が「入」になっているかをお確かめください。 	— C編 4 22 22
リモコンが操作できない	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ リモコン受光部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？ 本機専用リモコンを使用していますか？（他のリモコンでは動作しません。） 	7 — —
本機から時々、「ピシッ」と音がする	<ul style="list-style-type: none"> 画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。 	—

症状	原因と処置	ページ
セルフワイドのとき画面のサイズが時々変わる	<ul style="list-style-type: none"> ソフトによっては自動的に「ズーム」になる場合でも最初暗いシーンのときは、しばらく「ズーム」にならない場合があります。 4：3映像でも上下が暗いシーンでは「ズーム」になる場合があります。CM映像のとき画面サイズが変わり、見づらいときは画面モードを切換えてご覧ください。 	— 34 35
画面の上下に映像のない部分ができる	<ul style="list-style-type: none"> 16：9より横長の映像ソフト（シネマサイズのソフトなど）のときは、画面の上下に映像のない部分ができます。 	35
ズームにしたとき画面の上または下が欠ける	<ul style="list-style-type: none"> 映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか？ →画面位置の調整をしてください。 	37
映像が出るまでに時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> 本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたときやチャンネルを切換えたとき、映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。 	—

お知らせ

- 本機は放熱のためのファンが取り付けられています。電源を入れたときなど、ファンの風切り音が聞こえる場合があります。また電源を切っている状態（電源ランプ：橙色）でもダウンロードや情報の受信など自動的に動作するときもファンの音がします。また排気孔からのほこりが壁に付着することもありますので、設置場所にご注意願います。

衛星デジタル放送のとき

症状	原因と処置	ページ
電源をオン（受信）にしたときや選局操作したときに「アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。」と表示が出る	<ul style="list-style-type: none"> ● BS・110度CS-IF入力端子に接続されているアンテナのケーブル線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していませんか。 →電源をオフにして、異常箇所を調べ原因を取り除いてください。処置後は電源をオン（受信）にしたときに「アンテナとの接続に不具合があります。…」と表示されないことを確認してください。 ● 「衛星アンテナ設定」で「アンテナ電源」の設定が間違っていないですか。 →電源をオフしてからBS・110度-IF入力端子に接続されているケーブルを抜き、電源をオン（受信）にして「アンテナ電源」の設定を確認してください。 	C編 50
映像も音も出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「衛星アンテナ設定」は正しく設定や調整ができていますか。 →「衛星アンテナ設定」を正しく設定や調整してください。 	C編 44
映像や音声が出なくなったり または時々出なくなる 映像が静止したり または時々静止する	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか、またはアンテナ線の劣化などが考えられます。 →「衛星アンテナ設定」で、アンテナ入力レベルが最大になる角度にアンテナを調整してください。 ● 着雪（アンテナ）、雨、雷雲などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。 →衛星放送は、雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積ると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が出なくなったり、ひどい場合には、全く受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。 	C編 44 —
有料放送の視聴ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● B-CASカードは正しく挿入されていますか。 →B-CASカードを正しく挿入してください。 ● 有料放送を視聴するための手続きはされていますか。 →視聴契約手続きをしてください。 ● 電話回線の接続や設定は正しいですか。 →電話回線を接続し、「電話設定」を正しく行ってください。 	C編 52 — C編 36
予約が実行されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「視聴」で予約して、電源がオフ（または機能待機）になっていませんか。 →「視聴」で予約した場合、電源をオフ（または機能待機）にしていると予約が実行されません。 	A編 23
画面に「購入できませんでした。」などが表示され購入または予約ができない状態が続く	<ul style="list-style-type: none"> ● 電話回線が正しく接続されていますか。 →電話回線を正しく接続してください。 ● 「電話設定」が間違っていないですか。 →「電話設定」を正しく設定してください。 ● B-CASカードが正しく挿入されていますか。 →B-CASカードを正しく挿入してください。 	C編 53 C編 36 C編 52

症状	原因と処置	ページ
字幕や文字スーパーが出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● メニュー画面などが表示されていませんか。 →メニューや操作説明画面などを消してください。 ● 衛星デジタル設定の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されていませんか。 →衛星デジタル設定の「字幕」や「文字スーパー」を「オン」に設定してください。 ● 字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。 →字幕の場合、字幕のアイコン（シンボルマーク）が表示された番組を視聴してください。 	A編 43
本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る	<ul style="list-style-type: none"> ● 一部の電話機やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。 →付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。 	—
電話機にノイズ（雑音）が入る	<ul style="list-style-type: none"> ● 一部の電話機やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。 →市販されている自動転換器または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。 	—
ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	<ul style="list-style-type: none"> ● ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。 	—
特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機と衛星アンテナを接続するとき、衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していないですか。 →衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声が出なくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよい衛星デジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。 	—
急に画質や音質が少し悪くなった	<ul style="list-style-type: none"> ● 降雨対応放送になっていませんか。 →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても自動的に受信可能な降雨対応放送に切り換えます。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。 	—

故障かな!?

接続機器の操作をするとき

症状	原因と処置	ページ
Irシステムで録画機器の録画予約ができない	<ul style="list-style-type: none"> Irシステムケーブルは正しく設置できていますか。 →Irシステムケーブルを正しく接続、設置してください。 「Irシステム」の設定は正しいですか。 →「Irシステム」の設定を正しく行ってください。 録画機器は正しく準備できていますか。 →録画機器の電源や、ビデオカセットなどは必ず確認してください。 	C編 54
		C編 62
i.LINK対応機器が操作できない	<ul style="list-style-type: none"> 本機に対応していないi.LINK対応機器を接続していませんか。 →本機で制御できるi.LINK対応機器は当社製D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダーの合わせて2台、DVDホームシアターサウンドシステム1台までです。 i.LINK接続設定で「使用する」に設定されていますか。 →「使用しない」に設定していると操作できません。「使用する」に設定してください。 	—
		A編 66

本機を使用していないとき

本機を使用していないのに、内部から「カチッ」と音がする	<ul style="list-style-type: none"> 衛星デジタル放送の番組情報などを送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。 衛星デジタル放送を予約録画した時など、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。 	—
		—
リモコンで電源を「切」にしても、機能待機ランプ「橙」が点灯したまま	<ul style="list-style-type: none"> 有料番組の契約・購入状況や双方向サービスの情報を取得するため、自動的に機能待機状態（橙ランプが点灯）になる場合があります。 	—

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。主なメッセージとその内容は下記のとおりです。

メッセージ	内容
選局中です。しばらくお待ちください。	選局動作中です。
購入できませんでした。	購入記録が送信できず、B-CASカードの記録容量を超えている場合などに表示されます。電話回線の接続や設定を確認してください。(C編：36、53ページ)
受信できません。	受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
視聴できません。	有料番組を購入しなかった。再度、購入操作を行ってください。
現在、このチャンネルは放送を休止しています。	放送を休止しているチャンネルを選んでいました。
降雨対応放送に切り替わりました。	雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切換えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組表示もできない場合もあります。
緊急警告放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	緊急警告放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。
B-CASカードを正しく挿入してください。	B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。本機専用のB-CASカードを正しく挿入してください。(C編：52ページ)
アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。	アンテナ電源の異常です。アンテナのケーブル線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか、衛星アンテナ設定で衛星アンテナ電源の設定が間違っていないか確認してください。(C編：44、50ページ)
受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。	アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。

アイコン一覧

本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって表示画面の情報をお知らせします。主なアイコンとその内容は次のとおりです。

	アイコン	内 容	アイコン	内 容
番組情報関連		衛星デジタルテレビ放送（映像＋音声）の番組		衛星ラジオ放送の番組
		衛星データ放送の番組		臨時ニュースなど予定外の番組
		衛星デジタルテレビ放送（映像＋音声）番組で番組に合わせた衛星データ放送を行っているテレビ連動データ放送の番組		衛星デジタルテレビ放送（映像＋音声）番組で番組とは別の衛星データ放送を行っている番組
		衛星ラジオ放送番組で番組に合わせた衛星データ放送を行っているラジオ連動データ放送の番組		衛星ラジオ放送番組で番組とは別の衛星データ放送を行っている番組
		映像、音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組		番組の映像信号情報（上：アスペクト比、下：信号方式）
		二重音声信号があり「主」を選択している場合		二重音声信号があり「副」を選択している場合
		モノラル音声の番組		二重音声信号があり「主+副」を選択している場合
		ステレオ音声の番組		有料の番組（ペイ・パー・ビュー番組）
		デジタルコピーガードがかかっている番組		無料の番組
		アナログコピーガードがかかっている番組		マルチビュー放送の番組
		1回のみデジタルコピーが可能な番組		番組の中に字幕（日本語／英語）の情報がふくまれている番組
		i.LINK端子からデジタル信号を出力しない番組		「視聴」で予約している番組
		モニター出力端子から映像・音声信号を出力しない番組		「録画」で予約している番組
		本機が電話回線を使用中の場合		視聴年齢制限がある番組（表示される年齢は4～20才まであります）
		予約している番組		

	アイコン	内 容	アイコン	内 容
メール		お客様がまだ読まれていないメール（未読メール）		お客様が既に読まれたメール（既読メール）
視聴制限		視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ設定している視聴可能年齢が表示されます。		一番組限度額の設定より高い金額の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ表示されます。
予約一覧関連		予約方式が「視聴」の予約		予約方式が「録画」の予約
		「連動予約」「タイマー予約」で設定した「録画」の予約		D-VHSビデオデッキで設定した「録画」の予約
		ハードディスクビデオレコーダーで設定した「録画」の予約		外部のi-LINK機器から設定されている予約
		予約時間が重なっており優先順位が低い予約		予約した番組が放送開始時間を変更して予約が実行された番組
		予約の実行が予定通り終了した予約		予約の実行に問題が起こった予約（メールで問題内容を確認できます。）（A編：47ページ）
		現在、予約を実行している予約		有料の番組（ペイ・パー・ビューの番組）
		イベントリレー予約が実行された予約（A編：29ページ）		
	電話記録		i.LINK接続した機器から本機を通じて電話発信を行った	

● 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

お手入れ／上手な使いかた

■お手入れについて

汚れは柔らかい布で
軽くふき取ってください

ひどい汚れは水でうすめた中性洗剤
に布をひたし、かたく絞って
ふき取り、乾いた
布で仕上げて
ください。



殺虫剤、ベンジン、シンナー
など揮発性のものをかけない

キャビネットの
変質や塗装が
はがれます。
また、ゴムや
ビニール製品
などを長時間接触させない。
(キャビネットの変質の原因)



洗剤を直接本機にかけない

水滴が内部に入ると、故障の原因に
なります。

お知らせ

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その
注意書に従ってください。

■設置される時

直射日光を避け、熱器具から
離す

キャビネットの変形や故障の原因
になります。

接続は電源を“切”にしてから

各機器の説明書に従って、接続して
ください。

(オーディオ機器、ビデオ機器、
ビデオディスク機器、スピーカー
ボックスなど)

良好な画面で見るために

アンテナ線は、同軸ケーブルの
ご使用を。

機器相互のかんしょうに注意

重さによる変形や、電磁波妨害など
による映像の乱れ、雑音などを避け
る。

アンテナは定期的な点検を

風雨にさらされたり、ばい煙の多い
所、潮風にさらされる所は早く傷み
ます。映りが悪く
なった場合は
販売店に
ご相談を。



■ご使用になる時

適度の音量で隣り近所への配慮を

特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

電池の異極性端子間(プラス⊕端子とマイナス⊖
端子間)はショート(短絡)させないでください。

電池が使用できなくなることがあります。

長時間で使用にならないときは

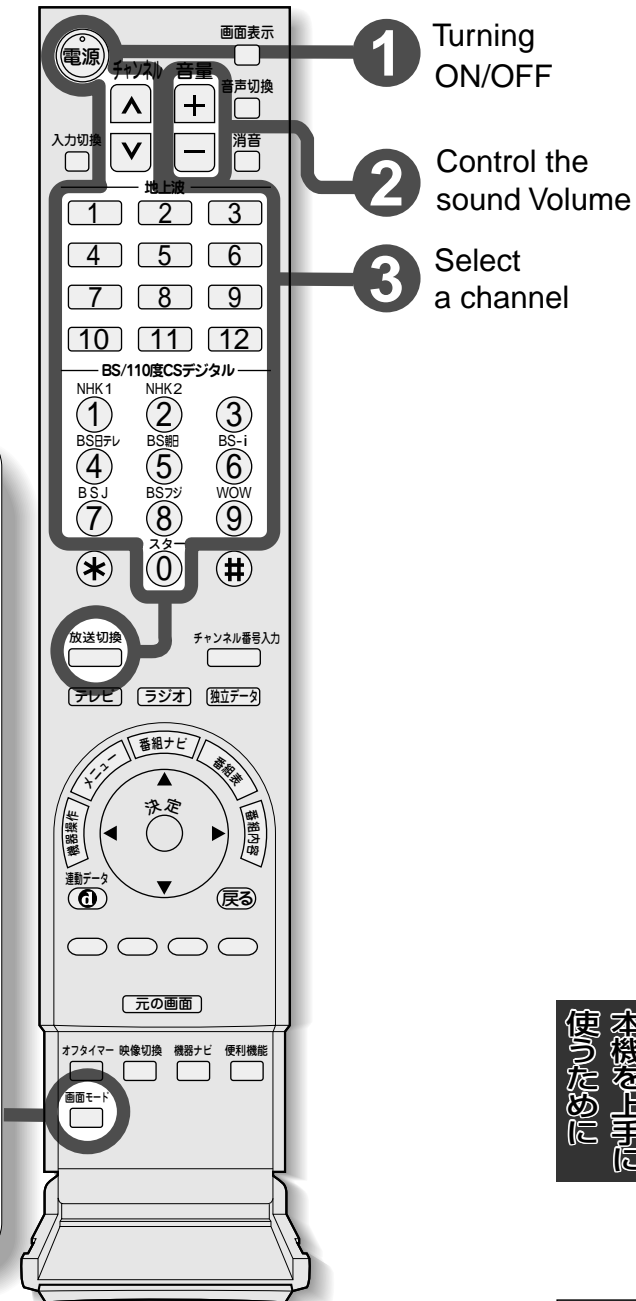
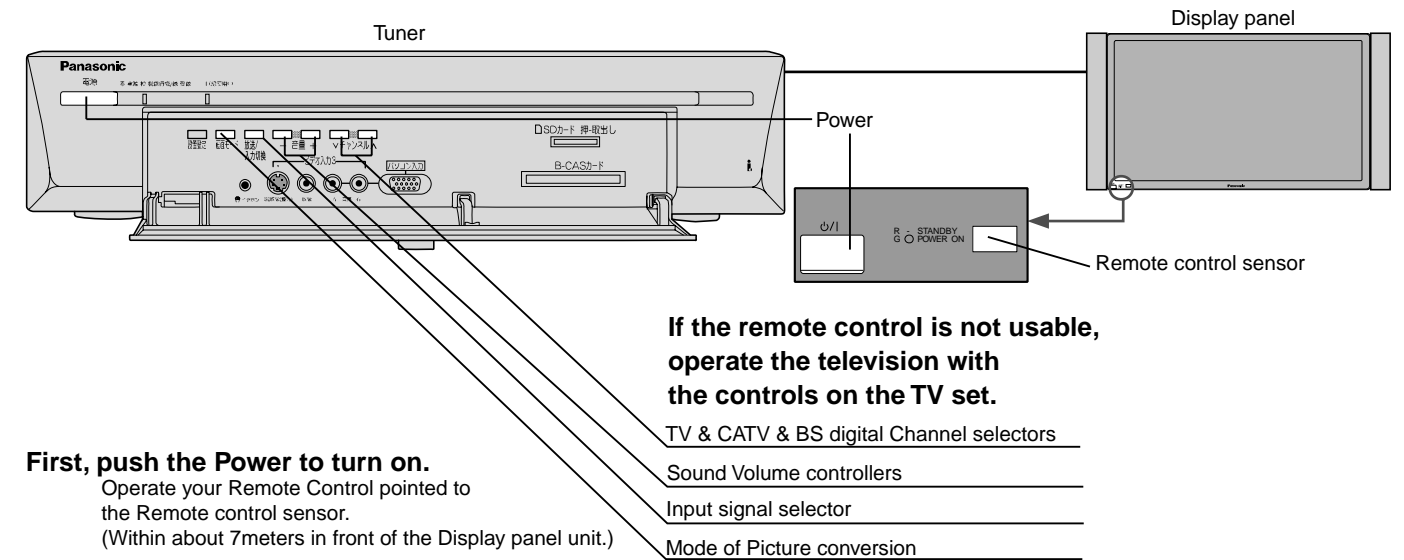
電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
リモコンで電源を切った場合は約0.2W、本体の電源
を切った場合は0.06Wの電力を消費しております。

液もれが生じたとき (リモコンの電池)

電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい
電池を入れる。もれた液が身体についたときは、水で
よく洗い流してください。

How to Use

Basic Operations



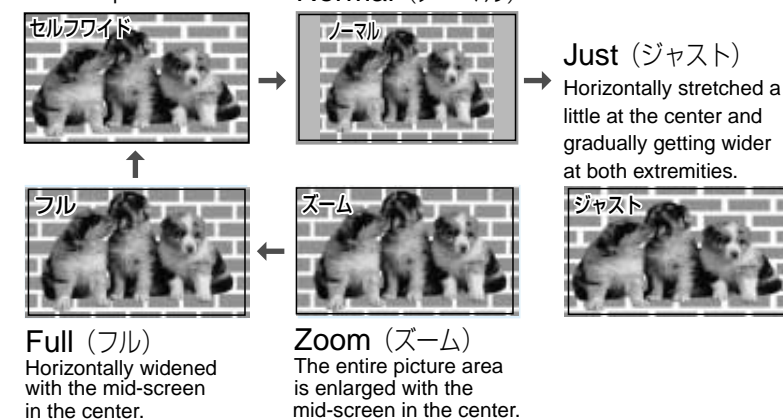
You can select an aspect ratio yourself
according to your preferences.

Mode of Picture conversion (画面モード)

Self Wide (セルフワイド)

The on-screen indication
セルフワイド" is displayed.
Automatically Set to the wide
screen.

When the program is in wide
Clear Vision, the zoomed size
to let you enjoy higher
definition pictures.



英数字 ページ

- 3次元Y/C分離45
- 5.1チャンネル出力の設定C編：67
- 5.1チャンネル音声入力端子付AVアンプC編：58
- 525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)、750p(720p)19
- 「525p色マトリックス」設定C編：28
- B-CASカードテストC編：47
- B-CASカードの挿入C編：52
- CS受信選択C編：47
- D4映像10、19
- DVDホームシアターサウンドシステムの接続C編：57
- D-VHSビデオデッキの接続C編：56
- 「ED2検出」設定C編：27
- GRC編：25
- i.LINKA編：50
- i.LINK接続設定A編：66
- 「i.LINK待機」の設定C編：61
- 「ID-1検出」設定C編：26
- IEEE1394A編：50
- Irシステム11、C編：54、62
- Irシステムケーブルの接続C編：54
- Irシステムの設定C編：62
- NR45
- SDメモリーカード30、A編：65

あ行 ページ

- アイコン56、A編：4
- アッテネーターC編：29
- アナログ接続設定C編：68
- 暗証番号登録A編：39
- 暗証番号取消しA編：41
- 暗証番号入力A編：37
- 暗証番号変更A編：41
- アンテナ線の接続C編：50
- アンテナ入力レベルC編：45
- 一番組購入限度額A編：40
- イベントリレー予約A編：29
- イヤホン17
- インフォメーションA編：7
- 裏番組A編：17
- 衛星アンテナ設定C編：44
- 「衛星初期設定」画面C編：35
- 衛星チャンネル設定C編：42
- 「衛星チャンネル設定」画面C編：34

- 映像切換A編：45
- 映像メニュー42
- オートサーチC編：9、13
- お好み選局A編：14
- お好み設定A編：15
- オフタイマー32
- 音声切換48、A編：45
- 音声メニュー46

か行 ページ

- カーソルA編：5
- 開始時刻修正A編：29
- 回線設定C編：37
- かんたん設置設定C編：6
- 「外部入力」の設定C編：64
- 画面位置/サイズ36
- 画面表示32、A編：12
- 画面モード34、35
- 機器操作25、A編：51
- 県域設定C編：41
- 購入記録A編：21
- ゴーストC編：25
- コンポーネント(色差)ビデオ入力18、19

さ行 ページ

- サラウンド47
- 市外局番C編：10
- 市外局番チャンネル一覧表C編：18
- 時間変更追従A編：27、35
- 視聴可能年齢A編：40
- 視聴購入A編：20
- 視聴制限A編：9、37~41
- 視聴制限設定A編：39
- 視聴制限の解除A編：37
- 字幕A編：43
- 字幕言語A編：43
- ジャンル検索A編：18
- 受信設定C編：46
- 終了時刻設定A編：29
- 消音32
- 「初期設定」画面C編：20
- 信号設定A編：28
- 設定項目リセットC編：46
- セルフワイド34、C編：32
- 選局対象A編：42
- 「その他の設定」画面C編：20

た行 ページ

- タイマー予約A編：26、31
- ダウンロードA編：47、C編：48
- 地域設定画面C編：40
- 地域設定取消しC編：41
- チャンネル一覧A編：16
- チャンネル設定C編：22
- 「チャンネル設定」画面C編：21
- テクニカル調整44
- デジタル音声出力の設定C編：66
- デジタル音声端子付きオーディオ機器C編：59
- デジタル音声予約録画連動の設定C編：33
- デジタルシネマリアリティーC編：30
- テスト(Irシステム)C編：65
- 電話回線の接続C編：53
- 「電話設定」画面C編：36
- 電話テストC編：39
- 電話発信記録A編：46
- トーン検出の設定C編：37
- 飛びこし選局C編：23

な行 ページ

- 内線設定C編：38
- 入力スキップC編：31

は行 ページ

- パソコン23、C編：60
- 発進番号通知C編：39
- 番組購入A編：20
- 番組内容A編：13
- 番組ナビA編：6
- 番組表A編：10、11
- 番組予約A編：22
- 微調整(受信チャンネル)C編：24
- 表示書換C編：23
- プリセット選局A編：8
- プログラムナビA編：54
- プログラム予約A編：32
- ペイ・パー・ビューA編：9、20
- ヘッドホン17
- ボード(CS1、CS2)A編：48

ま行 ページ

- マニュアル設定C編：9、14
- マルチビュー録画A編：29、35
- 無操作自動オフ33
- 無信号自動オフ33
- 「メーカー」の設定C編：63
- メールA編：47
- メニュー画面14
- 文字スーパーA編：43
- 文字スーパー言語A編：43

や行 ページ

- 郵便番号C編：41
- 有料番組A編：9、20
- 予備-1~予備-23C編：10、22
- 予約A編：9、22
- 予約一覧A編：36
- 予約変更(修正)A編：9、24、36
- 予約取消しA編：36
- 予約の優先順位A編：31
- 予約方式A編：22

ら行 ページ

- リモコン12
- 「リモコン種別」の設定C編：63
- 連動予約A編：26、31
- 録画機器A編：26
- 録画機器の接続C編：55
- 録画購入A編：20
- 録画モードA編：27

わ行 ページ

- ワイドクリアビジョン34、C編：27

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1. 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から本体1年間。

3. 補修用性能部品の保有期間

当社は、このチューナーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. 修理を依頼される時

50～55ページ「故障かな!?’の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

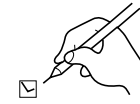
- **保証期間中は**
保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

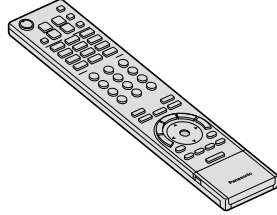
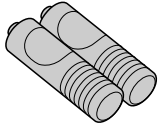
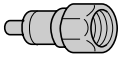
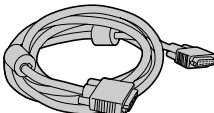
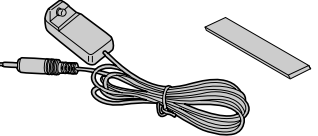

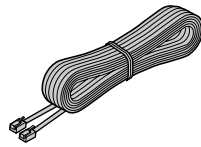
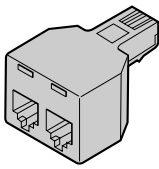
修理を依頼される時にご連絡いただきたい内容

品名	BS・110度CSデジタルチューナー
品番	TU-PH320
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

付属品



設置、接続の前にまず付属品を確かめてください。()は個数です。

<input type="checkbox"/> リモコン ……………(1) 	<input type="checkbox"/> 単4形乾電池 ……………(2) 	<input type="checkbox"/> F型接栓 ……………(3) 3C-2V用 (1) 4C-2V用 (1) 5C-2V用 (1) 
<input type="checkbox"/> 接続ケーブル (3m) ……………(1) 	<input type="checkbox"/> Irシステムケーブル ……………(1) <input type="checkbox"/> 両面テープ ……………(1) 	<input type="checkbox"/> B-CASカード……………(1) <small>ビーキャスト</small> 
<input type="checkbox"/> モジュラーケーブル ……………(1) (10m) 	<input type="checkbox"/> モジュラー分配器 ……………(1) (2分配用) 	

商標について

- Macintoshは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
 - PC-98は日本電気株式会社の商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

索引

英数字 ページ

- 5.1チャンネル出力の設定 …67
- 5.1チャンネル音声入力端子付AVアンプ …58
- 「525p色マトリックス」設定 …28
- B-CASカードテスト ……47
- B-CASカードの挿入 ……52
- CS受信選択 ……47
- DVDホームシアターサウンドシステムの接続 …57
- D-VHSビデオデッキの接続 …56
- 「ED2検出」設定 ……27
- GR ……25
- 「i.LINK待機」の設定 ……61
- 「ID-1検出」設定 ……26
- Irシステムケーブルの接続 …54
- Irシステムの設定 ……62

あ行 ページ

- アッテネーター ……29
- アナログ接続設定 ……68
- アンテナ線の接続 ……50
- アンテナ入力レベル ……45
- 衛星アンテナ設定 ……44
- 「衛星初期設定」画面 ……35
- 衛星チャンネル設定 ……42
- 「衛星デジタル設定」画面 …34
- オートサーチ ……9、13

か行 ページ

- 回線設定 ……37
- 「外部入力」の設定 ……64
- かんたん設置設定 ……6
- 県域設定 ……41
- ゴースト ……25

さ行 ページ

- サイドパネル設定 ……32
- 市外局番 ……10
- 市外局番チャンネル一覧表 …18
- 受信設定 ……46
- 「初期設定」画面 ……20
- 設定項目リセット ……46
- セルフワイド ……27
- 「その他の設定」画面 ……20

た行 ページ

- ダウンロード ……48
- 地域設定画面 ……40
- 地域設定取消し ……41
- チャンネル設定 ……22
- 「チャンネル設定」画面 ……21
- デジタル音声出力の設定 …66
- デジタル音声端子付きオーディオ機器の接続 …59
- デジタル音声-予約録画連動の設定 …33
- デジタルシネマリアリティ …30
- テスト (Irシステム) ……65
- 電話回線の接続 ……53
- 「電話設定」画面 ……36
- 電話テスト ……49
- トーン検出の設定 ……37
- 飛びこし選局 ……23

な行 ページ

- 内線設定 ……38
- 入力スキップ ……31

は行 ページ

- パソコン ……60
- 発信者番号通知 ……39
- 微調整 ……24
- 表示書換 ……23

ま行 ページ

- マニュアル ……9、14
- 「メーカー」の設定 ……63

や行 ページ

- 郵便番号 ……41
- 予備1～予備23 ……10、22

ら行 ページ

- 「リモコン種別」の設定 ……63
- 録画機器の接続 ……55

わ行 ページ

- ワイドクリアビジョン ……27

Panasonic 業務用 BS・110度CSデジタルチューナー 取扱説明書 (設置/接続と各種の設定)

Panasonic

業務用 プラズマディスプレイ用 BS・110度CSデジタルチューナー 取扱説明書

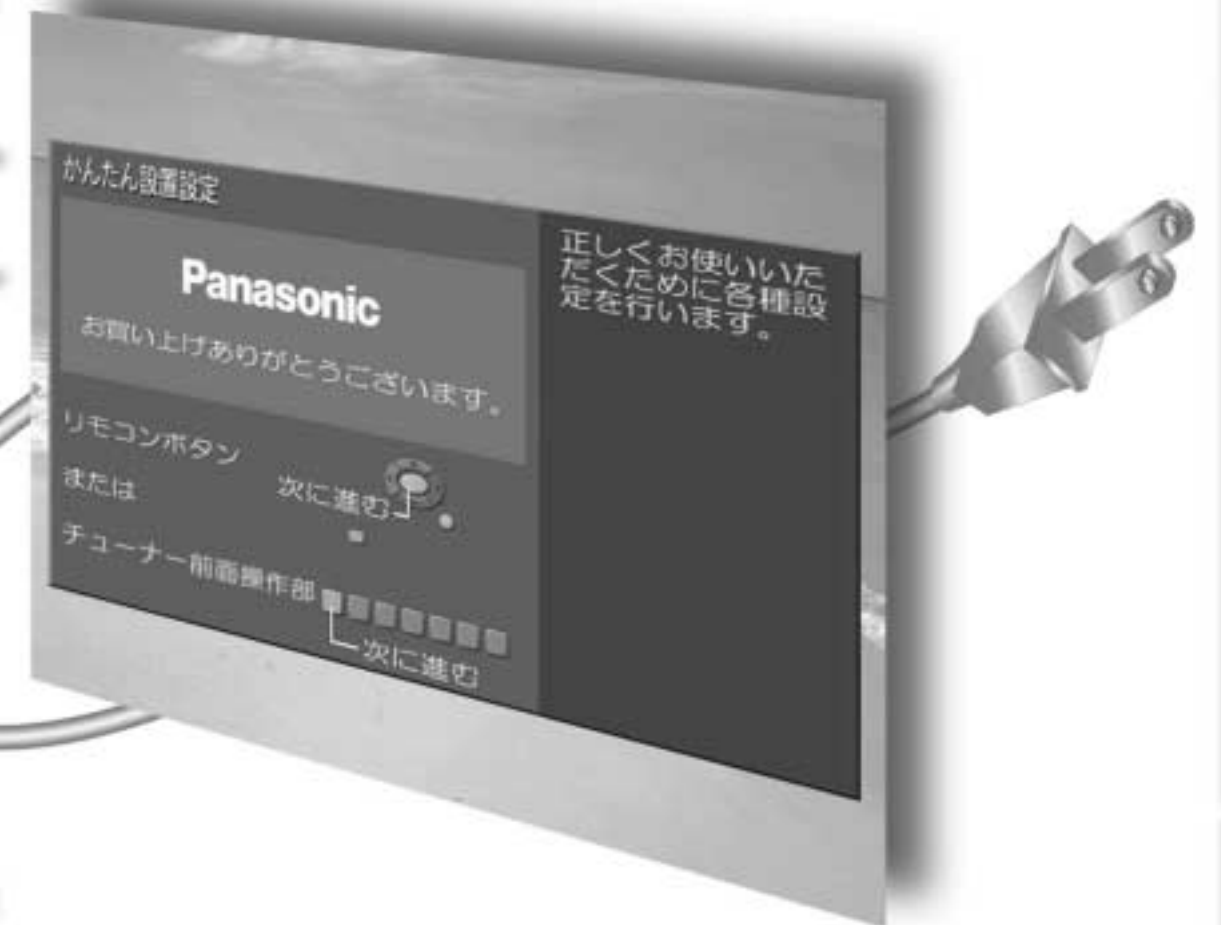
品番 TU-PH320



設置/接続と設定 はじめて本機を使うとき、機器の接続や各種の設定などはこの冊子

編

onnect.ion



電源を入れ
る前に
かんたん
設置設定
テレビを視聴するための設定
設置画面の出しかた
各機能の設定
設置画面の出しかた
電話設定
衛星デジタルを視聴するための設定
地域設定
衛星チャンネルの設置
衛星メニューの設定
その他
外部機器の
接続と設定

もくじ

- この説明書と別冊の「本機の使い方」、「衛星デジタルの応用／機器操作」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ご使用前に、別冊：B編「本機の使い方」の安全上のご注意を必ずお読みください。
- 説明書は、目的の内容がすぐに見つかるよう、分冊にしています。各説明書の主な内容は表紙に書いてあります。

Connection
C編

設置／接続と設定 (C編)
ConnectionのCです

- はじめて本機を設置するとき
- 外部機器を接続したい
- 設置場所を変えたい
- 各種の設定を変更したい

Basic
B編

本機の使い方 (B編)
BasicのBです

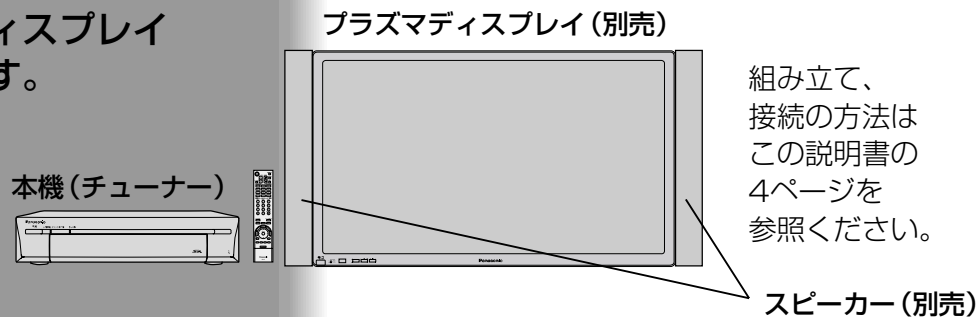
- ふつうのテレビとして使いたい
- 画質や音質を調整したい
- タイマーで電源を切りたい
- ワイド画面の使い方が知りたい
- 思い通りにならないとき／故障かな?と思うとき

Application
A編

衛星デジタルの応用／機器操作 (A編)
ApplicationのAです

- 番組表を見たい
- 番組を予約したい
- 番組を検索したい
- 有料番組が見たい
- 視聴条件の設定について
- i.LINKについて
- SDメモリーカードについて

本機はプラズマディスプレイ専用チューナーです。



電源を入れる前に 本機にディスプレイとスピーカーを接続する 4 ページ～

かんたん設置設定 6 ページ～

テレビを視聴するための設定

設定画面の出しかた 20 ページ～

受信チャンネルの設定 22 ページ～

- チャンネル設定をする ……22
- 受信チャンネルを微調整する ……24
- ゴーストを目立たなくしたいとき ……25

衛星デジタルを視聴するための設定

設定画面の出しかた 34 ページ～

電話設定 36 ページ～

地域設定 40 ページ～

衛星チャンネル設定 42 ページ～

外部機器の接続と設定

接続 50 ページ～

- アンテナ線の接続 ……50
- B-CASカードの挿入 ……52
- 電話回線の接続 ……53
- Irシステムケーブルを接続する ……54
- 録画機器を接続する ……55
- i.LINK対応機器を接続する ……56
- 5.1チャンネル音声入力端子付AVアンプ ……58
- デジタル音声入力端子付きオーディオ機器 ……59
- パソコンを接続する ……60

各機能の設定 26 ページ～

- ビデオ入力などのとき、自動的に画面サイズを切替える ……26
- 「ワイドクリアビジョン」を受信したとき、自動的に画面サイズを切替える ……27
- 自動で拡大画面にしたいとき ……27
- コンポーネントビデオ入力に525p (順次走査) 信号を入力時の設定 ……28
- 映像が不安定になるとき ……29
- 映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生する ……30
- 接続の無い外部入力をスキップさせる ……31
- サイドパネルの明るさを変える ……32
- デジタル音声ー予約録画連動の設定 ……33

衛星アンテナ設定 44 ページ～

その他 46 ページ～

- 受信設定 ……40
- 設定項目リセット ……46
- CS受信選択 ……47
- B-CASカードテスト ……47
- ダウンロードについて ……48

接続後の設定 61 ページ～

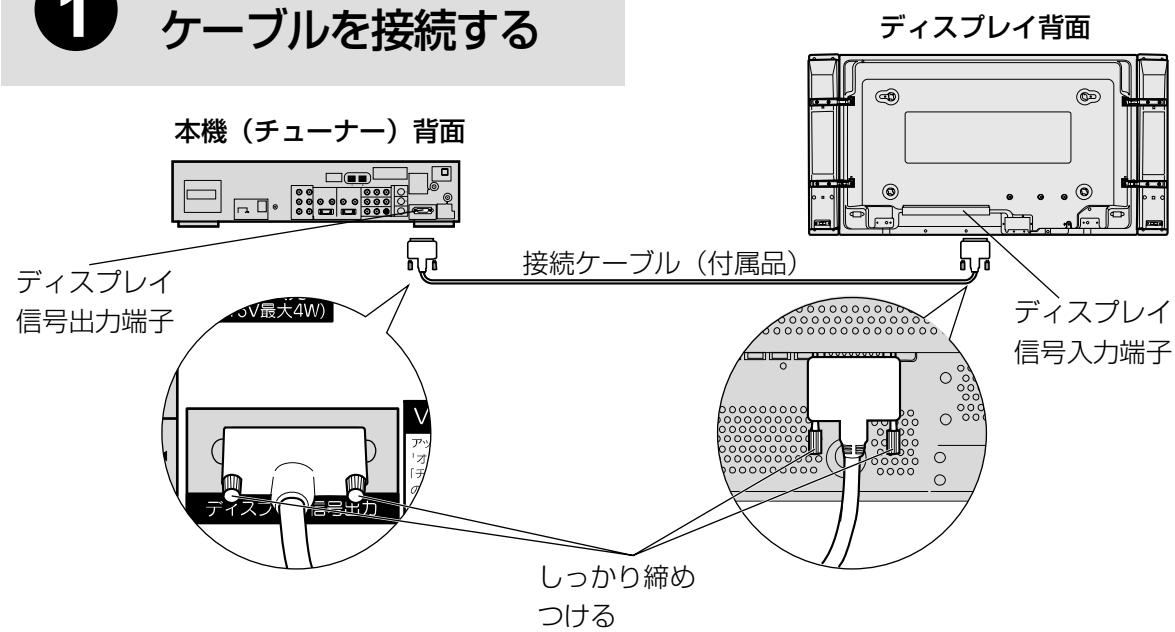
- i.LINK待機の設定 ……61
- Irシステムの設定 ……62
- デジタル音声出力の設定 ……66
- 5.1チャンネル出力の設定 ……67
- アナログ接続設定 ……68

索引 裏表紙

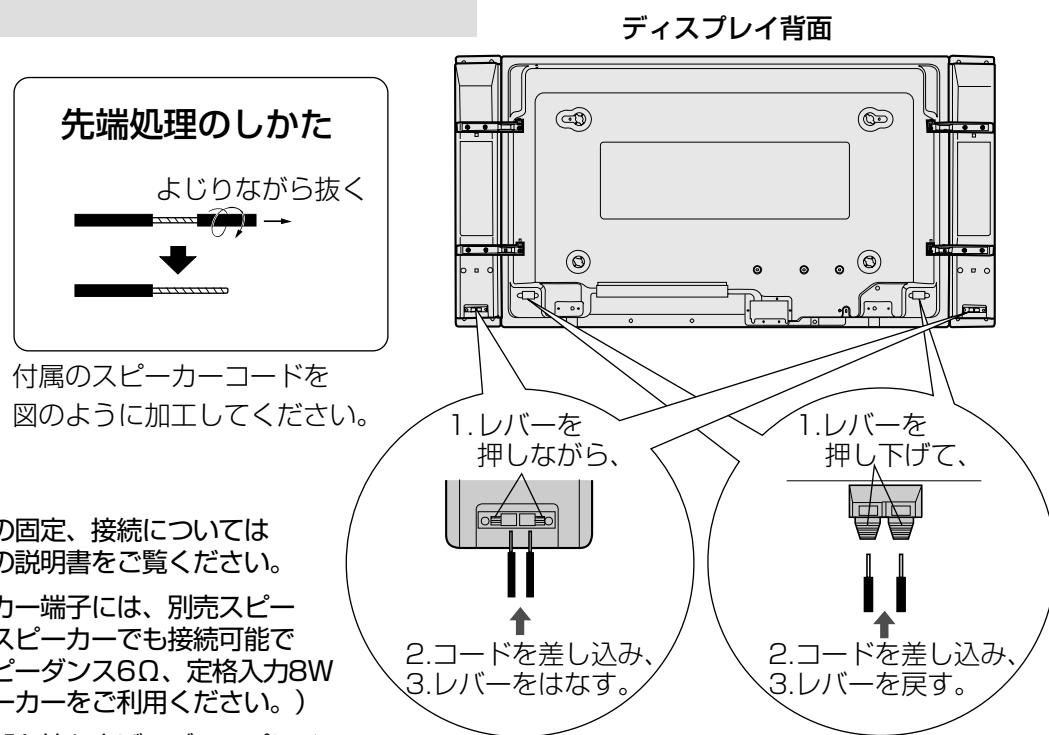
電源を入れる前に
かんたん設置設定
テレビを視聴するための設定
設定画面の出しかた
衛星デジタルを視聴するための設定
衛星チャンネルの設定
衛星アンテナの設定
電話設定
地域設定
衛星チャンネルの設定
衛星アンテナの設定
その他
外部機器の接続と設定

本機にディスプレイとスピーカーを接続する

1 本機（チューナー）とディスプレイにケーブルを接続する



2 スピーカーコードを接続する（赤は+、黒は-）



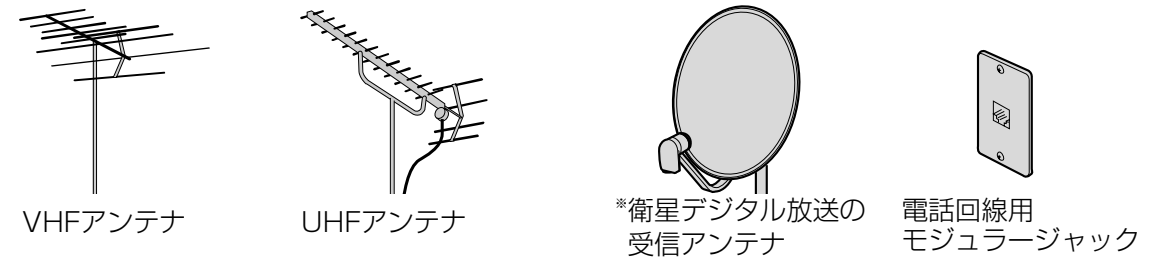
お知らせ

- スピーカーの固定、接続についてはスピーカーの説明書をご覧ください。
- 外部スピーカー端子には、別売スピーカー以外のスピーカーでも接続可能です。（インピーダンス6Ω、定格入力8W以上のスピーカーをご利用ください。）
- スピーカー部を持ち上げてディスプレイの移動をしないでください。

接続のしかた

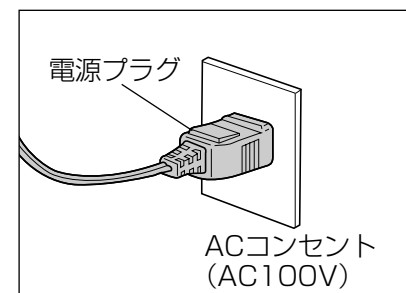
ご使用の前に

1 アンテナや電話回線は正しく接続されていますか（☞50、53ページ）



※110度CSデジタル放送を受信する場合、110度CSデジタル対応の衛星アンテナが必要です。

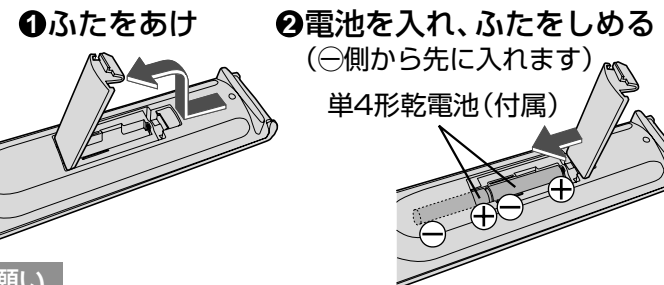
2 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか



3 受信チャンネルは合っていますか（☞6ページ）

4 リモコンに電池は入っていますか

■電池の入れかた



- 電池の破裂や液もれを防ぐため
- 種類の違うものや新旧を混ぜたり、充電式（Ni-Cd）電池は使わない。
 - 電池は充電できません。
 - 可燃ゴミに混ぜたり、燃やしたり、分解したりしない。
 - 消耗した電池は入れたままにしない。

お願い

- リモコンに液状のものをかけないように。
- リモコンを落とさないように。

5 ビデオなどは正しく接続されていますか

ビデオカメラ	☞B編：24ページ
D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダー	☞：56ページ
DVDホームシアターサウンドシステム	☞：57ページ
オーディオ機器	☞：58・59ページ
パソコン	☞：60ページ

B-CASカードを挿入する（☞52ページ）

■かんたん設置設定について

本機をご購入後初めて電源を「入」にすると、自動的にかんたん設置設定の画面になります。そのまま画面の内容をお読みになり設定をすすめますと、チャンネル設定など、本機を使用するために必要な設置設定が完了します。ここでは、かんたん設置設定についてさらに詳しく解説しますので、画面を見てもわからないときにお読みください。

「かんたん設置設定」は次の4種類の設定と2種類の確認です。

1. 都道府県の区分設定
2. 地域の郵便番号の設定
3. 受信チャンネルの設定（3通りの方法）
4. 衛星アンテナへの電源供給有・無の設定
5. 電話線の接続確認
6. B-CASカードの挿入確認

まず、確認してください

- 電源を「入」にする前に必ず次の内容をご確認ください。

- 1 本機の設置や外部機器の接続は正しくされていますか？
- 2 アンテナや電話回線は正しく接続されていますか？
- 3 B-CASカードは正しく挿入されていますか？

かんたん設置設定をやり直したいとき

一度かんたん設置設定をすると、次回からは電源を「入」にしてもかんたん設置設定の画面は表示されません。もう一度やり直したいときは次の3通りの方法から選んで設定ができます。

方法1 メニューから「かんたん設置設定」を選ぶ（本体の を3秒以上押しでも設定できます。）

①リモコンの を押す

②▲・▼で「初期設定」を選び、 を押す

③▲・▼で「かんたん設置設定」を選び、 を3秒以上押す

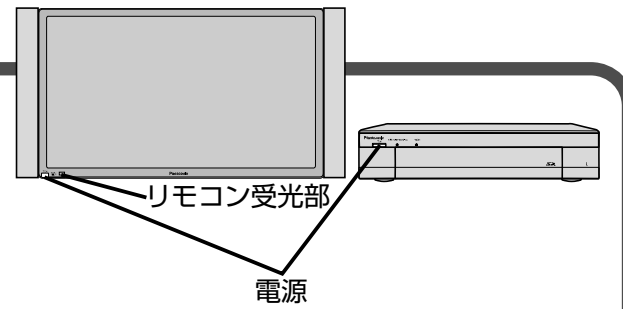
方法2 メニューからやり直したい項目を選び設定する
かんたん設置設定の内容は、すべてメニューから個々に設定ができます。取扱説明書をお読みになり、必要な項目を設定してください。

方法3 本機を工場出荷の状態に戻す
方法1 でかんたん設置設定をしたとき、市外局番入力（ 10ページ）で「0000」を入力すると、チャンネル設定や「郵便番号設定」、「地域設定」が工場出荷時の状態に戻ります。この場合、一旦電源を「切」にし、再度電源「入」にすると自動的にかんたん設置設定画面になります。

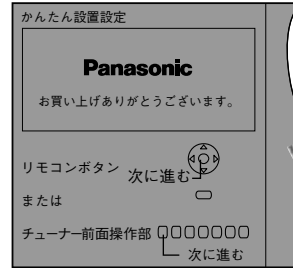
お知らせ
●かんたん設置設定は、最後まで設定を行い、「閉じる」で ボタンを押して「かんたん設置設定」画面を消すと、次回電源を「入」にしたときに表示されなくなります。

設定操作はリモコンでも本機前面の操作ボタンでもできますが、設定の途中で、リモコン操作を本体操作に変えられません。（その逆もできません）

ここではリモコンで設定する場合の説明をしています。リモコンはディスプレイのリモコン受光部に向けて操作してください。



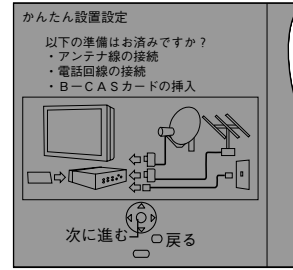
1 電源を入れる



初期画面
●メニューから「かんたん設置設定」を選んだときは表示しません。

で次へ

2

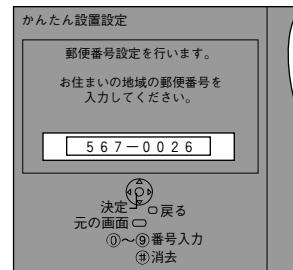


■アンテナと電話回線の接続が済みであり、B-CASカードも挿入済みで準備ができている場合



■まだ準備ができていない場合
電源を「切」にし、接続などを行ってください。

3



例「567-0026」の場合

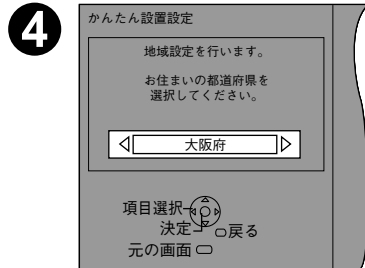
BSデータなどお住まいの地域の情報を表示させるために
お住まいの地域の郵便番号を入力してください。



● ボタンを押すとカーソル位置以降の桁を消去します。

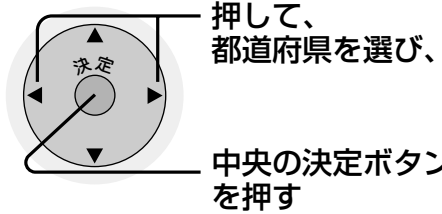
お知らせ
● を押すと、1つ前の画面に戻ります。

前ページの続き

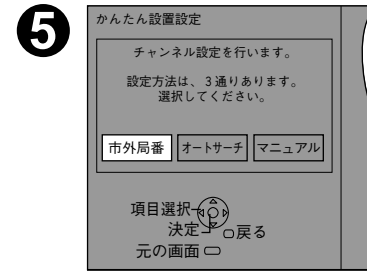


例「大阪府」の場合

衛星データ放送などお住まいの地域の情報を表示させるために
お住まいの都道府県を設定してください。



- 伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。

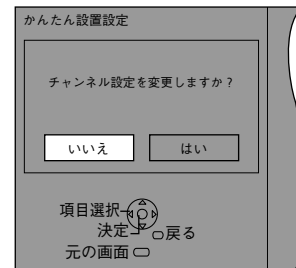


「チャンネル設定方法選択」画面

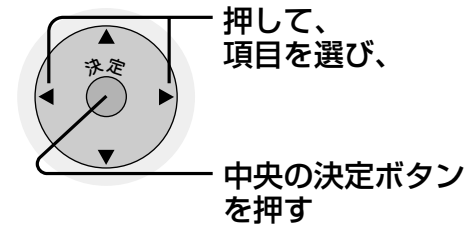
地上波放送のチャンネルを設定するために
チャンネルの設定方法を選んでください。

- 市外局番の場合▶ 10ページ
- オートサーチの場合▶ 13ページ
- マニュアルの場合▶ 14ページ

■メニューから「かんたん設置設定」を選んだ場合は



チャンネル設定を変更するかどうかの選択画面が表示されます。



- はい ... 上記の「チャンネル設定方法選択」画面が表示されます。
- いいえ ... 16ページの手順⑥へ

お知らせ

- 戻るを押すと、1つ前の画面に戻ります。

「チャンネル設定」の種類（3種類あります）

「市外局番」設定

自動的に「市外局番チャンネル一覧表」（18ページ）の放送チャンネルを設定します。また、設定されたチャンネルがご使用になる地域で実際に受信できるかを自動的に調べることもできます。

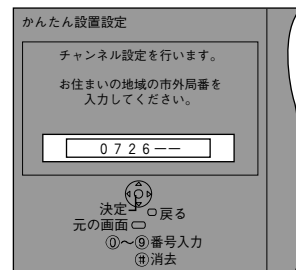
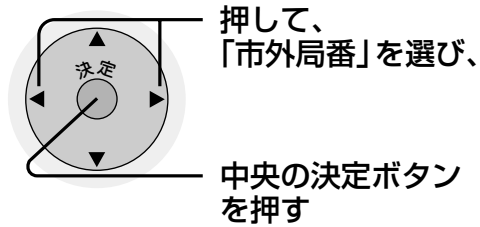
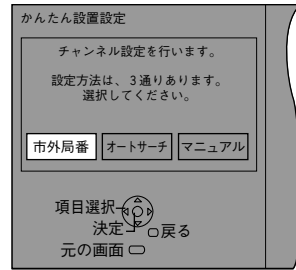
「オートサーチ」設定

実際に受信可能な局だけを調べて、リモコンのボタン①から順番にチャンネル設定します。お住まいの地域の「市外局番」と「実際に受信できる放送局」が一致しない場合に便利です。

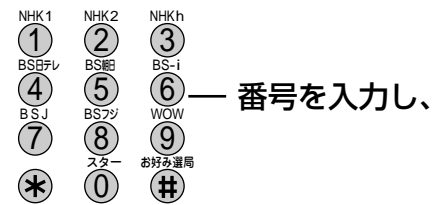
「マニュアル」設定

お好みに合わせて、1チャンネルずつお客様ご自身で設定できます。

市外局番の場合 (手順 ⑤ のつづき)

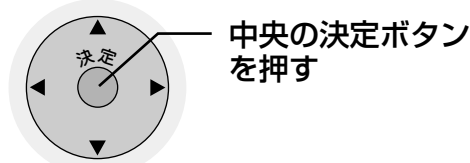


電話番号の市外局番を入力してください。

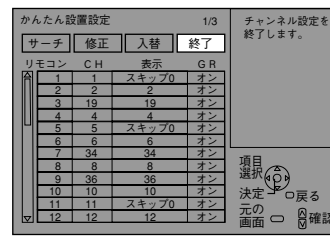


例 [0726] の場合

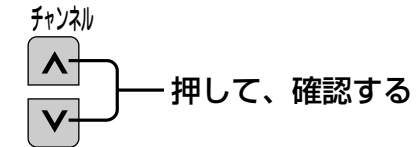
次ページへ



- # ボタンを押すことで最後の桁を1つずつ取消することができます。



設定したチャンネルが正しく受信できているか確認します。

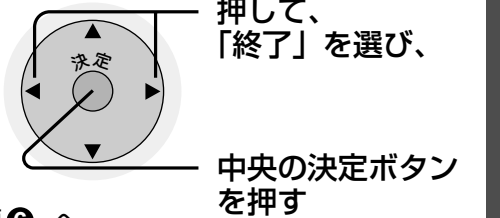


確認後

正しく受信できている場合は



つづいて16ページの手順 ⑥ へ



受信できていないチャンネルがある場合は

次ページの「サーチ」を行ってください。

修正したい場合は

14ページの「マニュアルの場合」を参考に修正してください。

「チャンネル設定」画面について

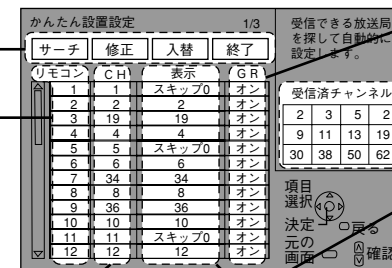
お知らせ

- (戻る) を押すと、1つ前の画面に戻ります。
- 市外局番入力で設定される放送局は18ページの「市外局番チャンネル一覧表」でご確認ください。

「チャンネル設定」で設定変更するとき使用する項目です。「サーチ」は「市外局番」の場合のみ表示されます。

リモコンの直接選局ボタン番号を示します。数字以外に予備-1、予備-2、なども表示されます。これは、リモコンのボタンでは足りないときの予備です。「予備1～予備23」に設定したチャンネルは (↑)・(↓) ボタンでご覧になれます。

実際に放送されている局のチャンネル番号です。



「GR」機能の設定状態を示します。(P.25ページ)

「サーチ」を実行したときや13ページの「オートサーチ」で受信できたチャンネルを表示します。

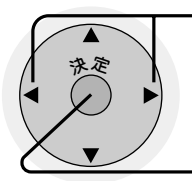
画面右上に表示されるチャンネル番号です。14、15ページの方法で書き換えた場合はその番号になります。「表示」を「スキップ0」に設定すると本体やリモコンの (↑)・(↓) ボタンでそのチャンネルをスキップ (飛びこし) します。

市外局番の場合(つづき)

■サーチ

リモコン	CH	表示	GR
1	1	スキップ0	オン
2	2	2	オン
3	19	19	オン
4	4	4	オン
5	5	スキップ0	オン
6	6	6	オン
7	34	34	オン
8	8	8	オン
9	38	38	オン
10	10	10	オン
11	11	スキップ0	オン
12	12	12	オン

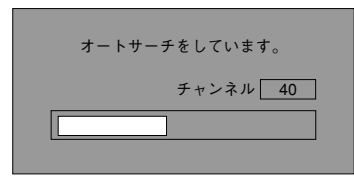
受信できる放送局を探して自動的に設定します。



押して、「サーチ」を選び、
中央の決定ボタンを押す



- 市外局番入力で設定されたチャンネル以外に、受信可能なチャンネルの有無を自動的に探します。
- 市外局番入力で設定されたチャンネルが実際には受信できなかった場合は、自動的に「表示」を「スキップ0」と書き換えます。



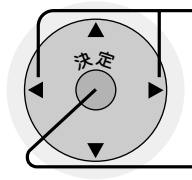
この画面では何もせず、次の画面になるまでお待ちください。

リモコン	CH	表示	GR
1	C13	C13	オン
2	2	2	オン
3	19	19	オン
4	4	4	オン
5	C14	C14	オン
6	6	6	オン
7	30	30	オン
8	8	8	オン
9	C15	C15	オン
10	10	10	オン
11	C16	C16	オン
12	12	12	オン

「サーチ」によって、受信できたチャンネルです。

正しく受信できている場合は

リモコン	CH	表示	GR
1	C13	C13	オン
2	2	2	オン
3	19	19	オン
4	4	4	オン
5	C14	C14	オン
6	6	6	オン
7	30	30	オン
8	8	8	オン
9	C15	C15	オン
10	10	10	オン
11	C16	C16	オン
12	12	12	オン



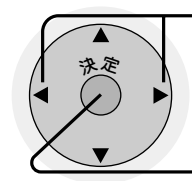
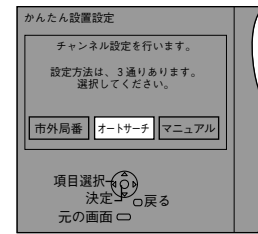
押して、「終了」を選び、
中央の決定ボタンを押す

⇒ つづいて16ページの手順⑥へ

修正したい場合は

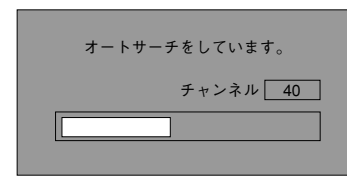
14ページの「マニュアルの場合」を参考に修正してください。

オートサーチの場合 (9ページ手順⑤のつづき)



押して、「オートサーチ」を選び、
中央の決定ボタンを押す

- 受信可能なチャンネルの有無を自動的に探します。

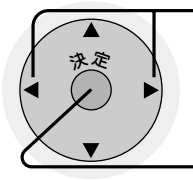


この画面では何もせず、次の画面になるまでお待ちください。

リモコン	CH	表示	GR
1	14	14	オン
2	2	2	オン
3	19	19	オン
4	4	4	オン
5	62	62	オン
6	6	6	オン
7	C13	C13	オン
8	8	8	オン
9	C15	C15	オン
10	10	10	オン
11	C16	C16	オン
12	12	12	オン

正しく受信できている場合は

リモコン	CH	表示	GR
1	14	14	オン
2	2	2	オン
3	19	19	オン
4	4	4	オン
5	62	62	オン
6	6	6	オン
7	C13	C13	オン
8	8	8	オン
9	C15	C15	オン
10	10	10	オン
11	C16	C16	オン
12	12	12	オン



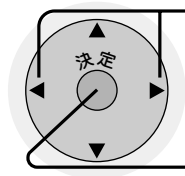
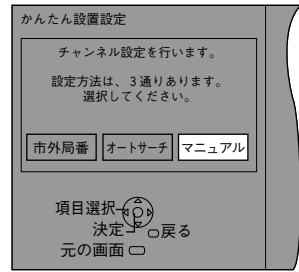
押して、「終了」を選び、
中央の決定ボタンを押す

⇒ つづいて16ページの手順⑥へ

修正したい場合は

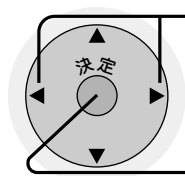
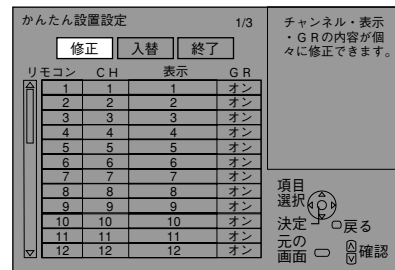
14ページの「マニュアルの場合」を参考に修正してください。

マニュアルの場合 (9ページ手順 ⑤ のつづき)



押して、「マニュアル」を選び、

中央の決定ボタンを押す

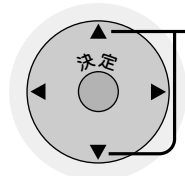


押して、「修正」を選び、

中央の決定ボタンを押す



① リモコンの番号を選ぶ



押して、設定したいリモコンの番号を選ぶ

例) リモコンの「3」を選んだ場合

「リモコン」の項目は
1~12- 予備1~予備23

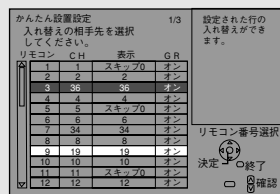
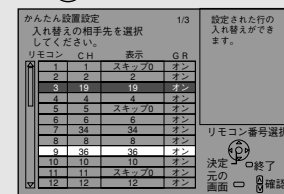
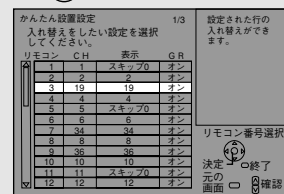
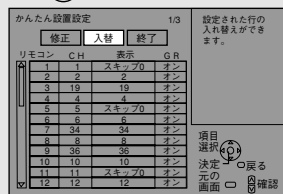
の順に変化します。(自動的にページ送りします)

- 押し続けると早く変化します。
- チャンネル ▲・▼ ボタンでも操作できます。
- 予備1~予備23はリモコンのボタンだけで足りないときの予備です。設定したチャンネルは、本体またはリモコンのチャンネル ▲・▼ ボタンで選んでください。



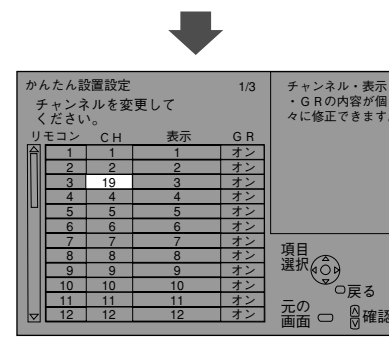
■設定している内容を別のリモコン番号へ入替えることができます。

- ① ◀▶ で「入替」を選び、 ② ▲▼ で入替え元を選び、 ③ ▲▼ で入替えたい番号を選び、
決定 を押す



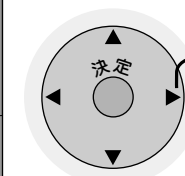
- 続けて他の番号も入替えたいときは手順②、③の操作をくり返してください。
- 入替えを終了したい場合は 戻る ボタンを押す。

入替え終了

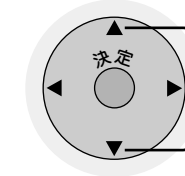


例) 「19」チャンネルを受信の場合

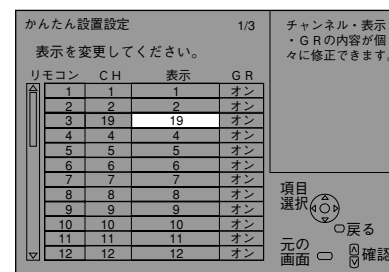
② チャンネルを選ぶ



押して、「CH」の項目を選び、

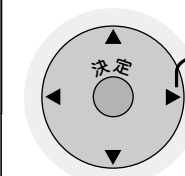


押して、設定する

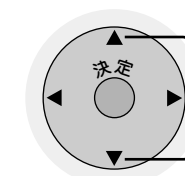


例) 「19」に書き換える場合

③ 表示を書き換える (表示の書き換え)



押して、「表示」の項目を選び、



押して、設定する

お知らせ

市外局番のサーチまたは、オートサーチを行ったあとに修正を行うと、「CH」の項目はサーチで受信できたチャンネルのみ切替えることができます。

サーチで受信できたチャンネル

「CH」の項目は
1~62-C13~C39
の順に変化します。
押し続けると早く変化します。

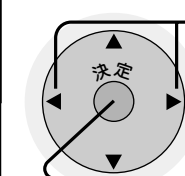
「表示」は選局したとき画面に表示される番号です。
スキップ0-1~99-C13~C39
表示なし-VTR
の順に変化します。

- 押し続けると早く変化します。
- 放送のないチャンネルを飛びこし選局するときは表示を「スキップ0」にします。
- 続けて他のチャンネルも設定するときは、◀ボタンで「リモコン」を選び、手順①から操作をくり返してください。

戻る — 修正が終われば押す

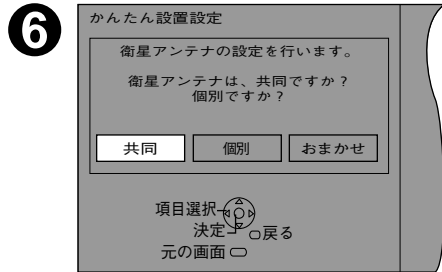


⇒ つづいて16ページの手順⑥へ

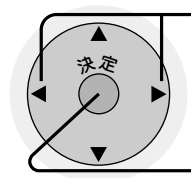


押して、「終了」を選び、

中央の決定ボタンを押す



衛星アンテナの設定を行います。

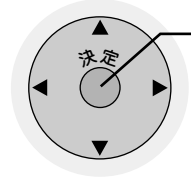


押して、
項目を選び、

中央の決定ボタン
を押す

- 衛星アンテナの設定は、衛星アンテナ電源の設定です。本機から衛星アンテナへ電源供給が必要な場合は「個別」か「おまかせ」を選ぶ。これ以外の場合は「共同」を選ぶ。衛星アンテナ電源の設定は「衛星アンテナ設定」からも可能です。(P.44ページ)

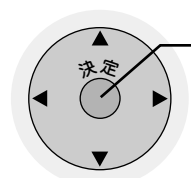
電話回線に正しく接続できているか、テストを行います。



中央の決定ボタン
を押す

トーン検出のテストは接続している電話回線によってセンター接続のテストを数分かけて行います。この画面のまま何もせず、次の画面に変わるまでお待ちください。

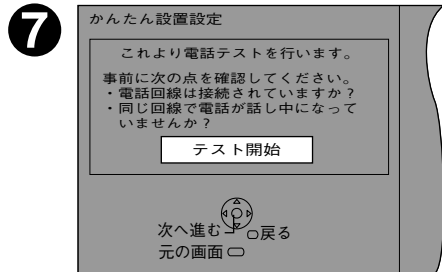
電話テスト結果を確認する



テスト結果
を確認した
ら押す

(結果表示について)

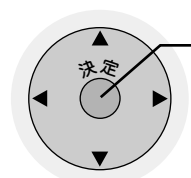
- OK … 正常であることが確認されました。
- NG … 画面に表示される説明に従って原因を取り除き電話テストを行ってください。(P.39ページ)



電話回線に正しく接続できているか、テストを行います。

トーン検出のテストは接続している電話回線によってセンター接続のテストを数分かけて行います。この画面のまま何もせず、次の画面に変わるまでお待ちください。

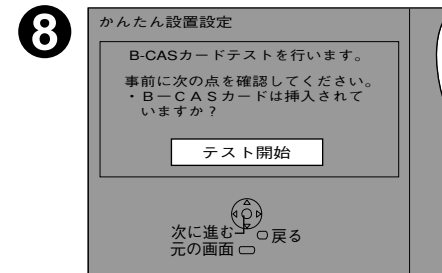
電話テスト結果を確認する



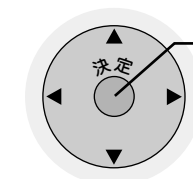
テスト結果
を確認した
ら押す

(結果表示について)

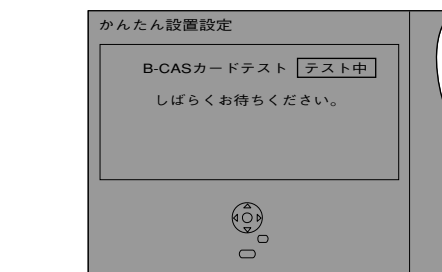
- OK … 正常であることが確認されました。
- NG … 画面に表示される説明に従って原因を取り除き電話テストを行ってください。(P.39ページ)



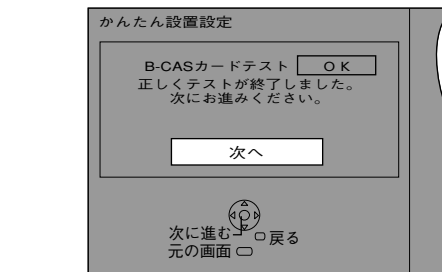
B-CASカードが正しく挿入されているか、テストを行います。



中央の決定ボタン
を押す



B-CASカードテスト中



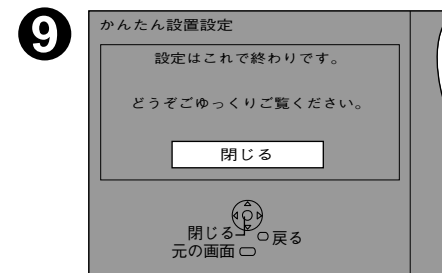
B-CASカードのテスト結果を確認する



テスト結果
を確認した
ら押す

(結果表示について)

- OK … 正常終了しました。
- NG … かんたん設置設定終了後に正しくB-CASカードが挿入されているか確認し、B-CASカードテストを行ってください。(P.47ページ)



中央の決定ボタン
を押して、設定終了

- 「電話テスト」と「B-CASカードテスト」で「NG」が表示されていた場合には、電話回線の接続や設定の確認、またはB-CASカードが正しく挿入されているか確認し、39ページの「電話テスト」や47ページの「B-CASカードテスト」を行ってください。

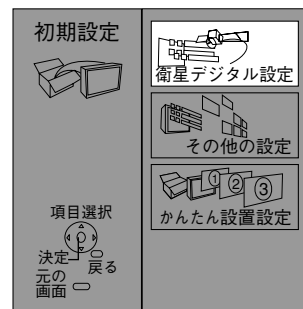
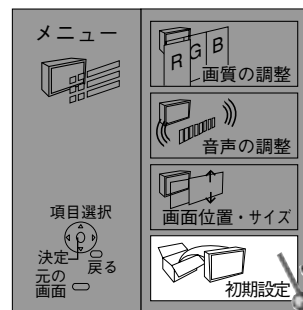
「初期設定」／「その他の設定」 画面を出すとき

「メニュー」画面は、本機の各設定や、調整を行うための入り口です。
また、「初期設定」画面や「その他の設定」画面、「チャンネル設定」画面は、「メニュー」画面から階層状に選択します。ここでは、各設定画面の入り口までの案内をしています。

「チャンネル設定」画面を出すとき

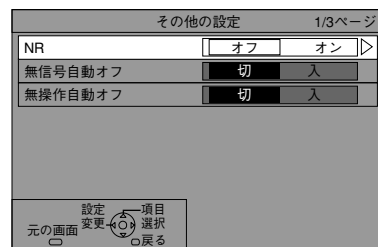
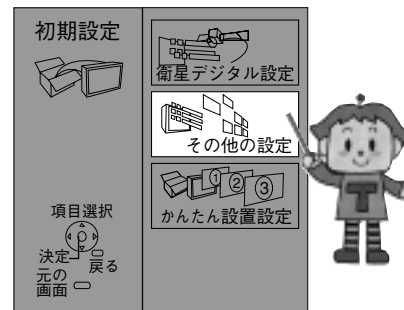
「初期設定」画面を出す

- 1 押して、「メニュー」画面を出す
- 押して、「初期設定」を選び、中央の決定ボタンを押す



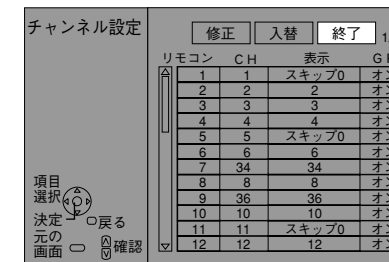
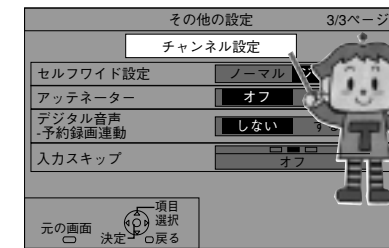
「その他の設定」画面を出す

- 2 押して、「その他の設定」を選び、中央の決定ボタンを押す



「チャンネル設定」画面を出す

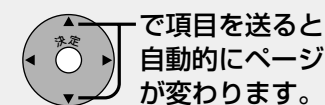
- 3 押して、「チャンネル設定」を選び、中央の決定ボタンを3秒以上押して、「チャンネル設定」画面にする



テレビを視聴するための設定
設定画面の出しかた

お知らせ

「その他の設定」画面は3ページ構成です。



チャンネル設定をする

まず、 ●テレビの電源を入れ、放送しているチャンネルを選ぶ。
●20、21ページの操作で「チャンネル設定」画面を出し、次の操作で設定します。



1 押して、「修正」を選び、中央の決定ボタンを押す

チャンネル設定

リモコン	CH	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン
6	6	6	オン
7	7	7	オン
8	8	8	オン
9	9	9	オン
10	10	10	オン
11	11	11	オン
12	12	12	オン

2 押して、設定したいリモコンの番号を選ぶ

チャンネル設定

リモコン	CH	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	3	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン
6	6	6	オン
7	7	7	オン
8	8	8	オン
9	9	9	オン
10	10	10	オン
11	11	11	オン
12	12	12	オン

例 リモコンの「3」を選ぶ
「リモコン」の項目は
— 1~12— 予備1~予備23—
の順に変化します。
(自動的にページ送りします)
押し続けると早く変化します。
※チャンネル **▲**・**▼** ボタンでも操作できます。

3 押して、「CH」の項目を選び、
押して、設定する

チャンネル設定

リモコン	CH	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	19	3	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン
6	6	6	オン
7	7	7	オン
8	8	8	オン
9	9	9	オン
10	10	10	オン
11	11	11	オン
12	12	12	オン

例 「19」チャンネルを受信
「チャンネル」は
— 1~62— C13~C39—
の順に変化します。
押し続けると早く変化します。

4 押して、「表示」の項目を選び、
押して、設定する

チャンネル設定

リモコン	CH	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	19	19	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン
6	6	6	オン
7	7	7	オン
8	8	8	オン
9	9	9	オン
10	10	10	オン
11	11	11	オン
12	12	12	オン

例 「19」に書き換える
「表示」は選局したとき画面に表示する番号です。
— スキップ0 — 1~99— C13~C39—
表示なし — VTR —
の順に変化します。
押し続けると早く変化します。
■放送のないチャンネルを飛びこし選局するときは表示を「スキップ0」にします。
■続けて他のチャンネルも設定するときは、**◀**ボタンで「リモコン」を選び、手順②から操作をしてください。

5 修正が終了したら押す
設定内容を確認したら「終了」を選び、中央の決定ボタンを押す

チャンネル設定

リモコン	CH	表示	GR
1	1	1	オン
2	2	2	オン
3	19	19	オン
4	4	4	オン
5	5	5	オン
6	6	6	オン
7	7	7	オン
8	8	8	オン
9	9	9	オン
10	10	10	オン
11	11	11	オン
12	12	12	オン

●「その他の設定」画面に戻ります。
●「元の画面」ボタンを押せば、「チャンネル設定」画面が消えます。

お知らせ
予備1~予備23は、リモコンのボタンだけで足りないときの予備です。
予備1~予備23に設定したチャンネルは、本体またはリモコンのチャンネル **▲**・**▼** ボタンで選んでください。

■設定している内容を別のリモコンの番号へ入替えることができます。

① **◀**・**▶** で「入替」を選び、**決定** を押す

② **▲**・**▼** で入替え元を選び、**決定** を押す

③ **▲**・**▼** で入替えたい番号を選び、**決定** を押す

●続けて他の番号も入替えたいときは手順②、③の操作をくり返してください。
●入替えを終了したい場合は **戻る** ボタンを押す。

入替え終了

メモ 表示は次のようなときに書き換えると便利です。
●マンションなどの共同受信で放送と画面の表示が一致しないとき。
●順送り選局のときに放送のないチャンネル(ノイズ画面)が出ないようにしたいとき。
(●「表示」を「スキップ0」に設定すると、本体やリモコンのチャンネル **▲**・**▼** ボタンの操作でそのチャンネルをスキップ(飛びこし)して選局します。)

テレビを視聴するための設定
受信チャンネルの設定

受信チャンネルを微調整する

ご使用になる地域やCATV受信地域、マンションの共同受信システムなどで、調整を少しずらしたほうが見やすくなるときに調整します。

- まず、**
- 微調整したいチャンネルを選ぶ。
 - 20、21ページの操作で「チャンネル設定」画面にする。

1 押し、「修正」を選び、中央の決定ボタンを押す

チャンネル設定				修正	入替	終了	1/3
リモコン	CH	表示	GR				
1	1	1	オン				
2	2	2	オン				
3	3	3	オン				
4	4	4	オン				
5	5	5	オン				
6	6	6	オン				
7	7	7	オン				
8	8	8	オン				
9	9	9	オン				
10	10	10	オン				
11	11	11	オン				
12	12	12	オン				

2 約3秒間押し、「メニュー」画面にする

チャンネル設定				修正したい設定を選択してください。				1/3
リモコン	CH	表示	GR					
1	1	1	オン					
2	2	2	オン					
3	3	3	オン					
4	4	4	オン					
5	5	5	オン					
6	6	6	オン					
7	7	7	オン					
8	8	8	オン					
9	9	9	オン					
10	10	10	オン					
11	11	11	オン					
12	12	12	オン					

微調整 0

3 押し、調整する
(見やすいところで手をはなす)

微調整 + 14

約10秒間、ボタン操作をしないと①の画面に戻ります。

■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

(戻る ボタンを押すと「チャンネル設定」画面になります。)



ゴーストを目立たなくしたいとき

テレビ電波のゴースト(2重、3重の映像)があるチャンネルをGR「オン」に設定すると、ゴーストの軽減された映像がお楽しみいただけます。

- まず、** 20、21ページの操作で「チャンネル設定」画面を出し、次の操作で設定します。

1 押し、「修正」を選び、中央の決定ボタンを押す

チャンネル設定				修正	入替	終了	1/3
リモコン	CH	表示	GR				
1	1	1	オン				
2	2	2	オン				
3	3	3	オフ				
4	4	4	オン				
5	5	5	オン				
6	6	6	オン				
7	7	7	オン				
8	8	8	オン				
9	9	9	オン				
10	10	10	オン				
11	11	11	オン				
12	12	12	オン				

2 押し、設定したいチャンネルを選び、3回押し、「GR」の項目にする

チャンネル設定				GRを変更してください。				1/3
リモコン	CH	表示	GR					
1	1	1	オン					
2	2	2	オン					
3	3	3	オフ					
4	4	4	オン					
5	5	5	オン					
6	6	6	オン					
7	7	7	オン					
8	8	8	オン					
9	9	9	オン					
10	10	10	オン					
11	11	11	オン					
12	12	12	オン					

3 押し、「オン」、「オフ」を設定する

「オン」……ゴーストのあるチャンネルのとき
「オフ」……ゴーストが目立たないチャンネルのとき

■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

(戻る ボタンを押すと「チャンネル設定」の選択画面になります。)

お知らせ

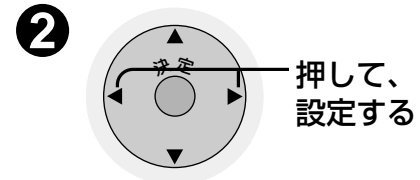
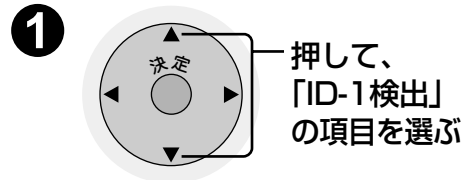
- ゴースト除去に効果があるのは、放送局からの電波(「ゴースト除去基準信号」が含まれた放送)を受像するときです。ビデオの再生画像などには効果がありません。
- ゴースト除去は選局して約3秒後に大きなゴーストを軽減させ、その後残ったゴーストを順次軽減します。
- 電波が弱い場合、大きなゴーストを軽減させたとき新たなゴーストがつく場合がありますが徐々に軽減されます。
- アンテナの設置・調整時は、GR「オフ」にしてください。
- 画面表示ボタンを押して「GRオフ」または「GCR信号なし」と表示された場合はGR機能は動作しません。
- 次のような場合、GR「オフ」をご覧ください(ゴースト除去の効果が十分に得られないことがあります)。
 - ・アンテナが正確に設置・調整されていないとき(室内アンテナなど)
 - ・過大なゴーストのとき(ゴーストが残ります。)
 - ・飛行機に反射しているゴーストなど変化しているゴーストのとき
 - ・多数(10波以上)のゴーストがあるとき
- 衛星デジタル放送はGR設定できません。

テレビを視聴するための設定
受信チャンネルの設定

ビデオ入力などのとき、自動的に画面サイズを切替える

「ID-1検出」
ビデオ入力(1~3)の映像信号や、ビデオ入力(1~3)のS2映像信号、コンポーネントビデオ入力(1~2)の525i(480i)又は525p(480p)信号に、画面サイズの識別信号がある場合、画面サイズを自動的に切替えます。

まず、20ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



3次元Y/C分離	オフ	オン
ID-1検出	オフ	オン
ED2検出	オフ	オン
525p色マトリックス	1	2
デジタルシネマリアリティ	オフ	オン
サイドパネル設定	オフ	

ID-1検出 **オフ** **オン**

- オン…画面サイズの識別信号を検出すると、画面サイズを自動的に切替えます。
- オフ…画面サイズの自動切替をしません。
(正しく動作しない場合は「オフ」で使用してください。)

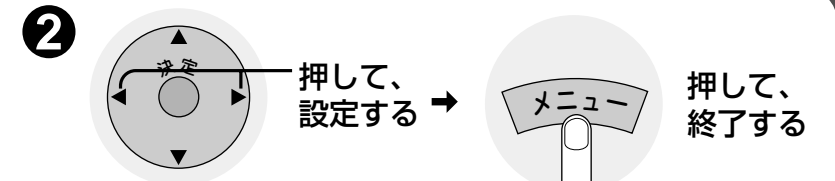
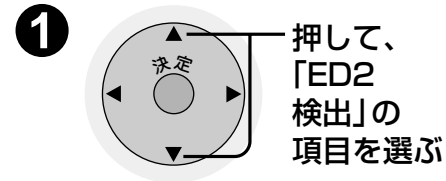


●「その他の設定」画面は3ページ構成です。
で項目を送ると自動的にページが変わります。

- お知らせ
- ID-1検出が働いて画面サイズが変わると **フル** または **ワイド** と画面表示します。

「ワイドクリアビジョン」を受信したとき、自動的に画面サイズを切替える

まず、20ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



3次元Y/C分離	オフ	オン
ID-1検出	オフ	オン
ED2検出	オフ	オン
525p色マトリックス	1	2
デジタルシネマリアリティ	オフ	オン
サイドパネル設定	オフ	

ED2検出 **オフ** **オン**

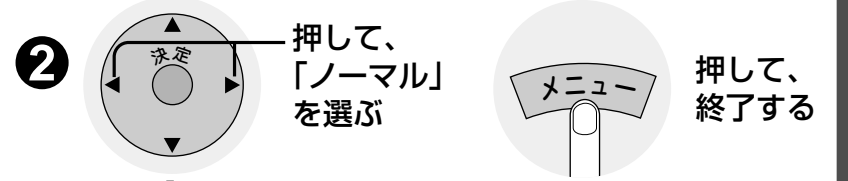
- オン…「ワイドクリアビジョン」の放送や、映像ソフトをご覧のとき、画面サイズを自動的に切替えます。
- オフ…画面サイズの自動切替をしません。
(正しく動作しない場合は「オフ」で使用してください。)

- お知らせ
- ID-1検出「オン」設定時(26ページ)は、ID-1検出が優先されます。
 - ED2検出が働くと画面サイズが変わり、**ワイド** と画面表示します。
 - 「ワイドクリアビジョン」を受信中に一旦、画面モードを変えると、**ワイド** にはなりません。このときは **画面モード** ボタンを1回押して「セルフワイド」にしてください。

4:3の映像のとき 自動で拡大画面にしたくない場合

「セルフワイド」機能で、4:3の普通の映像をそのまま見るときに設定します。

まず、20ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



チャンネル設定	
セルフワイド設定	ノーマル ジャスト
アッテネーター	オフ オン
デジタル音声-予約録画連動	しない する
入カスキップ	オフ

セルフワイド設定 **ノーマル** **ジャスト**

- 4:3の映像のとき「ノーマル」画面になります。
- 4:3の映像のとき「ジャスト」画面になります。

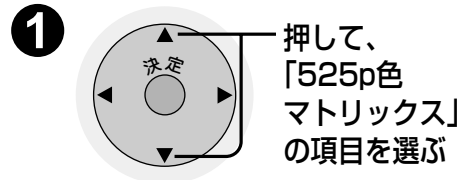
- お知らせ
- 「その他の設定」画面は3ページ構成です。
で項目を送ると自動的にページが変わります。



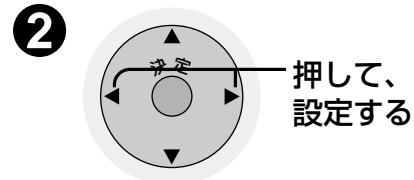
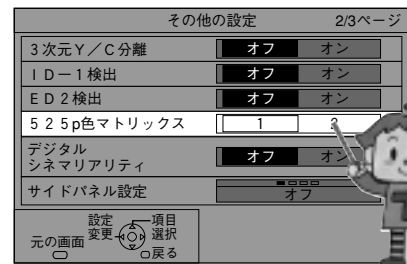
コンポーネントビデオ入力に525p (順次走査)信号を入力時の設定

「525p色マトリックス」
コンポーネント（色差）ビデオ入力端子に接続した機器の出力が525p（480p）方式の場合、接続する機器の色が自然な色あいになるように設定します。

まず、20ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



1 押して、「525p色マトリックス」の項目を選ぶ



2 押して、設定する

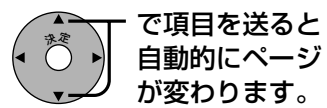
525p色マトリックス 1 2

- 「1」……NTSC (SD) 方式の色マトリックス信号の場合。(通常はこちらでお使いください)
- 「2」……HD方式の色マトリックス信号の場合。



押して、終了する

●「その他の設定」画面は3ページ構成です。



で項目を送ると自動的にページが変わります。



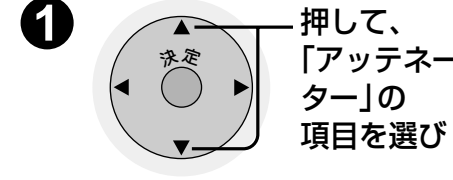
お知らせ

- 「525p色マトリックス」は750p(720p)や1125i(1080i)、525i(480i)出力の機器を接続する場合には関係ありません。

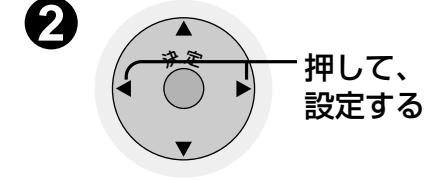
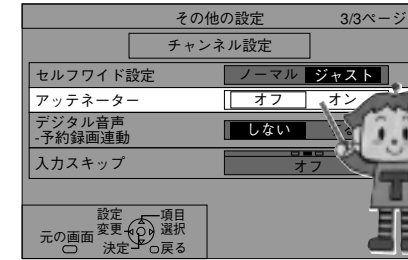
テレビの電波が強過ぎる地域などで 映像が不安定になるとき

テレビの電波が強すぎて映像が不安定になるときはアッテネーターを「オン」にします。

まず、20ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



1 押して、「アッテネーター」の項目を選び



2 押して、設定する

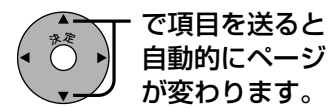
アッテネーター オフ オン

- オン …電波の強い地域の場合
- オフ …電波の弱い地域の場合



押して、終了する

●「その他の設定」画面は3ページ構成です。



で項目を送ると自動的にページが変わります。

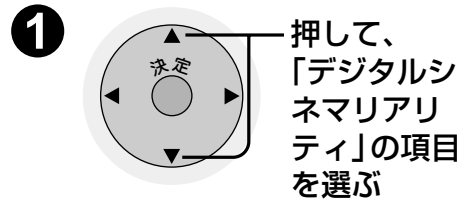
お知らせ

- アッテネーター「オフ」、「オン」は地上波放送（UHF/VHF）の場合のみ有効です。（衛星デジタル放送には関係ありません）

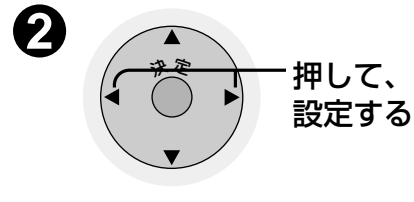
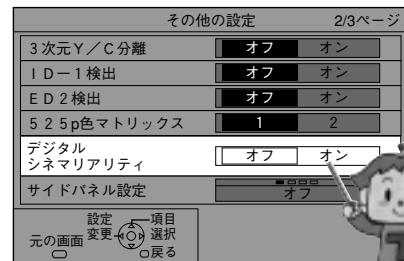
映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生する

「デジタルシネマリアリティ」

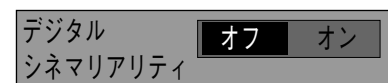
まず、20ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



1 押して、「デジタルシネマリアリティ」の項目を選ぶ

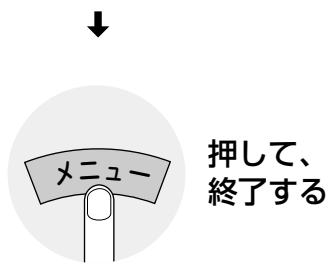
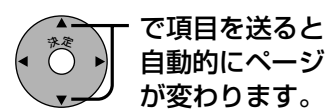


2 押して、設定する

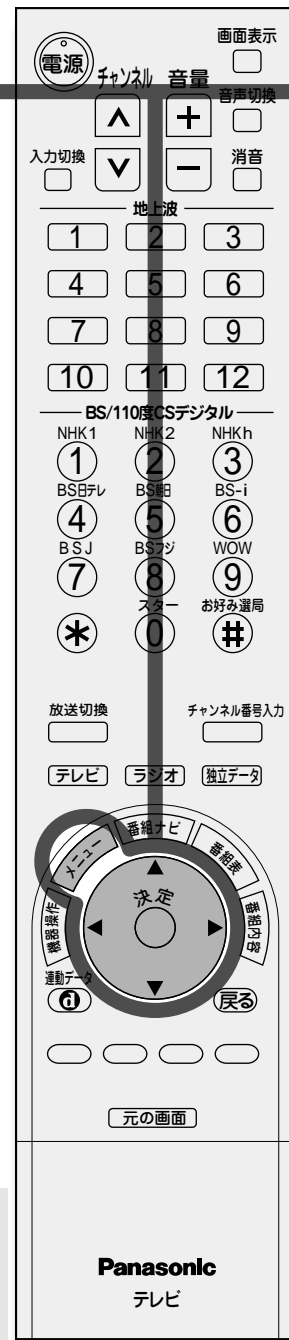


- オン…ふだんは「オン」でご覧ください。
- オフ…検出を解除したいとき。

- 「その他の設定」画面は3ページ構成です。



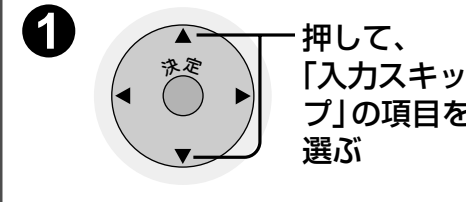
押して、終了する



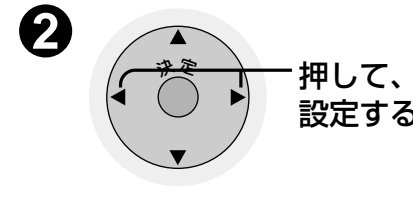
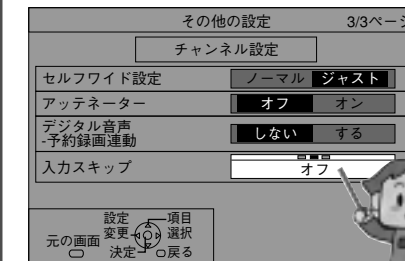
接続の無い外部入力をスキップする

「入カスキップ」

まず、20ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



1 押して、「入カスキップ」の項目を選ぶ



2 押して、設定する



- オン…を押したとき、PC (パソコン) 以外の接続の無い外部入力には切りかわりません。
- オフ…外部機器の接続にかかわらず、を押すことに、ビデオ1~3、色差ビデオ1、2に切りかわります。

- PCスキップ…を押したとき、PCや接続の無い外部入力には切りかわりません。

- 「その他の設定」画面は3ページ構成です。



押して、終了する

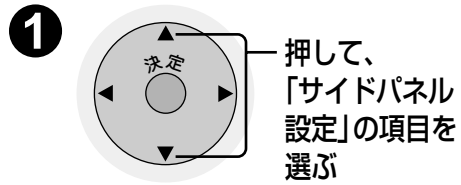
お知らせ

- 「デジタルシネマリアリティ」を「オン」にすると、映画など、毎秒24コマで撮影された再生映像がより高画質にご覧になれます。
- 再生映像を「オン」でご覧になると、不自然な映像になる場合があります。この場合は「オフ」でご覧ください。

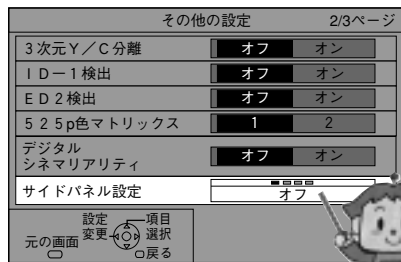
サイドパネルの明るさを変える

「サイドパネル設定」
アスペクト比が4：3の映像を表示中、画面の左右に表れる黒帯部分（サイドパネル）の明るさをお好みに合わせて調整することができます。

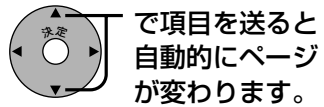
まず、20ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



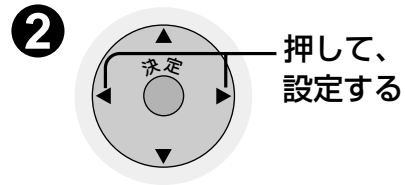
1 押して、「サイドパネル設定」の項目を選ぶ



●「その他の設定」画面は3ページ構成です。



で項目を送ると自動的にページが変わります。

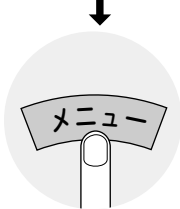


2 押して、設定する



- オフ …サイドパネル部分を光らせず暗い状態にします。
- 低 ……サイドパネル部分を少し明るくします。
- 中 ……サイドパネル部分を「低」よりさらに明るくして表示します。
- 高 ……サイドパネル部分を「中」よりさらに明るくして表示します。

※パネルの焼き付き軽減のため、ふだんは「高」でお使いください。



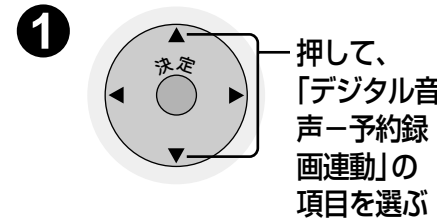
押して、終了する



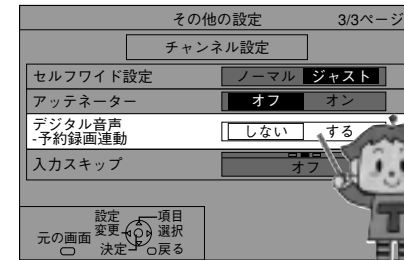
デジタル音声—予約録画連動の設定

予約録画で光デジタル音声端子からの衛星デジタル放送録音中に本機のチャンネルを変えても、音声確実に録音できるように設定できます。

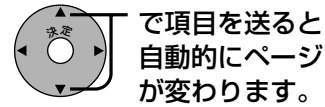
まず、20ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



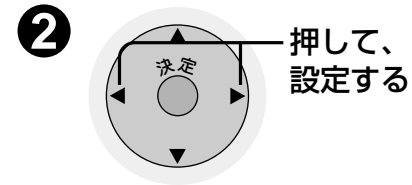
1 押して、「デジタル音声—予約録画連動」の項目を選ぶ



●「その他の設定」画面は3ページ構成です。



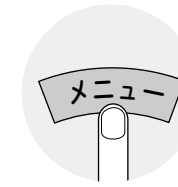
で項目を送ると自動的にページが変わります。



2 押して、設定する



- 「する」 …予約録画が実行されているとき、予約録画の番組の音声を出力
- 「しない」 …現在選局中の音声を出力



押して、設定終了

お知らせ

- デジタル音声出力の設定 (☞ 66ページ) を「PCM」にしてご使用ください。
- 衛星デジタル放送の番組により、録音できない場合があります。事前に番組内容を確認してください。(☞ A編：13ページ)
- 予約録画は予約設定で予約方式を「録画」に設定します。(☞ A編：22ページ)
- 地上波放送の予約録画では「デジタル音声—予約録画連動」の設定に関わらず、現在選局中の音声を出力します。

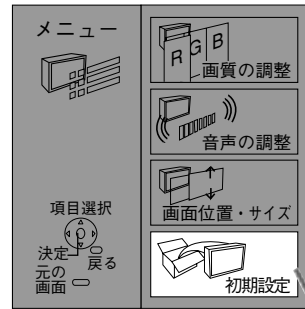
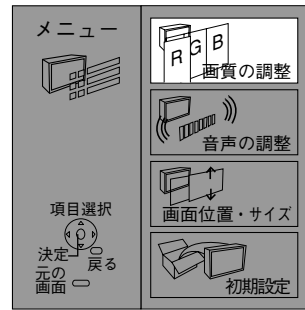
「衛星デジタル設定」画面を出すとき

「衛星デジタル設定」画面は、衛星デジタルの各設定や、調整を行うための入り口です。また、「衛星初期設定」画面や「衛星チャンネル設定」画面は、「メニュー」画面から階層状に選択します。ここでは、各設定画面の入り口までの案内をしています。

「衛星デジタル設定」画面を出す

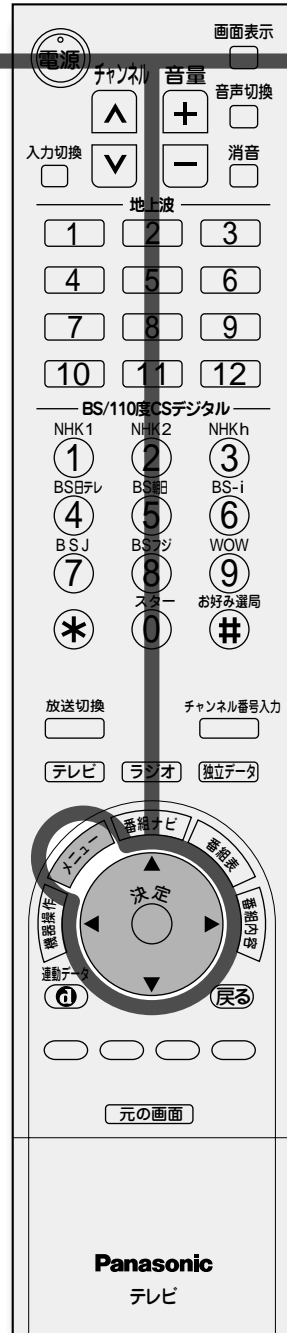
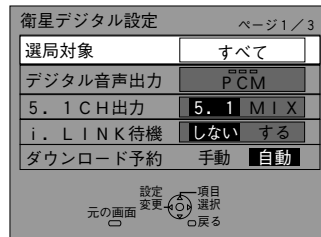
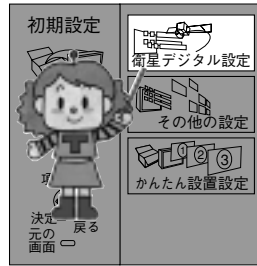
① 押して、「メニュー」画面を出す

押して、「初期設定」を選ぶ



② 押して、「衛星デジタル設定」を選び、

中央の決定ボタンを押して、「衛星デジタル設定」画面にする

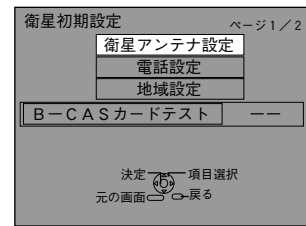
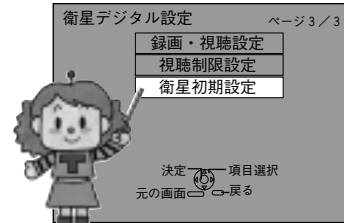


「衛星初期設定」画面/ 「衛星チャンネル設定」画面を出すとき

「衛星初期設定」画面を出す

③ 押して、「衛星初期設定」を選び、

中央の決定ボタンを3秒以上押して、「衛星初期設定」画面にする

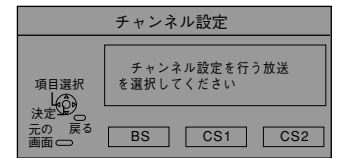
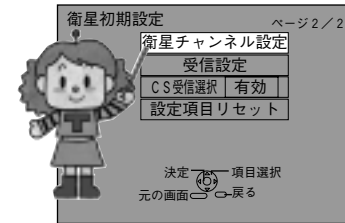


● 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。
で項目を送ると自動的にページが変わります。

「衛星チャンネル設定」画面を出す

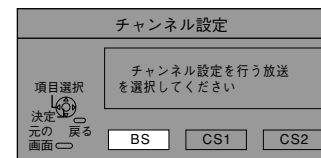
④ 押して、「衛星チャンネル設定」を選び、

中央の決定ボタンを押して、「チャンネル設定」画面にする



押して、「BS」「CS1」「CS2」を選び、

中央の決定ボタンを押して、「衛星チャンネル設定」画面にする



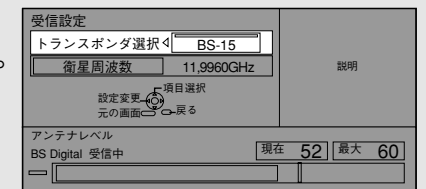
例) BSを選ぶ

リモコン	CH	種類	チャンネル名
1	1 0 1	F/D	NHK BS 1
2	1 0 2	F/D	NHK BS 2
3	1 0 3	F/D	NHK ハイビジョン
4	1 4 1	F/D	BS日本
5	1 5 1	F/D	BSアサヒ

● 「衛星初期設定」画面は2ページ構成です。
で項目を送ると自動的にページが変わります。

お知らせ

- 「衛星初期設定」画面の2/2ページに「受信設定」の項目がありますが、この設定は衛星デジタル放送からの指示がない限り変更しないでください。設定を変更すると衛星デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。



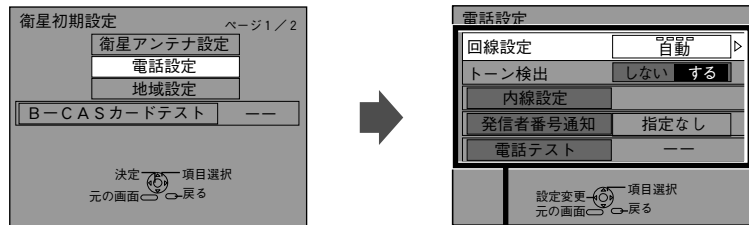
電話設定

衛星デジタル放送では電話回線を使って有料放送の料金管理や視聴者参加番組への接続が行われるため、必ず電話回線の接続（P.53ページ）をしたうえで、電話設定を行ってください。

まず、34、35ページの操作で「衛星初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。

電話設定画面の出しかた

押して、「電話設定」を選び、
中央の決定ボタンを押して決定する



- 回線設定 -----> 37ページ
- トーン検出の設定 -----> 37ページ
- 内線設定 -----> 38ページ
- 発信者番号通知 -----> 39ページ
- 電話テスト -----> 39ページ

● 各項目の設定、テストを行ってください。



回線設定

本機に接続された電話回線に合わせて設定を行います。工場出荷時は「自動」に設定されています。

押して、「回線設定」を選び、
押して、切替える

- 自動** …「電話テスト」を行うと、自動的に電話回線の種別が設定されます。
- プッシュ** …プッシュ回線を使用している場合に設定してください。
- ダイヤル20** …20PPSのダイヤル回線を使用している場合に設定してください。
- ダイヤル10** …10PPSのダイヤル回線を使用している場合に設定してください。

■設定が終わったら
[元の画面] ボタンを押す

トーン検出の設定

トーン検出は本機が電話回線につながっているかを検出する機能です。工場出荷時は「する」に設定されています。

押して、「トーン検出」を選び、
押して、切替える

- する** …通常はこの設定でご使用ください。
- しない** …受話器を上げてても無音で、「ツー」音などが聞こえない内線電話の場合に設定してください。

■設定が終わったら
[元の画面] ボタンを押す

お知らせ

● 1つの電話番号の回線にモジュラー分配器で本機と電話機やファクシミリなどを接続されている場合は、電話機やファクシミリなどの使用中に本機の通信はできません。

次のような症状がでるときは

電話回線へ本機に付属のモジュラー分配器を使って本機と電話機やファクシミリなどを接続した場合、一部の電話機やファクシミリで次のような症状がでることがあります。

- 本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る
この症状がでるときは、付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。
- 電話機にノイズ（雑音）が入る
この症状がでるときは、市販されている自動転換器（一般用）または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。
詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。

お知らせ

- 電話回線の種別がわからないときはご使用の電話機の設定をご確認のうえ、設定してください。また、電話機の設定を見てもわからないときはご加入のNTT営業所にお問い合わせください。
- 押しボタン式の電話機が接続されていてもプッシュ回線ではない場合があります。相手先の電話番号を発信したときに「ピッポッパッポ」と受話器から音が出る場合はプッシュ回線です。
- ターミナルアダプターのアナログポートに接続するときは、回線設定は「プッシュ」にしてください。
- 接続する回線によっては、回線設定「自動」ではうまく働かない場合があります。そのような場合には、接続する電話回線に合わせて設定してください。

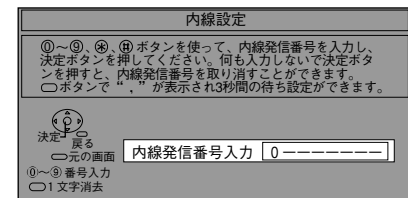
お知らせ

- 「トーン検出」を「しない」に設定していると、同じ回線に接続の電話機などを使用中に本機で送信操作をすると、使用中の電話機などにダイヤル音が混入し通信障害になります。
- 回線設定が「自動」に設定されているときは、トーン検出は「する」に固定されます。

内線設定 外線に電話をするときに0発信などが必要な電話回線に本機を接続の場合のみ、この設定が必要となります。

例 0を設定する場合

1 押し、「内線設定」を選び、中央の決定ボタンを押す



2 内線発信番号0を入力し、

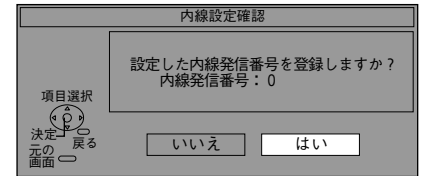
スター 0

↓

中央の決定ボタンを押す

- 時間待ち設定が必要な場合は、青ボタンを押すことにより、(カンマ)が入力され時間待ち設定ができます。(カンマ)1つで3秒間の待ち設定になります。
- 赤ボタンを押すごとに、最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

3 押し、登録確認画面の「はい」または「いいえ」を選び、中央の決定ボタンを押す



- はい** …入力した内線発信番号が登録されます。
- いいえ** …入力した内線発信番号が取り消され「電話設定」画面が表示されます。

■設定が終わったら
元の画面 ボタンを押す

発信者番号通知

本機が電話をかける際にお使いの「電話番号」を相手に通知するかを設定します。

押し、「発信者番号通知」を選び、

押し、切替える

- 指定なし** …登録している電話番号をそのままダイヤルします。番号通知を通知するかは、お客様が通信事業者と契約されている内容に従います。
- 通知する** …登録している電話番号の頭に「186」を付けてダイヤルします。
- 通知しない** …登録している電話番号の頭に「184」を付けてダイヤルします。

■設定が終わったら
元の画面 ボタンを押す

電話テスト 「電話設定」が正しく設定されているかを確認します。テストには1分程度の時間がかかる場合があります。

押し、「電話テスト」を選び、

中央の決定ボタンを押す

- 電話テストが開始されます。
- 電話テストが終了すると、「電話テスト」の項目にテスト結果が表示されます。
- OK** …正常終了しました。
- NG** …不具合が発生しています。画面に表示される説明に従って原因を取り除いてください。
- テスト中** …テスト中です。
- …テストをしていない状態です。

■設定が終わったら
元の画面 ボタンを押す

お知らせ

- すでに登録している内線発信番号を取り消したい場合は②の手順で何も入力せずに決定ボタンを押し、③の手順で決定ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押してください。
- 戻るボタンで1つ前の画面に戻せます。



お知らせ

- 電話テストを行うときは、同じ回線に接続している電話機などが使用されていないことを確認してから行ってください。
- 電話テストで回線接続中は接続先までの電話料金がかかる場合があります。

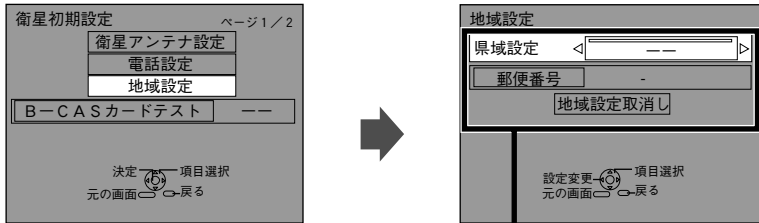
地域設定

「地域設定」は、緊急警報放送やデータ放送時にお客様の地域に関する情報を受信するための設定です。

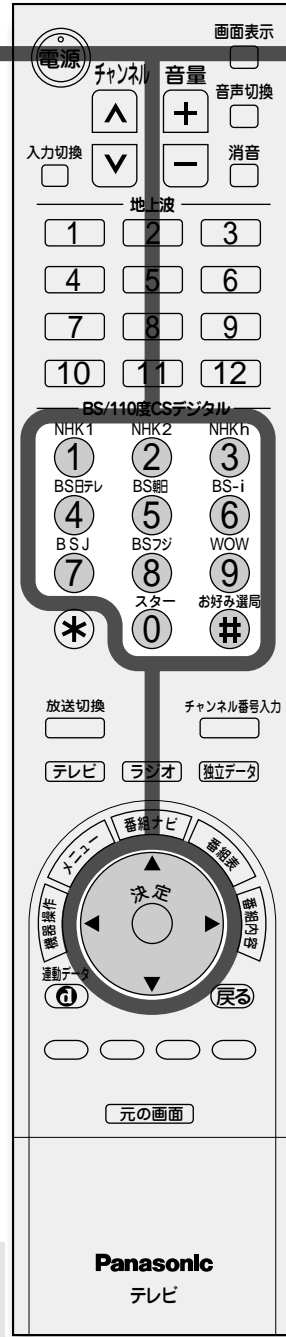
まず、34、35ページの操作で「衛星初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。

地域設定画面の出しかた

押して、「地域設定」を選び、
中央の決定ボタンを押す



県域設定
郵便番号
地域設定取消し } 41ページ



お知らせ

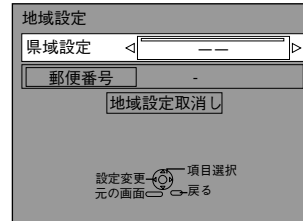
設定が終わったら

- **戻る** ボタンを押す → 1つ前の画面に戻ります。
- **元の画面** ボタンを押す → 設定画面が消えます。

県域設定

お住まいの都道府県を設定します。

押して、「県域設定」を選び、
押して、都道府県を
切替える



お願い

- 伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。南西諸島鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。

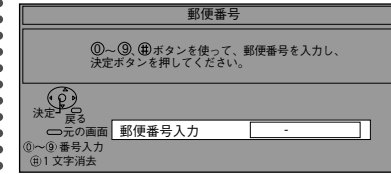
郵便番号

お住まいの地域の郵便番号(7桁)を設定します。

1 押して、「郵便番号」を選び、
中央の決定ボタンを押す

2 7桁の郵便番号を入力し、

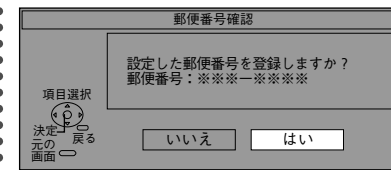
NHK1	NHK2	NHKh
1	2	3
BSBテレ	BS船	BS-i
4	5	6
BSJ	BSフジ	WOW
7	8	9
	スター	お好み選局
	0	#



中央の決定ボタンを押す

- **#** ボタンを押すごとに、最後の桁を1つずつ取消することができます。

3 押して、登録確認画面の**はい**または**いいえ**を選び、
中央の決定ボタンを押す

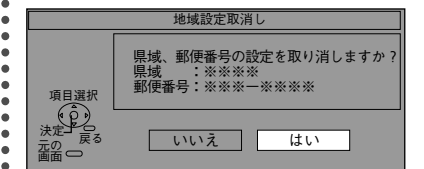


- **はい** … 入力した郵便番号が登録されます。
- **いいえ** … 入力した郵便番号が取消され「地域設定」画面に戻ります。

地域設定取消し

設定した「県域設定」と「郵便番号」を工場出荷時に戻します。

1 押して、「地域設定取消し」を選び、
中央の決定ボタンを押す



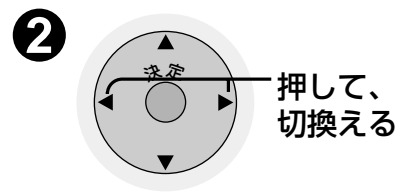
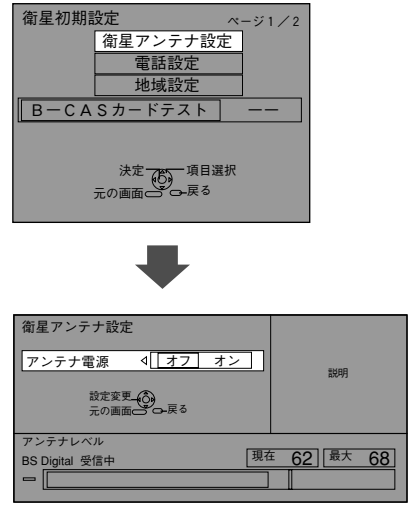
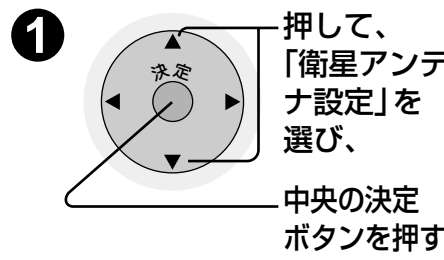
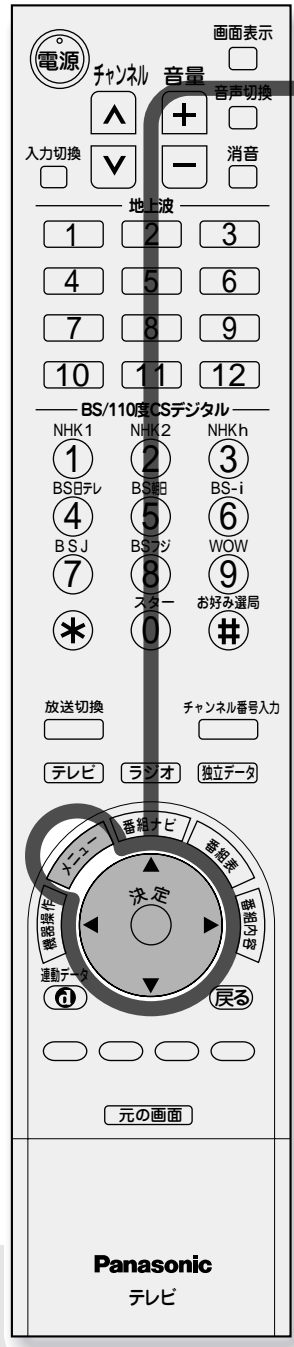
2 押して、確認画面の**はい**または**いいえ**を選び、
中央の決定ボタンを押す

- **はい** … 「県域設定」と「郵便番号」の設定値を工場出荷状態に戻します。
- **いいえ** … 「地域設定」画面に戻ります。

衛星アンテナ設定

本機から衛星アンテナのコンバーターへの、電源供給の「オン」／「オフ」を設定します。
工場出荷時は「オフ」に設定されています。
また、アンテナ入力レベルの確認も行えます。

まず、34、35ページの操作で「衛星初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。



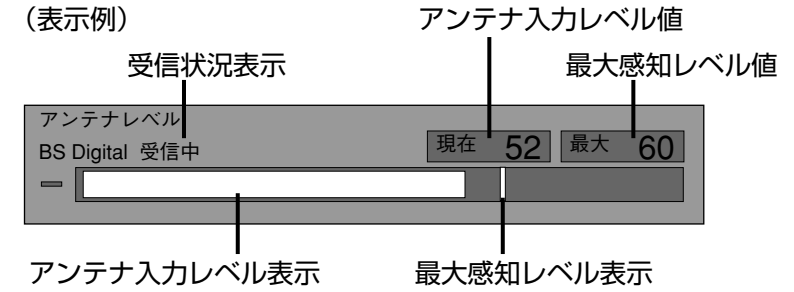
オン ... 個別にアンテナを設置して受信する場合はこの設定でご利用ください。アンテナのコンバーターへ電源が供給されます。

オフ ... マンション共聴などで本機以外の機器から電源供給をする場合に設定してください。

■設定が終わったら
メニュー ボタンを押す

アンテナ入力レベルの確認と調整

「衛星アンテナ設定」画面で現在選局しているチャンネルのアンテナ入力レベルの確認ができます。
アンテナ入力レベル表示を見ながら衛星アンテナの仰角（上下の向き）・方位角（左右の向き）の調整を行ってください。110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、110度デジタル放送のチャンネル（CS1-001チャンネルまたはCS2-100チャンネル）を選局し、調整してください。
アンテナの向きを調整していくと、受信可能レベルに達したとき「BS Digital 受信中」「SKY Perfec TV! 受信中」などと表示されます。表示が出ている状態でアンテナ入力レベル表示が最大になる向きをさがし、その向きにアンテナを固定してください。



最大感知レベル表示	アンテナ入力レベルの最大値が表示されます。
アンテナ入力レベル表示	現在のアンテナ入力レベルが表示されます。
受信状況表示	BS・110度CSデジタル放送を受信すると「○○○○○ 受信中*」と表示されます。

※○○○○○は放送によって異なります。

お知らせ

- 引き続き「電話設定」を行う場合は36ページをご覧ください。

お願い

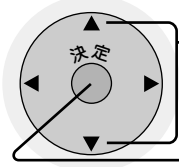
- アンテナの仰角・方位角の調整方法は衛星アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- アンテナ調整はアンテナの入力レベルを見る人とアンテナの向きを調整する人が連携を取りながら行ってください。
- 受信状況表示に「他の衛星受信」と表示されている場合は、BS・110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信しています。正しい向きをご確認のうえ再度、アンテナを調整してください。

お知らせ

- アンテナの最大入力レベルは、天候、季節、アンテナの調整、受信している地域などにより異なります。
- 110度CSデジタル放送を受信してアンテナ調整を行った場合、それでBSデジタル放送も受信できます。（改めてBSデジタル放送を受信してBS用に調整する必要はありません。）

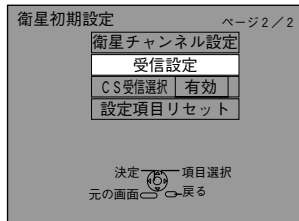
まず、34、35ページの操作で「衛星初期設定」画面を出し、次の操作で設定します。

受信設定



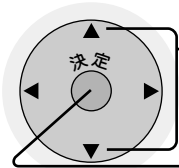
押して、「受信設定」を選び、

中央の決定ボタンを押す



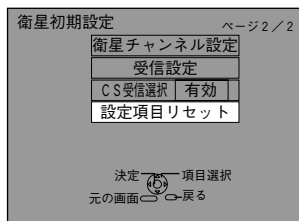
「受信設定」画面での設定は、衛星デジタル放送からの指示がない限り行わないでください。設定を変更すると衛星デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

設定項目リセット

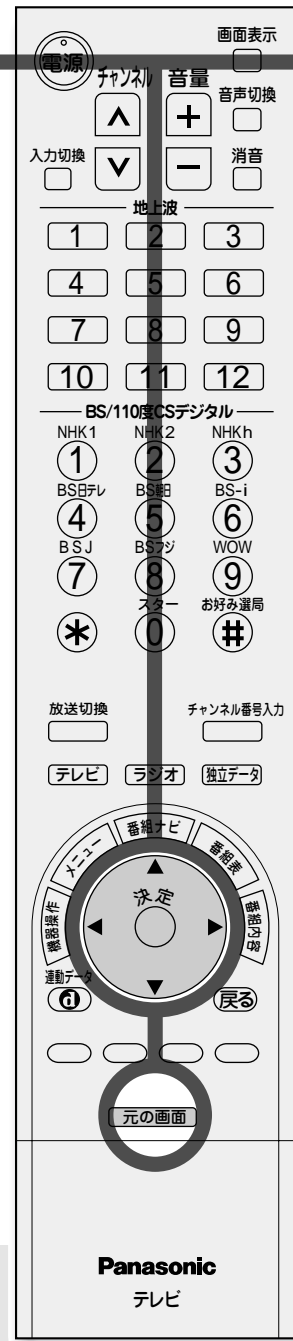


押して、「設定項目リセット」を選び、

中央の決定ボタンを押す

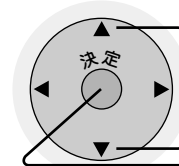


「衛星アンテナ設定」、「電話設定」、「受信設定」の設定値を工場出荷値に戻します。正常に受信できているときは実行しないでください。受信できなくなる場合があります。



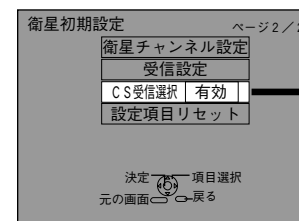
CS受信選択

本機で110度CSデジタル放送を受信するかどうかを設定します。



押して、「CS受信選択」を選び、

中央の決定ボタンを押して、設定画面にする



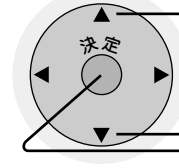
◀▶で「有効」「無効」を選び、中央の決定ボタンを押す。

有効 … 110度CSデジタル放送の受信機能が有効になります。(通常は、こちらでお使いください。)

無効 … 110度CSデジタル関連の機能が無効になります。BSデジタル放送のみをご覧になる場合に設定すると、使わないCS関連の機能が表示されなくて便利です。

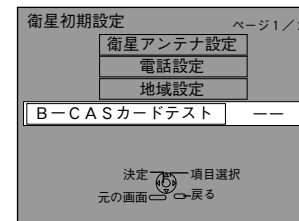
B-CASカードテスト

B-CASカードの動作テストを行います。本機にB-CASカードを挿入してからテストを行ってください。



押して、「B-CASカードテスト」を選び、

中央の決定ボタンを押す



B-CASカードの動作テスト結果が表示されます。

OK … 正常に動作しています。

NG … 正常に動作していません。B-CASカードの挿入方向が間違っていないか、使用できないカードが挿入されていないかなどを確認してください。(52ページ)

テスト中 … テスト中です。

-- … テストをしていない状態です。

■「B-CASカードテスト」が終わったら

元画面 ボタンを押す

お願い ● B-CASカードを抜き差しした場合は、3秒以上たってからB-CASカードテストを行ってください。

ダウンロード機能とは

ダウンロード機能とは、放送衛星から送られてきたダウンロードデータを本機に取り込む（ダウンロードすることにより、本機自体の制御プログラムを書き換える機能です。

ダウンロードには、大きく分けて2種類あります。

1つは、機能向上などの重要なダウンロード、もう1つは、ダウンロードの内容によってお客様がダウンロードするかしないかの選択ができるダウンロードです。

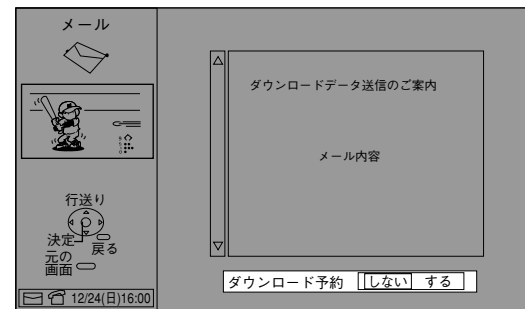
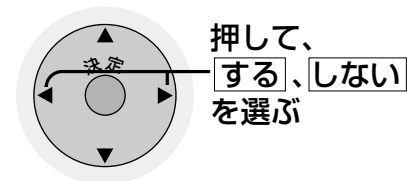
- 重要なダウンロード情報が届いた場合、右頁の「ダウンロード予約」の設定が「自動」なら、リモコンで電源「切」（機能待機）状態時に自動的にダウンロードが行われます。
- お客様が選択するダウンロード情報や、「ダウンロード予約」を「手動」に設定している場合に重要なダウンロード情報が届くと、ダウンロード予約選択メールも同時に届きます。（下記）

次の手順でダウンロード予約の設定を行ってください。

「ダウンロード予約選択メール」画面での設定方法

まず、A編：47ページの手順でダウンロード予約のメールを確認する。

本機に届いたダウンロード予約選択メールから「する」を選択することにより、ダウンロード予約が設定され、リモコンで電源「切」（機能待機）状態時に、自動的にダウンロードを行います。



ダウンロード予約選択メール

- する** … ダウンロードを行う場合に選びます。
- しない** … ダウンロードを行わない場合に選びます。

■ **戻る** ボタンでメールの一覧画面に戻る。

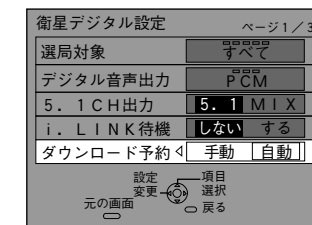


ダウンロード予約の自動／手動の設定

ダウンロードを行う場合に、重要なダウンロードは自動的に行うか、または、ダウンロード予約選択メールの「する」「しない」を選択してから行うかの設定ができます。工場出荷時は「自動」に設定されています。

まず、34ページの操作で「衛星デジタル設定」画面を出し、次の操作で設定します。

- 1
 - 押して、「ダウンロード予約」を選び、
 - 押して、「自動」「手動」を切り替える



- 「衛星デジタル設定」画面は3ページ構成です。
- で項目を送ると自動的にページが変わります。

- 自動** … 重要なダウンロード情報が届けば、リモコンで電源「切」（機能待機）状態時に自動的にダウンロードを行います。（ふだんは **自動** でご使用ください。）
- 手動** … ダウンロード予約選択メールでダウンロードを行うかを選択します。（本機の性能改善など、重要なダウンロードの場合でも、自動的には受けられなくなりますのでご注意ください。）

- 2 ボタンを押す（設定終了）
 - 「衛星デジタル設定」画面が消えます。

お知らせ

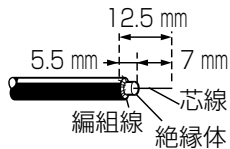
- ダウンロードが終了すると、メールでダウンロードの実行結果が届きます。（ A編：47ページ）
- ダウンロードは、悪天候の時などに失敗する場合があります。この場合、ダウンロード失敗のメールが届きます。（ A編：47ページ）

アンテナ線の接続

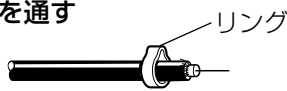
VHF/UHFアンテナ線を加工する

※付属のF型接栓(3種類)はVHF/UHFアンテナ線用です。

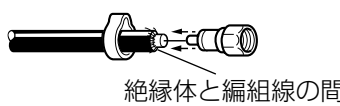
① 先端を処理する



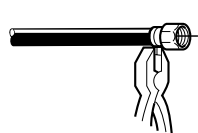
② リングを通す



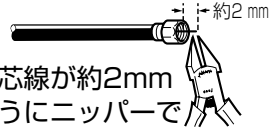
③ 接栓をさし込む



④ リングをはさんでしめつける



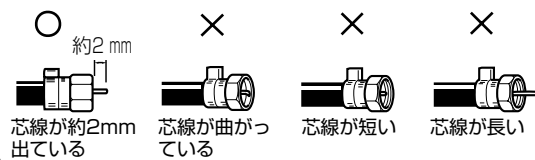
⑤ 芯線を切断する



出ている芯線が約2mmになるようにニッパーで切断してください。

お願い

ケーブルの先端処理をする場合、芯線に傷をつけないようにしてください。芯線と編組線が接触(タッチ)しないようにしてください。また、先端が曲がっていたり、短かったりしますと接触不良の原因となります。長すぎると、コンバーター部の破損につながる可能性があります。芯線が接栓より約2mm飛び出す状態に加工してください。

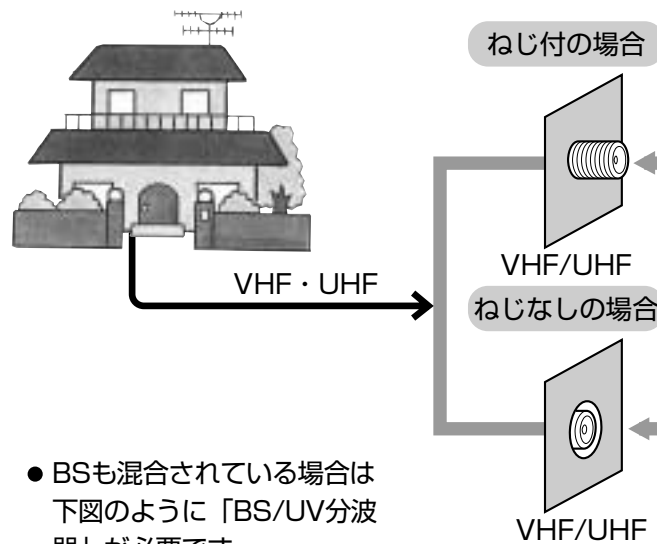


お知らせ

- 3種類のF型接栓を付属しています。アンテナ線(同軸ケーブル)の太さに応じてご使用ください。
 - 平行フィーダー線は妨害を受けやすくなりますので、ご使用にならないでください。
- ※電波が強すぎて映像が不安定になったり、FMラジオ放送の影響で映像・音声に妨害が入る場合は、お求めの販売店にご相談ください。

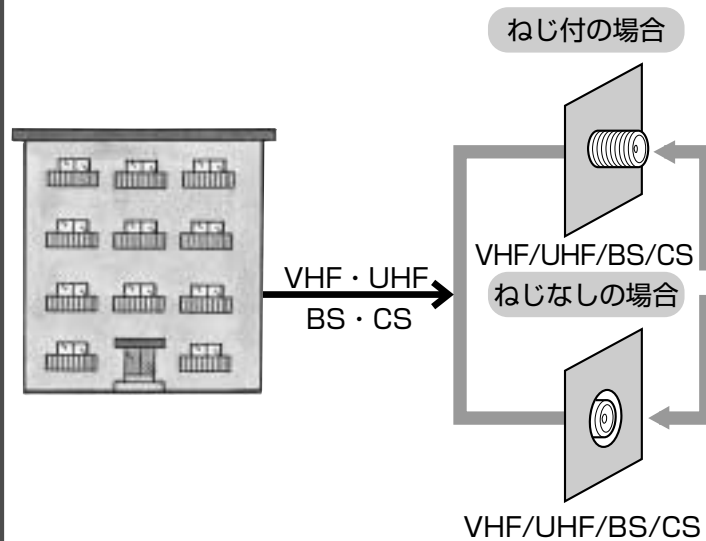
壁面にアンテナコンセントがある場合

■アンテナ線がVHF/UHF混合の場合(またはVHF、UHFだけの場合)

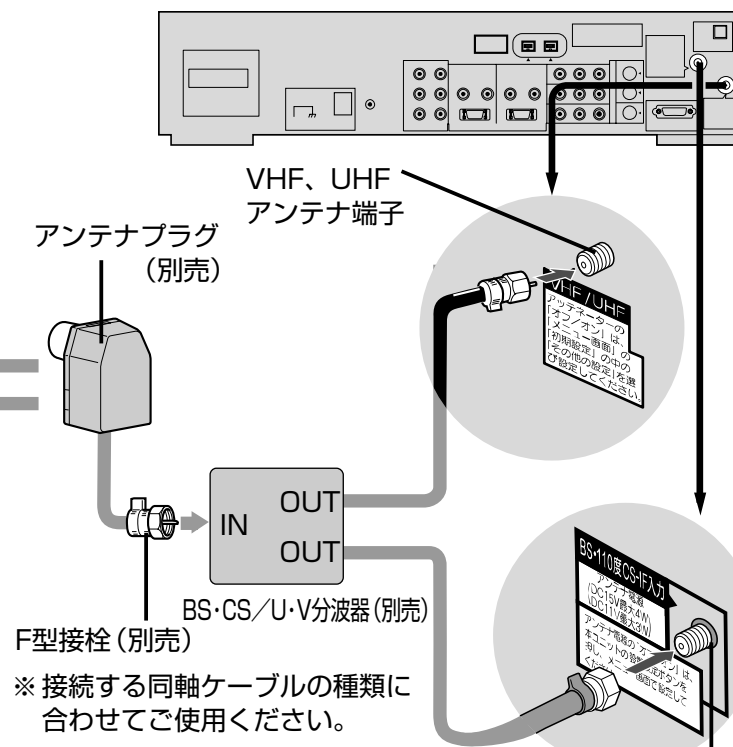
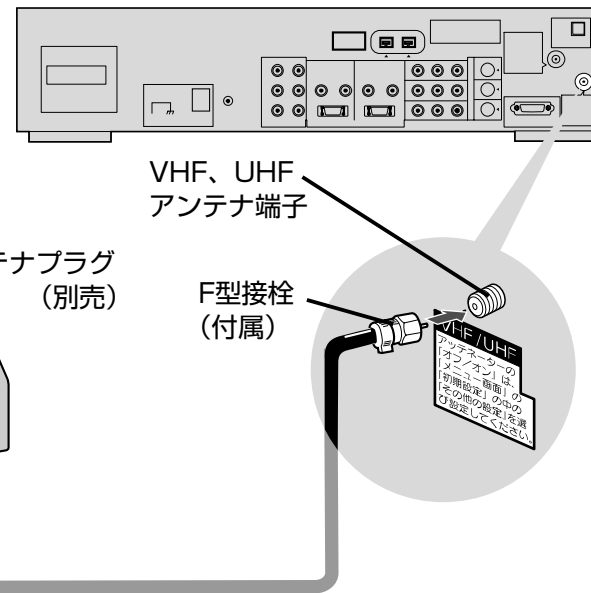


- BSも混合されている場合は下図のように「BS/UV分波器」が必要です。

■マンションなどの共聴システムの場合(VHF/UHF/BS/CS混合のとき)



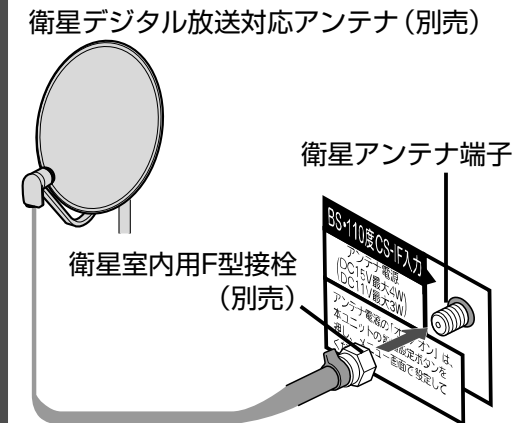
- ビデオなどをご使用の場合は、ビデオなどの取扱説明書もご覧ください。



※接続する同軸ケーブルの種類に合わせてご使用ください。

アンテナ電源を **オフ** にしてください。
●衛星アンテナ設定 44ページ

衛星アンテナを個別に立てたとき



アンテナ電源を **オン** にしてください。
●衛星アンテナ設定 44ページ

- 衛星アンテナは受信するデジタル放送に合わせてご用意ください。
- 衛星アンテナの設置方法については衛星アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- アンテナケーブルは衛星デジタル放送対応の専用ケーブルをご使用ください。

CATVを受信する場合

CATVの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらにスクランブル放送(有料)はアダプター(ホームターミナル)が必要です。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

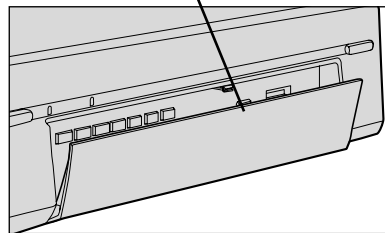
本機が受信できる放送の種類
VHF : 1~12チャンネル
UHF : 13~62チャンネル
CATV : C13~C38チャンネル
BS/CS : BS・110度CSデジタル放送 (BS<アナログ>放送は受信できません。)

B-CASカードの挿入

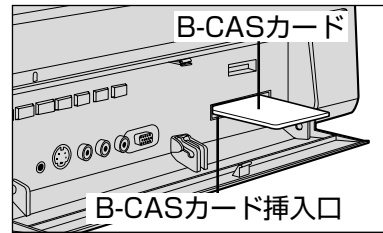
本機に付属のB-CASカードは、本機の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で、下記の手順に従って挿入してください。

- 1 本機前面の扉を開ける
- 2 B-CASカードを挿入する
- 3 本機前面の扉を閉める

「△」部を押す。



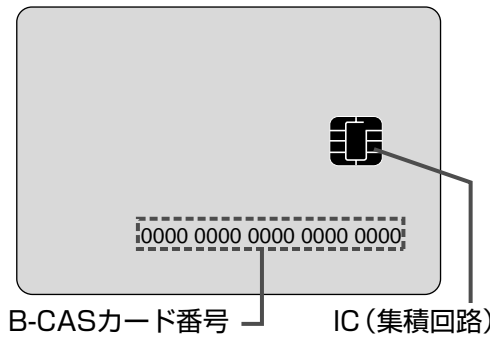
2 B-CASカードを挿入する
絵柄表示面を上にして、B-CASカードの矢印を挿入口方向へ合わせ、挿入が止まるまでゆっくりと押し込む。



- 3 本機前面の扉を閉める

B-CASカードについて

付属のB-CASカードには1枚ごとに違う番号（B-CASカード番号）が付与されています。B-CASカード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。（株）ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえB編裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。



B-CASカード取り扱い上の留意点

- B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CASカードのIC（集積回路）部には手をふれないでください。
- B-CASカードの分解加工は行わないでください。
- B-CASカードは上記手順をご覧のうえ、本機前面のB-CASカード挿入口に、正しく挿入してください。B-CASカードを挿入しないと、有料放送を視聴することができません。
- ご使用中にB-CASカードの抜き差しはしないでください。衛星デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

B-CASカードを抜くとき

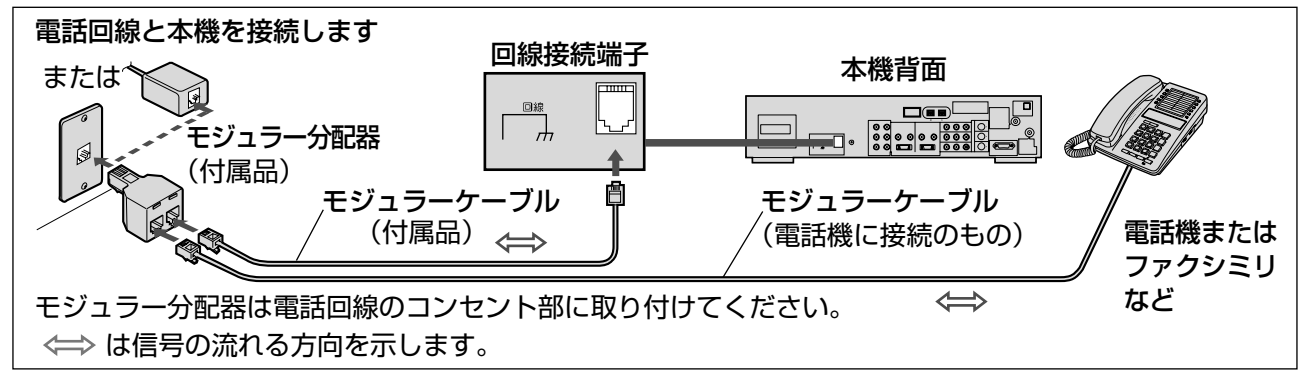
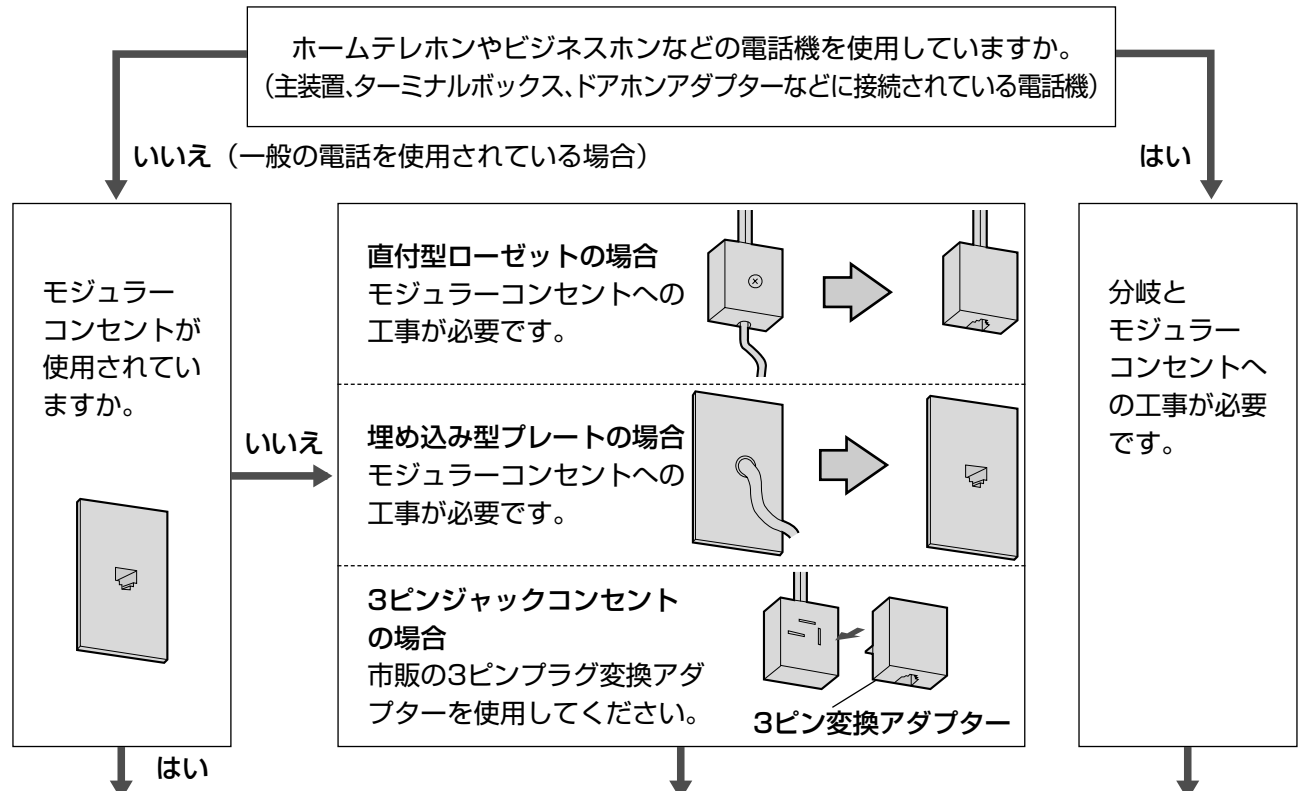
万一、抜く必要があるときは、本機の電源ボタンを「切」にしたあと、ゆっくりとB-CASカードを抜いてください。B-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

お願い

- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとB-CASカードは機能しません。

電話回線の接続

下記の手順に従って電話回線の接続形態を確認してから、接続を行ってください。



■以下の電話回線には接続できません

- ISDN回線（ただし、ISDNのターミナルアダプターにアナログポートがある場合は接続できます。）
- デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線。
- 「内線設定」が、9桁以上必要な構内交換機の電話回線。

お願い

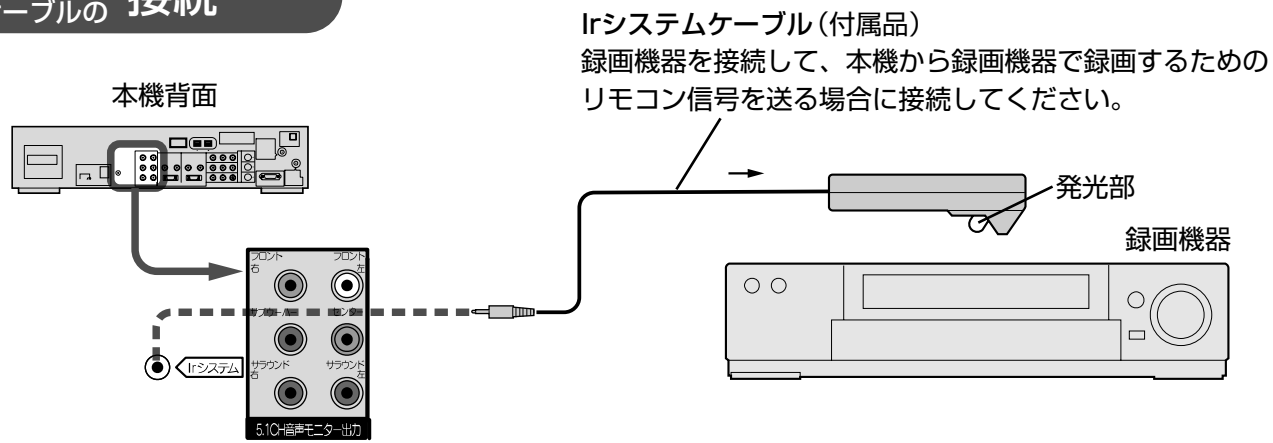
- 電話回線に関してはお求めの販売店にご相談ください。
- モジュラー分配器は本機の回線接続端子に差し込まないでください。取り外せなくなる場合があります。
- 付属のモジュラーケーブルは10 mあります。設置場所によってはモジュラーケーブルを壁に沿わせるなどして、邪魔にならないように十分配慮し配線処理をしてください。

お知らせ

- 付属のモジュラーケーブル（10 m）で長さが足りない場合は、市販のモジュラーケーブルをお買い求めください。
- 1つの電話回線に3つの機器を接続する場合は、市販の3分配用モジュラー分配器をご使用ください。

Irシステムケーブルを接続する

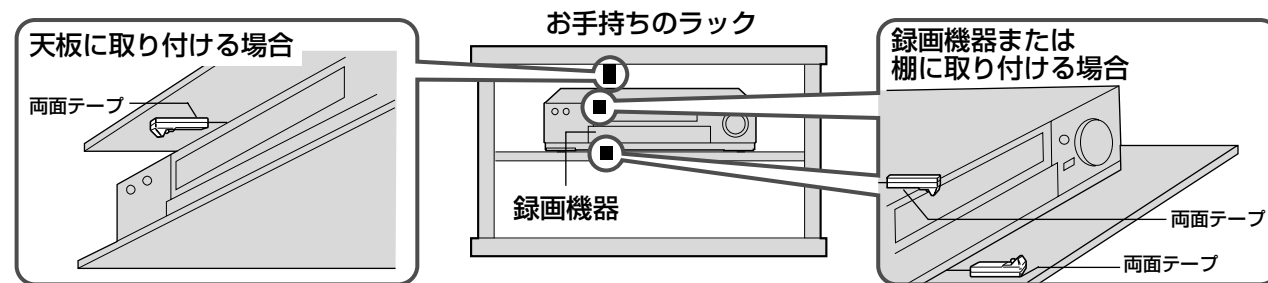
Irシステムケーブルの接続



Irシステムケーブルの取り付け

本機背面のIrシステム端子に付属のIrシステムケーブルを接続し、リモコン発光部を録画機器のリモコン受光部に向けて設置すると、本機に接続された録画機器で、衛星デジタル放送の番組を簡単に録画できます。Irシステムを使用できるビデオデッキのメーカーは松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECです。また、当社製およびパイオニア製DVDレコーダーも使用できます。(ただし、一部の商品によっては使用できない場合があります。)

取り付け例…録画機器のリモコン受光部の位置を確認して取り付けてください。(付属の両面テープを使用)



Irシステムを使用して、録画機器で録画をする場合は、62～65ページの手順で事前に設定とテストが必要です。テスト時に録画機器が動作する位置を確認のうえ、Irシステムケーブルを取り付けてください。

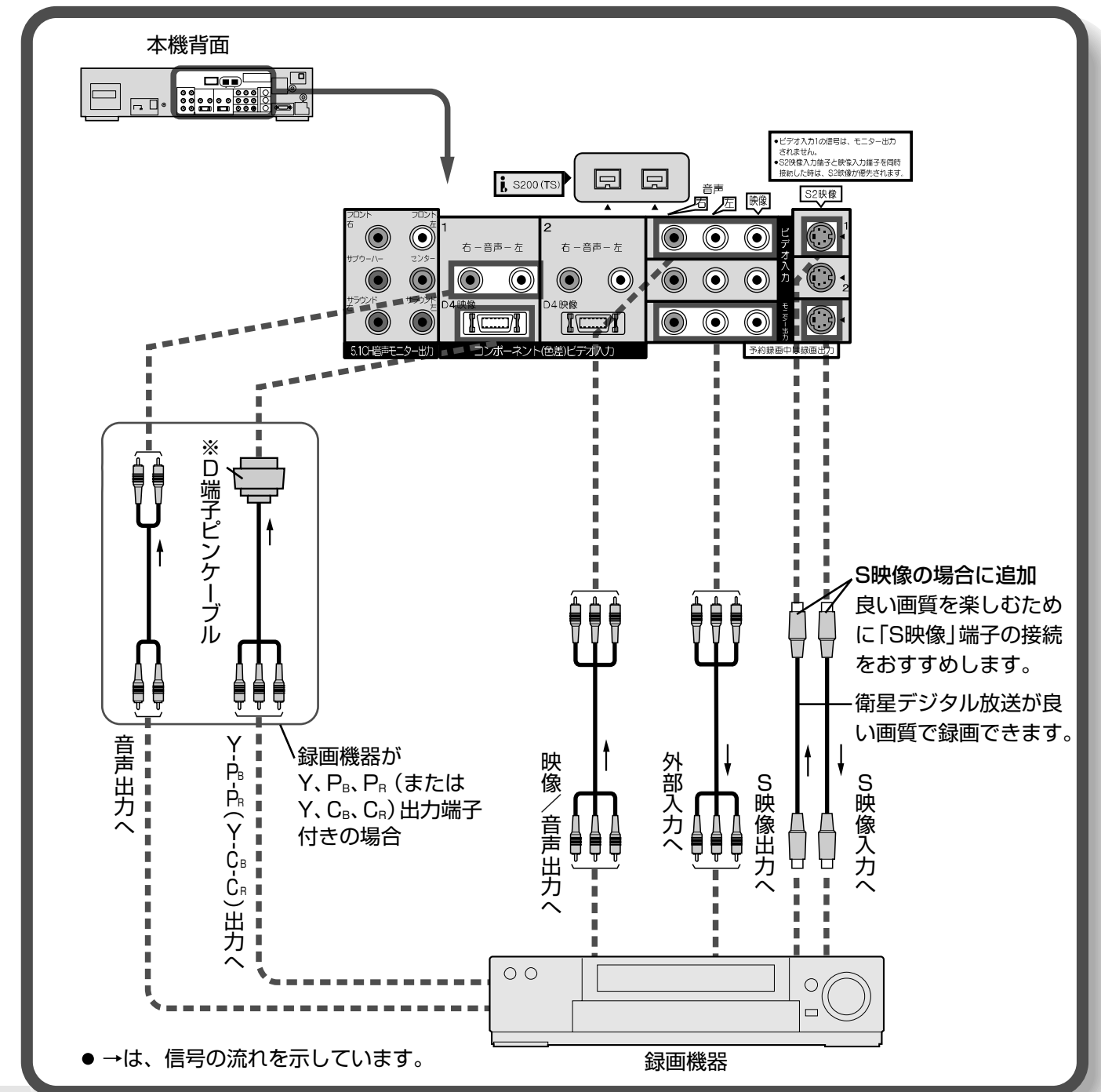
お願い

- 両面テープは貼り付ける個所のゴミやほこりを取り除いてから貼り付けてください。
- Irシステムケーブルに付属の両面テープは強力なため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷める場合がありますのでご注意ください。
- 57ページの録画機器の接続も行ってください。

Irシステムとは

- Ir (Infrared : 赤外線) で制御するシステムです。

録画機器を接続する

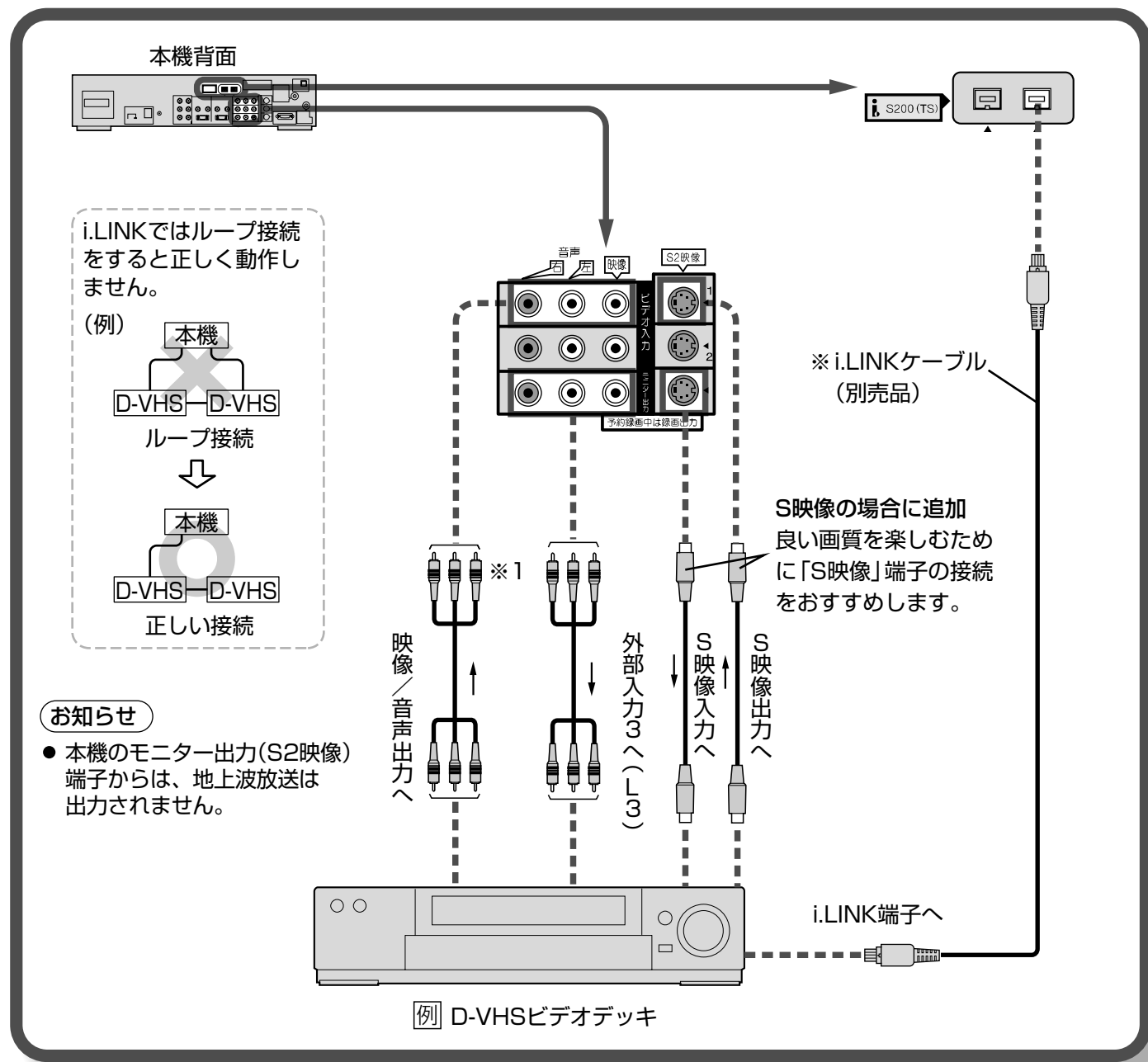


お知らせ

- 接続時は必ず各機器の電源を切ってください。(接続コード別売)
 - ハイビジョン番組の映像も現行放送 (NTSC) と同等の画質で録画されます。
 - 録画機器の説明書も参照ください。
 - ビデオ入力1、2の音声は「左」の端子のみに接続しますと左右スピーカーからは同じ音声が出力されます。(モノラル音声対応)
- 「連動予約」や「タイマー予約」をするとき (A編 : 31ページ) は、
- Irシステムケーブルの接続 (54ページ) と、「Irシステム設定」 (62～65ページ) を行ってください。
 - 衛星放送を録画予約すると、リモコンで電源「切」のとき、機能待機ランプ<橙>が点灯します。
- ※D端子ピンケーブルは別売品 (RP-CVCDG15 [1.5m]) をお求めください。

i.LINK対応機器を接続する (D-VHSビデオデッキ) (ハードディスクビデオレコーダー)

本機のi.LINK端子には、i.LINK対応の当社製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダーが接続できます。
i.LINK接続するとD-VHSビデオデッキへ簡単に録画予約の設定が行え、また本機のリモコンで基本的な操作が行えます。
i.LINKについては、A編：50ページをご覧ください。



※1：アナログ接続設定で、接続した機器の入力を「ビデオ1」に設定してください。(P.68ページ)

i.LINK対応機器の接続時のお願い

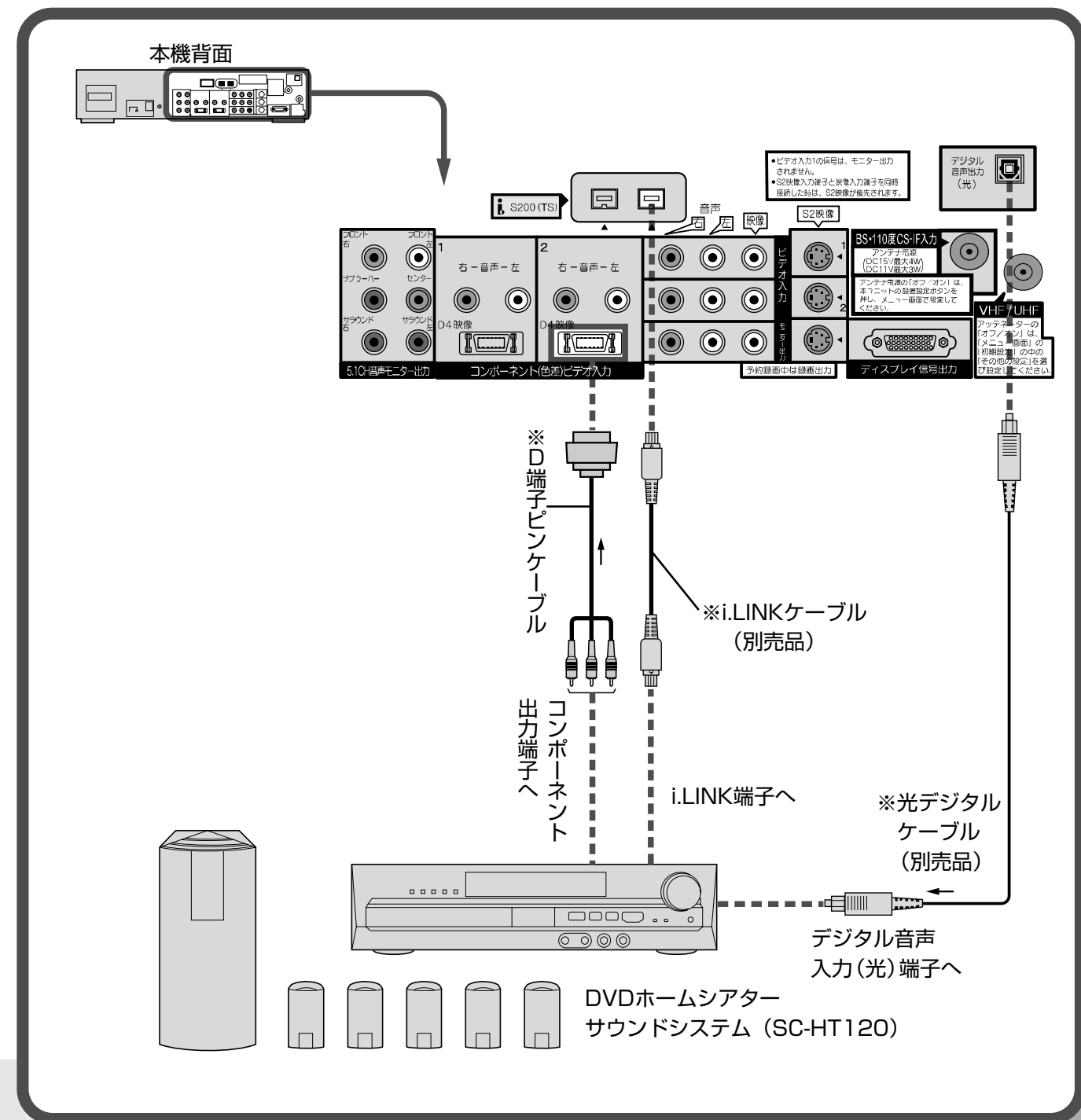
- i.LINKケーブルは別売のS200対応以上の4ピンi.LINKケーブルをご使用ください。
- i.LINKケーブルはプラグ部を持って、端子にまっすぐに差し込んでください。斜めからは入りません。
- i.LINK対応機器は、2つあるi.LINK端子のどちらに接続しても使用できます。

お願い

- 接続機器の説明書も参照ください。
- ※i.LINKケーブルは別売品 (RP-CDE4G15 [1.5m]、RP-CDE4G30 [3m]) をお求めください。

i.LINK対応機器を接続する (DVDホームシアターサウンドシステム)

本機のi.LINK端子には、i.LINK対応の当社製DVDホームシアターサウンドシステムが接続できます。
i.LINK接続すると本機のリモコンでDVDホームシアターサウンドシステムの基本的な操作ができます。
i.LINKについては、A編：50ページをご覧ください。



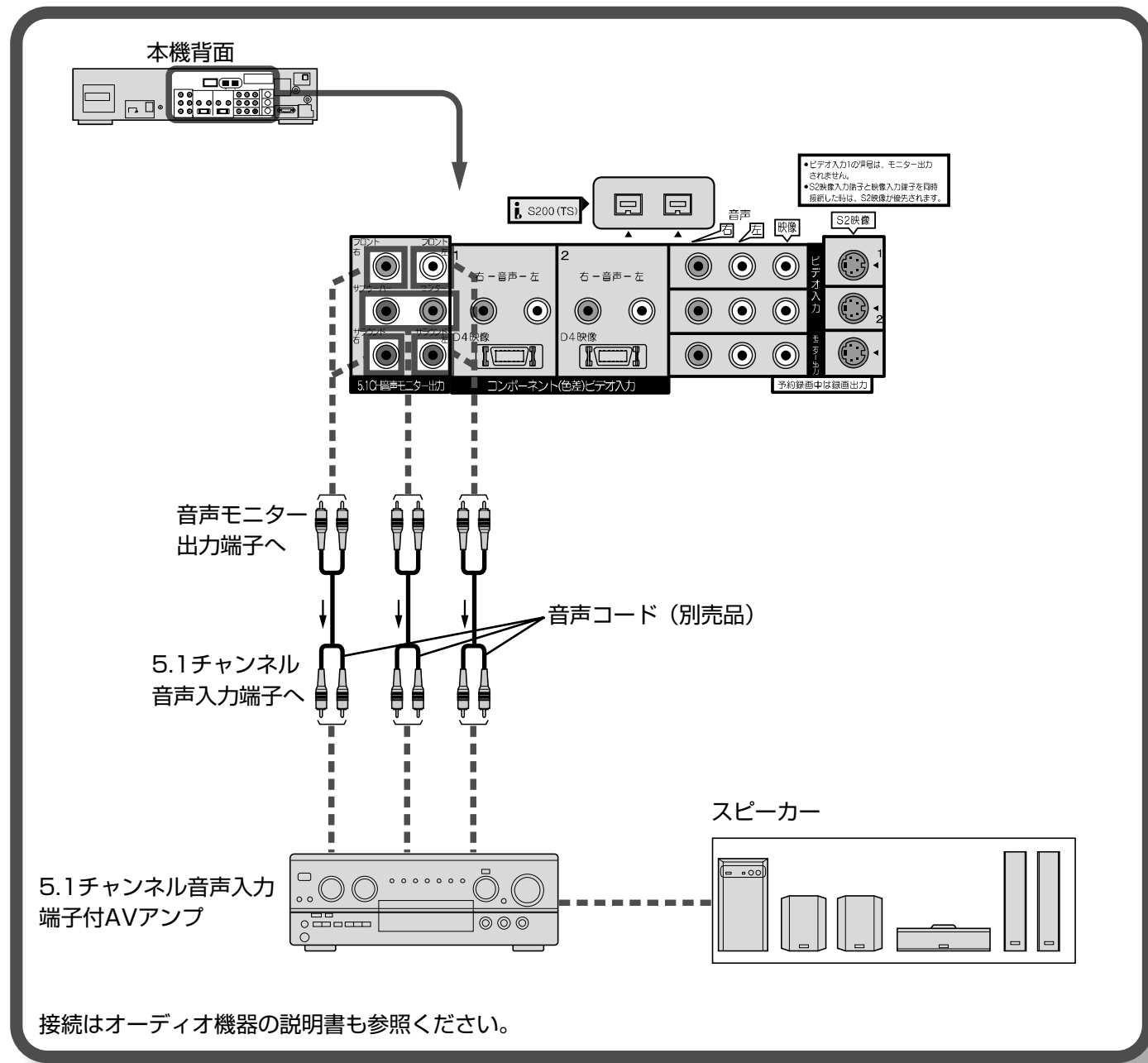
お願い

- 56ページの「i.LINK対応機器の接続時のお願い」もよくお読みください。
- DVDホームシアターサウンドシステムの説明書も参照ください。

※i.LINKケーブルは別売品 (RP-CDE4G15 [1.5m]、RP-CDE4G30 [3m]) をお求めください。
※D端子ピンケーブルは別売品 (RP-CVCDG15 [1.5m]) をお求めください。
※光デジタルケーブルは別売品 (RP-CA2010A [1m]) をお求めください。

5.1チャンネル音声入力端子付AVアンプ

本機の音声モニター出力端子に5.1チャンネル音声入力端子付AVアンプとスピーカーを接続すれば、最大5.1チャンネルのサラウンド音声もお楽しみいただけます。

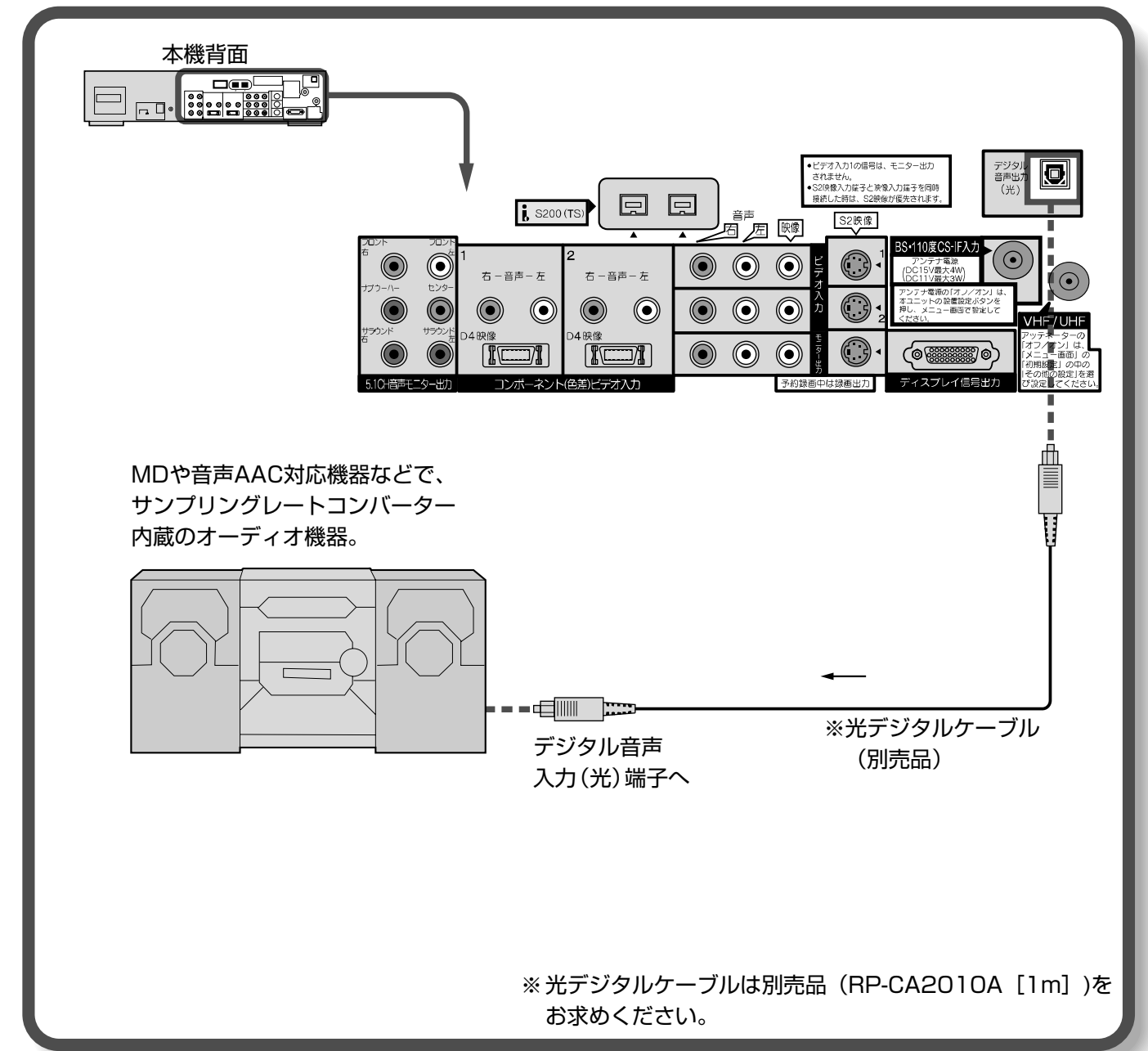


お願い

- 「5.1CH出力の設定」を「5.1」に設定しておいてください。(P.67ページ)
- 左右の音声出力端子のみ接続(サラウンド出力端子には接続しない)した場合は、ダウンミックス音声(5.1チャンネルの音声は2チャンネルの音声になる)として出力します。

デジタル音声入力端子付きオーディオ機器

本機の光デジタル音声出力端子は、デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器が接続できます。また、本機はAACフォーマットに対応のため、AACフォーマット対応のオーディオ機器にも接続できます。AACフォーマットをご利用になるには、「デジタル音声出力」の設定変更が必要です。(P.66ページ)



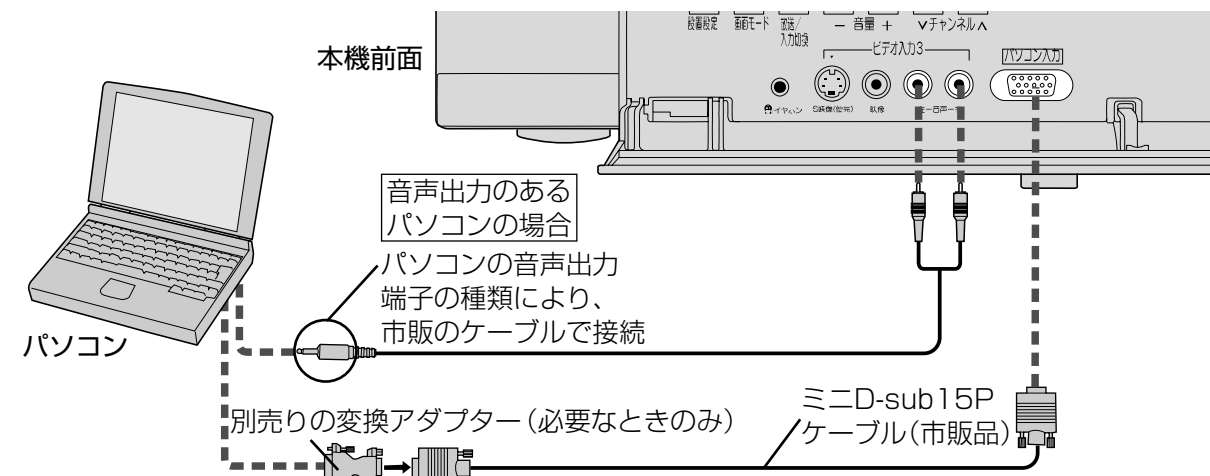
お願い

- 光デジタル音声出力端子を使用するときは端子に差し込まれているカバーを引っぱって取り外してください。本機の光デジタル音声出力端子は、衛星からの信号をそのまま出力していますので、送信されてくるサンプリング周波数に対応していないオーディオ機器は使用できません。(送信されるサンプリング周波数には、32kHz、44.1kHz、48kHzなどがあり、サンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器が必要です。)
- 接続はオーディオ機器の説明書も参照ください。
- SDメモリーカードの音楽再生の場合は、デジタル音声出力されません。

AAC (Advanced Audio Coding) とは

AACとは、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD(コンパクトディスク)並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

パソコンを接続する



※音声入力は「ビデオ入力3」の端子を使用します。なお、モノラル音声の場合は「左」の端子に接続してください。左右スピーカーから同じ音声が出力されます。
 ※イラストのパソコンは接続例です。

■接続できるパソコン信号の種類

●本機は代表的な各々8種類のパソコン信号について、あらかじめ調整値を記憶しています。表に記載されていないパソコン信号は、最大4種類まで記憶します。(対応周波数は水平：15.75kHz～110kHz、垂直：48Hz～120Hzです。)

＜本体に記憶済みのパソコン信号一覧表＞

640×400 : 70Hz	852×480 : 60Hz	800×600 : 85Hz	1024×768 : 75Hz	1280×1024 : 75Hz	640×480 : 67Hz
640×480 : 60Hz	800×600 : 60Hz	1024×768 : 60Hz	1024×768 : 85Hz	1280×1024 : 85Hz	832×624 : 75Hz
640×480 : 75Hz	800×600 : 75Hz	1024×768 : 70Hz	1280×1024 : 60Hz	1600×1200 : 60Hz	1152×870 : 75Hz

●解像度は表に記載のドット数が表示可能です。

画面モードが「ノーマル」のとき	画面モードが「フル」のとき	パソコン表示規格
1024×768	1366×768	XGA対応

垂直解像度が上記の表を超えるものは簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。

●対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。

お知らせ

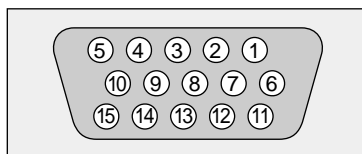
- パソコンのモデルによっては、本機と接続できないものもあります。
- PC-98シリーズ (D-sub15P端子の機種) やMacintoshのパソコンを接続する場合、変換アダプターが必要です。(別売)

※パソコンのミニD-sub15P端子が、DOS/Vに対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。

PC-98 (D-sub15P端子の機種) 用……………TY-ADN98
 Macintosh用……………TY-ADMACU

■パソコン入力端子 (ミニD-sub15P) の信号名

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
①	R	⑥	GND (アース)	⑪	GND (アース)
②	G	⑦	GND (アース)	⑫	NC (無接続)
③	B	⑧	GND (アース)	⑬	HD/SYNC
④	GND (アース)	⑨	NC (無接続)	⑭	VD
⑤	GND (アース)	⑩	GND (アース)	⑮	NC (無接続)



パソコン入力端子のピン配列

商標について

- VGAは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
 - Macintoshは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
 - PC-98は日本電気株式会社の商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

i.LINK待機の設定

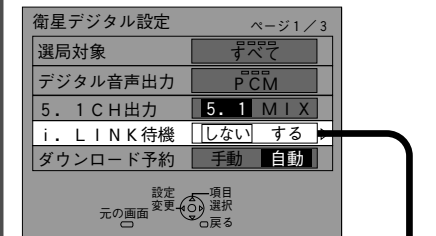
本機では電源オフのとき、i.LINKの接続機器からの制御を受け付ける設定が選べます。i.LINK対応機器を接続していない場合は、消費電力が少なくなる「しない」に設定してください。

まず、36ページの操作で「衛星デジタル設定」画面を出し、次の操作で設定します。



① 押して、「i.LINK待機」を選び、押して、設定する

② 元の画面 押して 設定終了



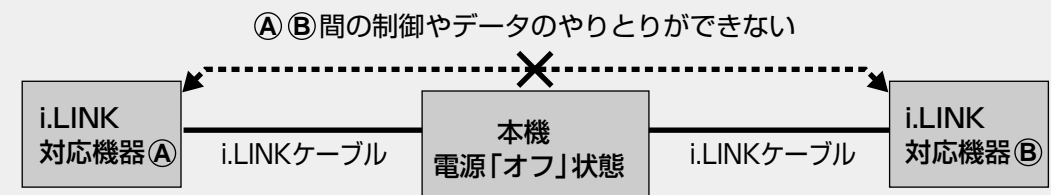
i.LINK待機 しない する ▶

しない…電源オフ時の消費電力を少なくします。リモコンで電源オフにすると、電源表示ランプが赤色に点灯し映像・音声などの信号出力を停止します。またi.LINK接続された機器からの制御の受け付けやi.LINK信号の中継はできません。

する…リモコンで電源オフにすると電源表示ランプが橙色に点灯し(「機能待機」状態)映像・音声などの信号出力を停止しますが、i.LINK接続された機器からの制御は受け付けることができます。(i.LINK接続された機器から再生信号を受け付けると、本機の電源が自動的にオンになります。)

お願い

- 複数のi.LINK対応機器をi.LINKケーブルで接続した場合、「i.LINK待機」の設定を「しない」にして電源オフにすると、本機を中継して接続されている機器間の制御やデータのやりとりはできなくなります。この場合、i.LINK待機の設定を「する」にするとデータのやりとりができます。また、電源オン(受信)時にのみi.LINK対応機器を使用する場合は、「しない」に設定してご使用ください。



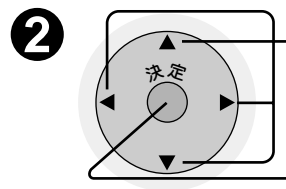
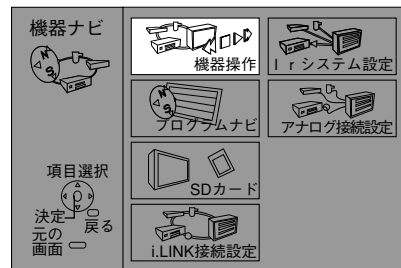
Irシステムの設定

本機に付属のIrシステムケーブルユニットを使用すると、接続した録画機器で録画するための予約が本機側でできます。Irシステムが使用できる録画機器メーカーは下記のとおりです。(ただし、一部の製品によっては使用できない場合もあります。)

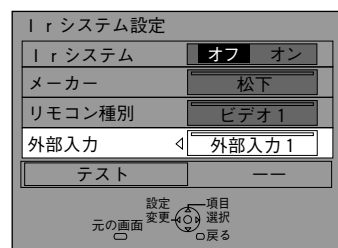
「Irシステム設定」画面にする



押して、「機器ナビ」画面を出す



押して、「Irシステム設定」を選び、中央の決定ボタンを押す



■設定が終わったら

元の画面 ボタンを押す

「Irシステム設定」画面

<連動予約が設定可能な録画機器メーカー>

松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECのビデオデッキおよび当社製、パイオニア製のDVDレコーダー

●タイマー予約は、1989年以降発売の当社製タイマー予約機能付ビデオデッキおよび当社製DVDレコーダーのみに設定できます。

(連動予約、タイマー予約についてはA編：31ページをご覧ください。)

54ページに記載のIrシステムケーブルを正しく接続、設置し、62～65ページのIrシステムの設定とテストを行ってください。

お願い

- メーカーの設定が「松下」のとき、リモコン種別の設定が「ビデオ4」「ビデオ5」で動作する当社製ビデオデッキを接続された場合は、本機のタイマー予約機能は動作しません。連動予約機能を使うかビデオデッキ側でタイマー予約の設定を行ってください。

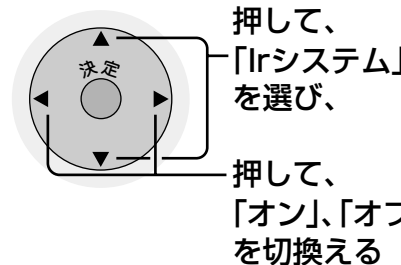
お知らせ

- 既にIrシステムを使用し予約している場合は、Irシステムの設定変更はできません。



「Irシステム」の設定

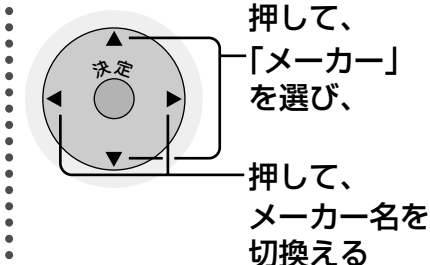
Irシステムを使用するかしないかの設定を行います。工場出荷時は「オフ」に設定されています。



- オン** … Irシステムを使用します。
- オフ** … Irシステムを使用しません。

「メーカー」の設定

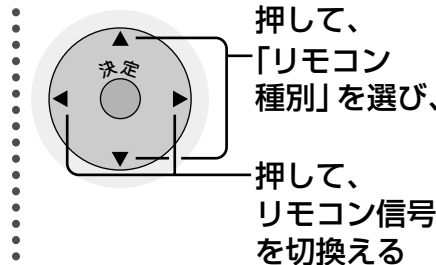
本機に接続している録画機器メーカーを設定します。



本機で設定できる録画機器メーカーは、松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC、パイオニアです。(ただし、一部の商品によっては使用できない場合もあります。)
工場出荷時は「松下」に設定されています。

「リモコン種別」の設定

「メーカー」の設定をしても録画機器が動作しないとき、録画機器が動作するリモコン信号を切替えます。



お知らせ

「Irシステム」の設定は…

- Irシステムを「オン」にした場合は、「メーカー」の設定、「リモコン種別」の設定、「外部入力」の設定を行い、テスト(65ページ)を行ってください。

「リモコン種別」の設定は…

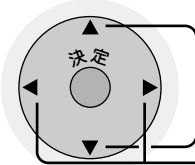
- 録画機器のリモコン信号にはメーカーによって複数ある場合があります。テストを実行しても録画機器が動作しない場合は、他のリモコン信号に切替えて再度テストを行ってください。
工場出荷時は「ビデオ1」に設定されています。
- 各社とも複数のリモコン信号があるため、接続される録画機器が動作するリモコン信号に設定してください。

Irシステムの設定

まず、62ページの操作で「Irシステム設定」画面にし、次の操作で設定します。

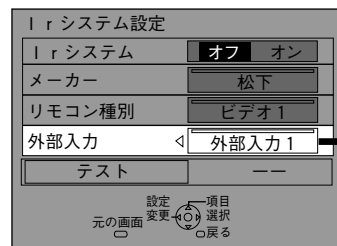
「外部入力」の設定 当社製録画機器を接続し、タイマー予約をする場合に設定します。

- 62、63ページの設定で「メーカー」の設定を「松下」、かつ「リモコン種別」の設定が「ビデオ1」又は「ビデオ2」、「ビデオ3」のときのみ設定できます。（工場出荷時は「外部入力1」に設定されています。）



押して、「外部入力」を選び、

押して、「外部入力1」、「外部入力2」、「外部入力3」を切替える

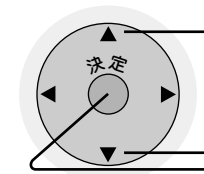


外部入力 < 外部入力1



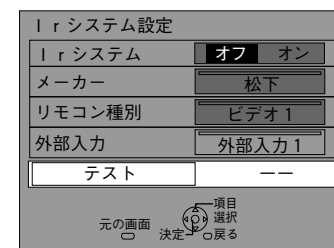
テスト 62～64ページの設定後、次の操作で録画機器の動作を確認してください。

- 録画機器側が予約待機状態や予約録画実行中でないときに行ってください。
- テストを実行すると録画機器に電源「入」／「切」のリモコン信号を繰り返し送信します。録画機器の電源が「入」／「切」するかどうか確認してください。



押して、「テスト」を選び、

中央の決定ボタンを押す



テスト 送信中

- 「送信中」が表示され、電源「入」／「切」のリモコン信号が繰り返し送信されます。
- 送信を終了したい場合は、再度 ボタンを押してください。

お願い

- 「外部入力」の設定は、必ず本機と接続している録画機器の外部入力端子番号に設定してください。この設定を間違えると本機でタイマー予約の設定をしても衛星デジタル放送の番組は録画できません。

お知らせ

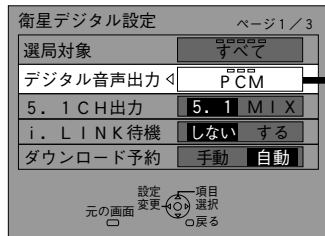
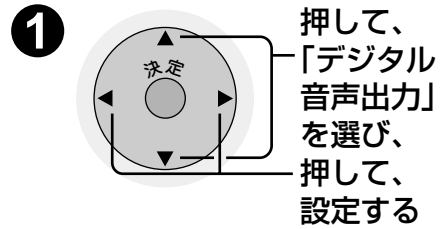
録画機器の電源が「入」／「切」しない場合は

- ① 録画機器のリモコンで録画機器の電源が「入」／「切」できるかを確認してください。
 - ② Irシステムケーブルの接続と設置を確認してください。（P.54ページ）
 - ③ リモコン信号が複数あるメーカーの場合、「リモコン種別」の設定を変えてみてください。
- 「テスト」のリモコン信号を受け付けられない録画機器の場合は、本機のIrシステムは使用できません。この場合、Irシステムの設定を「オフ」にして、録画機器側で録画操作を行ってください。
 - テストの信号を送信しながらメーカーの設定などを変えることはできません。テストを実行中にカーソルを移動させると、テストは中止されます。

デジタル音声出力の設定

本機の光デジタル音声出力端子は、AACフォーマットの音声データを出力することができます。AACフォーマット対応のオーディオ機器に接続すれば、AACフォーマット対応の番組では、迫力ある音声をお楽しみいただけます。

まず、34ページの操作で「衛星デジタル設定」画面を出し、次の操作で設定します。



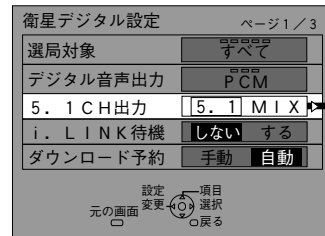
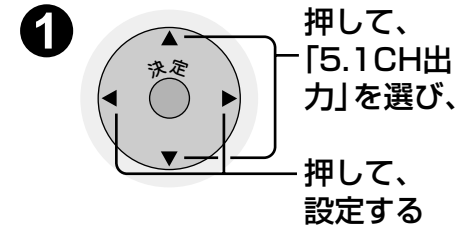
- PCM** … AACフォーマットに対応していないオーディオ機器を接続する場合に設定します。
- AAC** … AACフォーマットに対応しているオーディオ機器を接続する場合に設定します。
- 自動** … AACフォーマットに対応しているオーディオ機器を接続する場合に設定します。サラウンド・ステレオの番組の場合にのみ自動的に「AAC」に切替えます。



5.1チャンネル出力の設定

本機の音声モニター出力端子からは、5.1チャンネルの音声信号の場合には5.1チャンネルで出力されますが、「5.1CH出力」の設定を「MIX」にすると2チャンネルの音声信号に変換することができます。2チャンネルの音声信号は音声モニター出力端子のサラウンド（右・左）とセンター、サブウーハーからは出力されません。

まず、34ページの操作で「衛星デジタル設定」画面を出し、次の操作で設定します。



- 5.1** … 5.1チャンネルの音声信号の場合、そのまま5.1チャンネル用の音声モニター出力端子から5.1チャンネルの音声を出力します。
- MIX** … 5.1チャンネルの音声信号の場合、2チャンネルの信号に変換して音声モニター出力端子のフロント（右・左）のみから出力します。

お知らせ

- 工場出荷時は「PCM」に設定されています。
- 地上波放送や、ビデオ入力1～3、コンポーネント（色差）ビデオ入力1、2に接続した外部機器を視聴中、光デジタル音声端子は本設定とは関係なく、常時「PCM」出力します。
- AAC対応アンプを接続する場合、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをお勧めします。

お願い

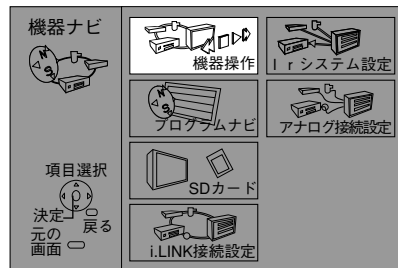
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の効果音が本機の光デジタル音声出力端子から出力されません。この場合は、「PCM」に設定してください。または、モニター出力の音声端子をご使用ください。

アナログ接続設定

ビデオ機器の接続に合わせて、ビデオ入力の表示を書き換えることができます。

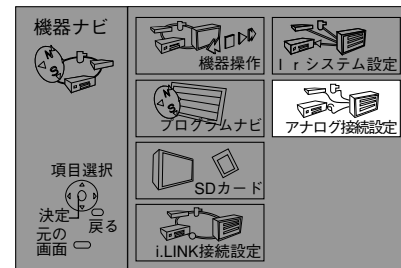


1 機器ナビ
押して、「機器ナビ」画面を出す



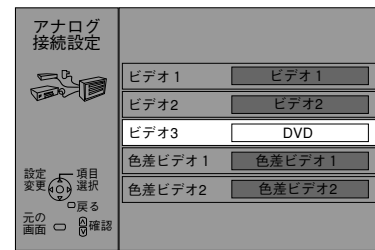
「機器ナビ画面」

2 押して、「アナログ接続設定」を選び、中央の決定ボタンを押す



「アナログ接続設定」画面

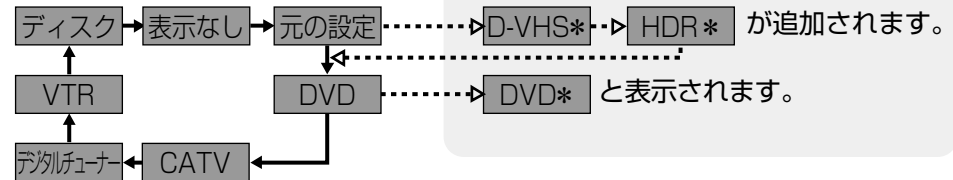
3 押して、書き換えたいビデオ入力を選び、
押して、書き換える



4 設定を終了する

- **戻る** を押すと1つ前の画面に戻ります。
- **元の画面** を押すと設定画面が消えます。

▶ を押すごとに…



◀ で逆に変化します。

「i.LINK接続設定」で「使用」を「する」に設定している場合
D-VHS*、HDR* が追加されます。
DVD* と表示されます。

D-VHSビデオデッキ (D-VHS) またはハードディスクビデオレコーダー (HDR) をi.LINK接続している場合

本機に接続したD-VHSビデオデッキまたはハードディスクビデオレコーダーの再生映像が、デジタルからアナログ (またはその逆) に切換わったとき、本機の入力を切換えずに、連続して視聴するための設定が行えます。D-VHSビデオデッキまたはハードディスクビデオレコーダーのビデオ出力から本機に接続されているビデオ入力 (ビデオ入力1~3) をご確認のうえ、接続と同じ入力に「D-VHS*」または「HDR*」を設定してください。

*印は「i.LINK接続設定」で表示される番号です。(A編：66ページ)

DVDホームシアターサウンドシステムをi.LINK接続している場合

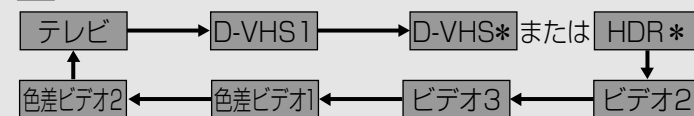
本機に接続したDVDホームシアターサウンドシステムのDVDi.LINK再生ボタンを押したときに自動的に入力を切換えるための設定ができます。DVDホームシアターサウンドシステムのビデオ出力から本機に接続されているビデオ入力 (色差ビデオ1、2、ビデオ入力1~3) をご確認のうえ、接続と同じ入力に「DVD*」を設定してください。

*印は「i.LINK接続設定」で表示される番号です。(A編：66ページ)

お知らせ

- D-VHS*、HDR*、DVD* の*印は、「i.LINK接続設定」で表示される番号です。(A編：66ページ)
- i.LINK接続機器を設定したビデオ入力は、入力切換後時、スキップします。

例] ビデオ1に「D-VHS1」を設定した場合の入力切換



Lined writing area for page 70, consisting of 25 horizontal dashed lines.

Lined writing area for page 71, consisting of 25 horizontal dashed lines.